臺灣時報

五月號

内容目録記入済
JUN 12 1926

鵞鑾鼻燈臺

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂莊作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　宮木東造　永田隼之輔

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　倉岡彥助　日下操　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　荒卷鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　楢瀨軍之佐　皿谷廣次　桑蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村匡　木村久太郎　木村泰治　許廷光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彥

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彥　大澤清高

常務員

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　橫光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫　中田榮次郎　中田秀造　內田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　下村充郎　城間垣人　平山泰

編輯係　泰滿　鷹取田一郎　泉芳德　尾崎保正　葉山石雲

栗山新造　眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

大正十五年五月十三日印刷（每月一回）
大正十五年五月十五日發行（十五日發行）

（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府內
發行所　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九九番

臺北市新榮町一丁目十一番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市本町一丁目十九番地
印刷者　中村誠道

臺北市榮町一丁目二十七二十八番地
印刷所　松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物産株式會社

臺北
臺南
支店

出張所、出張員

厦門　福州
基隆　高雄
臺中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社臺灣銀行（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

内地

神戸　大阪　横濱　東京

外國

上海　漢口　福州　厦門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカツタ　倫敦　紐育

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

高松宮殿下自働車に召されて雨に煙る植物園の風光を賞させ給ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本米穀會第十九回大會（臺北市に於て）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十五年五月號

高松宮殿下を奉送して

伊澤總督

高松宮殿下の御恙なき御歸艦を奉送して、伊澤總督は四月十九日午前九時總督府内會議室に、府内高等官奉迎係職員及び御成先地の各官衙長を招集して左の挨拶を述べた。

高松宮殿下本島御成りについては、各位の多大なる努力に依り、御滯りなく御視察を遂げさせられ、誠に同慶に堪へず、一言御挨拶を申述べます。

第三皇子高松宮殿下には、此の度第一艦隊巡航に際し軍務御多端の折柄、畏くも本島各地へ御成りを賜い、具に各般の御視察を給りし事は洵に無上の光榮とする處であります。

顧れば、去る大正十二年には攝政殿下の行啓を仰ぎ、昨十四年は、秩父宮殿下の鶴駕を迎へ、今又第三皇子の宮の御成りを辱ふし、我が皇室の至仁至愛一視同仁、如何に新附領土の統治に大御心を垂れさせられるかを拜察し、洵に恐懼感激に堪へぬ次第であります。

高松宮殿下には艦内に於ては全く將校として他の士官同樣軍務にいそしまるゝ御趣洩れ承り、誠に恐れ多き極みと存じますが、本島御成りに際しても、短日時の間に繁劇なる御日程を進められ、高雄、屏東、臺南、臺中又臺北等全島各地各町の御視察あらせられ、殆んど御寛ぎの御暇もなく、教育に、産業に、衛生に、交通に、其他風俗世態各般の事共も御見學あらせられた大御心の程は、只々感激措く能はざる處でありまして、此の御精勵の御台德は、動もすれば辛勞を厭い、安逸に赴かんとする近來の一般風潮に對し、深甚なる御教訓を垂れさせせられたるものにして、相互に深く相戒め相愼ねばならぬ處であると思います。

其他御聰明のことは申すに及ばず、紀律、攝生、寛仁、憐憫等御仁德の數々は隨時隨處に於て發揮せられ、親しく之を拜し奉れる官民は等しく恐懼感佩し奉つた處で、我が皇室が東宮殿下を始め奉り、斯くの如き聰明なる諸皇子を有せらるゝことは何たる幸慶のことであるかと竊かに祝福した次第であります。

玆に御恙なく御歸艦を奉送したる機會に於て、忝しく殿下の御安泰なる御航海を禱り奉ると同時に、奉迎事務の爲め日夜鞅掌せられたる各位の辛勞を多とし、深く感謝の意を表する次第であります。

米穀大會に於ける志村會頭の演說

閣下竝に諸君、本日大日本米穀會第十九回大會を當臺北市に開催するに當り、總督閣下始め來賓各位及び多數會員諸君の御來會を得ましたことは本會の爲め最も欣幸とするところであります。

我が國の食糧問題は年と共に益々深刻となり、國民生活上、將た國家經濟上極めて重大視せられて居ります。殊に食糧中其の主要部を占むる米穀は我國に於ては自給自足が至難であつて、毎年消費量の一割以上は朝鮮臺灣の產米及び外米によつて補給されて居る。而して之が需要方面に於ては年々急激なる人口の增加と生活の向上によつて一人當消費量は逐年增加し、供給の方面に於ては作附面積竝に段當產額の增加等が擧げられますが、限りある面積に於て限りなく增加せんとする消費を滿すことは出來ない。これ等のことを考へ合せると將來に於ても米穀の自給自足は內地に於ては恐らく實現し得る見込極めて遠しと云はねばならぬ。故に之が對應策として其の不足額を新領土の生產米によつて補給するといふことは當然であつて、近時此の方面卽ち北海道・朝鮮・臺灣の產米が著しく增加し、當局も亦內地の開墾奬勵に止まらず、積極的に新領土の拓殖事業就中產米の增加に向つて力を注がれんとするに至つたことは、我が食糧政策上に新局面を展開せんとするもので、誠に機宜に適した措置と申すべきであります。

大日本米穀會は正米の販賣取引者を主として斯界の有力者を抱擁する會合で、創立以來其の仲介者たる立場から米穀の改良、取引、運送其の他の改善に努力し毎年大會を開催して當業者の智識を交換し、各種の改

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

良問題を決議し又は俵米の品評會を催す等產米改良上相當貢献するところがありました。而して大正十一年の第十五回大會は朝鮮で、大正十三年の第十七回大會は北海道で、今又第十九回大會を當臺灣で開催致しますことは、食糧問題の趨勢を考へ、特に新領土の米穀の生產と配給に重きを置き、之が發達を刺戟し、以て國家に貢献せんが爲めであります。

臺灣に於ける米作の狀態を見ますと近年長足の進步を告げて居ります。大正十四年度には六百四十餘萬石を產し、其の中二百二十二萬石、即ち生產額の約四割を內地に移出して居りますが、今後一層米作を奬勵しましたならば將來に於て內地移出額を現在の倍額、即ち五百萬石程度に達せしむることは必ずしも長年月を要しないと思ひます。殊に最近內地種米の生產額が年と共に著しく增加しましたことは最も注目すべき事柄であつて、その米質が內地人の嗜好に適するのみならず、その移入期が恰も內地の端境期に當る爲め、內地に於ける米の數量及び價格の調節に至大の效果を及ぼすものであります。此の點に於て臺灣產米の增加は其の數量に於て朝鮮產米のそれに及ばないとしても、其の價格の調節に於て優越せる地步を占むるものと云ふべきであります。

臺灣に於ける內地種米栽培の成功は、我が經濟界に於ける一大事蹟であり一大發見でありまして、之に依つて國民生活の安定を期することも出來やうと思はれます。從來內地人の嗜好は內地米に限られ、その內地米は內地又は朝鮮の如き温帶地方にあらざれば生產し得ざるものとせられ、限りある領土內に於て限りなき人口の增加を見る帝國の食糧問題は此の點に於て行詰りの狀態にあつて前途憂慮に堪へざるものがありましたが、臺灣の如き熱帶又は熱帶に近き地方に於て、內地種米の栽培可能なりとするに至つては實に人意を强ふするものであつて、食糧問題の前途に洋々たる希望を懷かしめたものと謂ふべきであります。なほ此の內

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地種米は目前に於て內地食糧の供給上及び其の價格の調節上偉大な效果があると同時に、臺灣島民の利益も亦莫大なものでありますことは、最近二三年間に其の生產及內地移出高が飛躍的增加を爲した事實が之を證明して餘あるのでありまして、今後臺灣の官民諸君が一致して其の發達に努力せらるゝことは吾人の信じて疑はざる所であります。

從來內地種米の栽培に盡力せられた總督府は今度一層有效なる指導と奬勵とを加へらるべく、就中優良なる品種の撰定、栽培及び耕作方法の改善に付ては一層學術的研究を進められ、本島各地の氣候風土に適當なるものを案出せらるゝことを確信致します、又生產品の調製に關する事項、例へば脫穀乾燥の設備、包裝の改良、進んでは品質の檢查格付等は既に內地に於て施設せる實例もありますから、之を參酌して一層進步したる而して民度に適合したる統一と改善とを計らるゝことゝ信じます。其の他生產品の輸送保管金融取引に關する事項は、他の一般經濟上の發達に伴ふものであるから一時に萬全を期することは出來ないが、幸に此の會合の機會を以て充分に研究協議を遂げられ、總督府に於ても必要と認められた事項は本會に諮問せられ、本會々員も亦出來得るだけ其の蘊蓄を傾けて意見を開陳し、以て最近急激なる發達を見たる內地種米の生產配給に關する手段方法の完備を期せられ、我が國食糧問題の解決に資すると同時に、內地臺灣間に食糧上經濟上密切離る可らざる連絡を完成して帝國の進運に貢献することを期せなければならぬ。

今回大會を當地に開催するにつきましては、臺灣總督府を始め各州廳各州農會其の他官民各位の非常なる御援助を得ましたことを深く感謝致します。

――大正十五年四月二十三日臺北市に於ける大日本米穀會第十九回大會開會の挨拶大要――

米穀大會に於ける片岡商工大臣の告辭

本日茲に第十九回大日本米穀大會の開催せらるゝに方り、所懷の一端を陳ぶることを得るは予の欣幸とする所なり。抑々米產地としての臺灣は夙に世人の注目する所なりしが、近時臺灣內地種米の收穫は著しく增加し、其の品質は益々改良せられ、能く內地人の嗜好に適し、內地當業者にして此種臺灣米に囑望する者漸く多く、之れが取引亦從つて繁盛に趨かんとし、實に臺灣產米は我邦食糧の需給上極めて樞要の地位を占むるに至れり。而して此の臺灣產米を豐富にし其の品質を改良せんとせば、當局の指導と生產者の努力とに俟つこと大なるは敢て言を須ひざる所なるも、一面內地に於ける當業者が、臺灣產米に對し適切なる理解を得、進んで其の生產取引の改善に關し、相協力するは最も緊要の事項と謂はざる可からず。此秋に方り、當地に於て本會大會を開催し、米穀の生產取引等に關し討議せらるゝは洵に時宜に適せる擧にして、邦家の爲め慶賀に堪へざる所なり。惟ふに、我國に於ける食糧問題は年を逐うて愈々深刻味を加へんとし、食糧の充實を圖り、需給の圓滑平衡を維持し、國民生活の安固を期するは刻下極めて緊切の要務にして、官民一致協力剴切の方策を講じ、國運の進展を圖らざる可らず。大日本米穀會は、多年米穀の改良增殖、取引方法の改善に努め、其の效績洵に多とすべきものあり。冀くは、斯業に關係する諸君は、宜しく內外の情勢を察知し、經濟界の推移に應じて、充分なる協議研究を遂げられ、以て本大會開催の趣旨を完うせられんことを、一言以て告辭とす。

——大正十五年四月二十三日臺北市に於ける大日本米穀會第十九回大會にて——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米穀大會に於ける伊澤總督の祝辭

大日本米穀會が第十九回大會を臺北市に開催し、本日其開會の式を擧行せらるゝに當り、本官亦臨席の機會を得、玆に多數會員諸君と相會するを得たるは寔に欣幸とする所なり。

聞く、大日本米穀會は、全國に亙り多數有力なる當業者を以て組織せられ、斯界の中心團體として米穀の改良發達に貢獻せらるゝのみならず、近時我臺灣米の移出旺盛に赴くに伴ひ、其の取引の改善に寄與せらるる所亦甚だ大なるものありと、是本官の特に感謝する所なり。

顧ふに米穀は吾臺灣に於ける農產の大宗にして、其消長は直に本島農民の利害休戚に關するのみならず、母國食糧補給上影響する所亦少からず。現に大正十四年に於ては其の產額六百五十萬石に達し、其の內二百五十萬石は內地に移出せられ、而も將來猶生產增加の餘地甚大なるものあり、殊に近年內地種米栽培の成功は甚しく內外の注目を惹き、其の前途異常の發達を示さんとする趨勢に在り。

此時に當り、全國斯業者の中樞機關たる大日本米穀會を我臺灣北部に開催せられたるは、其の意味頗る深きものあるを思はしむ。希くは大日本米穀會及其會員諸君益々奮勵努力、以て多數農民の福利增進と、帝國食糧問題の解決とに一層貢獻せられんことを、一言以て祝辭となす。

——大正十五年四月二十三日臺北市に於ける大日本米穀會第十九回大會にて——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

米穀大會に於ける早速農林大臣の祝辭

茲に大日本米穀會第十九回大會を開催せらるゝに方り、一言所懐を陳ぶるの機會を得たるは予の欣幸とする所なり。

惟ふに、近年吾國人口の增加に伴ひ、食糧の充實を圖り需給の圓滑を維持するの必要愈々切實なるものあり、今や人口問題と食糧問題とは、朝野の識者間に高調せられ、之が解決は國民生活の安定竝に國運の進展上極めて緊切の急務たり。之が爲には、內地と各植民地との連絡を密にし、或は產米の改良增殖を圖り、或は配給機關の整備を期し、米穀需給の大勢を誤たざらんことに努むる必要あり。

大日本米穀會夙に鑑みる所あり、常に本問題の研鑽に努めて會員の指導を怠らず、時に大會を各地に開催し、風物を示して知識の涵養に裨益す。曩に朝鮮に大會を開きて鮮米聲價の發揚に資し、今又此地に開催して本島產米の紹介に努む。蓋し、近年內地種米の異常なる進歩が、內地米穀の需給關係に多大の貢獻を爲しつゝあるの秋に際し、直に時宜に適したる擧なりと謂ふべし。來會の會員諸子は親しく本島の風物に接し、斯業開發の實情を視察し、新に得たる知識を以て今後一層食糧問題の解決に寄與せらるゝ所あらば、邦家の爲慶賀之に過ぎざるなり、一言以て祝辭とす。

——大正十五年四月二十三日臺北市に於ける大日本米穀會第十九回大會にて——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新興日本の將來と
植民的發展の時機

衆議院議員
農學博士　東郷　實

一、須く植民思想を興隆せよ

德川二百餘年間の鎖國政策は我國民の海外發展を全然杜絶せしめた。然し我が建國の精神は之が爲め根絶することはなかつた。世界の大勢は再び我國をして進取的の海外發展策を採らしむべき機運を作つて呉れた。「黑船」の來訪に少からず驚かされた我國民は、茲に初めて長夜の眠りから醒め、再び昔乍らの日本民族に復活したのである。卽ち明治大帝は明治維新の大業を遂げらるゝや、「遂には萬里の波濤を拓開し國威を四方に宣布し、天下を富嶽の安きに置かむことを欲す」と宣せられ、茲に我國は新しき植民帝國としての紀元を生み、再び海國男子としての勇健なる活動を見るに至り、三十五反の帆を捲き上げて海上を濶歩するの意氣を示すことゝなつたのである。

最近三十年間に於ける我國の植民的發展は相當の成績を擧げ、帝國の總面積は四萬四千方里に達し、之れ

を臺灣領有以前に於ける舊日本の總面積二萬五千方里に比すれば、實に七十五パーセントの增加である。從つて其の人口を著しく增加し、大正十四年十月一日施行の第二囘國勢調査の結果によれば、帝國の總人口は約八千萬に垂んとし、就中、植民地の人口は約二千百萬人にして、總人口の二十六パーセント餘を占めてゐる。尙ほ之れに加ふるに、租借地たる關東州及委任統治區域たる南洋を以てすれば、更らに其の面積と人口とを增加するは勿論である。

而して、植民地以外の海外諸國に在留する邦人(內地人)の數も亦五十萬人に達してゐるが、大正十三年七月末現在の其の分布區域も殆んど世界の各地に擴がつてゐる。就中多きを占めてゐるのは、滿洲(關東州を含む)の十七萬九千人で、北米合衆國の十三萬一千人及布哇の十二萬三千人之に亞ぎ、支那(滿洲を除き靑島を含む)の四萬五千人、伯剌西爾の四萬一千人、南亞細亞及南洋諸島の一萬七千人、加奈陀の一萬九千人、南米(ブラジルを除く)の一萬四千人等が其の主なるものである。卽ち今海外の在留邦人の地方別及男女別統計を示せば左の通りである。

(大正十三年六月末現在調)

在留地別	男	女	計
英領加奈陀	一二、七四八	六、四一二	一九、一六〇
北米合衆國(布哇ヲ除ク)	八二、〇八七	四九、二七〇	一三一、三五七
布哇	六八、六一五	五四、四二一	一二三、〇三六
墨西哥國	二、三〇一	一、〇〇九	三、三一〇
巴奈馬及玖馬	五五一	一二九	六八〇
伯剌西爾國	二四、一三五	一七、六三九	四一、七七四
南亞米利加(ブラジル國ヲ除ク)	一〇、三一九	三、二四〇	一三、五五九
比律賓群島 グアム島	六、八二五	一、五六五	八、三九〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南亞細亞（南洋群島ヲ含ム）	一〇、五二六	七、〇三七	一七、五六三
太平洋	三、六〇八	二七一	三、八七九
支那（滿洲ヲ除ク）	二四、〇四〇	二一、二二九	四五、二六九
滿洲（關東州ヲ除ク）	九四、六七六	八四、八〇八	一七九、四八四
西比利亞（北樺太ヲ含ム）	一、九九八	一、三六九	三、三六七
歐羅巴洲	三、三〇七	四九七	三、八〇四
阿弗利加洲	二八	二一	四九
合計	三四五、七六四	二四八、九一七	五九四、六八一

此の如く我國の植民的及海外發展は最近數十年來のことである結果、「植民政策」と稱し、「海外發展」と稱するが如き思想は、新しく海外より輸入したもの、樣に考へてゐる人があるけれども、それは非常な間違である。

即ち我國は建國以來たえず植民的發展を遂げて來たのであつて、日本民族其のものは他の民族に比し決して植民的經營の能力を缺如してゐる譯でなく、たゞ一時國家政策を誤りし爲め其の能力を掩ふてしまつたに過ぎなかつた。從つて最近に於ける日本の植民思想は維新後突如として勃興した譯ではない。實は國民の多數が、太平の夢を見てゐた德川の末年に於いて、幾多先覺の學者に依つて盛んに唱道せられた所のものであつた。故に吾人は鎖國時代の末期に於いて林子平・馬場正通・本多利明・帆足萬里・佐藤信淵其他幾多の志士學者が盛んに拓地植民の必要を說き、或は帝國主義を皷吹したことを忘れてはならぬ。

二、維新前に於ける北進論

今之等論者の海外發展に關するものを二三擧げて見れば、第一は本多利明の主張である。本多利明は越後

の人延享元年(一七四四年)に生れ、文政四年(一八二一年)に七十八の高齢を以て江戸に死んだ人である。我國では伊能忠敬、外國ではナポレオン一世が彼と同年に死んでゐる。彼は數學者、天文學者であると同時に、物產學者であつて、盛んに蝦夷開拓を論じ、勘察加から唐太・山丹・滿洲の經營を主張し、進んで亞米利加大陸の開拓を述べてゐるが、是等の意見は其の著述「西域物語」「經濟放言」等に散見することが出來る。西域物語は寬政年間の著述であるが、其の中に、

日本天下第一の最良國たるべき所以を論ずれば、神武以來凡そ一千五百歲の内漸々諸道も具足せしに乘じ、カムサスカの土地に本都を移し西唐太島に大城廓を建立し山丹・滿洲と交易し有無を通じ……(西域物語、日本經濟叢書第十二卷、第二十七頁)

と稱し、或は

カムサスカと此の土地(唐太)とに大都會出來すれば其勢に乘じカムサスカより南洋の諸島も獨開して各繁昌の國となるに從ひ、東都の御威光も隆になるによりアメリカ屬の島々までも猶ほ屬し從はん勢具足の日本に自然と從ふべき島々あり。(同上百七十三頁)

と稱し、更らに「經濟放言」を見るに、

自今以後は我國より蝦夷の島々よりカムサスカの大地までも撫育交易して土人を介抱せんに後々は悉皆我國の屬島となるべし。……(經濟放言——日本經濟叢書第二十六卷第百七十三頁)

と論じ、更に

江戶より寅卯に方り渡海千四百七十五里にしてクウクセンといふ岬あり則ち北亞墨利加の土地なり北極高六十六度三十分江戶の子午線より東方赤道經度四十九度十分に所在せり土人毛髮黑く中背にして我國の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人物と異ることなしと云へり然れども人の道を得ざる土人にて則ち蝦夷の土人と等し……何れ我國の人物と同種類なれば、我國より撫育介抱して屬國となすべき土地なり。(同上第百七十七頁)

と論じてゐる。

即ち利明の海外發展は侵略主義にあらずして「撫育主義」であり、且つ「移住的」である。尙ほ彼は經濟上より立論して國土に限りあつて人口の增加に限りなきを論じ「際限ある土地より出產する產物は出產に制限あり、年々出產する國民は年々に增殖して際限なし、終に國民は國產より多く、國產は國民より少くなるべし」(同上百六十八頁)と稱し、又「日本の土地限りの遣り繰り經濟は大抵似た歟寄た歟迄には仕附あれば、今更日本の土地限りの遣り繰り經濟は、迚も埒明くべからず」(同上百八十六頁)と稱して、海外發展の主張を述べてゐる。而して其の論ずる所は、南洋方面のことも多少あるが、主として北方經營に傾いてゐるのであつて、當時世人が、「北夷先生」と稱した樣に、確かに彼は北進主義論者の隨一であつた。

三、嘉永年間の南方經營論

然るに帆足萬里は同じく海外發展論者で、植民的經營を說いてゐるけれども、其の主張する所は南洋發展策である。彼は豐後日出の產にして、嘉永五年(一八二五年)に七十五の高齡を以て死んでゐるが、それは丁度英將ウエリントンの死んだ年である。彼は其の著「東潛夫論」に東洋經營を說き、

本邦舟艦砲術鍛練せば、西諸侯の帥六七萬を遣はして是(呂宋)を征めば立どころに攻めとるべし、南ミンダナオまでも併せたらば日本よりも廣く、南北にて產物豐饒なれば其上にて四五の諸侯を遷して是を守らしめ、日本の罪人など數萬人を遷して新日本とし、永く本邦の援國とすべし、是覇王の業と云ふべし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豐臣公の朝鮮を征め給ひし如く拙きことに非ず、朝鮮は地續きにて假令ひ攻めとりても二十萬の兵を置かずしては守り難し、呂宋は五六萬人の兵を置けば誰も手ざす人はあるまじきなり。（東潜夫論——日本經濟叢書第二十六卷四百二十六頁）

と論じてゐる。即ち帆足萬里の主張は「南進主義」「海洋發展策」にして、大陸發展の困難を論じたるものである。

現今に於いても我國には北進主義と南進主義との二説がある。而して南進主義の北進主義に反對する唯一の根據は、大陸に發展すれば露國其他の强國と境を接し、之れが守備に必要なる軍備に非常の力を盡さねばならぬ。寧ろ抵抗力の少い海上に發展する方がよいといふのであるが、恰も萬里が德川の末年に於いて論じた所説を其の儘燒き直したものゝ樣に思はるゝのも一興である。獨り我國のみならず、歐洲諸國に於いても大陸發展を避けて海外發展を主張するものがある。殊に英國の如きは歐大陸を避けて、所謂孤立せる英帝國の强味を保持することに努めてゐる。之を我が神代に於ける二神の意見の衝突に合せ考ふれば、東西古今を通じて一種の趣味ある問題である。

四、佐藤信淵の宇内混同秘策

斯くの如く本多利明は北進を主張し、帆足萬里は南進を主張してゐる間に、更により以上の海外發展を唱道したものがある、夫れは佐藤信淵その人である。翁は明和六年（一七六九年）出羽國に生れ、嘉永三年（一八五〇年）八十二の高齡を以て江戸に死んでゐるが丁度我國では高野長英が自殺し、外國では英吉利のトーリー黨のピールの死んだ年である。翁は日本に於ける農政學の開祖として農業に關する大著述があるのみなら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

す、其他一般の物産學に精通した人であり、「内洋經緯記」を著して内國の開拓策を論じたのみならず、今から丁度百年前文政六年(一八二三年)には「宇内混同秘策」なる著述を著はして、世界統一論を主張してゐる。此の宇内混同秘策に就ては、自分は既に屢々或は雜誌上に於いて、或は講演に於いて、其の大要を紹介したことがあるが、其の論旨を約言すれば、先づ世界統一の順序として一は北樺太及黒龍州を占め、滿洲に南下し、一は朝鮮を領して滿洲と應じ、一は臺灣を占有して南亞細亞大陸發展の策源地を作り、一は比律賓に根據を定めて南洋の重鎭とし、斯く南北相應じて亞細亞大陸の領有を確實にし、支那民族を撫育し、終には世界を統一するに至るべしと云ふにある。而して其の説く所の政策實行の手段は「經濟的」であり、「移住的」であり、征伐的でなく「撫育的」である。

即ち翁は黑龍江一帶の地が、五穀缺乏の結果、住民大いに困るものあるを救はんが爲め奧羽及古志諸州に於いて産出する餘剩米を搬出せんとして、「有餘を移して不贍を救ふ。即ち産靈の法敎なり」と稱し、更に滿洲住民の食料不足を救濟せんとして、「人類は悉く天地の子なり、人類にして粗食に艱むを愍恤せざる可けんや、故に皇國の有餘を遷して、彼の土の不足を救ふ固より天意を奉行するなり」と云つてゐる。

斯くの如く翁の海外發展策は一に經濟的であつて、我の有餘を以て彼の不足を補ひ、以て人道の極致を施さんとするにあつた。而して翁が特に南洋植民を論じ、年々五千人づゝも遣はして此の諸島を經略し、漸々人を植ゑて開拓せば數年の間に南洋數千里の地悉く版圖に入るべし。」と稱し、所謂「移住的植民」及「農業的植民」を主張せるは實に卓見と稱すべきである。

而して「夫れの經濟の大典はかけなくも畏き産靈の神敎にして、世界萬國の蒼生を救濟すべきの法なり。然るに之を拒むに至りては即ち天地の罪人なり。」と云ふに於いて、翁の抱負が世界の凡ゆる民族に對して一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

親同仁の政治を施さんとするに在つて、若し之を拒むものあらんか初めて彼等の頭上に一刀を加ふるの意氣あるを示したものである。

尙ほ「皇國より滿洲を征するには之を得るの早晚は知るべからずと雖も、終には皇國の有とならんとは必定にして、疑なき者なり。」と稱したるの見識には歎賞を禁じ得ない。且つ翁が兵力の必要を論じたのは、只だ此の平和的政策を實現するの一手段たるに過ぎなかつたのは「唯其の人を殺すことを憐むが爲めに、三銃の偉器を用ひずして撫諭して降らしむるを要とすべし」と云ふに見るも明かである。斯くて翁は、最後に經濟・兵備・地理の三者を併行せしむるにあらざれば宇内混同の大業は到底成就する事は出來ないと論じてゐる。

佐藤信淵は斯くの如く盛に海外發展を主張し植民政策の伸暢を論じてゐる。自分は翁の世界統一論に就ては無條件に贊成は出來ないが、彼が日本民族と日本の國家とが、共に世界に優越せることを主張し、之を根據として文明を四方に宣揚し、而して凡ゆる民族を經濟して行かうと云ふ彼の經濟的・平和的・農業的植民政策に對しては大いに贊成せざるを得ないのである。

五、新興日本の植民的發展

斯くの如く我が德川の末年に於いて、非常なる積極的政策を眞面目に主張した學者が多々あるに拘らず、或は帝國主義と云へば英國のチエンバレーンやセシル・ローヅを想ひ出し、或は軍國主義と云へば、直ちに獨逸のトライチケやベルンバルヂーを想ひ出し、是等の積極的政策は悉く歐洲人の專賣であつて、我が日本民族の與かり知らざるかの如く思つてゐる人があるけれども、それは大いなる間違である。殊に甚しきは本多利明にせよ、或は佐藤信淵にせよ、和蘭學をやつた人である爲めに、彼等の所說が日本人固有のものでなく

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、歐羅巴思想の感化である。言葉を換へて云へば、白晳人種の說を燒き直したに過ぎないと思ふ人がないでもない。然し自分は斯く迄歐羅巴崇拜に陷り、我國に於いて斯くの如く雄大なる意見を持てる人の價値までも下げて行く必要は更らにないと思ふ。

勿論本多利明や佐藤信淵の所說には、何れも歐羅巴の思想や、支那の智識が混つてゐたに相違ないけれども、其の說く所の主義主張は日本人民族を基礎とした主義主張で、彼等の所論は日本固有のものと見て差支はない。特に佐藤信淵翁が「宇內混同秘策」を著した文政六年（一八二三年）は太平洋の彼岸に於いて「モンロー主義」の宣言を發表された年であつて、翁が獨逸のトライチケに先立つこと何十年にして彼トライチケが盛んに伯林大學あたりで講演して、獨逸人の膽を躍らした雄大なる議論以上の大議論を吐いてゐるといふことが、我が日本の偉大なる誇りの一つであることを思はねばならぬ。

此の外幕末に於いて或は橫井小楠が「精神的帝國主義」を唱導し、或は佐久間象山が「終卷二五洲一皇朝。皇朝永爲二五洲宗一。」と稱し、或は吉田松陰が蝦夷・カムサツカ・琉球・朝鮮・臺灣・呂宋等の經略を說き、或は橋本左內が山丹・滿洲・朝鮮・アメリカ・印度の經營を說き、日露同盟を主張したるが如き其他無數の學者或は志士が說く所の方面には、多少の相違はあるが、何れも植民を說き海外發展を主張してゐることは世人の熟知せる所である。

斯くの如く我國に於いて維新前に無數の學者及志士が植民を說き、海外發展を論じたのは、丁度獨逸に於いて獨逸帝國の統一前後に於いて幾多の學者が帝國統一と海外發展の必要を論じたのと稍々似た點があるのであつて、日本にせよ、獨逸にせよ、他の歐洲强國に比較すれば立遲れの氣味がある。以來五十年を經過して、未だ著しき發展をなし得なかつた獨逸は、不幸にして世界大戰の結果植民地の全部をなくなして了つた。

我國に於いては維新の當時開國進取の國是を定め、日清・日露の兩戰役に勝利を收め得た結果、領土は著しく增加して來てはゐるが、尙ほ之を先きに述べた先覺志士學者の主張した所論に比較すれば、其量に於いて僅かに其の一端を成就したに過ぎない。故に我國の植民的發展は、多く今後に殘されてあることを忘れてはならぬ。

然るに、最近我國民一般の思潮がこの重大なる國家問題を輕視し、徒らに國內の小問題に沒頭し、雄大なる國家政策の如き知らぬ顏に振舞つてゐるの感あるは、眞に國家の一大恨事である。吾人は大いに發展し、大いに膨脹しなくてはならぬ。而して吾人の祖先が爲さんと欲して未だ爲し得なかつた此の大問題を解決しなくてはならぬ。

六、永住の決心なき布哇移民

現今我國の植民地は、朝鮮・臺灣・樺太丈けであるが、此外に關東州の租借地及南洋の委任統治區域がある。此の二つは廣義に於いては植民地として取扱つて差支へないが、右の區域以外に於ける日本人の發展は正確に云へば植民でない。然し玆には極めて廣義に解釋し、右の植民地以下に於ける日本人の發展をも海外發展の意味に於いて論評を試みることゝする。

現今日本人の最も多く發展してゐるのは、滿洲其他の支那大陸を除けば、布哇及北米合衆國であるが、就中移民の歷史の最も古いのは布哇である。大正十三年六月末現在布哇在住の日本人は男六萬八千六百十五人、女五萬四千四百二十一人合計十二萬三千〇三十六人の多きに達し、實に布哇總人口の約半數を占めてゐる。然し彼等の社會的地位や、經濟的地位が餘り高くないことを甚だ遺憾とする次第である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

布哇在住十二萬の日本人は、昔の移民とは異り、男に對する女の割合も比較的多いが、然し今尙は或意味に於いて半永住、半分捕式である。卽ち彼等も矢張り桃太郞や、浦島太郞式であつて、一度は本國に歸つて我々は移民歸りであると云ふのを花に其の成功を鄕黨の間に誇りたいと云ふ日本人固有の國民性の閃きが見へてゐる。例へば布哇に於ける勞働者が或は甘蔗畑に、鳳梨園に働き乍ら『どうせ一度は日本に歸り布哇歸りと云はれたい』と唄ふのを見ても、日本民族固有の國民性を窺ひ知ることが出來る。卽ち彼等の目的は何とか成功らしい成功をして一度は日本に歸りたい、自分は布哇歸りの成功者であると云はれて見たいといふに過ぎない。つまり錦を故鄕に飾りたいといふのが彼等多數の者の最終の目的である。

嘗つて布哇の總領事であつた諸井六郞氏は布哇在留の日本人は多くは『首振り達磨』であると云つたといふことであるが之れは適評である。在留十年、二十年否三十年にして尙且つ彼等は日本に歸らんと欲して、而も歸り得ないものが多い。斯くの如き浮腰の日本人が、布哇に重要なる社會的地位も經濟的地位も張り得ないのは當然である。彼等の『布哇に行くのは日本に歸へるのが目的であつた』のである。故に桃太郞の氣分が常に彼等を支配してゐるのである。

更に彼等日本人は、その勞働により得たる賃金に餘裕があれば、悉く之れを故鄕に送金してゐる。從つて彼等多數者の經濟的地位は何等の伸展を見ず、依然として勞働者たり、小作人たるに過ぎないのが一般的である。

次に彼等移民の子弟にして、布哇に於いて生れたものは市民權を有してゐるのは勿論であるが、彼等は米國式の敎育を受けてゐる。然るに双股膏藥の首振り達磨は日本に歸つた場合の用意に、彼等の子弟に日本語を敎へて置きたいと云ふので、每日米國式の敎育を受けた後で、日本人學校で何時間かの日本語の敎育を受

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けさしてゐる。斯くて布哇の日本人子弟は、米國人でもなく又日本人でもないと云つた様な變挺子な人間に出來上ることであらう。それにしても此の二重教育を受けなければならぬ運命に置かれた日本人子弟は洵に氣の毒なものである。

斯くて布哇に於ける日本人が其の數に於いて第一位を占むるが如く、其の質に於いて第一位を占め、政治的に、社會的に、又經濟的に布哇の實權を握り、布哇の文化に貢献し得るの日は何時であらうか實に心細い次第である。

七、北米の文化に貢献せよ

北米カリフォルニヤを中心として、北米合衆國に發展した日本人の數は、男八萬二千〇八十七人、女四萬九千二百七十八人、合計十三萬一千三百五十七人の多きに達してゐるのみならず彼等は農業的にも相當の發展を遂げてはゐるが、彼等も矢張り布哇の日本人と同じ様な考へを持つてゐるものが多い様に看取せられる。

明治四十五年と云へば今から十五年も昔のことであるが、自分は北はサンタ・ローザより南はロス・アンゼルス迄の加州に於ける日本移民の農業狀態を視察したことがある。その折の事である、ベリンといふ農村に日本人諸君の發展振りを見に行つたが、丁度其の日は我が建國紀元節に當るので、その日の午後日本人小學校には拜賀式が行はれ、自分も招かれて參列し、且つ一場の講話を試みた。其折二十幾名かの兒童が日本語の讀方や唱歌やお伽噺やらを聽かして與れた中に『桃から生れた桃太郎は……』といふ例の幼稚園歌があつた。自分は海外萬里の異鄕に於いて、祖國の唱歌を洋裝せる祖國の兒童から聽かされたといふことを頗る興味あることに思ひ、同時に之だから排日運動が起るのだと熟々感じたのである。そこで自分は什うしても此の立

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

派なお伽噺は宜しく之れを作り變へて行かねばならぬと思つた。分捕主義では駄目だ、桃太郎といふ立派な青年は其後植民地の王様になり、大統領になつて新しく國を建て、業を開き、日本の國威を海外まで輝したといふ様に、其のお噺の結尾を變へる必要がある。

要するに、夫の分捕式で一貫した桃太郎式の植民主義は、日本人固有の國民性を發揮せるもので、布哇に於いて、カリフォルニヤに於いて、今尚ほ其の跡を絶ち得ないことを遺憾に思ふものである。

更に自分は各所の醫者に就て在留日本人の病氣の種類を質問して見たが、最も多いのが呼吸器病、次が精神病であるといふことに意見が一致してゐた。又各地の精神病院に日本人の哀れな患者を見るのが普通であり、桑港出帆の日本汽船には毎便一人や二人の精神病患者が乘つてゐるとも聞かされた、而も其の原因の一が郷里の兩親や兄弟若しくは妻子から送金を迫られる結果であると聞いては、同情の涙禁じ難きものがあつた。故郷への送金、之れが北米移民の目的であり、又彼等の盡すべき義務の一つである。要するに財寶を故郷に送るか、左もなければ自から財寶を携へて日本に歸るといふのが彼等の最大主眼であるのである。

今日加州には成功者として敬意を表すべき幾多の人物がある。然し、彼等とても尚其の眞情を叩いて見たら、最後には日本に歸りたいといふにあるだらう。容易に歸れないにしても、歸りたい希望は何人も持つてゐるらしい。其の證據には彼等の子弟に日本語の敎育を施してゐるではないか。

排日の原因には種々の要素がある。而して其の中の幾分かは、日本人自身の分擔しなければならぬ所もある。吾人は飽迄も桃太郎式を棄てねばならぬ。更らに永住土著の決心を養ひ、在米十數萬の日本人から米國一の大學者を出し、大實業家を出し、大政治家を出すことによつて、日本國民の誇りは彌が上に高く、斯くしてこそ初めて北米に於ける日本人の地位は安定し、彼等の將來に一大光明を發見し得るに至るであらう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八、我南洋發展の先驅は娘子軍

南亞細亞を初め、南洋一帶の諸島に在留する日本人の數は約一萬八千人を算し、北米合衆國や布哇に比すれば尙ほ極めて微々たるものであるが、然し、曾つて我等の祖先が非常な發展を遂げて居た南洋一帶に對する日本人の發展が、最近稍々其の緒についたことは吾人の意を强ふするに足るものがある。而も其の發展が過去に於けるそれと異り、農業的經營にも一步を進めつゝあることは、特に吾人の注意に値すべき點である。

即ち比律賓に於けるマニラ麻の栽培の如き、或は馬來半島に於ける護謨及椰子の栽培の如き、更に蘭領東印度諸島に、又英領北ボルネオに各種の農業的企業の發展しつゝあるのは、堅實なる發展の意味に於いて喜ぶべき現象であらねばならぬ。たゞ之等の農業的企業も近年經濟企業の世界的不況の爲め非常なる打擊を蒙つてゐるが、熱帶を支配するものは遂に世界を支配する、吾人は之に屈することなく、大いに南方に發展しなくてはならぬ。

然し今日の南洋の狀態を見るに、曾つて男計りの植民が非常に發達してゐた昔とは大反對に、女に依つて南洋發展の一のプログラムが盛んに遂行されてゐる。而も其の女は正業者ならぬ『醜業婦』である。西洋人の植民史は宗敎家が先驅者となつてゐる例が多いけれども、日本の最近に於ける南洋發展は宗敎家ならぬ醜業婦によつて草分けされてゐる。『宗敎』と『醜業』とは國音唯々一字の淸濁あるの差に過ぎないが、實質に於いては雲泥の差である。斯くの如き女性に依つて代表されて居る南洋發展は是亦甚だ憂ふべきことである。

南洋在留日本人の統計が示す如く、或地方に於いては、男よりも女の方が遙かに多いのであるが、是れは醜業婦の勢力如何を物語るものであつて、南洋到る所日本男子はゐなくとも、日本女子の影を見ない所はな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

い。近時南洋各地の政廳に於いて之等醜業婦の營業を禁止するものあり、又所在日本領事館等の盡力に依り之等醜業婦の解放を見たる結果、非常に其の數を減じたが、然し之れが根絶は容易のことではあるまいと思ふ。

南洋は徳川の鎖國に至るまで吾々の祖先に取つては非常な活動舞臺であつた。而も其の檜舞臺で活動した役者は男許りであつた。元來日本の歌舞伎芝居の役者は殆んど男ばかりであるのが原則で、西洋の芝居が男女の兩優によつて演ぜられるのとは餘程異つてゐる。所が日本も最近女優が出來て來たが、男が女役をするのが不自然であると同じ樣に、女優が男の役目を引受けるのも不合理と思ふ。之と同じく世界の檜舞臺で植民といふ大きな芝居を打つには、どうしても男優女優の合同を必要とし、斯くて初めて完全な大芝居が出來ると信ずる。

南洋發展の經濟的基礎は『農業』であり、民族的基礎は『女』である。護謨に椰子に、或は砂糖に、アバカに、近年我々日本人の南方に於ける農業的經營は稍其の緒についたことは前述の通りであるが、而も之を歐米人の宏大なる企業に比すれば同日の論でない。たゞ今日南方到る所に發展してゐる日本娘の偉大なる勢力は到底西洋女の及ぶ所でない。然し男を伴はない女ばかりの發展は、女を伴はない男ばかりの發展と同じく天下の一大禁物である。植民に必要なるは、島原乃至天草出身の『娘子軍』にあらずして、實に堅實なる『家庭の女』である。これからの南方發展は雄健なる青年の努力に俟たなければならぬ。而もその青年たるや彼の一生を南方文化の建設に捧げんとする强き信念の所有者であり、且つ家庭の同伴者でなくてはならぬ。

現今南洋に發展しつゝある日本人の農業經營はその多くが資本的經營のプランテーション・システムである。然し之れ丈けでは決して農業の健全なる發達は期せられない。吾人は更に中小農經營者の發展を期さな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くてはならぬ。斯くて之等自作中小農者が家庭を伴つて其の基礎を形作るに於いて初めて、理想的な『日本人社會』を建設し得らるゝのである『夫婦共稼』之れが南方に於ける植民的發展の理想である。

九、植民地を搾取する勿れ

以上は現今海外に發展してゐる日本人に關する或る局部的批評である。此他南米、殊にブラジルにも相當發展してゐるが、特に多數の日本人の在留してゐるのは滿洲及其他支那各地、西比利亞等である、而して之等の地方に於いて特に女の割合の多いのは、例の醜業婦の今尙ほ比較的多數なるにも基因してゐるが、之等の地方に對する批判は之を省略することゝする。

次に國家としての植民政策も亦前述の如き色合を全然脫却してゐるといふ譯に行かぬ。尤も日本の植民地經營は大體に於いて成功である。世界の植民地中日本の植民地ほど幸福なものはない。殊に臺灣の如き最も幸福な發達を遂げてゐる。臺灣は最初本國より財政上の保護を受けてゐたのであるが、これは丁度桃太郎が兩親から貰つた黍團子のやうなものである。然るに臺灣の統治は其の政策宜しきを得た結果、財政上の獨立を實現し、本國の世話にならずとも一本立ちになることが出來るやうになつた。處が先に黍團子を呉れた兩親は一本立ちになつた子供から黍團子のお返しを要求することになつた。つまり歲入の一部を母國に納めねばならぬといふのであるが、之れは一面から見れば矢張り桃太郎が錦を故郷に飾つたのと同樣である。卽ち臺灣に於ける諸般の政策が宜しきを得た結果、財政上にも豫期以上の成功を收め、外國にも稀れなる成功を擧げたと得々として其の成功の有樣を故鄕に誇つて見たいと考へたのが臺灣の當局者であつたらう。處がそんなに成功をして財政上にも餘裕ある上からは、親の爲め貢ぐがよいではないかと考へたのが內地の當局者

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

であつたゞらう。そこで財政の一部を本國に吸收されるといふことになつたのである。畢竟するに親は子に頼るといふ日本人固有の國民性がこゝにも頭を擡げて來たのだ。親の脛を嚙つた子が一本立ちになつたら親に貢ぐのは當然である。鳥にも反哺の禮があるではないかといつたやうな論法から行けば止むを得ないかも知らぬが、然し自分は之を桃太郎式と云ひたい。或る意味に於いて自分は桃太郎式を全然認めないではないが、然し出來るならば臺灣と云はず、朝鮮・關東州共に本國の出店である。日本の國家に對しては格別な新しい使命を有してゐるのであるから、此の出店にはあらん限りの能力を發揮せしめ、更に日本の考へてゐる大きな方面に導きたいと思ふのである。

我々は無理をして迄植民地の財政獨立を企畫すべきではないと思ふ。臺灣は財政獨立の實力を充分有してゐるが、朝鮮の如き有樣では差當り財政獨立の實力はない。無理に財政の獨立をさすれば朝鮮の積極的開發は望み得ない。朝鮮は柄こそ大きいが一本立ちになるには未だ相當の年限がかゝる。此の子供を柄相應に立派な一本立ちの青年に仕上げるには、親たるものは大いに資本を投せねばならぬ。

臺灣の政治は、臺灣の統治そのものゝみにあらずして、更に南方に發展すべき機運を助長せしむるにある。而して朝鮮關東州はまた亞細亞大陸に對する日本の策源地である。斯樣に皆それ〳〵特殊の地位により各異の使命を帶有せるものに對しては、成るべく自由を與へ、全力を擧げてその使命の遂行に努力せしむる所がなくてはならぬ。植民地財源は無盡藏ではない。浦島太郎が龍宮から貰つて歸つた土產物も『あけて悔しき玉手箱』植民地にも老衰といふことの外には何物も見出し得ないことになる。我々は玉手箱の空らつぼにならぬ中にそれ〳〵方法を講じて行きたいものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

十、學理と實際を伴ふ植民政策

我國の植民地は之れを二種に分つことが出來る。其の一は文化の低い原住民族が極めて少數に居住してゐる所の樺太であり、他の一つは相當の文化を有する原住民族の多數が居住してゐる所の朝鮮及臺灣である。前者に對する植民政策の主眼は『創造』であるに反し、後者に對する統治政策の根本は『改造』である。從つて之等兩種植民地に對する政治の實際は同一なるを得ないのは勿論で、朝鮮及臺灣亦それ〳〵其の政治の實際に於いて異る所がなくてはならぬ。故に茲には之等植民政治の實際に就ての批判は總て省略し、たゞ植民政治の根本に對する私見の一端を述べて見やう。

現今の我國に於ける植民政策の思潮に二つの流れがある。其の第一は植民の理論そのものを直ちに新領土に應用せんとするもので、云はゞ『植民原論即ち植民政治なり』と考へ、新領土に於ける各般の特殊事情に就ては何等の考慮もなく、世界共通の一般的理論を以て總てを律せんとする一派である。この議論は主に植民政治の經驗を有せず、且つ植民地の事情に通ぜざる學者並に政治家の机上論であつて、我々自から新領土にあつて行政の實務に從事したものゝ眼から觀れば實におかしな議論である。

カーライルは人間を三種に區別してゐる。即ち第三流の人物は『讀む人（リーダー）』であり、第二流の人物は『考へる人（シンカー）』であり第一流の人物は『見る人（シーアー）』であると云つてゐる。現今我國の植民論者の多くが、單に讀んだ丈けで殆んど考へもしないで色々と議論するのを甚だ遺憾とする。況んや親しく植民地の實情を見て事を論ずるものゝ如きに至りては、實に曉天の星の如きものである。斯くて植民政治の謬られるのは無理もないことである。

勿論植民政策には一貫して動かすべからざる根本原理があるには相違ないが、實際に政治を行ふに於いては理論そのものを直ちに以つて實施となすことが出來ない。植民政治の實際は時と共に遷り、場所と共に變るべきものである。即ち理論を何處までの程度に取り入れるかを實情に鑑みて判斷し、然る後に實際の手段を考究し、其の執るべき道を決定するのが植民政治の要締である。之れを具體的に云へば、政治の對照物たる民衆の民族的地位、及び其の有する文化の種類・程度・其他氣候風土等多くの自然的及人爲的要素を考察して最もそれに好適した最善の制度を採用することがその第一義である。即ち、植民政治の實際は『變通自在』でなくてはならぬ。

第二は前者に反して理論よりは總て政策の實際に重きを置き、同時に我々日本人には新領土の統治上一種獨特の能力あるかの如く自惚るゝ一派である。彼等の主張は、我國の植民地經營は我國獨特のものであらねばならぬ、外國人の採れる政策と、我々日本人の採るべき政策とは自から別個のものであらねばならぬ。日本の歴史は異民族の統治上獨特の能力あることを證明してゐるといふのである。從つて此の前提の下に、總て新領土の政治を行はんとするのである。勿論日本の植民政策には日本獨特のものがあり、又同じく日本の內でも朝鮮と臺灣とは自から異るものがなくてはならぬ。之れが政治の實際であり、これが政治の好味である。然し我々はそれと同時に亦共通の理論を無視する譯には行かぬ。

吾人の主張する植民政治の實際は、『理論を基礎とした實際』であり『學問を根據とした實際』である。若し然らずして理論を無視し、學問を除外したものがありとすれば、それはあまりに獨斷の政治である。故に第一の主張即ち理論そのものを直ちに新領土に適用せんとすることの謬れると同時に第二の主張即ち政策の總てを實際上に重きをおき、且つ日本人の植民的能力を過信するのも誤りであり、兩者共に世に禍根を殘す惧

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れがある。從つて我々は植民政治を行ふ場合に於いては、常に理論に偏せず、實際のみに陷らず、右二者を適度に鹽梅し、學理を基礎として政治の實際に考慮を廻らし、只管政治の運行を圓滑ならしむるを以て植民政策の要締とせねばならぬ。

而して、敢てギューリック博士の言を藉りるまでもなく『日本は食糧問題に就ては世界中で一番窮してゐる。』のであるから、此の問題解決の爲に日本が植民的發展を要求するのは當然の權利である。更に國家生存上必要なる諸般の原料品を得べく植民地經營の必要なるは言を俟たない。植民政策は決して軍國主義の手段ではない、『農業的植民』『文化的伸展』之れが今後の日本の遂行すべき大切な國策の一なることを忘れてはならぬ。今や新興日本は國民擧つて國家發展の將來に任ずべく、非常の決心を爲すべき時機に遭遇してゐるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

高松宮殿下の臺灣御成

高雄御著

高松宮殿下御座乘の第一艦隊は四月九日午前馬公を發し、同日午後三時高雄入港、高雄沖合三浬に御召艦扶桑及び長門以下の各戰艦は碇泊した。伊澤總督、後藤總務長官以下は御召艦に　殿下の御機嫌を奉伺し、伊澤總督より臺灣御成の御禮を言上して退艦した。

高松宮殿下には、十日午前七時三十分艦隊員の奉送裡に艦載艇に御移乘あらせられ同八時岸壁棧橋より御上陸あそばされ、御出迎の伊澤總督以下諸官に御會釋を賜ひつゝ自動車に召され、沿道に堵列せる幾千の奉迎者に擧手の禮を賜ふて高雄州廳に御成あり、御休憩の後、州下の特産物をみそなはせられ諸員奉送裡に州廳御發、高雄驛にて御召列車に御乘遊ばされ耶子茂る屏東へ向はせられた。

屏東御成

殿下の屏東御成に先立つてサ式飛行機二機は、高雄の上空を快翔して奉迎飛行を行ふ。殿下には御召列車の車窓より臺灣製糖會社農場の蒸汽犂大農耕作、在來の牛耕作業、九曲堂附近の龍骨水車による灌漑、下淡水鐵橋下の草原に放牧せる水牛の群、沿道の風色等に御目を注がれ午前九時十五分屏東驛御著、自動車に召されて臺灣製糖會社に製糖作業を臺覽せられ、更に屏東飛行場を御視察遊ばされて高雄へ御歸還、壽山館に御晝餐を召され午後二時二分、鐵路を臺南へ向つて高雄驛を發せられた。

臺南御視察

殿下には御寛ぎの御暇もあらせられず三時八分臺南驛へ御著、直ちに臺南神社に御參拜遊ばされ榕樹の御手植あり、故北白川宮殿下の御遺跡所に成らせ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

られ、臺南州廳に御休憩の後、喜多知事以下各官に拜謁を賜ひ、一同御見送の內を自動車に召されて、臺南公園より步兵第二聯隊、第一中學校に御成あり親しく授業を御覽遊ばされて、竹園町の御泊所に入らせられた。同夜殿下は歡喜せる市民の大提灯行列に御輿を催させられ、「殿下萬歲」の聲に市民の赤誠を御加納あらせられたるやに承る。

本島御上陸後第一夜の夢を御泊所に結ばせられた殿下には、翌十一日午前九時自動車にて同所御出發、孔子廟竝に第二高女に成らせられ、同所御退出、竹筏から臺車へと召替へられ鹹水養殖試驗所に御成の後御泊所に御歸還遊ばされ、午後一時七分市民奉送裡に臺南驛より臺中市へ向はせられた。

臺中より高雄へ

高松宮殿下には、連日の御視察にも拘らせられず些の御疲勞の御模樣もなく、十一日午後四時五十一分臺中驛御安著、奉迎諸員に擧手の禮を賜ひつ丶御泊所たる知事官邸に入らせられた。殿下には御泊所に於かせられて奉迎市民の大提灯行列、龍燈の舞など御興深く御覽遊ばされた。

長途の御疲勞を御泊所に安めさせ給ふた殿下には十二日午前八時三十五分州廳に御成、それより島產の粹を集めた中部共進會を御覽遊ばされ、更に芭蕉市場に御成の後御泊所に御歸還相成り、零時二十七分官民奉送裡に臺中驛御發車、再び高雄驛に御順路をとらせられた。

殿下には沿道各驛の熱誠を罩めたる奉迎を受けさせられ午後五時十三分高雄驛御安著、直に鳳山海軍無線電信所に御成ありて高雄に御歸還、御召艇にて港內を御巡視遊ばされ、御名殘を惜む市民の萬歲聲裡に御召艦へ御歸艦あらせられた。

東部海岸を基隆へ

高松宮殿下御座乘の第一艦隊は、十四日午前四時三十分高雄港を發し、東部海岸を基隆に向つて囘航した。同夜遙かに御召艦を望んだ島民は海岸に馳せ集り、陸には花火・篝火・海からは探照燈、壯快な海陸の交驩に島民は感激狂喜した。

東部海岸の怒濤烈風と鬪ひつ丶演習を强行した第一艦隊は、十五日朝風雨を冒して基隆に入港。總督長官以下は軍艦「扶桑」に殿下の御機嫌を奉伺した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島都御滞在

四月十六日、北部島民が限りなき感激を以て待ちに待つた歡びの日は來た。

殿下には、此の日午前七時三十分、御召艦より水雷艇に御乘遊ばされ基隆棧橋より御上陸あらせられ、伊澤總督、後藤總務長官以下恭しく殿下を迎へ奉る。殿下には生野交通局總長を先頭に棧橋、驛頭間に堵列せる官民歡呼の間を基隆停車場御著、御召列車にて午前八時四十九分臺北驛に御著あらせられ、自動車に召されて沿道に堵列せる官民に御會釋を賜ひつゝ御泊所たる總督官邸に入らせられた。

殿下には此處に御少憩、同九時二十分正門より三線道路を北に、臺灣神社へ御參拜遊ばされ同所に記念樹の御手植あつて午前十時五分總督府へ御成、諸官奉迎裡に三階の貴賓室に入らせられて、總督長官以下に拜謁を賜ふ。

殿下には總督捧呈の府治概要を御受納あり、總督公室に御休憩の後同所御發、軍司令部・山砲兵隊・第一聯隊に成らせられて、御泊所に御歸還。御晝餐を召されて午後一時御出門、專賣局・師範學校・醫學專門學校・大平公學校を御巡覽遊ばされて同三時四十分御泊所に御歸還あらせられた。此の夜、臺北市民は、長途の御旅情を慰め奉らんと樂隊を先頭に大提灯行列を行ひ御泊所を中心に雨の島都を火の海と化した。

御巡視、御歸艦

臺北御泊所に一夜を明かさせられた殿下には、午前六時御起床、同八時三十分御泊所御出門、春雨煙る植物園へ成らせられ、園內の商品館をも御興趣深く御覽遊ばされた。次いで中央研究所に御成ありて、再び御泊所に御歸還、午後二時三十分御名殘惜くも、官民奉送裡に島都を後に基隆へと御出發あらせられた。

午後三時二十三分基隆驛御安著の殿下には小國民等の打振る旗の長堤に御召艇を進められ、港内大小船舶の奉送の間を御恙なく軍艦「扶桑」へ御歸艦遊ばされた。後藤總務長官以下は御召艦に至り、殿下に御禮と御別れの御挨拶を申上げたが、かくして御乘組の第一艦隊は二十日基隆を後に出航し、殿下には之より再び御軍務に服せらるゝと承る。

時　報

總督長官歸任

伊澤總督並に後藤總務長官は、第五十一議會列席の爲め滯京中であつたが、議會も無事終了し、臺灣關係の豫算も全部通過したので、議會閉會後直ちに退京、四月一日午後六時半基隆入港の吉野丸で歸任された。

植民地税制案來議會提出

今期議會の重要案件であつた税制整理案は多少修正されて議會を通過したが、政府に於ては既に內地における税制を整理し廢減税を斷行した以上、これと均衡を得せしむる爲め、朝鮮・臺灣・樺太等植民地税制の整理について調査立案し、次期議會に之が法律案を提出する筈であると。

內臺航海時間短縮の第一船

內臺航路の時間短縮は、四月一日基隆出港の蓬萊丸並に四日神戸發の扶桑丸から實施することになつて居つた。然るに總督長官一行を乘せた吉野丸は、二十九日正午神戸發、門司出港は從前通り翌日午後四時であつたが、突如時間短縮を斷行し十五節强の快速力を以て、四月一日午後六時半基隆に入港した。尙ほ臺灣からの第一船は蓬萊丸で、一日午前九時基隆を解纜し、十七浬の快速力を以て門司に向け出帆した。

高雄大連直航開始

高雄、大連間の直航は四月二十日から開始された。其の第一船は湖北丸で、同船は二十日午後一時三十分高雄を發して大連に向つた。本航路は大連に直航し、復航には芝罘・龍口・青島・上海と時宜に應じて寄航し、香港を經て高雄に歸航することになつて居る。而して此の直航路の開始と共に臺灣滿洲の經濟的關係は益々密切となり、彼我產物の相互取引を更に助長發展せしむるであらうと。

船舶運送營業取締規則公布

船舶運送營業取締規則（府令）は、四月一日公布、同日から施行さるゝことゝなつた。この取締規則は海運

事業の發達に伴ひ、本島に於ても發動機船、帆船等により旅客及貨物の運送、曳船を業とする者增加し、從來の臺灣沿海通航船取締規則では不備の點が尠くないので、今回新規定を制定して交通並に警察行政の目的を充分に達せしめんとするものであると。

第一艦隊本島來航

海軍少尉高松宮殿下御座乘の扶桑、旗艦長門以下の第一艦隊は、岡田海軍大將司令官となり三月二十三日鹿兒島を發し、奄美大島・中將灣・厦門を經て四月六日馬公に入港し高雄・基隆間に十六日間在泊した。

全島民は、第一艦隊の艨艟二十八隻が、威風堂々海を壓して來航したので歡喜して之を迎へ高雄、臺北其他に於ては歡迎會が開かれ、一萬餘人の海の勇士は全島各地に於て歡待された。

臺灣濟美會の助成金傳達

攝政宮殿下行啓記念のため御下賜金を以て組織した臺灣濟美會に於ては、四月十六日—第三回記念日にあたり高松宮殿下を島都臺北に奉迎した日—社會教育並に社會事業、實科教育振興の爲め、全島の優良團體に總額六千二百圓の助成金を下附した。

刮目さるゝ內地種米

內地のみで旣に六千萬に近い人口を有し、而かも年々七十萬づゝ增加しつゝある日本に取つて食糧問題は現下の重大問題であるが、我が臺灣は朝鮮と共にこれが調節上の寶庫とされて居る。而して昨年中本島の產米移出量は、一二期を通じて四百萬袋を算し、本島に於ける米の移出史上に跳躍的新記錄を示したが、更に今年度の第一期米の移出豫想量は三百萬袋を下らない見込であるから、內地種米の植付熱と相俟つて今後は一期每に增產に次ぐに增產を以てし、內地の端境期に內地種米は怒濤の如く移出さるるであらうと。

本島の鑛業

本島の鑛業は石炭其の他の增產に伴つて除々發展の道程を辿りつゝあるが、昨年下半期の全島鑛產總額は、六百九十四萬一千八百四十三圓に達し、前年同期に比し、四十五萬二千百三十五圓の增加である。其の內石炭は第一位を占め產額七十八萬二千三十六噸、價格六百二十五萬六千二百八十八圓に達し、以下金銅鑛・金・石油(原油)硫黃(精品)・銅(沈澱銅)・天然揮發油・硫黃(粗製)・銀・金鑛・砂金等の價格順であると。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺南運河開通

五年の歳月と工費七十餘萬圓を投じた臺南運河は愈々竣成し、四月二十五日其の開通式が行はれた。本運河の完成は、安平・臺南間を連絡して貨客の出入を容易ならしめ、市民の利便を増進するは勿論、延いて州下産業の發展を促し、商工業を一層振興せしめ、更に本島の文化の向上、産業の振興に資するところ多大であらうと。尚ほ曩に公布された臺南市運河使用條例及び同施行細則は五月一日から實行さるることゝなつた。

南洋發展各省協議

政府は移植民政策の徹底を期する爲め、移植民の保護奬勵並に移植民地の衛生設備其の他の改善に付き調査中であるが、五月下旬には、外務・内務・大藏・商工・農林・遞信の各省聯合協議會を開き、特に南洋方面の經濟的發展につき協議する筈で、同方面に於ける企業、投資並にシャムとの通商促進が重大視せられて居ると。

米穀會臺灣支部設置

全國米穀大會を期し大日本米穀會臺灣支部が設置され、四月三十日其の發會式が臺北に於て擧行された。在臺中の志村米穀會々頭を始め會員九十餘名、及び官民多數の出席があつて頗る盛會であつた。

伊澤總督上京

伊澤總督は、高松宮殿下臺灣御成御禮言上並に臺灣事情宣傳會開催の爲め、生野交通局總長、片山殖産局長、平山祕書官其の他を隨へ、五月一日午前七時二十四分臺北驛發、同九時基隆出帆の蓬萊丸で東上された。

大阪名古屋の臺灣宣傳會

大阪及名古屋に於て開催される臺灣事情宣傳會の準備は既に整ひ、五月一日及び三日の便船で係員一同出發したが、大阪市に於ては十一日午後中央公會堂で、名古屋市では十五日午後商業會議所でそれぞれ盛大な宣傳會を開き、本島の特產物を陳列し、講演・活動寫眞其他によつて大々的宣傳を爲し非常な盛況であつた。

——高松宮殿下臺灣御成、全國米穀大會、別稿——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣出礦坑及造橋油田の地質

日本石油株式會社
鑛山部副部長　大村一藏

一、石油地の分布概要

臺灣島は島の大さの割合に高山、峻嶽が頗る多い。島の中軸には廣い山嶽地帶が蟠居して居て、此の中には日本一の新高山を初め、一萬尺以上の山が幾つも聳えて居る。此の山嶽地は大部分古生代やそれ以前の古い岩層から出來て居る。此の高い山嶽地帶は周圍の海岸に向つて漸次高さを減じて丘陵となり、遂に海岸の低地に合して居る。此の周邊の比較的低い山地及び丘陵地は大部分第三紀層から成立して居る。斯の如く中央の高い山嶽地帶は古い岩層から成り、其の周邊の低い山地及び丘陵地は第三紀層から成立して居る故、第三紀層から成立して居る地帶は大略、臺灣の島を環狀をなして周邊を取り捲いて居るやうに分布されて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の產油地層は日本內地と同樣に第三紀層であるから、本島の第三紀層中にも澤山の石油の表面兆候が發見されて居る。前に述べたやうに第三紀層は環狀に本島の周邊に分布せる故、石油地の分布も之れに順應して大略本島の周邊に橫はつて居る。

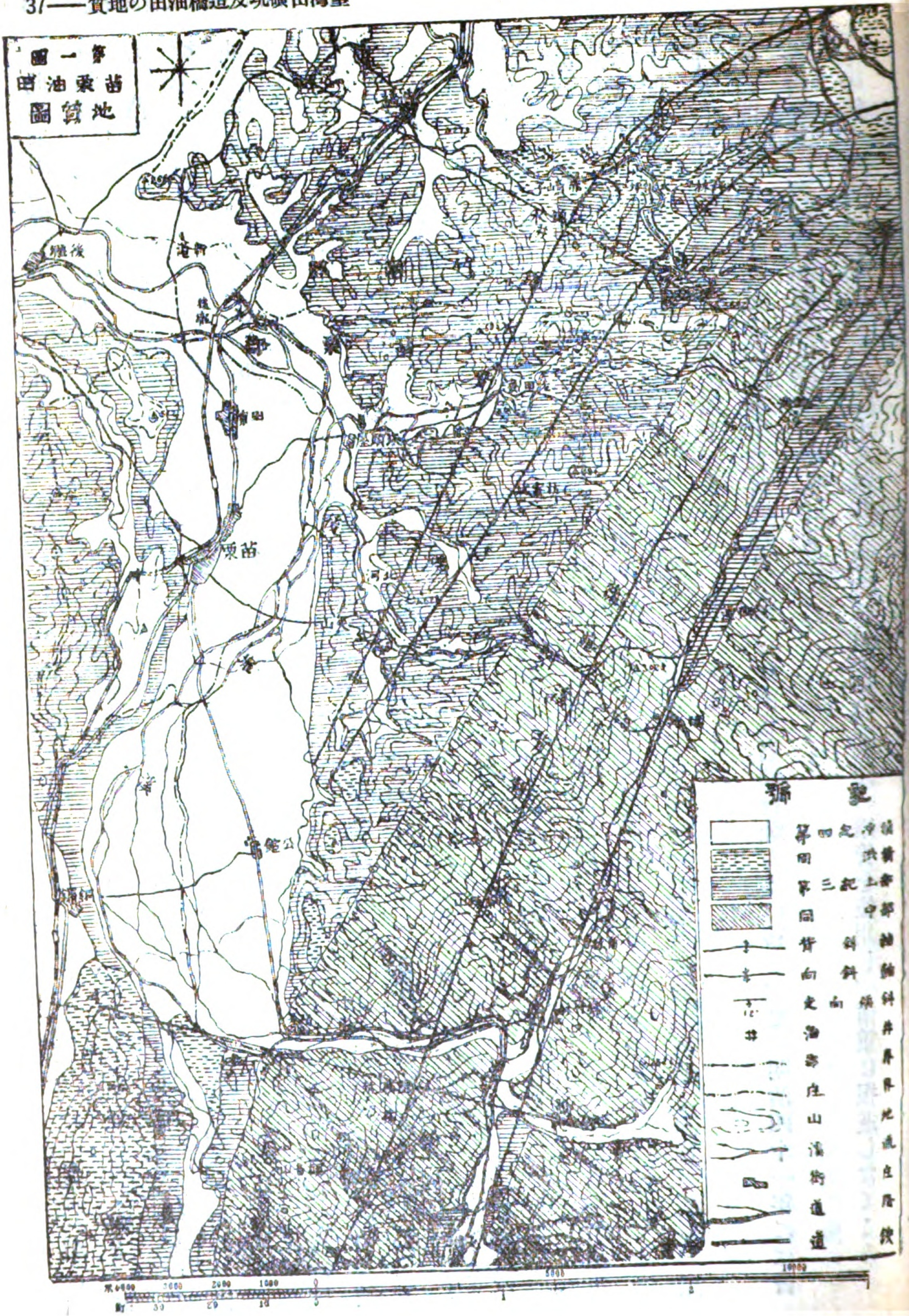
其の內でも島の西側には第三紀層が相當廣く發達して居る。そして其の南部と中部に石油の兆候が澤山發見されて居る。就中南部には瓦斯の發噴は頗る多數に發見されて居る。此の南部にあるものは南部油田又は臺南油田と普通に呼ばれて居るもので、臺南・高雄の兩州に跨がり、區域は極めて廣大である。今日迄、數箇所に試掘されたが、未だ一箇所も成功せぬ。中部にあるものは、前の南部油田に對して北部油田とも云はれ、又、苗栗油田とも云はれて居る。新竹州の南部にあつて區域も南部程廣くなく、又、兆候もそれ程饒多ではない。然し本島唯一の產油々田である出礦坑竝に近來ガソリンを產出し出した造橋油田は共に此の區域內に在るのである。

此の西側の地帶の外に東海岸方面には東部油田又は臺東油田と呼ばれるものが存在し、本島の南端には南端油田又は恒春油田と稱せらるゝものが存在して居る。然し何れも其の兆候が微弱且つ餘り多くない。現在の所、臺灣の石油地として最も注目されて居るのは、西側にある北部油田と南部油田とである。

二、出礦坑油田の沿革（第一圖參照）

出礦坑油田は新竹州苗栗郡公館庄出礦坑に在る。此の地は舊の臺灣の縱貫鐵道で、今は支線になつて居る竹南—追分線の苗栗驛から東南に約三里を距つて居る山中である。苗栗驛は臺北から八十五哩、四時間を要する。苗栗驛から油田迄は全部臺車路が敷かれて一時間餘で到達し得、交通は至つて便利である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN


第一圖
苗栗油田地質圖
苗栗

此の油田は後龍溪と云ふ相當大きな河の南岸の支流である細溪に沿ふて發達して居る。此の附近一帶に山は相當に高く（最高約二千五百尺）そして後龍溪が極めて狹い深い谷を造つて居る爲め地勢は頗る嶮峻である。苗栗からの臺車路は驛から約二里强は後龍溪の洪野を走るが、福基と云ふ村から後龍溪の深い峽に入る。福基から油田迄は蜿蜒たる峽谷で岩層悉く露出して居るから、油田の地質の研究には最も好都合である。出油區域も峨々たる懸崖の中腹で、普通の油田地では見る事の出來ぬ光景である。

現在の出油地内には强烈な瓦斯の發噴があり、後龍溪の河岸には石油の滲出があつたので、これが出礦坑油田開發の端緒となつたのである。此の兆候の發見は今から七十餘年前のことであると傳へられて居る。礦の字は支那の石油を表はす礦油から來たものらしく、出礦の地名は要するに石油產地の意と考へられる。

清朝時代には政府は此の地に礦油官局を置き、米國から二名の技師を傭聘し機械鑿井を試みたが、僻遠の地で多くの材料を得ることが出來なかつた爲め、充分の成績を擧げ得なかつたこと、一方生蕃の來襲に恐怖を抱いた等の理由で、米人技師の歸國となり、遂に事業の中止となつたと云はれて居る。

領臺後に於ては明治三十年中、淺野總一郎氏が此の地の一部に採掘權を得て、明治三十六年に臺灣石油組合を組織して機械鑿井を開始した。そして明治三十七年一月には深度百三十尺で油座に逢着し、始めて前途に光明を認める事が出來たのである。その後掘鑿に努力したが、地層の堅硬なる爲め掘進に困難を極め、深度千尺に達するもの無く、明治四十五年迄はさしたる發達も見られなかつた。

此の間、明治三十九年中には本事業は淺野氏の手から南北石油會社の手に移り、更に明治四十一年には會社合併と共に寶田石油會社に移つたのである。

その後、明治四十五年五月、第十八號井を深掘の目的で、大徑の鐵管を使用し、愼重に掘進したところ、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同年十二月下旬に至り深度百二十間前後から屢々猛烈な瓦斯と共に多量の石油を噴出する好況を見るに至つた。結局大正二年四月十六日に深度百三十五間で掘止めしたが、當時日產百五十石を自噴して居た。此の十八號井の成功は深い所に相當に良好な油層の潜在して居ることが確かめられたわけで、本油田開發に對し、更に一時代を劃したのである。

その後、掘鑿術の研究進步と共に深層の鑿入もそれ程困難でなくなり、二百間乃至三百間の間に幾多の良層を發見して來た。然し地勢が嶮峻で良好の地點を選ぶことが頗る困難なる爲め、多數の良井を得難く、從て產油の增加も捗々しくなかつた。

昨年の末に大量の出油を見た第三十六號井の在る區域は、在來の出油區域と同一油帶で、在來區域の南端から約三百間を飛び離れて居る部分である。

出礦坑油田の最初から昨年末迄の出油量は左の如くである。

明治三十七年	七〇三石	三十八年	三、一二九石
三十九年	四、三九四	四十年	六、〇二八
四十一年	五、五六〇	四十二年	五、六六四
四十三年	三、二〇九	四十四年	一、四四二
大正元年	三、〇四〇	二年	一五、九三三
三年	一五、二三七	四年	一六、六九四
五年	一七、五七七	六年	一二、一三〇
七年	八、一〇〇	八年	八、二一八
九年	六、七七二	十年	六、六二四
十一年	一一、五一二	十二年	一三、五七〇
十三年	一九、八二二	十四年	二三、〇三一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

圖版の註釋

著者曰く第一圖苗栗油田の地質圖は總督府の鑛務係に於て以前大村氏が親しく實査されし際の複本を保藏されありしものにて同圖は十萬分一の一般地形圖上に地質を色別し且向背斜軸の配置と層位を示されたるものなるが、原圖の儘にては之を色別せざれば地形の錯綜せる爲め地質不判明なるを以て若干地形及地名を省略し且新行政區劃に據る郡庄界を記入して約十五萬分一に縮刷して茲に揭ぐることゝせり。

三、造橋油田の沿革

造橋油田は出礦坑油田の北々西に當り、苗栗街からは北東に約三里、苗栗驛の次の驛の造橋から東に一里半の所に在る。此の附近一帶は出礦坑方面とは異なり低夷なる丘陵地である。地籍は新竹州造橋庄赤崎子の錦水である。此の地には二三の瓦斯の噴出箇所があつたので、これが開發の端緒となつたのである。

ロ式第一號井は大正二年十一月十六日の開坑で、寳田石油會社の巨智部博士の選定である。大正三年十二月二十一日に深度二百八十四間三尺で瓦斯層に逢著し、坑井も機械場も滅茶苦茶に打ち壞はされてしまつた如き空前の强烈な瓦斯の發噴を見た。此の瓦斯は乾性であつて、約一年半、極めて强烈な發出を續けたが、大正五年二月から勢を失つて少量の發出を永く續けた。本井は瓦斯と共に多量の水を噴出したが最も多い時には十萬石は下るまいと云はれた。水にしてもこれだけの產出力のあることは地下のレザーバーの大きなことを思はしめたのである。

其の後、二號・三號・四號を第一號井の西又は北に引き續き掘鑿されたが、第一號井の瓦斯層と同位の箇所に達すると崩壞が激しく、掘進に故障が出來て、何れも充分の試掘の目的を達せずに終つた。次で第五號井を南方に選定し大正十二年五月十八日開掘した。本井は三百二間で二千萬立方尺程の强烈な瓦斯に逢著し、更に三百六十間で約五百萬立方尺程の瓦斯層に逢著した。此の兩層の瓦斯は乾性であつた。更に大正十三年

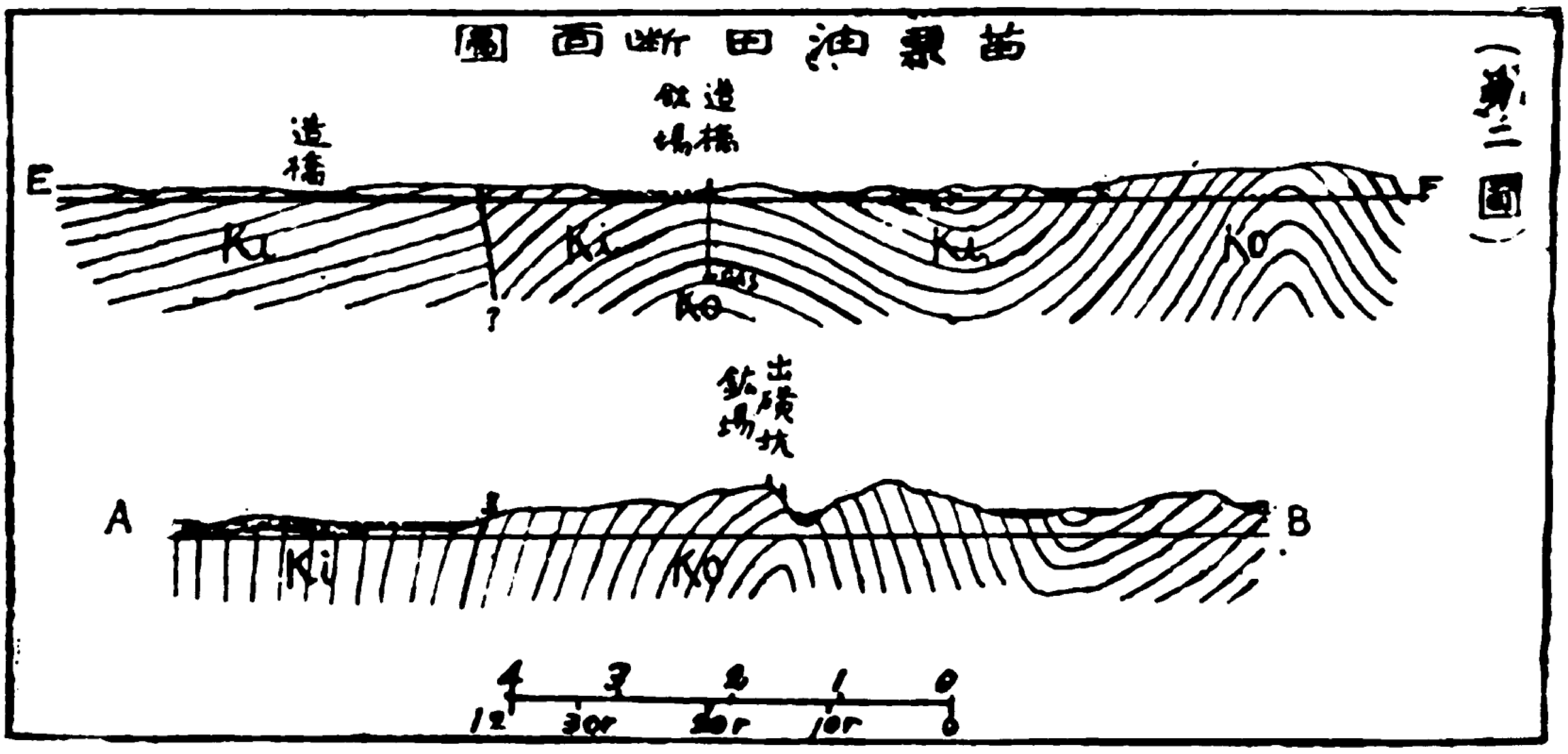
十月十日に深度四百四十九間五尺（八一七米）で前述の兩層より遙かに强烈な瓦斯に逢著した。此の最後の瓦斯は多量のガソリンを含んで居つた故、日本石油會社では瓦斯倫採收裝置を設備し、本年の一月から日產五十石の瓦斯倫を確實に採收出來るやうになつた。

本油由は未だ石油を產出しないけれども、深く進むに從つて多量の瓦斯倫を含有する瓦斯を產出し出したのであるから、本油田の深掘は大に有望である。此の深掘の心要なことは地質の項に說明しやう。

四、苗栗油田の地質及構造

（地質圖、斷面圖參照）

苗栗油田を構造する第三紀層は岩



質の特徴から大略左の二部に區別することが出來る。

下部、後龍溪砂岩層　堅硬なる砂岩と黑色の頁岩との互層であるが、厚き砂岩が最も多く發達して岩系の大部分を占めて居るを特徴として居る。出礦坑油田附近に懸崖をなして最も善く露出して居る故、余は特に後龍溪砂岩層と命名した。

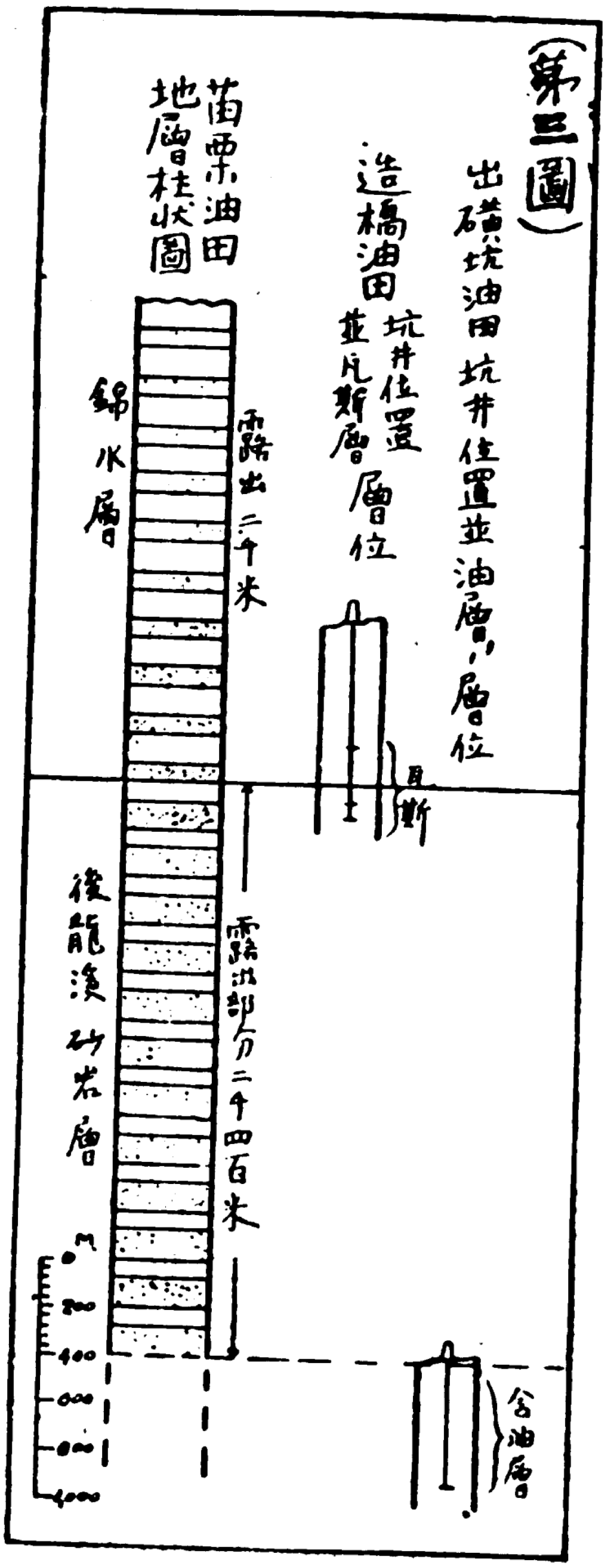
本層系の一部には石炭の薄き層を夾んで居る。出礦坑の油井にても時に石炭層を穿通することがある。地質時代に就ては未だ何等研究して居ないが、大體に於て基隆方面の臺灣油田の層系と同位のものと考へられる。

上部　錦水層　砂質頁岩を主と

し、砂岩を頻繁に夾ふるを特徴とする層系である。下部の後龍溪砂岩層は上部に至り堅硬砂岩を失ひ頁岩を増して本層系に推移するもので兩者の間には明確な境界を引くことは出來ぬ。頁岩は上部に至るに從つて黑色頁岩より淡青色の砂質頁岩に推移して居る。錦水の名は造橋油田の最初の試掘地の地名錦水によつたのである。

後龍溪砂岩層の露出せる部分は約二千四百米、坑井の記錄に由て五百米の存在が知れるから、本系の總體の厚さは少なくとも二千九百米に達して居る。錦水層は此の地方に露出せるものは約二千米である。

(第三圖)



苗栗油田には平行せる二條の背斜軸がある。一般の走向は北三十度東である。其の東方に横はるものは出磺坑背斜軸と命名したもので、延長十數里に達する一大背斜構造である。出磺坑油田は此の背斜の上に發達したものである。今一つは錦水背斜と命名したもので、前者の西に横はつて居て、前者の中央部附近から現はれて北方に趨走して居る。

出坑磺背斜は大部分後龍溪砂岩層から成り、錦水背斜は全部が錦水層から構成されて居る。其の關係は地質圖並に斷面圖に示されてある。

出礦坑背斜は一般に双翼共に傾斜急で、軸の附近で多少の緩傾斜を見るに過ぎない。此の狀態は地質構造としてはあまり善良と云ふわけに行かぬ。本背斜は出礦坑附近を隆起の最頂とし南北に向ふて漸次下降して居る。故に本背斜に於ては出礦坑附近で最も其の下部を見ることが出來るわけである。本背斜は隆起の高大と大部分が堅硬な砂岩で構造されて居るから、背斜軸に沿ふて比較的高峻なる山脈を形成し、向斜軸に沿ふて長大なる低地を形成し、横斷する河谷は凡て狹隘なる峽谷を形成して居る。

錦水背斜は前に述べたやうに全部が比較的柔軟な地層から成り、構造も概して緩漫であるから、地勢も平靜な丘陵地で、出礦坑方面とは大に趣を異にして居る。地質構造の點に於ては錦水は頗る良好なものである。

五、油田關係

第三圖に示したやうに出礦坑の油層は後龍溪砂岩層系の下部(此の地方に於ける)、錦水層系との境界から約二千四百米附近から以下に介在して居る。今日迄余の知る限りでは堅固な砂岩層の間に在る軟かき細粒の砂層に浸染して居る。含油砂層の數は相當數多く、約五百米の間に散在して居る。豐瘦は所に依て一樣でないが、地底の研究が完成されて居ないから、如何なる場處に分布されて居るか、今の所明瞭せぬ。

出礦坑背斜は第二圖に示したやうに東方に急で、西方に比較的緩斜して居る歪背斜(Asymmetrical Anticline)であるから、坑井は軸の西方に選まるべきである。それ故、坑井は常に西方に在るのが好成績である。深度の増すに從て益其の傾向を明にして居る。同時に軸の直上にあるものは不結果を示して居る。

錦水背斜に於ては第四圖に示した樣に錦水・後龍兩層系の境界の上部約七百米附近から掘り込んで居る故最後の二つの瓦斯層は後龍溪砂岩層系中に存在し、上部の瓦斯層は錦水系のものであると考ふることが出來

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。

余の觀るところに由れば臺灣各所に露出せる石油の露頭は後龍溪砂岩層中に位するものが多い。今日迄の調査に依て、余は臺灣に於ける主要產油層は後龍溪砂岩竝に之れと同等層位(エクイバレント)の者ではないかと考へて居る。それ故余は造橋に於ける坑井は後龍溪砂岩中に掘入する事に因て眞の試掘の目的を貫徹し得るものと考へて居た。余は造橋の第五號井が後龍溪砂岩中に入つてガソリンを多量に含む瓦斯を得た事は余の推測を確かめるものではないかと、大に將來に希望を繫いで居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾人の對南洋方針

堤林數衛

唯今私の最も敬愛して居ります原口さんから溢美なる御紹介を戴きましたのみならず、私のことを成功者の一人の如く御話しになりましたのは全く過分でありまして、慙愧に堪へない次第であります。私は失敗者とは言はれたくありませんが少なくも未成品であります。事業に成功と云ふ點から見ましては、御當地の出身である有馬君とか郭春映君其他本島の出身者に遠く及ばないのであります。然し、私は明治三十一年以來南方の方に足を運びまして、今迄約二十年間南洋の地に活動し南洋に於ける事業を半世の事業と致し、墳墓の地として一生を南洋に送つて見やう、身を捧げて日本民族の發展に貢献して見たいと考へて居るのであり

ます。既に自分の手で向ふの方に移住させた人數は三百二、三十名あります。其中現存して居るものが二百數十名ありませう。私は日本の同胞の人口問題、日本の勞働問題、其他種々の問題を考へ、無資産の人間、裸の人間が如何にして向ふの方に落付けるかを研究して見たいと思ふのであります。

私は今から十九年前十五名の青年を連れて彼地に參り、行商から始め、彼地方の事情が分つて來ると共に、其等の人々を各地に駐在せしめ店を開かせまして、全く勞苦に依て生み出した金に依つて店を開かせ、それを根據として各地方の產物を都に出し、或は日本の雜貨等を向ふの方に普及して見ると云ふやうな試を致しましたのであります。現在では三十二箇所の店と、それから別に「キナ」園・椰子園・之れは面積三千「バウ」餘約六千英反あるのであります。椰子園の方は戰後の不況、難局を突破して昨年から收支が償ふことになり、本年から漸く利益を見ることになつた次第であります。

「キナ」にも手を入れましたが、資本が不十分のため、此方は來年から十分に經營して行く考へであります。唯今御紹介下さつた樣に、私は成功者でないと云ふことを申上げて置きます。併ながら、自分は醜業婦が日本在留民の全部をなして居つた時代から、幾分でも南洋と云ふものを日本に紹介し、或は博覽會を開くことに盡力し、其等の關係上臺灣總督府が華南銀行、南洋倉庫と云ふやうな貿易上の機關を向ふに作られることになつた際には、向ふの經濟機關を殆んど獨占して居る支那人と協同して仕事をすることに盡力し、日支合辨に際し資金募集等に微力を盡すと云ふことになりました。さやうなことが御緣となつて華南銀行、南洋倉庫の管理をして居るのであります。然し其れは日本民族を向ふに移植し、日本の經濟的勢力を向ふに扶植じたいが爲めでありまして、其方面には相當盡力した考へであります。併し、私は寧ろ研究者であつて、事業の方は成功して居るとは申されませぬ。其れは一言御斷りして置きます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何故、私が日本人を蘭領と云ふ所に植付けた方が善いと考へたか、私自ら根據を蘭領に置いたかと申しますと、私は南支那から佛領印度支那・暹羅・英領ビルマ・馬來半島・蘭領印度等を遍曆し、多い處は數十囘步き又其土地に住んだのであります。而して熟々觀察しますと、日本人が支那人の中に這入り又は印度人の中に這入りましても、支那人印度人の中には、どうも日本人の植え付かない。どうしても、總ての點に於て、事業家として勞働者として彼等に打ち勝てないと云ふことを私は考へたのであります。政治上から見ましても、佛蘭西とか、英吉利、米國と云ふやうな國々は、中々日本の企て及ばない强味を有つて居るのであります。財政上に於てもさうであります。又其處に住んで居ります土人の性質から見ますと、日本人は彼等の間に伍して行かれない。其證據には、會社とか、銀行とか、大會社の派遣員を除き、個人として支那・印度に於て成功したものは有りません。英國でも佛蘭西でも米國でも、强大なる國力の背景を有つて居るに拘はらず、土民の勢力が旺盛であるが爲め皆持餘して居るやうな狀態である。現に蘭貢邊の實況を窺つて見ますと、獨立は全く時の問題に過ぎないと云ふやうな感じがする。到底英國も見放さなければならぬ狀態にあります。永い文明の歷史を持ち、立派な宗敎、立派な哲學を有つて居る所の民族でありますから、自負心が强いのであります。或時代に於ては、歷史上偶然な行掛りに依り、外國の爲すが儘になつて居るけれども、忽ちにしてどうしても反撥する。所謂排斥すると云ふのは之れは止むを得ない。其點に於て、東洋に植民地を有つて居る歐米各國は危機に瀕して居るのであります。單り蘭領印度は原住民族が馬來種族である。馬來民族だけは、どうも天性温和でありまして、政治・宗敎・產業の問題を提げて他と競爭するやうな風もございません。そこで馬來民族の中に日本人が參りましては確かに成功の餘地がある。現に蘭領印度の如きは、日本人が參りましてから十數年しか經たないのでありますが、其間に於きまして驚くべき地方的地盤を作つたのであります。斯う云

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ風なことは東洋に於て何處に行つても見ることの出來ないのであります。自分は十九年前に、日本はどうしても馬來人の國に伸びるより外、東洋に於て冀足を伸す途はない。此處であつたならば日本人は伸びる餘地がある。斯う考へたのであります。而して二十年前の此考へが間違ひでなかつたことを愉快に感じて居る次第であります。從て私が最も永く居りました所は蘭領印度と云ふことになつたのであります。

蘭領印度には、御承知かも知れませぬが、土人の外種々雜多の民族があります。是れに對する過去數十年來の思想の變遷、之れに對する蘭領印度政府の政治のやり方に就ては面白い變化がありまして、此等の變化變遷は日本人の彼地に於ける位置、彼地當局者の日本人に對する態度、日本人の將來にも大なる關係がありますから、是れに付て少しく申上げて見たいと思ひます。今より三十年前、條約改正前に於きましては、亞細亞法律と歐羅巴法律との二つが蘭領東印度に布かれて居りまして、日本人も支那人も印度人も悉く亞細亞人の法律に依て拘束され、歐羅巴人に對する法律は別に儼然として存在したのであります。其結果、例へば隣村に行くにも旅行券が要る。或は訴訟事件があつても正式に裁判を受けることが出來ない。殆んど半分の人間としてしか認められて居なかつたのであります。然るに日清戰爭後日本の對外條約が改正されて、改正條約が蘭領印度植民地に及ぶことになりましてから、舊來他の東洋人と同一に扱はれて居りました日本人が單り引拔かれまして法律上歐羅巴人と同一の待遇を受くることになりました。其當時向ふに居ります所の日本人と申しますと、醜業婦若くは醜業婦に依て寄生的生活を營んで居る無賴の徒に過ぎなかつたのである。其時に於て日本人が歐羅巴人と同一待遇を得るやうになつたと云ふことは非常なる特點、否寧ろ過分であつたと言はなければなりませぬ。併し、日本人が歐洲人と全く同一の社會的待遇を受けるやうになつたと云ふことは一大變遷であります。其結果向ふに居る日本人が大體に於て眞面目になつたことは爭はれませぬ、不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

良な分子は去つて新嘉坡に集まりました。彼地に居る日本人の素質に一大變化を生じ、日本人が旺んに彼島に行き大に勢力を張るやうになつたのは、大正三年歐洲戰爭の突發する前に、「サマラン」に博覽會を開くことになつてからのことであります。其機會に於て、日本の商品が、始めて組織的に蘭領東印度に紹介せられたのであります。其當時(一九一四年)日本の輸出貿易額は約九億八千四百萬圓であつたのに、蘭領印度の輸出貿易高は六百六十萬盾(一盾は八十錢)位に過ぎませぬでした。然のみならず當時輸出せられた日本商品は、香港や新嘉坡の支那人向きのものであつて、極めて幼稚な粗製品に過ぎなかつたのであります。

そこで私は「サマラン」の博覽會を機會とし、本當の日本の商品を蘭領印度の人々に見せたいと云ふ考へで蘭領印度在住の日本人を代表して京濱の實業家其他と共同し、農商務省から五萬圓の補助金を出して貰ひ「サマラン」の博覽會に參加することにしました。何にせよ日本から初めて商品らしい商品が向ふに參つて、其商品を列べて見せたのですから大變です。併し今や開館しやうとして居る前日に、歐洲戰爭が突發しましたので、外國商人は博覽會所の話ではありませぬでした。物を送る所の騷ぎではありませぬでした。所が日本の商人は、大阪からも京濱地方からも多數出掛け大に博覽會を賑はすことになりました。これが蘭領印度の邦人の貿易の一轉機を劃することになつたのであります。「サマラン」の博覽會、歐洲大戰を機會として日本の商人がドシ〳〵向ふへ行き、向ふの人も日本に來るやうになつたのであります。日本對蘭領東印度の貿易は戰爭中に長足の進歩をして、大正七年日本よりの輸入額一億一千五百萬盾に上り、大正九年には其れが一億三千四百萬盾に上つたのであります。戰爭後に於ては、漸減して六、七千萬盾になつて居ります。併し、兎も角も僅々十四五年の間に長足な進歩をなした。十四、五年前小商人、無頼漢の跳梁に委してゐたやうな所が、今日に於ては一流の商人企業家の天地となりました。例へば日本の三井・三菱・鈴木など云ふ商人は向ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の物産をどし／＼取扱つて居る。日本の物産をも取扱つて居る。日本商人の取扱つて居る雜貨の多くは綿絲、綿布と云ふやうなものでありまして、此方面では日本人が最も優越な位置を占めて居る。今日の形勢から見ますと、日本の對南洋貿易は大いに成功したと云ふことが出來ると思ひます。

然し之れは現在の狀態でございますが、少しく前途のことを能く考へて見ますと云ふと、中々もつて油斷の出來ない、大いに考慮しなければならないことがあると思ひます。それはどうかと申しますと、元蘭領印度は殆んど農業を事業の本體として居つて、總べて原料を作つて、其原料を本國又は外國に送つて、それに加工をして、逆に是れを輸入する。何分非常に安い勞銀で働きますから原料品の安價なることは格別であります。强制耕作時代の契約官のやり方は實に殘酷で、農民は奴隷以上のものであつたのであります。

蘭領政府の日本人・支那人・土人・歐洲人等の住民に對する態度の問題に歸りまするが、先程申しました如く日本人は、東洋人中單り擢出で丶歐洲人對等の待遇を受けることになつて居るのであります。そうして、非常な勢ひで蘭領印度の到る處に於て勢力を伸しつ丶ある。千人足らずの日本人が蘭領印度の經濟力を左右するのだから、八十萬の支那人が承知しない。どうしても同じ東洋人であるから、日本人ばかり切放して善い待遇を受けることになると云ふことは、殘念であると云ふ觀念が彼等を支配して來ました。併し、十四五年前迄の支那人は如何んともしようがなかつた。それで、日本に入籍しやう、入籍することに依て日本人並の便宜を得やうと云ふ人が、相當識見あり、人格ある人の間にも出て來ました。有名なる建源の主人の如き其一例であります。兎に角種々なる有力者が入籍された。今日爪哇に於て成功されて居る大稻埕の郭春映氏も日本の國籍を得た一人である。入籍熱が非常に盛んになつて、臺灣籍民にして日本人になり、向ふに行つた人が澤山あります。其中に支那の革命が起りまして、民國になつてから思想が變り、爲めに入籍熱が減退し

た。併し假令一時的であるにせよ、支那人が爭ふて日本國民になりたがつたのは、畢竟するに蘭領東印度に於ける日本人の位置が、色々な意味に於て向上したからであります。

此處に支那人が、日本人にならないでも相當な位置を蘭領東印度に於て占むるやうな事情が出來した。元來二、三十年前の和蘭政府は、日本と云ふものを見るに、非常な猜忌心を以てしたのであります。臺灣總督府から最も早く向ふに行かれた福留さん、新渡戸さん、横山さんなどは商人と云ふことで向ふに行かれた。役人では這入れない位であつた。最初私等の行きました時は、必ず兵士が附くと云ふやうな譯で、役所では充分に吾々の行動を看視し、旅行豫定表を示すことに依て事なきを得たと云ふやうな狀態である。そう云ふやうに、日本人と云ふものを、日本人が來れば蘭領印度の存立を危うくするものであるやうな風に見て居つた時ですから、支那人を入れないで日本人を入れたら大變である、支那人の質の良い又力のあるものは之れを段々日本人同樣に寛大にしてやつた方が善いと云ふことで、旅行の自由を許すことになり、居住の自由と云ふ問題につきましても、前には歐羅巴人より住はなかつた、歐羅巴人以外の者に居住を許さなかつた所に居住の自由と云ふ風に、裁判所の前に於ては待遇が違つて居りますけれども、生活上差當り不自由を感ずることは無いやうにしたのであります。それで前述のやうに日本に入籍する必要がなくなりました。其れにかてゝ加へて革命が起り、思想が變つて來て遂に日本に由ると云ふ考へはなくなり、支那人も日本が同樣に强くなつて條約改正が出來、對等の待遇を受けるやうに至つた。此恩惠に均霑し、支那人も日本人歐羅巴人と殆んど同樣の待遇を受けるやうになつてしまつた。

そうなつて來ますと、唯殘され居りますのは爪哇人其他蘭領東印度の土人であります。此土人が、日本人も歐人並になり、支那人も同樣になつて見ると、吾々の國に居り乍ら吾々のみが取り殘されて居るのは莫迦

らしい、と盛んに考へるやうになつてきたのであります、彼等は何んとかしなければならぬと考へました。時に歐洲戰爭が始まつた。戰爭が終りましたら、御承知の通り、埃及・土耳古・印度と云ふやうな國々に色々思想上の革命が起つて參りつたのであります。革命思想、民族自決の思想、民族的自覺と云ふものは燎原の火の如くに廣がつた。

元來、土耳古・埃及・印度それから爪哇は、古來宗敎を一にし、宗敎上の關係の深い處から思想は共通をして居るのであります。其れで思想上の運動には同一の歩調を取つて居ります。和蘭政府に於て日本人支那人を自由にして置いて、爪哇人をのみ壓迫することは到底出來ない。さう自覺したのであります。元來和蘭の政策と云ふものは、日本人を押へるが爲めに支那人を寛大にし、支那人を寛大にすれば爪哇人が承知しないから、爪哇人を解放すると云ふにあります。爪哇人に對しては寛大なる政治を施さなければならぬ。茲に一言して置かねばならぬのは、蘭領東印度の政府及人民は、一時は日本人の勢力を抑へる爲め支那人を大事がると云ふことにしたけれども、今日に於ては日本に對して猜疑心を持ては居ないのであります。歐洲戰爭が突發しましても、日本政府は蘭領印度に手をかけない、これは異常なる安心を彼地の人士に與へた。私が先年加藤高明さんに御目に掛つた時に聞いた話でございますが、日本が獨逸に對し宣戰を布告した際に、各國の大公使を外務大臣の官邸に集めて話をしたことがある、其時和蘭の公使は戰爭中和蘭が最嚴正中立を守れは、日本は蘭領印度を取らないかどうかと云ふことを加藤さんに聞いた。それは怪しからぬ話である。日本は正當の理由なく、虚に乘じて他國を侵略するが如き卑怯なことをするものではないと加藤さんが答へた。依て和蘭の公使は本國に電報を打て、日本は戰爭中蘭領印度には手を掛けることはないと通知した。兎に角初めには日本が取るだらうと思つた。所が取らない。取らないと云ふことになると、今度は日本は侵略主義一點

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張りではない、蘭領印度を侵略するものでない、前の考へは間違つて居たことが分つた。それから國際聯盟、華盛頓會議の結果、日本は野心を起しても、蘭領印度に限らず他國の領土を無暗に取ることは出來ないと云ふ安心を生じたから、日本に對する猜疑心は今や殆んど消えてしまつて居るのであります。話は横道に這入りましたけれども蘭領印度では日本人の勢力を抑へ、支那人の希望を滿足する爲め支那人の取扱方を寛大にしたのであります。所が今日に於ては支那人は他處の國に世話になつて居ることを忘れ、革命騷ぎをするとか「ボイコット」の魁をするとか中々取し惡いことをします。それで爪哇の政府では土人を大切にし、彼等の勢力を增大することに依て支那人を抑へることに度胸を決めて居るのであります。それでなくとも、最近領土の内外に於ける思想上の變遷は到底從來のやうな土人の待遇法を許さない實況に迫つて來て居るのであります。それで今度は爪哇人を敎育し爪哇人を以て支那人に對抗させるため色々の方法を講ずることになりました。下級官吏の如き全部土人を採用して居ります。舊來支那人に許してやらせて居たやうな事業の如き或は官業にし或は土人の仕事としてしまつた。今から十四、五年前には土人小、中學校の見るべきものがなかつたが、今日では如何なる村でも學校のない所はないのであります。爪哇人の第一の要求は、吾等に敎育を施せと云ふ事である。

私は嘗て爪哇人の敎育論なるものを聞きましたが、其際斯う云ふ議論がありました。戰爭當時或る有名な和蘭の平和論者が、國民軍を募つて蘭領の國防をしなければならぬ、どうしても、今日に於ては本國を賴むことは出來ない、まさかの時には、和蘭は蘭領印度の國防を蘭領印度其者に委せなければならぬ。と云ふた際に、一爪哇人が出て申すには、吾々には國がない、國がないのに國防をやる必要がない、假裝敵と云へば恐らく日本を指して言たものであらう、成程朝鮮、臺灣に於ける日本の政治は吾々の感服出來ないことが澤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山ある、併しながら新領土の人民に敎育を施して居ると云ふ點に於て日本當局者の誠意を認める、日本の政府は熱心に植民地の人民に敎育を施して居る、吾々は其一點に於て日本を眞似ればよい、日本に對し、政治上の問題に就て不滿のことがあつても、敎育を施すと云ふ此一點で我慢することが出來る、和蘭は吾々の爲めに平和的の施設はしても敎育をしない所に誠意がない、と猛烈なる攻撃をなし要求をなした。其の爲か土人に對する和蘭人の敎育と云ふものは近來非常なる勢を以て普及して居るのであります。

以上述べた所に依りまして、蘭領政府の、對日本人態度、對支那人態度、對土人態度が、ザットお解りになつたことゝ思ひます。それで最後に、蘭領印度は吾が日本に取て如何なる意味を持て居るか、と云ふ問題に就て一言したいと思ひます。現在蘭領印度には、二千四・五百萬圓の日本の資本が、主として栽培企業の方面に投下せられて居ります。其一點から見ても、蘭領東印度が頗る重大なる意義を持て居る所と云ふことが窺ひ知らるゝであらうと思ふのであります。併し將來はどうであるかと申しまするど、之れは單り蘭領印度に止まつて居りません、東洋に於ける他の植民地と同じ狀態になつて居るのであります、本國に原料を送り、本國に於て加工したもので逆輸入すると云ふ狀態になつて居ます。植民地其者には工業がありませぬ。東洋では單り日本が粗末ながら工業品を作り此等の植民地に供給して居ると云ふ有樣であります。然るに近來蘭領印度に限らず、他の植民地に於ても工業を起すことになりまして、今日に於ては、極精巧なもの、或は緻密なる機械工業に依れる製作品の如きものは本國に於て作り、極簡易なる工業は植民地に於て起すやうな傾向があるのであります。此傾向が日本の今後に取ては實に重大なる問題であらうと思ふのであります。どうかと申しますと、御承知の通り日本に於ては原料はありません。勞働賃銀は箆棒に高い。東洋の民族中では殆んど問題にならない程暴騰して居るのであります、而も石炭は少ない。蘭領印度では或種類の石炭は日本・濠洲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

から輸入して居りますが、普通の石炭は日本よりは多くて安い。スマトラ、ボルネオには澤山の石炭があります。燃料は少しも困りません。日本よりも豊富であります。又土人は手先きが非常に器用であるから、之れに加ふるに機械の應用を以てしたならば、工業の發達する可能性が非常にあるのです。唯現在の問題は、熟練職工と、科學的智識の缺乏だけであります。併し今日各地の教育方針を見ますと、重に工業教育に力を入れて居ります。家庭の工業に關する展覽會を開くとか、共進會を開くとか、種々なる奬勵法を講じて居るのであります。現に日本に作つて居るもので、向ふで求めて、却て品質が良く、安く買へるものがあります。又支那方面に於ても上海からドシ〳〵品物が來る。メリヤス又は革細工のやうなものは、其方面の品物が丈夫で安い。日本の製品と云ふものは、日本の勞銀が高いので、前途强味に乏しい。日本としては、緻密なる科學、工業の力に依つて、精巧なる品物を大量に生産するより外にしやうがない。

そこで私の唱導したいと思ひますのは、日本人は此馬來民族の土地に向つて、工業移民を奬勵することである。今日大體土著の工業は支那人が多くやつて居ることになつてゐます。併し支那人がやつて居るものよりも稍々複雜な、併し尙ほ簡易工業の域を脫せないものを向ふに起すことは、日本人に取て誠に有利であらうと思ふのであります。工業と云ふ立場から見ますと、日本人は支那人や馬來人には決して負けない。日本人は、家庭工業のやうなもの、或は小規模の工業のやうなものが、機械工業に移り行くやうな過程の工業に於て適して居ると思ふのであります。斯の如くにして蘭領東印度に於て工業的地盤を日本人が築くと云ふことは確かに可能性がある。私は最近日本人の製造家に勸めて居るのであります。粗末な、原料を潰して直に出來上るやうなものは向ふで製造して、精巧のものだけ日本でやる、向ふの方でやり、其土地に工場を置て其土地の工業の調節を計ると云ふやうなことでなければ日本の工業家は前途畏縮するばかりである、是非斯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

う云ふやうにしなければならぬと。馬來人に色々敎育を施した結果どうなるかと云ふと、未だ年數が淺いのでありまして、正確なる議論は出來ませんが、蘭貢の如きは永く諸般の敎育を施して居るのでありますが、蘭貢邊のビルマ人や、馬來半島から蘭領印度にかけて住んで居る所の馬來人は、どうも複雜な工業に適しない。自然此等地方の土人は、敎育すると高級の使用人とか、(高級の使用人と申しますと、帳簿とペンを取扱ふやうなものを意味するのでありますが)使用人とか、事務員には宜しうございますが、非常なる努力を有つて經營しなければならぬやうな事業とか困苦に堪へる力はありません。頭も一般に其れ程に進んで居ませぬ。一と口に申しますと、馬來人等が一般に理想とする所は、命を永くすること、命を縮めるやうな無理な心配をせぬことである。長命と云ふことは人間の一大理想であるやうに、彼等馬來人等も其日々々を成るべく面白可笑くして長生すれば宜いと思つて居る。彼等は祖先以來、生活難と云ふものを經驗したことがない民族でありますから、どうしても一大奮發をして大事業を起さうなど丶云ふ考へは起らない。最近に於ける爪哇人の敎育の結果を見ますと、彼等は工業家とか商人とか云ふものには適しないやうであります。其れで私は、吾國民に向つて農業移民ばかりではなく、工業移民をも奬勵致したいと思ひます。

次に私は彼處は商業的移住に適當であるやうに思ひます。現在向ふにある日本人の店は、今日に於ては二百軒もありませうが、最近は二百軒以上になつて居るかも知れません。全體としては相當に成績を擧げて居る筈であります。それはどう云ふ譯かと申しますると、御承知の通り、支那と日本との間には、絕えず國際的の紛爭があり問題があつて、「ボイコット」などはのべつ幕なしにやつて居る。蘭領東印度邊りでも盛んにやつた。其れが爲め日本の輸出入商などは大なる打擊を受けた。併しお客さんがないのではない。買ふ所の御客さんは全部馬來人である。仲介者たる所の支那人が中に居て邪魔をして居るに過ぎない。支那本國に於け

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る「ボイコット」を馬來人の國に於てもやる。是れは馬來人に取ては迷惑な話に違ひない。先程申しました通り、私が向ふに三十餘箇所に店を作つて居るのは支那人に對する對抗策である。「ボイコット」をやる餘地をなからしめんが爲めである。其れで私等は「ボイコット」に對しては對抗運動をし、始終牽制主義を執つて居るのであります、約二百軒ばかり店を出させて對抗策を講じて居るのであります。其れで蘭領印度の支那人は遂に「ボイコット」をやらないやうになりました。やれば、得意を日本人に取られてしまふから、損になるので全然やらなくなつたのであります。兎に角、吾々日本人は、日本で出來た商品をば直接向ふの土人に渡してやり、向ふの人民の利益を圖ると云ふ意味合ひで、支那人の仲介を省くために、工業植民の外、商業植民をやる必要があると思ふのであります。

今假りに馬來民族の所に、日本の商人が、地方的に支那人の約一割位這入るとしましたならば、正確の數字は分りませんが、南洋一帶の地に約四百萬位の支那人が居るとしまして四十萬位の商業移民が出來ることになります。其れだけの商業移民が出來ましたならば、決して吾々は支那人を恐れるに足らないと思ふのである。日本の工業移民、商業移民を規則的に植付け、彼等をして各々地盤を作らしめ、商業者は其移入された工業者を背景とし、持ちつ持たれつやつて行つたならば遠き將來に於ては大いに成功を見るに相違ない。さうならなければ、到底是れから先き向ふの方に於て、日本の貿易其他の地盤を保つことは出來ないと私は確く信じて居ります。今や日本は財政上にも經濟上にも行詰つて居りまして、東洋で伸びるのは馬來民族を外にしてはないのである。併し、同じく馬來の國に行くにしても、勞働者としては駄目である。商工業移民は確かに向ふで成功する餘地があると思ひます。

移民其他南洋に於ける帝國の施設に付て、先づ第一に御諒解を得、御奮勵をお願ひしなければならぬのは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に居らるゝ所のお方であります。南洋問題は、帝國の隆昌に關係ある大問題でありますが、日本の内地に持て行きましては、他に澤山問題がありますので、ナーニ世界の一部に過ぎないではないかと直に葬られる傾きがある。此頃は藤山雷太さんが盛んに對南洋の發展を唱へて居られますので少しは耳を傾けて居るやうな狀態であります。今日まで幾ら色々のことを叫んでも、日本内地の人は、南洋と云ふものを理解して與れない。其點に付て考へますと、臺灣に居らるゝ所の人々は非常に理解が早い。私が向ふに數十年居りまして著しく感ずることは、本當の研究者、眞面目な考へを有つて來る人は臺灣關係の人であることであります。總督府關係の人であることであります。内地から來る役人は遊覽氣分である。總督府から來る人は、研究氣分である。ですから港に著くと、直ぐに向ふの受持區域の農園とか或は目的地に行かれます。併しながら玆に甚だ失禮か知れませんが、一言申上げて置きたいことは、總督府が南方に對する御研究御調査をお進めになつても民間の人々と共同してなさらなければ具體化しないことであります。南洋に就ては、色々の智識が得られて居ますが、最も能く南方の智識を植替へ、此處に發達して居るのは糖業であります。糖業者が實際に仕事をするには、總督府の研究と相俟つてやらなければなりませぬ。所が臺灣で一番困ることは役人が引切りなしに更代することである。其以前のお役所で色々の研究をなされ、色々計畫を立てゝお出でになりますけれども、御役人は時々代られます。其智識を何處かに持つていつてしまう。折角の計畫も名案も水泡に歸してしまふ。どうしても、臺灣の立場から仕事をされる時分には、具體化することに餘程考へて戴きたいと思ひます。今日まで色々の方も御出でになつて、向ふで色々御世話申上げ、色々致しますが、其れが實際的の結果になつて現はるゝならば愉快のことであります。糖業其他農産物に關する事業で大變に成功されて居るのは歷代の總督の賜と言はなければならぬのであります。然しそれ以外に、未だ〳〵臺灣に於きまして成功

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する、臺灣に關係を有つて居るものが澤山有るやうに思ひます。けれども、それは官民一致の精神が足らない爲めに、遺憾ながら具體化しないやうに見受けます。甚だ失禮なことでありますが茲に一言申上げて置きます。

日本が原料問題、人口問題等種々困難なる經濟問題を解決するには、どうしても蘭領東印度のやうな土地に植民して、人の居ないボルネオ、セレベス、スマトラ、などに發展することを試みねばならぬ。此等は無人の國と云つて宜い位である。只爪哇だけは、人口が密集して居ります。一口に言へば、殆んど人の居ないあ云ふ所の土地に、日本人が來るとすれば、支那人や印度人が土地を有つて居つても、ちつとも心配は入らない。和蘭は政治的に、日本に安心して居るのであります。舊來は英國の資本が餘り濃厚であつたのみならず、戰爭中英國から酷められた爲めに懲々して、亞米利加の資本を歡迎して居ります。が、東洋では日本の勢力を無視することは出來ない。日本の資本を入れ、同時に各國の資本を入れ、所謂「バランス・オブ・パワー」の理に由り或一つの國が之れをどうしやうと云ふことの出來ないやうにする政策が見えるのであります。或程度まで、日本の投資、日本人の發展、經濟的の發展は、歡迎すると云ふ風であります。此點に於て十數年前と今日とは殆んど雲泥の違ひがある。資本家は、資本のある人は、向ふの土地に幾らでも仕事がやれます。勞働賃金は非常に安い。唯今私の使つて居ります苦力賃は一日三十五錢、最も能率の上がつて居るもので四十錢位であります。さう云ふ所から見ましても、經營は非常に容易である。日本としては何處からか原料を仰がなければならぬ。何處からか供給を受けなければならぬ。先づあゝ云ふ人口の稀薄な、政治上に於ても經濟上に於ても行き詰まつて居ない所の蘭領印度に向つて投資することが宜いと思ひます。投資も、以前大會社がやつたやうな、非常に放漫なやり方ではいけない。自分がやつて見ますと云ふと、非常に收益の率が

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宜いのであります。一例を申上げますと、私共の所で農園(椰子園)が漸く出來上がりまして、總べての費用を入れて一「バウ」百圓である。そこでボルネオの大會社久原とか三菱の話を聞いて見ますと、五百圓六百圓と云ふことを聞きました。自から資本を投じ、自から生命を賭して仕事に掛り、自ら中心となつて事業を經營して行けば、非常に有利に安價に經營出來ると云ふことを堅く信じて居ります。それで臺灣に參られまして、色々成功された方や、金の出來た方が澤山あると思ひますが、そう云ふ方は內地に歸ると云ふことをせずに、更に一步進んで南洋に投資せられたならば確かに有利なるのみならず、吾日本の所謂原料政策、移民政策から見ても大變に宜いと思ひます。日本の人口の殖えることに付ては、ブラジルのやうな工合に勞働者の移民は出來ないけれども、先程申上げましたやうに、商業移民、工業移民をしたならば百萬や二百萬の移民は樂に出來ると思ひます。而してそれに附隨して行く所の人は非常なものであると思ひます。今日政治的に他の國をどうすると云ふことは六箇敷いが、有り餘る日本の人口、行詰つた今日の狀態から日本を救ふには、どうしても南方に由らなければならぬ。馬來群島の土地に臨むことが最も宜いと思ひます。私はそう云ふ意味に於て、每年二、三十人の青年を向ふに移して、地方に店を持たせ仕事をさせて居ります。自分が生きて居る間に、どれだけの日本人を植え付けることが出來るか、其植え付けを樂しみとしてやつて居るやうな次第であります。今申上げましたことは、全く秩序も何もなく、どうも雜駁な話でございますが、對南洋に關する私の考の大體を申上げますとざつとこんなものであります。(三月十二日總督府に於て)

印度支那の旅より（二）

S・I・生

海防市街瞥見

南支南洋方面に於ける都會の常例ではあるが、海防市も亦その一例に洩れず、外人街と土人街とに截然區別されてゐる。外人街（主として佛人）の如何にも秩序整然として自ら爽快を覺ゆるに反し、土人街（主として安南人）の紛然又雜然、統一なく規律なく、見るから息苦しい感じを與へることは對照の最も鮮明なるものである。試みにわが臺北市のそれに比較するなら、城内に著しい遜色があつて、萬華・大稻埕に稍々優る所があるやうに思はれる。

海防の街を訪づれて先づ第一に眼につくことは、土人の齒の漆黑なことである。老弱男女殆んど例外なく、

然かも貴賤上下の差別なしと聞くに至つては眞に驚かざるを得ない。吾等の祖母の時代、既婚婦人が鐵漿を用ゐた習慣はあつた。更に遡つて武家王朝時代、公家武士大將の間にも亦この風習があつたことは、書物に讀み繪にも看た。然るを今の世、今日の日、漆黒の齒を現はし笑ひ興ずる女學校通ひの姫御前や、小學校の頑童等を目前に見せつけらるゝに至つては、蓋、珍中の珍、奇中の奇と謂はざるを得ない。これと正しく因果相關の關係にあることだが、安南人といふ安南人の殆んど總てが、行住坐臥、常に檳榔子の實を口にしてゐることである。噛むほどに、噛むほどに、深紅の唾液は、口中に充ち滿ちて顎の邊に溢れ流れてゐる。兒を喰ふてふ安達が原の鬼婆々も、かくやと偲ばれて身の毛の慄つ心地がする。加之、彼等の住む街は、店舗の板敷きと、街路の舖石とを問はず、殆んど到る處に生々しい血潮のやうな唾が、波々と吐き散らされてゐる。不用意の外來人が、折目正しい純白の晴着に、無理から觀光記念のスタンプを押捺されてベソをかくことは、決して珍らしくないとのことである。かゝる時、土人等が果して赤い舌を出して嗤ふや否やは茲に保證の限りでない。呵々。

印度支那中北部に於ける日本の代表者として、海防帝國領事館に菅領事がゐる。(本年度より河内に移轉し、同時に總領事館に昇格する由である)氏は帝大佛法科出身の少壯外交官で、巴里大使館から轉任して幾何もないとのことである。特に雅宴を設けて一夕歡談の機會を與へられ、視察上多大の便宜を得たことは感謝に堪へざる次第である。殊に往年佛國に於ける北白川宮殿下自動車御遭難の當時、現場派遣官としての追懷談は、今更ながら御哀悼の念を新たならしめ、同時に、又在京妃殿下の御心の裡をお察し申上げて覺へず襟を正ふした。

余は亦この機會に於て海防滞在中公私共に一方ならざる御援助と、鄭重なる御接待とを忝ふしたる、三井

顧問横山正修君・岩男文夫君・内藤農學士・中山華南銀行海防支店長・坂元同次席・領事館員山村・平野兩學友及石山旅館主人に對し深厚なる感謝の意を表したいと思ふ。

鐵路河内へ

海防＝河内間、鐵路一百二基米、約三時間半にて達す。一列車六輛編成で、最後部の一輛を一、二、三等の座席に區劃し、他は全部四等車である。四等車は主として土人の乘用に供せられてゐるが、賃金は距離に依つて若干の差等あるも大體に於て一等の五分の一、二等の四分の一、三等の三分の一である。車内には設備らしいものは殆どなく、腰掛は兩側の窓下に一列づゝあるだけで、客は起つてゐるか、蹲踞でゐるかゞ立前である。後學のためと物好きにも車内に一瞥を與へると、床板は例の血染めの唾の海で足を踏み入れる餘地もない。異臭紛々、言語同斷なかく〱のことである。それもその筈、魚屋は生魚乾魚の盤臺を、八百屋は葱・大根・菜葉の大籠を、さて肉屋はといへば、大方屠殺場からの歸りであらう、生血の滴る黄牛の片股を車内に持込んで平氣でゐる。更に甚だしきに至つては、四足を竹の棒に括りつけた、生きながらの小豚を五六頭擔ぎ込んでゐるのがある。そして驚くべし小豚の悲鳴は、斷續する車輪の響の合間々々に全列車乘客の心膽を寒からしむるのである。

何處かの國に「汽車に乘るなら三等」(勿論最下級の意味)と、さも貧弱な自分の蟇口と沒交渉の振りをして、いゝおつに絡んで見榮の裏道を行く、頗る入念の似面非者がゐるさうだが、是等の手合がこの實狀に直面したら果して何と言ふであらう。

海防＝河内の汽車連絡は一日三往復に過ぎない。沿道は一帶に坦々たる平原の耕地のみで、點在する異風

の土人廟、牧童等の逐ふ黄牛の群れ以外、單調の二字を以て盡してゐる。途中下車驛として主なるものはGia-Lam停車場である。此所は河内を距る五基米、雲南鐵道の分岐點で車庫・修理工場・石炭格納場等相當大規模の設備があるやうに見受けられた。驛を距る一基米の向ふはかの有名な紅河のドゥーメル鐵橋である。構造は橋梁建築界に名たるヽカンチルヴエー式で、延長實に一千六百八十二米、橋臺二、支柱十八を裝備し、基礎工事河底三十米に及ぶとのことである。佛人等が東洋無比、世界名橋の一を以て誇とすることは、强ち彼等特有のお國自慢として無下に排斥出來まいと思ふ。鐵橋の盡くる所、新たにより長き陸橋が接續してゐる。陸橋の極まる所、それが河内停車場である。

河内概觀

河内の地理的概説としては、紅河の右岸に位置し、鐵路海防を距る百二基米・海を隔つる百三十基米・面積一千エクタール・人口約十五萬・印度支那總督府の所在地であつて同時に東京州廳の所在地であることに盡きてゐる。史的考察としては詳細の記述を他の機會に讓り、唯紀元前二世紀に於て既に或る小國の王都であつたといふから、相當古い經歴を有つてゐることが首肯かれる。その中頃は兎も角として、佛國政府が舊市街をその儘に、別に新市街の建設に著手したのは、今を距る四十年卽ち一八八五年のことである。新市街は建設の日淺きだけに、自ら清新瀟洒の氣に滿ちてゐる。小巴里の稱ある所以である。反之、舊市街は歴史的に古きだけそれだけ、古雅莊重、眞に捨け難き趣に溢れてゐる。極東羅馬の名ある所以である。

若夫れヌボー劇場の邊り、翠綠滴る街路樹の葉末を掠る晩凉を趁ふて、ホール・ベル街のとあるレストランに客となり、步道一面に列べられた大理石の食卓に腰を据へ、群がる佛人紳士の間に伍して、眼前咫尺の車

道に絡繹たる人馬を送迎しつゝ、泡立つ一杯の冷麥酒を傾けんか、身も心もいつしか巴里オペラの邊り、グラン、ブルバールに飛ぶのである。かくて踵を廻へして、土人街の西方舊城市を訪はんか、風雨幾千年、軒傾ける城門・廊廓。戰禍幾百年、半ば廢頽せる廟宇・樓。目に觸るゝ總てがいづれも古代南越文化の面影をとゞめざるはない。極東の羅馬は眞に相應はしい名稱といふべきである。

プチ・ラック

プチ・ラック、直譯すれば小湖水である。又の名は讀む人の心のまゝに一任する方が面倒でない。湖面は幅三百米、最大直徑五百米の楕圓形で、程良い位置に大小二つの嶼があつて、いづれもふる錆びた祠廟が建てられてある。小なる方は湖岸と絕緣した孤島で、大なる方は朱塗の棧道に依つて岸に連絡されてゐる。湖水に纏はる神祕的傳說はあるやうだが茲には省略する。棧道を通じて參詣する善男善女絕え間なく、五穀珍果をうづ高く供へた佛前に額づいて、人銘々に祈願を籠めてゐる。試みに島の汀に立つて湖畔を展望すると、二歐風の大厦高樓は入亂れた老樹の葉蔭に陰顯する。空色のパラゾルに上半身を隱くした白衣の西洋娘は、二頭立ての馬車を驅つて右に左にこの間を點綴する。時代の力であらう、我等の心は期せずしてクラシックな氣分に滿たされるのである。

湖水は天水地水を呑吐するのみでこれぞといふ水源もなければ排水口もない、謂はゞ死水を湛へてゐる。加ふるに湖上一羽の水禽、一隻のボートの影だにないことは、更に又一層の閑寂を味はしむるに充分である。試みに小石を取つて湖心遙かに抛げつけると、墨然たる水音と共に波紋の擴がるさまが末の末まであり〳〵と見鈍よりと濁つた錆味、湖面を撫でる微風にビクともせぬ落着きは、却つて一段の風致を添へてゐる。

据へられる。飛びこむ蛙の水音に、一代の名吟を吐いた俳聖翁の古池の句を聯想して低徊去るに忍びざるものがあつた、蓋し、プチ・ラックは河内市民の悠揚逼らざる落著きの表象であると同時に又なき活動の泉源を爲すものであらう。

安南劇を觀るの記

河内滯在中、小閑を利用して安南劇を觀た。何々戲院といふ頗るお粗末な建物であるが、土人唯一の芝居小屋であるので、開場前既に滿員札止めの盛況であつた。俳優はいづれも專屬制とのことで、舞臺裝飾は、照明に電氣瓦斯を充分に利用し、油繪のバック、實物の前景、さては衣裳小道具に至るまで寸分の隙のないことに、まづ以て度膽を拔かれた。その夜の藝題は觀音生ひ立記であつたが、一念發起、佛陀の大慈大悲に渇仰して、鐵火なほ辭せざる底のうら若き少女の堅き決心。愛姬を膝下に諄々として無謀を說き、懇々として不心得を諭す嚴父の愛。わが身の若かりし頃に比べて、人の子の履むべき正しき道、さては婦女子の分け行くべきまことの筋、こま〴〵と訓へふくめつゝ只管姬の決心を飜さんと、聲涙共に掻き口說く慈母の情。新郞新婦鴛鴦の契濃かなる春の晨、色とり〴〵に咲き狂ふ綾羅錦繡の花園を、そゞろ歩きするわれと吾が現在の幸福を說き示しつゝ、切に幼妹に反省を求むる二人の姉の心。孰れも眞に逼まり實を體し、涙なくして見られぬ場面であつた。それかあらぬか滿場戚として聲なく、唯手帛の搴りに動くを見るのみであつた。余も亦その內の一人であつたことを玆に告白する。

少女の決心は父母兩姉の心づくしに屈すべくあまりに堅固であつた。場面はこれから本筋に進むのであるが、筋の說明は本文の目的でない。期する所は、單獨で然かも何等豫備知識の持合せなきのみか、一言半句

安南語の科白を解せざる余をしてこの程度にまで劇中の人たらしめ得た、安南俳優の非凡な技倆を紹介せんとするに外ならぬのである。

以下少しく劇の仕草について述べて見よう。劇全體の趣向としては隨分無理な徵象的表現法が行はれてゐるやうだ。亂髪赭面の壯漢が、片足を宙に上げ二度三度右手を後方に振ることによつて、將軍馬上の雄姿を想察せしむるが如きその一例である。科白は概して調べの低い妙へなる安南樂器の旋律に連れて、ヴェールを獨唱することによつて夫々の情懷を舒べるのが立前で、その間屢々現代語の對話を交へて巧に觀客の心理を把握する邊りは、恰も歐洲劇場に古典劇を觀ると何等異なる所はない。

打明け話ではあるが、余が當夜の觀劇は事實退屈凌ぎの氣まぐれ沙汰であつた。唯二三十分間劇場内を流れる氣分を味ふことが目的で、勿論安南劇そのものに徹塵の期待もなければ嘱望もなかつたのである。然るに場面の進むに從つて興趣いよ〳〵加はり、二三十分は一時間となり、果ては三時間四時間となつて、夜半近くはねの大鼓に初めて我に返つたのは、木乃伊取りの何とやらそのまゝの圖であつた。

ピストル買入れの記
附、官廳廻りとその感想

西貢方面に旅立つ前の日、河内で護身用にピストルを一挺買求めることに決めた。狩獵は印度支那年中行樂の一つで、無稅免許といふ他に類例の尠い特典がある。その癖、土人取締の必要上銃砲火藥類の入手は事頗る面倒で、許可申請後速くて二週間遲きに至つては一月二月はおろか、時には無期限握りつぶしのことも珍らしくないといふ。總じて許可の遲速は申請人の國籍に依つて岐れることになつてゐるさうである。以爲、

余は事少なりと雖も日本帝國臣民の權威を驗めすは此所ぞと許り、少々茶目の嫌はあつたが、わざと西貢旅行發程の前一日、倉皇としてこの興味ある試みを目論だ所以である。

ピストル買入れの手續は、市役所と警察の承認を經たる後ち改めて總督府の許可を受くる規定である。余は取り敢えずポール・ベル街にとある銃砲店を訪づれて豫め現品を選定し型式、番號その他の要目を書き留め、申請の順序を逆に先づ總督府官房第二課長を訪ねて、無謀とは思つたが明日に迫る西貢旅行の豫定を述べて口頭申請を試みた。課長は初老温顔の人懷づかしい好紳士で、一寸肩を搖ぶりながら屬官に命じて所定の申請用紙を取寄せ、必要事項を代筆すべくペンを走らせた。かくして用紙の下段餘白に Avis favorable の二字と共に麗々しく署名して呉れた。この間時を費すこと僅かに二十分である。余は深く課長の好意を謝しつゝ總督府を辭して、指呼の間にある市役所指して車を急がせた。市役所では保安課長がその主務で、事務室は二階の階段の突き當りがそれである。余は刺を通じて來意を告げ、申請書を提出して署名を懇請した。課長はピストル買入れの目的に就て二三問答の末、心よく署名して呉れた。此の間約十分である。余は上々の首尾で市役所を辭し、五六町離れた市の保安警察署を訪れた。此所では第一課が所管で余は導かるゝがまゝに課長室に參入、申請書を差出して最後の署名を求めた。時恰も退廳時刻を餘すこと正に十五分。大兵赭顔の課長は、徐ろに壁の時計に一瞥を與へつゝ、明日のことにしてはと言つた。この時頻りに余が胸中に叫ぶ何ものかゞあつた。曰く、折角滿點上々の吉でこゝまで漕ぎつけてゐながら、最後の土壇場に臨むで屁古垂れては一等國民の沽劵を何とする、踏張れ踏張れ!!

於是乎、余は明日に差迫つた西貢旅行の日程を口實に、曲げても今日のことにと頑張つた。課長の好意は遂に余の駄々をして名を爲さしめた。課長はやをら呼鈴を押してタイピストに急ぎ書類の作製を命じた。課

長の署名ある成規の書類を手にして警察の門を出たのはそれから約二十分の後ちであつた。歸路銃砲店に立寄つて、神速機敏の早業に驚嘆の眼を睜る店員を後目にかけつゝ許可書をつき付けて代金引換へに現品を受取つた。余は玆に佛領印度支那に於けるピストル携帶者として名實共に完全なる資格？を得た次第である。所要時間(官廳間の往復時間を除き)前後僅かに四十五分、この種の手續としては蓋し最短記錄であらう。

ピストル買入れの經緯、實はどうでもいゝ問題である。唯この事實に依つて印度支那官廳事務の一般を窺知し、顧みて頂門の一針たるに値すればこの上もない仕合せとする所である。共和國民とはいひながら兎角官僚臭味の濃厚な佛蘭西の國柄だけに、實は然かと危むだピストル買入れの一件が、全然豫想を裏切つて上記の如くすら〳〵と濟むで見ると、さて胸に手を置いて靜かに考へざるを得ないのである。

臺灣は姑く措き、差當り內地の官公廳事務の取扱方に就て考察して見よう。いづれの官衙公署を問はず、普通一般の願屆書を處理するに當つて、當の本人と決裁權を握る局課長とが膝つき合せて直接交涉する便宜がざらにあるだらうか。事務簡捷は當局大臣より屢々訓令するやうに聞き及ぶが、一通の願屆書が局課長の手元に進達せらるゝまでには甲乙丙丁多くの屬官の手を經た後ちでは無いだらうか。局課長は一般人民に應接して當面の事務を處理すべく餘りに……でないだらうか、一方一般人民も亦直接局課長に面接して各自の用務を果すべく餘りに……でないだらうか。官民共に三思すべきであらうと思ふ。

喜劇贋札物語

人もあらうに安南人のクラークから贋札使ひの嫌疑を受けて、腹立ちまぐれに買物の包を叩きつけて蹶然床を蹴立てゝ飛び出た一場の喜劇を紹介する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

河内市佛人街の或る日の午後の出來事であつた。散歩の序にとある有名な書籍店を訪づれて、其所此所の書棚をあさつた末、五六册の新刊書を物色し得た。代價九弗なにがし、財布を檢めると生憎く小錢がない。少し無理とは思つたが、百弗札を出して剩錢を求めた。會計は五十恰好の歯を眞黑にした見るから無愛想な安南人書記であつた。彼は余が手渡した札の裏表を捻くり返へしながら、余の顔と等分に仔細に點檢した。余は面白からずこの場の光景を眺めてゐたが、少時彼の爲すがまゝに任せて置いた。すると件の書記先生紙とペンとを余が面前に突きつけて、これに署名しろといふ。こ奴失禮千萬と余は稍々怒氣を含むで、署名しろとは何事だ、それとも貴公この札を贋造とでも思ふのかと反問した。癇癪玉の袋がそろ〱居仕舞を直したのである。然し勘忍の緒は依然として堅く袋の口を締め括つてゐた。書記の答は極めて不得要領で、贋造とも贋造でないとも言はなかつた。物見高い大商店の店内のことゝて、余がこの押問答は早くも五六人の彌次馬を吸ひつけた。この形勢にふと我に返つた余は、この上の問答無用と觀念して、彼の言ふがまゝに署名してやつた。實は自分としては最大限度の讓歩であつたのである。然るに何等のご託ぞ、彼書記は更に余に向つて住所を明記せよと逼るのである。事既に玆に至つては、札そのものゝ眞贋といふ對物的疑惑の範圍を通り過ぎて、贋札行使といふ對人的嫌疑の域に到達したものと斷せざるを得ない。思へば忌々しい骨頂である。玉は遂に緒をぶち切つた。余は矢庭に本の紙包を鷲掴みにして會計臺へ叩きつけ猶然その場を引揚げた。

戸外へ出て頭が冷靜に復すると、旅の淋しさが染み〱と感せられた。ホテルへ歸つてM氏に事の顛末を物語ると、M氏は日本人に對する大々的侮辱だと大に憤慨される。早速車を飛ばして、店主(佛人)に直接談判を持込むだ。店主は重々書記の無禮不行屆を詫び將來を戒飭すべき旨を誓言したさうである。

喜劇贋札事件はかくして大團圓を告げた次第であるが、印度支那に於ける贋造紙幣の横行、それは當局官

憲の苦心の絶えざる所で、同時に又銀行・會社・商店の會計係等が常に頭を惱ます大々的苦手である由の實情を聞くに至つては、彼の安南書記の衷情も亦多少買つてやらざるを得ないのである。

安南人會見記

場所は河内に於ける某ホテルの二階の廣間である。不意の來客を謝絶し、給仕を避けて主客一同歡談約五時間に亙つた。邦人側はこの會見に斡旋の勞を取られたM君と余と兩名、土人側は某新聞の主幹P君・同編輯長S君・敎育家T君の三名、合せて五名であつた。M君の紹介で余と初對面の挨拶が終ると直ぐ食卓についた。料理は純日本式、酒は灘の生一本?である、板場はM夫人のお肝煎りで善盡し美盡しの御馳走が山と列べられてある。S君は日本在留の經驗があるので、此所もと旺んに日本食通を振り廻はして大得意である。P・T二君は共に巴里に遊學して業を畢へ、日本研究家として識者の間に令名ある青年紳士である。

古往今來、他家に御馳走に招ばれて主人を前に料理を貶す不作法者のないことを百も承知の吾等は、客のお愛想の百萬遍を聞きつゝもなほ且つ三分の不安はあつた。然しながら献酬少時、吾等の膳にはまだ七分通り殘りの料理があるに拘らず、驚くべし客のそれには早くも空皿のみで、刺身のつまゝすら影を殘してゐなかつた。この事實は一箸毎に美味を讃へた彼等の褒辭が、强ちお世辭のみでなかつたことを最も率直に立證するものであらうと思ふ。

只これ丈けのことなら、別に業々しく不意の來訪者を謝絶したり、給仕を避ける必要もない筈だが、當夜の會見には主客共に多大の期待があつたのである。客の內P・S兩君は職業柄特にその筋の注目を受け、刑事の尾行は決して珍らしくないとのことである。T君に至つては敎育家だけに多少の目零しはあるが、智識階

級の士人たるが故に是又要注意人物たるを免れぬさうである。各國政府の殖民地統治政策、そこに程度の厚薄濃淡の差こそあれ、探偵政治・間諜政治は殆んどつきものゝやうに思はれるが、佛國政府の對印度支那政策に於て特に目立つてこの傾向が……のである。

食後席を改め茶を啜りながら主客いづれも胸襟を開いて論じ且つ談つた。談論の内容は玆に記述することを憚るが、取扱はれた題目は、印度支那總督政治に對する士人智識階級の代表的批判。世界の耳目より遮蔽せられたる一般士人に對する將來の政治的教育の方法如何、印度支那に代議制の施行せられたる場合に於ける政黨の分野、例へば王黨勝を占むるか、共和黨覇を稱ふるかその豫想如何、日米戰爭の可能性如何、實現の場合に於ける對印度支那士人の影響如何。等がその主なるものであつた。

以上諸問題に對する考察は頗る興味ある内容を爲すもので、他日適當の機會を利用し別の方法を以て紹介しようと思ふ。唯一言、安南士人の智識階級中には僅かに新思想に目醒めた鬱勃たる氣運の澎湃たるものを認める。然りながら去勢された大多數の一般士人に對してはかゝる氣運が蛙の面に水ほどの刺戟をも與へざることを附記してこの項を擱筆することゝする。

河内の稿を終はるに當り往路歸路約二週間の滯在中、公私共に多大の御厚情を賜はりたる松下旅館主人・下村老兄・皆川領事館囑託及其他の各位に對し謹で謝意を表するものである。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那法制調査（一）

臺灣總督府囑託　板倉貞男

本編は曩きに法制經濟調査のため印度支那に出張を命ぜられ、實地に就きて各方面の意見を叩き、兼て從來の研究事項を質疑して是正し得たる資料の一部であるが、主として總督府事務官ド・ガランベール氏の著書に依據したものである。

(一) 印度總督の身分及權限

佛領印度支那に總督官制の始めて發布されたのは一八八七年十月十七日で、初代總督コンスタン氏より現任總督ヴァレーン氏に至るまで前後十五回(内サロー氏重任)の更迭があつた。總督任命の手續法は内閣會議の決議を經、大統領令を以て官報に公示する規定で、任用に關する資格又は條件に就ては別段の規定がない。然しながら一九二一年七月二十一日大統領令(翌二十二年十月三十一日改正修補)に依つて、植民地總督團及

理事官團官制發布の結果、將來に於ける總督の任命範圍は自然是等官團所屬者に制限せらるべしと信せらる。

印度支那總督の身分は之れを概括的に要約すると左記の二系統に區分することが出來る。即ち

一、印度支那に於ける本國政府の適法なる唯一の受任者たること。

二、本國政府に對する印度支那全般の利益代表者たること。

前記第一身分に依る總督は、地方分權の一機關であつて、その行使する權限は植民地に對する植民大臣の權能を代行するものである。從つて總督は印度支那最高長官として、自己單獨の全責任を以て、管內全般の政治・社會・財政及經濟的發展の政策遂行に任ずるのである。

第二身分に依る總督は、印度支那各州の一般的計畫に基く指導機關で、印度支那植民地議會開設せられ、一般的利益に對する審議權を行使する時期に至るまでは、特に重要視すべきである。

次ぎは總督の權限であるが、解說の便宜上之れを一、立法權。二、行政權。三、財政上の權限。四、稅制に關する權限。五、司法權。六、外交に關する權限。七、軍事に關する權限。に區分して觀察することゝする。

一、總督の立法權

「佛領印度支那總督ハ印度支那ニ於ケル佛蘭西共和國々權ノ受任者ナリ」とは、一九一一年十月二十日大統領令の明文に規定する所で、憲法上本國議會の權能に屬する立法以外、植民地統治に必要なる諸法令の制定權が總督の手中にあることは、法文の解釋上當然の事で、唯問題として殘る所は總督がその與へられたる權限の範圍內に於て制定發布する法規は、豫め本屬長官たる植民大臣の承認を必要とするか否かにある。而して本件に關する樞密院の解釋は「承認不必要」に決定してゐる。その理由とする所は、植民地總督は、その統治する植民地の全領域に亘つて、元首の權能を代行するもので、本國を距ること遠き地理的關係に徵し、且

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つ施政の應急敏活を期する必要に基き、地方分權機能の法意を廣義に解釋するを至當とすといふにある。

總督は又法律及大統領令を植民地に公布する權限を有つてゐる。然しながら總督の公布權限は、該法律又は大統領令の條文中にその全部又は一部を植民地に適用する旨の記載ある場合（此の場合公布手續は總督の權限であつて、同時に又義務である）に限るもので、然らざる場合に於て總督が當該法律又は大統領令を植民地に施行するを可なりと認めたるときは、本國政府に對して豫め植民地に適用する旨を宣示する特別の大統領令發布を申請することが必要である。

條文の全部又は一部を植民地に適用する旨の記載ある法律又は大統領令の公布は總督の權利であつて、同時に又義務であることは前述の如くであるが、これは文字通りに狹義に解釋すべきでない。何となれば植民地に適用の記載ある法律又は大統領令を公布するに當つて、總督に何等考慮の餘地を認めずとせば、幵は明かに總督に對して議會又は大統領の意志に盲從を强ゆるもので、總督は何等責任を取り得ない結果に陷るからである。故に植民地に適用すべき明文の記載ある法律又は大統領令と雖、之れを植民地に施行して不便不都合ありと認むる場合（立法者の意志を別として）は施行期日の明記なき限り、總督は之れが公布に先立つて植民大臣に意見を具申することが出來るのである。法文記載の年月日後數年を經て公布せられ、又は全然未公布の儘となつた大統領令が相當多數に上つてゐるのはこの理由に基くのである。

二、總督の行政權

總督は植民地に於て、行政各部及印度支那豫算支辨に依る各部局（財政部局即ち稅關・郵便電信局・登錄局等を除く）の最高長官であつて、總督の行政權に關する沿革は、一九一一年十月二十日大統領令を以て印度支那行政各部の編制に關する權限を委任せられ、越へて一九二〇年九月十一日大統領令に依つて、地方官に

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

對する官規及單獨總督令の制定權を認められたことにある。總督の有する行政權の內容は便宜のため次ぎに個條書きとして列記する。

一、植民地官吏に對し直接又は地方長官を介して間接に監督權を行使す。

一、法律又は大統領令を以て特に任免權を本國政府に保留する場合の外、植民地に於ける總ての文官を任免す。

一、政務の必要を參酌し、印度支那各州を通じ軍部以外の各部局に人員（司法官、裁判所書記を除く）を配屬す。

一、印度支那に在勤する官吏の俸給及手當に關する總則を規定す。

一、財政部長を介し植民地に於ける所有權關係の法律行爲に關與す。なほ一千エクタール以上の土地拂下げ及鑛山拂下げの申請を處理す。

一、鐵道敷設計畫を裁定し、國道及府縣道を類別す。

一、交趾支那植民地會議・土人諮問會・町村會・西貢港務會議を解散し又は停會を命ずることを得。商業會議所、農業會議所及商農聯合會議所を設置する權限を有す。

一、外國に於て發行する新聞紙及其他の定期刊行物に對する印度支那に移入禁止の權限。印度支那に於て發行する佛蘭西語以外の刊行物に對する發行許可の權限。

一、植民地に於ける公共衞生に關する基準法の規定及公共團體の土地收用許可に關する件。

三、總督の財政上の權限

總督は植民地豫算歳出（軍事費及植民地檢閱費を除く。この費目は植民軍經理部長の管掌とす）に對する副

仕拂命令官であつて、同時に本國豫算中總督に委任せらるべき他の款項に對しても亦同様である。

豫算に對する總督の權限は、印度支那總豫算案・鐵道・公債・廣州灣及西貢工廠の四附屬豫算案を編成することが眼目である。而して以上の豫算案が年度の初めまでに、大統領令に依る正規の承認を得られざるときにして緊急を要する場合は、承認を得るに至るまでの暫定手續として、總督は當該年度中に必要とする修正豫算を編成して之れが假施行を爲すことが出來る。この場合總督は修正豫算に對する主たる仕拂命令官であるが、この權限は總督の指命する官吏に委任し得る規定である。主たる仕拂命令官としての總督は、價額一〇、〇〇〇「ピアストル」又は二五、〇〇〇法を超過する入札に對し、その計畫・見積・契約及仕様書を檢證し、又前掲の價額を超過する受負工事又は物品購買入札にして、何等かの故障を生じ若くは豫定の入札價額を增額する場合は入札關係の一件調書を査證することになつてゐる。

假施行の豫算支出に對しては總督は副支拂命令官及必要に應じ支拂命令官補を任命し、なほ地方豫算以外の豫算支辨に對しては國庫代理人を任命して之れを處理せしむ。

以上の外、財政上總督の權限を列記すれば次ぎの如くである。

一、地方豫算の實施及年度内に於ける豫算の修正につき、交趾支那に對しては認定權を有し、安南・東京・東埔寨及老撾に對しては決定權を有す。

一、農業會議所の通常及特別豫算茲に極東佛蘭西學校の豫算を査定實施せしむ。

一、佛國政府の保證を必要とする場合(この場合は法律に依る認可を要す)の外、印度支那の契約に屬する總ての借款を決定す。これは一切の財政關係事項に對し、全印度支那の適法なる唯一の代表者たる資格に基くものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新借款の金額と、未償還に屬する舊借款金額とを加算して合計五〇〇、〇〇〇法を超過せざる（超過する場合は大統領令に依る）新借款契約に關する市町村會の決議を承認して之れを實施せしむ。

一、印度支那銀行に對し、正貨準備に對する紙幣發行の制限率を規定す。

一、地方廳豫算關係の工事受負及物品購買契約に對し、印度支那全般に適用すべき約款及一般條件を規定す。

四、總督の税制に關する權限

總督は關税を除き印度支那に適用すべき間接税を設定する唯一の權限者である。但し税の割當方法及徵收法は大統領令に依る承認を必要とする。この外税制に關する總督の權限左の如し。

一、地方長官又は保護領王室徵税官の發する間接税以外の各種の税及賦課金の設定に關する令達を、税の徵收以前に檢證す。

一、廣州灣に於ける同上の税法を定む。

一、各種の税、小作料、專賣權其他一切の賦課金の設定、廢止又は修正に關する市町村會議の決議竝に每年總督（場合に依り地方長官）の定むる制限率を超過する特別市町村税を、最大限十二箇年に等しき期間中設定せんとする同上の決議を查閲實施せしむ。

五、總督の司法權

普通法の裁判關係に於ける總督の權限は本國に於ける司法大臣の權限と略同樣にして綱要左の如し。

一、裁判の自由且つ敏速なる割當に關する監督權。

一、各階級の裁判官に對する懲戒權。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、官公廳職員の服務規律違反に對する所罰權。
一、刑事裁判所の編制權。
一、犯罪關係諸令則の實施保證權。
一、民事關係の判決及決定の實施上必要なる權力の附與。
一、佛蘭西裁判所に對する土人關係の民事訴訟手續の決定權。
一、裁判所及檢事局書記、裁判所通譯に關する法規の制定竝任命權。
一、公證人・執達吏・競賣評價人・役場の設置及取締權。

原則として總督は裁判組織を變更する權限を有せず。總督府關係の事件にあらざれば總督は官公廳に追訴を命じ又は官公廳の追訴に反對する權限を有せず。

以上は專ら普通法の裁判關係に對する總督の權限であるが、特別裁判權又は國事犯に對する總督の權限は範圍頗る廣汎である。卽ち平時にあつて總督は、軍事裁判所の長官であつて、この資格に依り總督は陸軍大佐以下の軍人に對し、常設軍法會議の管轄事件に關し捜査命令及裁判に附すべき命令を發するのである。(以上一九〇三年十月二十三日大統領令) 總督は又行政裁判所評定官の任命權を有する以外、一八九六年九月十五日及一九〇四年十月十一日大統領令に規定する左記の特別權を有す。

A.東京に於ける總督の特別權限

土人又は裁判管轄上土人に準ずべき者の犯罪又は違反行爲にして保護領の保安又は佛國植民の發展に關係ある事件に對しては、總督は普通裁判所の管轄權を免じ、之れを刑事審問委員會と稱する特別裁判所に委附することを得。刑事審問委員會の編成は毎年總督令の定むる所に依り、行政部一等事務官を議長とし、犯罪

地の地方長、裁判管轄地の檢事(又は檢事長の申請に依り總督の指命する判事)及印度支那軍司令官の申請に依り總督の指命する陸軍將校を委員とす。刑事審問委員會の決定に對しては總督にのみ上訴することを得る規定である。

B. 安南及東京に共通する總督の特別權限。

佛蘭西に對する暴動及普通刑法の適用を受けざる重大なる政治的爭擾又は公安を害すべき運動の場合に於ては、總督は當該地方の理事官の申請及管轄裁判區の檢事長の意見を徴し、左記の司法處分を執行することが出來る。

土人裁判所の裁判管轄に屬する土人又は一八七一年八月二十三日大統領令に依り土人に準ずべき他國人たる亞細亞人に對し、財產刑を併科し又は併科せずして十年以下の拘禁に處すること。若くは事件に關係ある町村又は組合に對し該事件の鎮定及事後の保安に要したる經費の負擔を命ずること。(一九〇四年十月十一日大統領令)

土人裁判に關する總督の權限は、印度支那各州に於ける裁判組織に依つて一樣でない。東京に於ては總督は理事官の申請に依り二審裁判所の補助判事を、安南政府の推薦に依り三審裁判所(河內控訴院第二部)の土人評議員を指命す。總督は又二審裁判所の管轄區域を規定する外、裁判所書記の服務規律に關する總則を規定し、且つ裁判關係の令規を定むる王令の實施に任す。

東埔寨に於ては總督は、王令の實施に任ずる以外東埔寨政府に對する保護國法律顧問の任務に當るべき司法部の裁判官を指命す。

老撾に於ては總督はヴヰエンチアン高等法院長たるべき控訴院判事を指命す。

六、總督の外交に關する權限

外交上印度支那總督は極東諸國に對する佛國政府の代表者である。この資格に依つて總督は、極東諸國駐在の佛國外交官又は領事官と直接交捗する權限を有するも、政府の許可を得るにあらざれば外交的商議に干與することを得ざる規定である。この規定に反して爲したる商議は、夫々の場合に應じ政府の事後承認を得るか又は議會の協贊を經るにあらざれば實施不可能である。

被保護國の國王に對する總督の權限は地方豫算の歳入に繰入るべき直接稅及其他の諸稅を設定する王令の承認及實施に關する令達に署名することである。但しこの權限は條約に依り保留せらるゝ場合に限ること勿論である。

以上は安南及柬埔寨王國に適用すべき權限であつて、老撾王國に對しては一九一七年四月二十四日條約第三條の規定に依り現行稅法は既に確定的のものであつて、總督は王令の承認又は署名の必要を認めぬのである。

七、總督の軍事に關する權限

軍事上總督は印度支那內外國防の責任者である。從つて總督は印度支那に駐在する陸海軍を區署し、他の攻勢を擊退する緊急の場合を除くの外、何人も總督の同意を得るにあらざれば如何なる軍事行動も若くは進行中の軍事行動に對する變更を企圖することを得ざる規定である。但し軍事行動の指揮及實施は軍事官憲の權限に屬し、總督は總ての場合を通じて直接軍隊を指揮することを得ない。

右の外總督の軍事上に於ける權限としては、軍事地帶の設定、組織又は廢止に關する權限、及植民地の全部又は一部に戒嚴令を布告し又は徹廢する權限である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次ぎに印度支那總督對駐屯軍司令官及海軍司令官の關係であるが、これは印度支那軍事機關調査のときに讓るを便宜と認め玆に之れを省略する。

(二) 印度支那總督の責任

印度支那總督はその權限の行使及決定の效果につき植民大臣に依つて代表せらるゝ本國政府に對して全責任を負擔し、總督の施政に對する對本國議會の責任は、監督長官たる植民大臣に歸屬するのである。總督がその權限に依つて發する總督令に對しその實施以前豫め植民大臣の認可を必要とし、もし一定の期間内に認可を受けざるときは該總督令は無效と認むべき旨、政府が大統領令又は省令を以て決定し得るは理論上前記の原則に基くものである。

然しながら一九一一年十月二十日大統領令に依り植民省對印度支那總督府の關係たる地方分權の意義に改正を加へてより以來、植民省は漸次地方法規制定に干與することを差控へ、多くの場合その全權を總督府に委附することになつた。越へて一九二〇年九月十一日大統領令は明文を以て從來豫め植民省の認可を必要とした地方官吏の官制及是等に對する俸給諸手當の決定に關する總督令は、爾今植民者の認可を必要とせざる旨を規定してこの關係を明かならしむるに至つた。

なほ總督の發する各般の總督令に不服あるとき適法なる裁判機關に訴へざる場合と雖、植民大臣に對して上訴を認めてゐる。これは本文の初めに記載した原則に基くものであるが、植民大臣は場合に依り該總督令を取消し又は實施を中止することに依つて總督令萬能の弊害を抑制する規定になつてゐる。

要するに總督の全責任は、その與へられたる權限の範圍内に於て署名して發布する諸令達は何人の與署を

も必要とせざることに歸着するのである。この點は憲法上無責任の地位にある大統領の發する大統領令が、元首としての署名以外所管大臣の副署を常に必要とすることゝその趣を異にしてゐる要點である。

(三) 印度支那總督の特權

總督は本國政府に對し直接交信權を有する印度支那に於ける唯一の官憲である。印度支那駐屯軍司令官及海軍司令官は陸軍・海軍及植民大臣に公文書を發送する場合は總督を經由する必要がある。但し駐屯軍司令官に對しては總ての公文書に之れを適用するも、海軍司令官に對しては印度支那防備及その豫備行動に關する公文書の場合に限られてゐる。なほ玆に一言注意を要する事項は總督が植民大臣以外の各省大臣と交信する場合は植民大臣を經由する必要のあることである。本國政府に對する直接交信權の外、總督の特權と認むべきもの左の如し。

一、行政關係事項・法律・大統領令及違警罪と同一程度の處刑を制定する法規の實施に關する諸令達の決裁。

一、印度支那高等警察權につき本國政府の權限を代行す。

一、犯罪人假出獄の許可權(假出獄の所要條件に該當する犯罪人に限る)土人裁判所の判決に係る犯罪人に對する刑の減免權(佛國裁判所の判決に係る犯罪人を除く)

一、總督在官中植民地各裁判所に對し刑事又は民事々件につき起訴又は追訴せらるゝことなき特權(總督に對する總ての訴訟行爲は本國法に依つて佛蘭西裁判所に提起するを要す。又現に職務執行中の總督に對しては植民地に於て總ての命令又は判決を施行することを得ず)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（四）印度支那總督の代理執行權

印度支那總督の代理權は大統領令を以て特定代理者を任命する場合を除き、總督府總務長官之れを行使す。從つて總督代理權が常に總務長官に絕對的のものにあらざることが明かである。總督代理の任務及權限は、一八九六年五月十日法令に依つて總則を規定し更に一九一一年六月二十日植民省布達に依つて細則を定め左記三種の場合を規定してゐる。

一、總督死亡し又は轉免官のため缺員となりたる場合の總督代理は、本官總督と同一の權限を行使し同一の責任を負ふ。

二、總督賜暇不在の場合に於ける總督代理は原則として、總て第一項に準ずれども、賜暇出發以前總督は自己の方針を踏襲せしむるため總督代理に對して完全なる文書の訓令（寫を植民大臣に進達す）を交附するを要す。この場合總督代理は該訓令の主旨を遵奉するを要す。

三、總督が任務を帶びて本國歸還を命せられたる場合は、總督は前以て第二項の訓令を總督代理に交附するは勿論別に不在中保留すべき案件を指定するを要す。この場合に於ける總督代理の權限は總督に依つて決定せらるゝものと見るを得べく從つて總督自ら責任を負はざるべからず。なほ又この場合總督代理の任務は單に當面の政務を處理することに限定せられ、絕對的に必要且つ急を要する時以外は總督に保留せらるゝ案件に對し自己の意志を以て處理することを許されてない。

上來記述する所に依つて佛領印度支那總督の身分・權限・責任・特權及代理權に就て一般を窺ふことが出來ようと思はる。以下更に稿を改めて、本國立法權の印度支那に於ける適用法、植民地中央行政組織及印度支那行政組織の一般態樣に就て記述することにする。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ニウギニア「ナッソウ」山脈の科學的探險（續き）

山岸祐一 譯

飛行機に依る進路

精巧にして且つ信頼し得べき飛行機は、本探險に絶大なる利益を與ふるものにして、適當なる著陸地の本目的地に到達するに好都合なる場所に存する時は、同機に依り往復共探險地域に全員を輸送するを得、又は之を活躍せしむるを得るなり。

而して、前探險隊の數週間を要せる所を數日にして到著するを得、時間、勞力及經費の大節約を爲すを得ると共に、隊員の健康上にも大なる利益を齎らすものなり。其他一回の飛行にて短時間を以つて未開地の大半に於ける充分なる空中偵察を爲すを得、又最も適當なる進路を發見するを得るなり。

著陸場

良好なる著陸地無くして、飛行機の與ふる大利益は云々するを得ず、又之が使用も其の無きか否かに依り決定さるゝなり。沿岸よりは、飛行機又は徒歩の何れにても登るを得、平地は到る處に發見するを得れども、奥地に於ては多分平坦なる著陸地無きものと豫想せられ、其地に於ては、水面・河川・水溜又は沼澤を利用す

る計畫にて、著水場は清水を湛ふる長さ約二百米、幅七十米及三乃至四米の深さを有するものなれば充分なり。故にマンブラモ本流に限らず、其の支流、ファン・デル・ウイリヘン河及ロウファエル河流域にも水上機を著水せしむるに充分なる深さ及び長さを有する水面ありて、ロウファエル河はモーター宿營所附近に於ても猶千二百米の幅を有し、スプリッツィング宿營所に於ても少なくも千米以上の幅を有し、本幅は極く上流まで續き居りメーアフラックテ(Meervlakte)と稱せらるゝ原野を過ぎ山脈の中までも入り込み居るなり。此の部分には、多數の島及礫又は岩洲存在し殆んど四乃至五流に分たれ居れども、ロウファエル河の支流の入口及びドールマン氏の第一端舟宿營所は、急に八百米乃至百又は百五十米の幅となりて合し居り、此點に於て河流は山脈に入り、流は上流に進むに從つて急となり、沿岸は峻しく山腹の垂直なる場所續々存するなり。ドールマン氏は、前記地帶附近の川は比較的深く、百米乃至百五十米の幅を有する緩流なれば飛行機の著水場として最も適當ならんと言明し居り、探險地域に隣接せる山麓には之以上の好適地存するものとは見られざるなり。若し存在する場合と雖も、スプリッツィング宿營所を以て探險地に最も近き著水地とせざるべからざるものゝ如し。

中部ニウギニアには湖沼の有無未だ判明し居らず、海拔五十米のメーアフラックテを以つて出發點と見做さゞるを得ざるなり。

ファン・ヘルデル氏は、本平野は蘭領ニウギニアの最大河たるマンベラモ河の調節作用を營むものにして、山よりの流水過多なる時は、彼の流域外に大氾濫を起し、大洪水止まる時は氾濫せる水は逐次河床に流入し、是る方法を以つて平野を流出する水量は概して一定不變の狀態にありと報じ居るなり。

フィレタオ・デ・ブライイン(Feuilletau de Bruijen)氏に依れば、マンベラモの流域地帶は本流に遠ざかるに從

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ひ土地は泥濘となり居る由。
本河に遠く距れ居る地帶は、乾燥期に於ても水を以て蔽はれ居る由なり。ドールマン氏は二千六百五十米の地帶に於てもロウファエル河及ファン・バターレン河の支流中に湖沼の存するを見たりと稱すれども、其後の調査に依れば水にて掩はれたる土地なる事判明せり。

航空路

スプリッツイング宿營所を著陸地となす時は、三箇の航空路開け居り、其の一はヘールフインク灣の北東岸の本部宿營所よりの空路にして、他の二路は汽船の航行し得るマンベラモ河の有名なるパイオニーア宿營地より發する空路なり。ワロペン沿岸(ヘールフインク灣)より出發するものは、其の距離約百二十基米ありて最高千二百五十米なる低山脈を越えざるべからず。米國の飛行機は、一時間百哩の速力を有すれば本空路を僅か四十三分にして飛ぶを得るなり。然れども本航空路は第一に其の本部を沼地たるワロペン沿岸に設けざるべからず、從つてマラリヤの危險多き缺點あり。第二に不時著陸を餘儀なくせられたる場合千古斧鉞の入らざる大森林に著陸せざるべからず、持參せるパラシユットにて不思議に一命を取留むるを得たりとするも、野獸の飼食となる危險あるなり。第三に、本航空路は始めより飛行機の使用不可能なる場合陸路を辿るを得ざる缺點を有するなり。

パイオニーヤ宿營地より千米の高度を有するファン・レース山脈を越えスプリッツイング宿營地に到達するとするも四十三分を要し、本空路に於ては、健康地にして且つ良好なる本營を得るを得る利益あり、又必要に應じ絕好の水路としてマンベラモ・ロウファエル河を利用するを得、缺點としては、前者と同樣不時著陸

の際生命を奪はるゝ危險あり。

最も安全なる航空路としては、マンベラモよりバタビヤ宿營所に至り、其處より更にファン・デル・ウイリヘン及ロウファエル河に沿ひスプリッツツィング宿營所に至る道にして、是に要する飛行時間は一時間二十五分なり。至る所安全に河水上に不時著陸し、直に土民の援助を仰ぐを得るなり。

本探險の爲に特に建造せられたる飛行機、道先案内及び機關士に對し、米國探險隊は絶對の信用を置くと雖も猶安全第一を標語とし、本路は飛行時間二十分間長しと雖も往復とも水路に從ひて本計畫を決行する豫定なり。

飛行機にして世人の期待せる如く、探險開始と同時に又は其の最中に活動するを得ざる時は、パイオニーア宿營所及びスピリッツィング宿營所に於て直に唯一の好陸路寧ろ水路を辿りて探險地帶に入り込み、何等飛行機を使用せずして進行するを得るなり。適當なる進路選定の大問題に付いては此にて止まり、引續きスピリッツィング宿營所より目的地に至るべき陸路に付きて考察せん。

陸路

此に關しては確定的の説明を爲すを得ざれども、好天氣を利用しパイオニーヤ宿營所より飛行機にて出來得る限りの偵察を爲すにあれども、精細なる陸路の方向に關する偵察は飛行機にては到底不可能なり。前回のドールマン氏の端舟宿營所に第二飛行場を設立する時は、スプリッツツィング宿營所より三日間、〇〇より長く要する端舟輸送は全く之を要せずとは思考するを得ざるなり。

併し、勿論スピリッツィング宿營所及び端舟宿營所間に適當なる飛行機の著陸地發見せられたる時は、端

舟輸送期間等も猶一層短縮せらるゝは當然なり。

宿營本部は――同時に二箇所の飛行場――陸路行進を開始するに最も適せる地に設立するを要すれども、ドールマン氏の偵察に依れば第二端舟宿營所以上のロウファエル河の上流は、絶對に谷川の性質を有し、小距離の間を置き大瀑布を爲し居り、端舟の運輸には絶對に不可能なる由なり。

飛行偵察は、ドールマン氏の遠距離よりの觀側に依れば、約千五百米の高度を有し、最も早く到達し得る土人在住地に向け、二千六百五十米の高地點を辿りて行くか、又は猶ほ其の脊を辿り、前山脈の約二千五百米の地點に至り其れよりロウファエル河の上流峽谷に下るか、然らざれば下方の山腹を辿り、ドールマン氏に依り土民在住地として指定せられし、(因に該住民は倭人種ならんと想像せらるゝ)臨時目的地に探險隊宿營所設立の爲行進するかの何れかを選定せざるべからず。

ドールマン氏の見積に依れば、本部宿營所、探險隊宿營所間の陸路は整理後六日間を要し、歸還に四日間を要するなり。故に本部宿營所より未開地に至る距離は左程遠きものに非ざるやに思考せらるゝなり。

探險隊宿營所より一層奧地、例せば五日間の行程を有する奧地に侵入するには、荷役人の大增加を要するが故に、實現し得ざるものと見て差支なきなり。事情是の如きが故に、探險隊宿營所よりは放射線狀に總て周圍の事情に從ひ、探險者各自自由に又は合同して未開地を、初めに於ては短距離を、其後逐次遠距離に亘る探險を爲さゞるべからずと思考せらるゝなり。

本方法は、充分なる範圍に亘る探險を爲すに必要にして、一線に亘りてのみの探險は單に土地及住民の概略を知り得るに止まるに過ぎざるなり。又是る方法を以つてする時は、飛行機の著水に好適なる湖沼を山脈中に發見する機會多く、若し斯る發見を爲す時は探險に大利益を與ふるものなれど、勿論本計畫中に確實に

期待するを得ざるものにして、單に腦中に止め置く必要あるに過ぎざるなり。

ウキルヘルミナ峰附近の三千六百米の高地點にハッベマ湖(Habbemameer)ありて、本湖水は、前回の探險に於て地圖中に掲載せられ、約三米の深さを有すると共に、堅き舟底を有する極めて原始的小舟を浮ぶるに過ぎず、長さ六基米、幅千五百より千七百米を有し水上機の著水場としては好適地にして、四圍の山脈も其の昇騰に何等差支なきが如し。

探險隊の準備本部

探險隊の準備本部としては、アンボン(Ambon)及マヌクワリ(Monoekwali)の二箇所とし、アンボンには陸軍倉庫あり、マヌムワリは、地方行政官廳及發信・受信を爲す無線電信局ありてアンボン及パイオニーヤ宿營所間に通信するを得。アンボンには更に强力なる無電局ありて爪哇と直接通信を爲し、又マヌクワリには毎月一回、K・P・M社船寄港す。官有船のアンボンより直接パイオニーヤ宿營所に至る航海日數は左の如し。

アンボン——マヌクワリ……二日半
マヌクワリ——デウルビツレ岬……一日
デウルビツレ岬——パイオニーア宿營所……四日
アンボン——パイオニーア宿營所……六日半

住民

探險隊の組織を云々する前に探險地帶の住民及び氣候を一應觀察せん。マンベラモ及ファン・デル・ウキリヘン及ロウファエル河沿岸には、住民散在し居れども其の數僅少にして密度又粗なり。パイオニーヤ宿營所附近のファン・レース山脈に住居する土民の性質は、時々反抗し怖るべきものなるが、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロウファエル河沿岸の住民は從順且つ親切にして、探險家にして良く之を手なづくる時は反抗するが如き事無きなり。

探險隊のニッギニアに於て最も注意すべきは、パプア族の態度にして、外來者に對して如何なる事を爲すか計り知るを得ざるが故に、探險者は充分に武裝し、軍隊の保護を必要とするなり。

前回のニューギニア探險に於ても、何處からとも無く一本の矢飛來し、ダジャック人の漕手に命中し、心臟を射抜かれ即死せることあり。

其後更に第二回の襲撃ありたれども、三人のパプア人を射殺し幸に事無きを得たり。之に反しスワルト谷の山地住民は非常に温順にして探險に非常に援助を與へたり。又南ミミカ地方に住する倭人も性質非常に温順なり。

勞働者としては、パプア人は不適當にして、彼等は重荷の運搬を忌避し、輕荷のみを運搬し、且つホーム・シックに罹り易き性質を有するが故に、ロウファエル河流域に於て之等住民の勞力使用を豫期するを得ざるなり。

スワルト谷に於てクラーメル氏探險隊は、貝殼を以つて進路に沿ひて居住する住民を買收し、彼等の荷物の大半を谷より谷に運搬せしめたると共に多くの新鮮なる食料品をも買入れたり。故にナッソウ山脈の探險地帶に於ても土人の援助を得んことを希望するなり。

氣候

現在存する氣候に關する報告は、單に二三回の探險に依り推測せるものなれば、勿論不正確にして年に依

り其の報告中に大なる差異存するが故に甚だ偶然的のものなり。

北岸一帶の地にありては、乾燥期は、五月乃至九月間と見做され居れども、四月及十月は乾燥期として疑はしきものなり。ロウファエル河の流域及び中部ニウギニア地方に於ける氣候は、千九百十四年六月乃至十二月迄は、一日として降雨なき日稀なれども暴風無く、稀に強風を見たるのみなり。

又ドールマン氏の報告に依れば、ロウファエル河流域に滯在中毎朝日の出より九時頃迄及午後四時頃より日沒に亙る間は山脈の上に雲層無く、故に此の時間に於て中央山脈の諸連峰を最も明瞭に觀察するを得れども、其他の時間中に於ては、山脈は多くの場合雲に遮られて望觀するを得ずと。

探險に要する期間及出發時日

今回の探險に要する豫定日數は八箇月と目され居るも、米國探險家は更に時日を延長せんことを希望し居るなり。委員にして問ひ合はせたる有ゆる方面の報告を迅速に受理するを得ると雖も、探險隊は、三月末以前には完全なる出發の準備出來ざるべく猶準備すべき事項多々在するなり。而してダジャック苦力の募集及東部ボルネオよりニウギニアに之が輸送にも長日月を要すべく、三月末に出發するを得る時は之を以て滿足せざるべからざるなり。準備終了後米國人は、直にスラバヤより彼等の水上機を飛ばし乾燥期の初めにパイオニーヤ宿營地に到著するを得るなり。其の旅行豫定は次の如し。

三月末　スラバヤ出發
四月末　パイオニーヤ宿營所著
五月中旬　本部宿營所到著
六月中旬　探險隊宿營所著

六月中旬——十月中旬　未開地踏査（約四箇月）
十月末　パイオニーヤ宿營所歸還
十一月末　爪哇歸還

探險隊の組織

米蘭探險隊の科學調査隊長は勿論ステルリング教授にして、探險地帶に於ては、ヘッドベルグ氏は科學研究の助手として、ベック氏は活動寫眞撮映者として彼に扈從する筈なり。又航空路には操縱士及機關士としてホイト氏及ハーメル氏なり、其の根據地は活動中の探險隊に最も近き第二飛行場に置かざるべからずして、該飛行場には必要なるベンチンの貯藏を爲し置く必要あり。二、三人の歐人研究家の參加は、其に派遣さるゝ警備分遣隊の實力には殆んど何等影響を及ぼさゞるも苦力・漕手・端舟及飛行機の能力及經費に多少影響を及ぼすは必然なり。而して該影響の大小は探險に從事する歐人參加者數に殆んど比例するが故に、此に關しては一定の制限を爲さゞるべからざるなり。前回の經驗に依れば、多數の參加者より成る主腦部の世話はニウギニアの如き地方に於ては非常に困難にして且つ多額の費用を要し、即ち前回の探險隊の主腦部は十八人の歐人より成り勿論其の全部が前線に立ち活動を爲せるに非ざれども百人の苦力を要し、スワルト谷に於ては陸路のみにても百人の強制勞働者を要し、前線に於てはダジャック苦力四十一名及犯罪人十二人を要し猶パプア人をも使用したれども、科學研究班は猶勞力の不足を稱へ、研究材料の小部分のみを搬出し得たるに過ぎざるなり。

活潑に勞働し得る少數の參加者を以つて組織せる探險の方は、ニウギニアに於ては、運輸機關の不足に依

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り同一場所に滯留し居る大團體より成る探險隊より大成功を納むるを得ると共に、其の半分の勞力を以つて活動するを得るなり。

蘭國側よりは、地形學者一人・人種學者一人・生物學者一人、及地質學者一人を隨行せしむる豫定にて、地圖作成に對しては地形學者を是非必要とし、彼には一人乃至二人の地形測量部の土人吏員を同伴せしむる筈なり。

又人種學及生物學にも力を注ぐ豫定にて、身邊の安全、通信線の敷設、看護及其他の全探險隊の世話は之を出來得べくんば蕃地探險に經驗を有するニゥギニア駐屯海軍又は陸軍の有爲なる將校に信頼一任し、警備隊長を兼ねる該將校の任務は、本探險の成功及不成功を左右するが如き重大なるものにして、其の根據地は空路及陸路の本部宿營地を以つて最適の地と思考せらるゝなり。又醫師も其の必要を感ぜらるゝなり。

中東部ボルネオ探險には醫師を同行せざりしが、重病人の返送は、テーレン(Telen)河に依り短時間にて到著し得るテンガロン(Tenggarong)に爲したるが土人の襲擊等全く無かりしなり。ニゥギニアに於ては事情全く異り、歐人調査隊に對しては醫師を同行せずとも充分に之を敢行し得ると察せらるれども、苦力及兵士の重傷病者に何週間も醫師の手當を受けしめざるは甚だ慘酷にして且無責任の感あるなり。故に最も恐る可き病氣卽ちマラリヤ・赤痢・脚氣病等の蔓延を未然に防がんが爲必要なる豫防藥を使用する筈なり。之に付ては醫師の不撓不屈の奮鬪を要し、前回のニゥギニア探險に當り隊員全部が其の健康狀態を完全に維持するを得たるも全く之に負ふところなり。本部宿營地は醫師の駐在所としても亦好適の地なり。

内務部官吏を土人と接觸せしめんが爲本探險隊に同行せしむるは、蘭國側探險者の米國探險隊に同行する限り、當分差したる必要無きものゝ如く思はれ、徒らに不必要なる人員の擴張を見るのみなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陸軍警備隊

一行の警備は四十人の兵士にて充分なるべく、飛行機にて輸送するには尠なき程好都合なるが故に次の如く割當つるを適當なりと思考せらるゝなり。卽ち探險員に十人を附隨せしめ、十人は常に輸送の先導者として本部宿營地に駐屯せしめ、他の二十人は本宿營地の警備及病人の陸路輸送準備隊としてパイオニーア宿營地に駐屯せしむることなり。

又警備隊は、出來得る限り傷病兵士を制限せんが爲め健康なる精鋭隊を爪哇の憲兵及アンボン兵中より選拔せられんことを希望する次第なり。

苦力

重要なる苦力問題に關しては、愼重考慮すると共にドールマン氏とも詳細なる協議を遂げ、七人の歐人探險隊員の組織及其他の事情に鑑みるに、探險にはマラリヤ病者又は脚氣病者に非ざる人員の選定を條件として四十人のダジャック人及百四十人の强制勞働者を以つて充分なるべし。强制勞働者百十人及ダジャック人四十人を本部宿營所に、三十人の四人をリザーブとしてパイオニーア宿營所に駐在せしめ、本部宿營地より步行日數六日乃至八日を要する地點に在る探險員宿營所に居る歐人探險員五名・土人マントリー三名・土人小使二名・土人兵士十名・ダジャック苦力十名の一團に、間斷なく食料品を供給し、暫時隣接地帶の調査及最後に二、三回の遠距離調査を爲し得るに必要なる日々使用する以外の食料を輸送せしむる筈なり。探險隊員宿營所を山中より深く置くには、非常に多數の輸送者を增員せざるを得ず、且つ是くするに非ざれば陸路を延長するを得ず、之が爲自然第二飛行機を必要とするなり。飛行機の最大飛行能力は二萬哩にして其の後機體の

手入を要し約三週間を要するなり。パイオニーア宿營所――本部宿營所間のみに使用するときは、往復八十五回の飛行可能にして、歐人探險隊員七名・土人マントリ三名・兵士二十名・ダジャック人四十名・强制勞働者百十名・合計百八十名の全員を飛行機にて輸送する時は、少なくも三十回の飛行を要し、又本探險隊には一日平均二百五十基瓦の食料品必要にして全探險期間に對しては三十七噸半を輸送せざるべからずして、一回に九百基瓦を輸送せりと計算するも總計四十二回の飛行を必要とするなり。故に、荷物輸送並に偵察飛行には殘すところ十三回あるのみなり。米國飛行機にして、探險期間たる二、三箇月間有ゆる荷物及食料品をパイオニーア宿營所より第二飛行場に輸送したりとする時は、陸路に於ては常に事業を繼續するを得、飛行機は見事に其の義務を完了すること丶なり、六月に至り解體し、偵察飛行並に歸途の用意を爲すを得るなり。又空中より小さきパラシュットにて食料品、一例を示せば米罐、日乾肉罐及乾魚(莚及籐にて包裝せるもの)等を探險地帶の探險員宿營所附近に落下するを得るときは、陸路荷役人を非常に減少し得るなり。而して投下されたる包の狀態又は目的とする場所に落下するや否やを試驗する必要あるなり。

ダジャック苦力は必要缺くべからざるものにして端舟建造には特種技能を有し六人のダジャック人は大形端舟を一週間にして建造し又宿營所建造並に運搬力に最も有力なる助となるものなり。强制勞働者は、自己の必要品及四日間の食料品外に十八基瓦乃至二十基瓦を以つて最高となし居れども、ダジャック人は優に三十基瓦乃至三十五基瓦の運搬力を有し、且つ殊に急流の漕手として獨特の技術を有し居るなり。然れども今回の探險に於ては、端舟は激流地に立入らざる豫定なるが故に必要と決定し居らざれども、常に必要に應じ之に著手出來得る準備を爲すを要し、必要なる場合彼等の助力に依り河に沿ひ下山せざるべからざるが故に初回の飛行に同行せざるべからざるなり。而して探險隊宿營所の最後の大踏査には出來得る限り好結果を得ん

が爲め全ダジャック人を同伴せん豫定なり。募集は大至急東ボルネオに於て爲さゞるべからざるべく、アポカヤン(Apo-kojan)よりケンヤ(Kenjahs)族の募集は手紙にても二箇月を要するなり。

底地ブーロンガン(Boeloengan)又は底地マハカム(Mahakam)より乘船せしむる豫定なれども、殊に三月は彼等の收穫期なるが故に其れ以前に內務當局の援助を得て爲さゞるべからざるなり。募集人員多からず該地方より二十人を得る時は之にて滿足せざるべからざるなり。前回のニウギニア探險に於ける彼等の給料は月額四十盾頭目は百盾にして、又デッキパッセンヂャーとしてブーロンガンよりサマリンダ(Samarinda)マカッサー(Makasser)アンボン(Ambon)を經てマヌクワリ(Manoekwari)迄の船賃は六十八盾なりしなり。

汽船連絡

ボルネオ・マヌクワリ間の汽船の連絡は次の如し。

ブーロンガン	同上
三月十八日發	四月十五日發
サマリンダ	同上
三月二十四日著	四月二十一日著
三月二十六日發	四月二十三日發
マカッサー	同上
三月二十九日著	四月二十六日著
三月三十日發	四月二十七日發
アンボン	同上
四月二日著	四月三十日著
四月二日發	四月三十日發
タルナテ經由マヌクワリ	タルナテ經由マヌクワリ
四月八日著	五月六日著

マカッサーニ於ける爪哇との連絡は左の如し。

スラバヤ	同上
三月二十五日發	四月二十二日發
マカッサー	同上
三月二十七日著	四月二十四日著
三月三十日發	四月二十七日發

通信線の概略は左の如し。

アンボン
K・P・M汽船　官有汽船
マヌクワリ
地方汽船　官有汽船
ピオニーア宿營所
第一飛行場（兵士二十名）及
倉庫宿營所（強制勞働者三十名）
無線電信局（無線電信係一名）
航空路
（スプリッツィング宿營所）
（第二飛行場）　操縦士兼機關士二名

端舟線（？）
（本部宿營所）　通信隊長
　　　　　　　　醫師
（第二飛行場）
一　ダシャック人三十名
二　兵士十名
三　強制勞働者百十名
四
五
陸路線
探險隊員宿營所　探險員五名
　　　　　　　　マントリー五名及小使
　　　　　　　　兵士十名
　　　　　　　　ダシャック人十名

無線電信設備

精巧なる無線電信設備の大利便を得る必要無きも、前回のニウギニア探險隊に使用せる三個を以ては、稍

不足なるが故に、發信・受信を爲し得る小無線電信局をパイオニーア宿營所に設立せんことを希望するなり。

豫備飛行機

必要なる乘客並に其他の必要なる貨物の輸送に豫備飛行機を携帶するの有利なるは言を俟たざる事實なり。若し携帶する場合には和蘭の飛行機並に二人の熟練なる蘭國水上飛行士を操縱士として參列せしむるときは、米國飛行機の任務を非常に輕減するを得れども、安全を期せんが爲との見地よりしては差したる利益無きなり。第一に航空路はマンベラモ河に沿ひ居るが故に何時にても安全を期せんが爲不時著陸するを得、且つ食糧品も各飛行毎に充分のストックを積載するを得、殊にマンベラモ及ロウフアエル河に沿ふ飛行に於ては何時にても土民の援助を仰ぐを得るなり。又飛行機にして本部宿營所に歸還せざる時は、直にダジャック人を乘せたる端舟を救助に派するを得るなり。スピリッツイング宿營所よりパイオニーア宿營所迄、本端舟は溯航するに三、四週を要する行程を二、三日にして流下するを得るが故に本救助隊の逸早く飛行機及び乘組員を發見し得るものと見て差支なきなり。

山脈の偵察飛行には、必要なる食料品、武器及二、三人のダジャック人を同乘せしむるを良しとし、喪失等は事實上無きものと見て差支なきなり。

ロウフアエル及フアン・デル・ウイリッヘン河よりは明らかに中央山脈を眺むるを得——約百基米——晴天の場合に於ては約一時間にして往復飛行を爲すを得るなり。

モーターに故障を生じたる場合森林中に不時著陸せざるべからざる場合に於ては、戰時に於て經驗せるが

如く陸上機の場合に於ては、生命を全ふせんが爲樹木の上に降下するを得る機會多く存するなり。

我が最も熟練なる海軍飛行士たる海軍少佐ケ・ドールマン(K. Doorman)氏は水上機なる場合に於て浮艇は樹枝に依り破壞せられ機體逆立となり、搭乘者の墜死せんことを憂ひ居り、如何に小さくとも河流上に降下するの安全にして、生命を全ふする機會多しと說き、又豫備飛行機は墜落せる飛行機發見に使用し得るなり。其の機會少なき時は、援助すること能はざれども(是る場合に於ては煙信號を爲すを可とす)該場所の上空を圓週を描きて飛行し、墜落者は携帶せる食料品及ダジャック人の協力を得てマンベラモ河に到達する樣努力せざるべからず。吾が見地よりしては安全方法としての豫備機は差したる效果を齎らすものには非ざれども、第二飛行場に無線電信機を運搬すると共に機體上にも其の機械を据付くるを得るなり。二臺の飛行機使用の缺點は、不幸を倍加するの慮あるにありて、米國飛行機のみにて輸送任務を完了し能はざる場合に於てのみ豫備機は其の價値を發揮するを得るなり。

問題は、豫備機携帶に依りて自然起るべき多額の經費の增加を如何に割當つるやにして、之が解決に二つの方法存するなり。即ち探險不成功に終り、パイオニーア宿營所より歸還せざるべからざる場合に於ては、飛行機を使用せずして河流に沿ひ探險を繼續し、後より直に强力ならしめんが爲出來得べくんば蘭國機を送るにあり。

本探險の成功、不成功は總て飛行機に依り左右せられ、長い間喋々され居る蕃地の飛行機探險は、此處に初めて試みられることゝなりたり。

米國飛行機の短所は豫備の浮艇を有せざるにありて、米國飛行機にして木製なる時は、スラバヤに於て其の豫備を補充又は建造するを得るなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

探險先發隊

探險先發隊は不必要の如く思考さるゝなり。即ち政府汽船にして、初め探險隊の半分をパイオニーヤ宿營所に運搬し、引續き此の地に碇泊し他の半分をマヌクワリより轉送する時は、其の間に於て古き宿營所を完全に修理し當座の間に合ふバラックを設立し得ればなり。

偵察旅行

最も重要なる事業は飛行機に一任し、其の事業と稱するは、即ち偵察と同時に、中央山脈の北方に沿ひスワルト谷に亘る一帶の殆んど前人未踏の地と稱するを得る山脈地帶の空中寫眞を撮影するにあるなり。本偵察に依りて該土地の地理的狀態の確實なる概念を得、又數回の飛行を以つて大探險隊の爲し得る以上の大效果を得るならんと豫想せらるゝなり。米國探險家は精巧なる寫眞機を有すと雖も、一方に於て例ひ是る機械を据付くる機械體の設備整へ居るとするも、空中撮影に必要なる特種空中寫眞機を有せず、從つて出來得べくんば陸軍航空隊より斯る機械の借用を希望し居るなり。

歸路

飛行機荷卸の爲め最初の數箇月ダジャック苦力は端舟を建造せざるべからざるべし、又大部分の苦力及軍隊は一隻の端舟を以つて順次に河流を航下輸送するを得るなり。日夜（月光に依り）の別なく河流を下るときは、ドールマン氏の計算に依る距離は左の如し。

スプリッツィング宿營所——バタビヤ宿營所…………二日間

バタビヤ宿營所——パイオニーア宿營所……四時間

晝間のみ航下する時は、スプリッツイング宿營所パイオニーア宿營所間の日程は四日間なり。

經費の割當

經費の割當は大要次の如く割當つるを得るなり。即ちダジャック苦力二十人總ての費用は米國側に於て、他の二十人の總ての費用は蘭國側に於て負擔し、參加に依り米國側竝に蘭國側の要したる總ての費用は各自別々に負擔するにあり。

政府にして請求せる警備隊・强制勞働者・政府汽船及其他の請求せる援助を、印度委員に生命の保護・使役及探險隊の全部又は其の一部の輸送の爲に提供したる時は、ステルリング氏はパイオニーア宿營所より探險地に至る全探險隊所屬員の飛行機輸送を爲し、其の費用を負擔するものとするなり。

政府は、探險者として歐人官吏四名及びマントリ三名を委員に囑託せしむることに依り探險を援助せんことを要求さるゝべく、其他警備隊竝に强制勞働者の輸送・食料・及治療・看護等の費用をも自ら負擔する樣要求せられ居るなり。而して委員にしてダジャック苦力(輸送・給料・食料等)、四人の歐人及び三人の土人探險隊員の支度費及び材料蒐集器具費等合計一萬九千盾を自ら負擔するを得たる時は、敢て政府に補助金の下付を請求する必要なきなり。

(本文は二月三日付スラバヤ・ハンデルスブラッド紙所載記事を譯出せるものなり)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

大日本米穀會第十九回大會

大日本米穀會第十九回大會は、四月十三日から三日間臺北市に開かれた。志村同會々頭を始め北は北海道から南は九州に至る全國から多數會員の來會あり、加ふるに商工・農林兩大臣代理、伊澤總督、後藤長官以下總督府の關係各部局課長、各州知事竝に關係職員、移出商組合員、各州生產者代表等來賓百四十餘名列席し近來稀に見る大盛況であつた。而かも同會討議の議案は何れも我が食糧政策上緊切なる重大案件であり、殊に我が臺灣產米の取引改善其他の問題があつて、極めて熱心な態度で審議された。

因に同大會で可決された議案は次の五件である。

一、臺灣米の包裝を叺入とし正味百斤入に改正方臺灣總督府に建議の件

一、政府買上米の範圍を擴張せられんことを主務省へ要望の件

一、麥食の普及奬勵方の儀に付政府に建議の件

一、臺灣產米の改良竝に引取の圓滑を圖る爲めに檢查を嚴格に勵行せらるゝ樣臺灣總督府へ建議の件

一、臺灣產內地種米の定期米受渡代用實現促進の件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣氣象年報（大正十四年度）

臺北測候所

大正十四年臺灣氣象概況

本年冬季に於ては季節風概して平年より弱く、又九月中旬以降は乾燥勝ちにして中南部地方は乏雨狀態を示し旱魃を訴へ、尙ほ年末に際し高壓快晴の爲め氣温の低落を示し各地に渉り降霜を報せるあり。夏季に於ては七月乃至九月に於て本島を襲ひし颱風四回ありて孰れも災害を釀せり爰に各所觀測の大要を述ぶれば左の如し。

氣壓　平均は恒春の七五八粍九乃至基隆の七六〇粍五の間にありて平年と大差なく、最高は十二月三十日基隆に於て七七四粍一を、最低は七月八日臺東に於て颱風中心の通過に接近せしとき七二三粍一を示せり。

氣温　平均は彭佳嶼の二〇度五（華氏六八度九）乃至恒春の二四度〇（華氏七五度二）の間に在て、平年より〇度三乃至〇度五の低度なり。最高の極は八月十六日臺北に於て三六度六（華氏九七度八）に昇り、最低の極は十二月二十二日臺北及臺中に於て一度八（華氏三五度二）に降れり。年中華氏九〇度以上に昇度せしは臺中最も多く一〇九日を數へ、華氏五〇度以下に降りし日も亦臺中に多く三十一日に及べり。

濕度　平均は恒春の七五％乃至彭佳嶼の八三％の間に在て平年より基隆の四％寡濕を其差の大なるものとす、最乾極は十二月二十二日臺南に於ける二八％とす。

風　平均方向は花蓮港に於て西北西、臺中に於て西偏北風他は北乃至東北東の間を占め、其速度は臺中の一米四を最小とし、彭佳嶼の七米三を最大とす。平年より彭佳嶼は特に一米〇强きも其他は何れも弱し、年中の最强速度は九月十五日彭佳嶼に於て暴風襲來に際し三二米一を測れり。

雨　全島の平均量は二二一六粍にして平年量より二〇〇粍少なく、島内最も多量なりしは火燒寮の六八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○七粍又之に亞では能高、八通關、浸水營、及阿里山の山岳地方にして四〇〇〇粍を超過せり。又最も少量なりしは澎湖列島にして漁翁島の六二四粍とす。之を平年に比するに本島の北東部に多く、殊に宜蘭、花蓮港地方は三〇〇粍を超過し、中南部に寡なく、殊に南端に於ては三〇〇粍以上不足せり。尙ほ降雨日數は大窩の二八八日を最多とし、彰化の五四日を最少とし一般に例年より少數を示せり。

日　照　總時數は基隆の一一七九時(二七%)を最少とし、臺南の二五七三時(五八%)を最多とす。之を平年に比するに大差なし。

初　霜	十月十三日	八通關に於て
終　霜	三月十二日	三角峯に於て
初　雪	十二月十九日	松嶺に於て
終　雪	二月二十五日	能高、八通關に於て
結氷の初め	十月十四日	能高、松嶺に於て
結氷の終り	四月二十一日	三角峯に於て
高峯初雪觀望	十二月一日	次高山、大雪山に於て
同　終雪觀望	四月十六日	次高山、䓫萊主山に於て

大正十四年暴風概要

本年中、北は九州沖繩より南は呂宋方面に至る、本島近海に顯はれたる颱風は七回にして、之を前年の十一回に比すれば四回少く、既往八箇年の平均回數に比すれば三回の少數なりしが、本島に被害を與へたるもの四回あり、其内七月上旬中部を横斷せるもの及九月中旬北部を通過せるもの丶二回は何れも損害尠からず、恐れ多くも　兩陛下より御救恤金の御下賜を辱ふせり。左に中央氣象臺其他の報告を參照し各颱風の進路及其他の概況を示す。

颱風の經過概要

第一　七月自七日至十日

呂宋の東方より來り北々西に進み八日臺東附近より本島に上陸し多大の損害を與へ臺灣海峽を經て支那大陸に入り北東に轉向し黃海に出て朝鮮南部に豪雨を起せしが木浦附近に於て消滅す
本島內損害尠からず御救恤金千五百圓御下賜
最低氣壓　七二三粍一　八日午後九時三十分臺東
最強風速度　南々東三五七米/秒　九日正午基隆

第二　七月自十二日至十七日

呂宋の東方に現はれ北西に進み同島の北端を掠め十四日臺灣海峽の南部を經て支那大陸に入り北東に轉じ黃海の北部に出て消滅す
本島は中心に甚しく接近せざりし爲め被害僅少に止まりしが朝鮮地方に於ては未曾有の大水害を被むれり
最低氣壓　七四四粍八　十四日午前一時、三時澎湖
最強風速度　南東一九、七米/秒　十四日午後六時澎湖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三　七月自廿二日至廿五日

小笠原島の北東より西に進み紀州四國九州の沖を通過し西北西に轉向し青島の南を經て支那大陸に入る九州地方被害稍多し

最低氣壓　七四三、二粍六　二十四日午前十一時正午鹿兒島　最強風速度　東 東北東 二三、三米/秒（二十三日午後九時 二十四日午前二時）室戸奇

第四　八月自廿六日至卅一日

稀に見る猛烈なる颱風にして石垣島南東方遙かの海上より來り同島を通過し西北西に進み二十七日彭佳嶼附近を經て福州附近より支那大陸に入り北東に轉向し朝鮮北部方面を横斷し日本海に出で北海道を通過し千島方面に去る日本海に入りて北東進し、接近せざりしに爲め被害は中心進路に甚しく石垣島は比較的輕微になりしが同地燈臺に於て被害甚しく彭佳嶼に於ても記最低氣壓の被害夥しく風力計も亦破損して左記氣壓は本島に於ける記録にして本邦氣象觀測開始以來大正九年九月三日石垣島の六九八耗五に亞ぐ所なり

最低氣壓　七三三耗五（二十七日午前三時十分石垣島）
七三三耗五　同　正午　彭佳嶼

最強風速度　彭佳嶼風力計破損不明
南々西四二、〇米/秒　二十七日午前六時二十分石垣島

第五　九月自三日至九日

ラサ島の南西を經て北西に進み來り五日沖繩を通過し濟州島の南部より北東に轉向し朝鮮の南部を通過し日本海より露領沿海州の海岸に沿ひ樺太の南部を經てオホツク海に去る經路附近の各地被害多大なり

最低氣壓　七一六耗二　北三一、九米/秒　五日午前一時四十分那覇

最強風速度　四日午後七時四十分那覇

呂宋北東部海上に現はれ漸次發達して北西に進み馬石島附近より北々西に進行して十五日朝花蓮港の北方より本島に上陸し北部地方を通過し本島北方の海上に出で北東に轉向し九州を横斷し瀨戸内海北陸、奥羽を經

第六　九月自十四日至十八日

て千島方面に去る此颱風は甚しく強烈なるものにあらず風力は比較的猛烈には至らざりしが北部特に宜蘭地方は降雨甚だ多量にして多大の風水害を被むり御救恤金千圓下賜　猪崎汽船會社丹島丸（千三百三十噸）は澎湖近海に於て沈沒乘込員三十三名行衛不明

最低氣壓　七三五耗八　十五日午前七時花蓮港

最強風速度　北二三、一米/秒　十五日午前十時澎湖
南一五、九米/秒　十六日午前二時基隆

第七　自十月三十日至十一月三日

二十七日既にヤップ島の北東方に顯はれ三十日呂宋東方の海上に來り北西に向ひしが漸次北東方に轉向し、一日沖繩の南東方に迫り同地に多少の被害を出し依然北東に進み八丈島の南方を經て東方洋上に去れり

最低氣壓　七三七耗五　一日午前九時四十分那覇

最強風速度　北々西三〇、六米/秒　同日午前十一時四十分
同　午後一時二十分

暴風被害大要

本年中島内に暴風の爲め被害を生じたるは左の四回にして當時の暴風報告中其詳細を掲げたれども爰に死傷者家屋損害の總數を拔萃す。

月日		死	負傷	行衛不明	家屋 全壞	半壞	大破	小破	流失
七月自八日至十日	全島	八	四	五	六九七	三三三	二七一	三九九	八〇
七月自十二日至十七日	南部	一	一	一	八	五	九	二五	一
八月二十六日 二十七日	北部	五	一	一	八三	一	九一		一
九月自十四日至十六日	北部	三	九	一〇	四三〇	二八五	四五六	六九三	一三三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此外國崎汽船會社吉島丸澎湖近海に於て沈沒し乘込員二十三名行衛不明

警報及警報氣象電報

本年中島内に警報を發したる暴風は、七月二回、八月一回、九月一回合計四回に過ぎざれども何れも前掲の如く多少の被害を生ずるに至れり。而して此等暴風中當所より發したる警報氣象電報を細別すれば、沿海警報八回、海陸警報三回、暴風雨警報一回、追警報一一回、解警報四回總計二十七回なり。之を前年に比すれば五回少きも既往八箇年の平均に比すれば一回の多數なりとす。

尚右の外近海航行中の船舶に對し基隆無線電信局を通じ發信せる放送警報電報は四十一回にして之を月別すれば左の如し。

一月	七月	八月	九月	十一月	計
一回	九回	六回	二三回	二回	四一回

大正十四年臺灣地震報告

本島に於て觀測せる本年中の地震回數は九百五十二回を算し、内人體に感覺ありしもの七百四十回、同感覺なきもの二百十二回にして平年より四百二十一回多く、昨年より四百六十回多く、即ち約二倍の多數とす。斯の如く著しく本年の昨年より多かりしは、本年六月十四日花蓮港沖に强震ありし以來同月中引續き多數の餘震ありしを以てなり。之が毎月の地方別回數を記すれば左の如し。

有感覺地震回數

地方別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	%	平年 回數	平年 %
北部（臺北、新竹兩州）	四	一〇	六	六	一	—	四	六	三	六	四	一	六一	八	一〇七	三一
中部（臺中州）	—	—	—	—	一	—	—	一	—	—	—	—	二	〇	三五	一〇
南部（臺南、高雄兩州恆春郡を除く）	三	三	三	四	一	—	四	三	二	三	三	六	三五	五	五三	一五
南端（恆春郡）	一	一	—	二五	四	—	—	一	二	—	—	一	三五	五	六	二
臺東（臺東廳）	五	—	五	三	一	一	一	一	四	三	四	一	二九	四	四三	一三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	%	平年回數	平年%
花蓮港　花蓮港廳	三	八	—	四	二六	五〇〇	一八	一〇	五	二	—	二	五七八	七九	九八	二九
其の他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	〇
計	一六	三二	一四	四二	三四	五〇一	二七	一二	一六	一四	一一	一一	七三〇	一〇〇	三四三	一〇〇

無感覺地震回數

地方別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計	%	平年回數	平年%
北部　臺北、新竹兩州	三	一〇	二	一	—	二	一	—	一	二	—	三	二五	一二	五七	三〇
中部　臺中州	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	〇	三	二
南部　臺南、高雄兩州恒春郡を除く	—	—	—	—	一	二	—	一	一	—	—	—	五	二	六	三
南端　恒春郡	—	—	—	九	四	一	—	—	—	一	—	—	一五	七	六	三
臺東　臺東廳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	〇	八	四
花蓮港　花蓮港廳	三	四	五	三	三〇	六〇	一三	一四	一一	八	四	八	一六三	七七	一〇三	五五
其の他	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—	—	二	一	五	三
計	七	一四	七	一四	三五	六六	一四	一五	一三	一一	五	一一	二一二	一〇〇	一八八	一〇〇
有感無感合計	二三	四六	二一	五六	六九	五六七	四一	二七	二九	二五	一六	二二	九四二	—	—	—

備考　前表中「其ノ他」トアルハ震源ノ本島以外ニ屬スルモノ或ハ判明セザルモノトス

右の外極微地震の地震計に感じたるもの四百七十六回に達せり之を月別にすれば左の如し。

月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
極微地震	一二	二七	一四	三五	八三	二二二	一一	一八	一五	一九	五	一五	四七六

顯著地震　としては弱震(弱き方)以上にして其の數五十九回に達せり。其の内强震の强き方二回、同弱き方二回あり。即ち四月十七日午前四時恒春を去る南西二十三浬の海底と、六月十四日午後一時花蓮港沖とに發したる地震は强震の强き方にして恒春地方及花蓮港には輕微なる被害ありたり。六月十四日午前八時、同日午後三時の花蓮港沖に於けるものは强震の弱き方なり、右の内恒春沖の地震は可なり大なる地震にして遠く北海道に於ける測候所の地震計に感じたり。花蓮港に於けるものは其の强震區城甚だ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

數少にして同地附近に止まり、微震を感じたる區域も嘉義以北に限られたり。前記地方別に示すが如く他地方にありては何れも地震回數は平年以下なるに南端地方及花蓮港地方のみは擢でゝ多く、共に平年の殆んど六倍に達せしは右强震後引續きて餘震の頻發せしに依る。其他は弱震(强き方)二十二回、同(弱き方三十三回にして例年に比すれば二倍乃至三倍の多數なりき。

地租附加税徵收成績（大正十四年度後期分）

內務局地方課

州別	調定濟額	收入濟額 納期限後	收入濟額 調定濟額ニ對スル步合	收入濟額 前年度同期ニ於ケル步合	收入濟額 步合增△減	收入濟額 納期限後	收入未濟額
臺北州	一九八、九二三	一九二、五一八	九六七	九三七	〇三〇	四、一一二	二、三五三
新竹州	一八一、六四一	一七七、七五八	九七八	九七〇	〇〇八	二、二二三	一、六七〇
臺中州	二七〇、七六七	二六四、七八三	九七八	九七〇	〇〇八	一、九九五	三、九九〇
臺南州	三三〇、二〇六	三二七、七〇六	九八九	九八四	〇〇五	一、五九四	九〇六
高雄州	一七一、五三三	一六九、六一三	九八八	九七九	〇〇九	一、二三五	六七五
計	一、〇五三、一〇九	一、〇三二、三七六	九八〇	九六八	〇一二	一一、一三九	九、五九四

備考　一、本表ハ定期賦課ニ係ルモノヲ揭記セルモノナリ

二、本表ハ納期限後十日目ノ現計ヲ揭記セルモノナリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣金融統計（大正十五年二月）

財務局金融課

□銀行預金貸出金殘高

大正十五年二月末島內各銀行預金貸出金殘高左ノ如シ

種類	金額	種類	金額
公金預金	四、七九七、二七七円	預金手形	二、二〇六、九五五円
當座預金	一三、〇八三、八九一	日本銀行預金	三、五五一、五五四
特別當座預金	四三、二七五、〇〇七	貯蓄預金	五、一二四、八五四
通知預金	二、九一二、一二九	合計	一〇四、六三五、四八三
定期預金	二六、〇一七、二二三	前月	一〇三、六二四、四二五
別段預金	四、六六六、六〇三	前年同月	九四、七七七、五三九

種類	金額	種類	金額
證書貸付	七〇、六九三、七四五円	買入外國爲替	一、七五八、四六四円
手形貸付	四七、六七一、一六三	日本勸業銀行貸付	四四、五二一、八九二
當座貸越	三〇、〇四二、五九七	貯蓄銀行貸付	一、一〇四、五三七
割引手形	一〇五、三四六、五五一	合計	二九二、六八〇、九一二
荷付爲替手形	一七、七三九、三五九	前月	二九三、二四四、四六五
利付爲替手形	八〇二、六〇四	前年同月	二九二、二四七、〇一三

備考　日本勸業銀行貸付ニハ臺灣銀行取扱ノ代理貸付ヲ含ム

之ヲ地方別ニ示セバ左ノ如シ

州廳別	預金	貸出金	州廳別	預金	貸出金
臺北	五七、七一九、七三七円	一七八、七四四、六八九円	高雄	七、一二六、六一五円	二一、〇四七、六四九円
新竹	五、九八一、一六七	一八、三四三、九〇〇	臺東	三九一、七三六	二、六二九、六二四
臺中	一六、五九四、〇九六	三三、三二三、四九八	花蓮港	一、〇九五、五三九	一、〇八七、七六六
臺南	一五、七一六、五九三	三七、六〇四、七八六	合計	一〇四、六三五、四八三	二九二、六八〇、九一二

□銀行別重要物産放資殘高（二月）

銀行名	大正十五年二月末 金額	大正十五年二月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年二月末 金額	前年二月末 千分比
臺灣銀行	円 六五、三二九、七九〇	七九三	円 六三、九四九、二二七	七八五	円 六三、〇一〇、八三九	七九二
商工銀行	五、四三八、五七九	六七	五、六〇六、九八一	六九	四、七三三、〇六〇	六一
華南銀行	三、九八三、〇二〇	四八	五、〇二二、六五六	六二	五、九三七、六九六	七四
彰化銀行	四、二二一、五八二	五一	三、九五五、一五五	四八	三、三三八、四三二	四二
三十四銀行	三、二五三、一九四	四一	二、九八二、五六二	三六	二、五一三、二五六	三二
合計	八二、二二六、一六五	一、〇〇〇	八一、五〇六、五七一	一、〇〇〇	七九、五一三、二八三	一、〇〇〇

□重要物産別銀行放資殘高（二月）

品名	大正十五年二月末 金額	大正十五年二月末 千分比	前月末 金額	前月末 千分比	前年二月末 金額	前年二月末 千分比
砂糖	円 五七、九九六、五〇七	七〇五	円 五五、五五九、八七九	六八二	円 四八、四六六、六八九	六一〇
米	一三、七七三、四一九	一六七	一五、三三三、八九二	一八八	一八、七二〇、一〇八	二三五
茶	二、二七五、五五三	二八	二、六二七、九一八	三二	二、一七三、六二四	二七
樟腦	八八九、六〇二	一一	七〇二、六三四	九	一、七七八、二八五	二二
金塊	五四〇、九八四	七	五六〇、九八四	七	四三九、九二四	六
酒精	二五三、二二〇	三	二三二、八三五	三	二五二、六五七	三
石炭	六、四八六、八九〇	七九	六、四九八、四二九	七九	七、六八〇、九九六	九七
合計	八二、二二六、一六五	一、〇〇〇	八一、五〇六、五七一	一、〇〇〇	七九、五一三、二八三	一、〇〇〇

□銀行別重要物産放資總額及累計（二月）

銀行名	大正十五年二月中	前月中	前年二月中	大正十五年一月迄累計	前年一月迄累計
臺灣銀行	円 二六、六五二、八六〇	円 二六、一四三、一五九	円 二七、三六七、八四八	円 五三、七九六、〇一九	円 五一、七〇六、三二〇
商工銀行	一、七四二、六一四	一、八三八、七三九	一、三六〇、七八八	三、五八〇、三五三	二、六一七、六六五
華南銀行	三、七三二、三〇二	六、二五四、六六八	四、九一九、六二九	九、九八六、九七〇	一、四五九、七三四
彰化銀行	一、六六七、九三六	二、五四九、一一四	二、四八六、八〇七	四、二一七、〇五〇	四、六七八、三二七
三十四銀行	二、〇九六、八七八	一、九一五、六一七	一、八〇三、二七〇	四、〇一三、四九五	五、八六〇、三二三
合計	三五、八九一、五九〇	三八、七〇一、二九七	三七、八三八、三四二	七四、五九二、八八七	七六、三八六、七五九

□重要物産別銀行放資總額及累計（二月）

品名	大正十五年一月中	前月中	前年二月中	大正十五年一月迄累計	前年一月迄累計
砂糖	円 二二、四四七、六七九	円 二一、七六八、五三七	円 二三、四九九、二四九	円 四四、一七六、三〇六	円 四一、八六五、三四五
米	八、七二八、四八二	一三、八五三、八八六	一〇、三三六、七〇八	二一、五八二、三六八	二六、三四一、五三三
茶	六七三、六三四	六五一、九九二	八四一、四六六	一、三三五、六三六	一、八六九、七〇八
樟腦	三六五、一一八	八三五、五〇一	三九二、九二八	一、三〇〇、六一九	一、三八四、一四四
金塊	五三三、一八四	四八五、六八四	二七八、三二七	一、〇一八、八六八	五四八、一一四
酒精	一九三、七八三	一一八、四三七	三三九、九八〇	三一三、三一〇	三〇七、一六五
石炭	二、九四九、七一〇	二、〇二七、三八〇	二、二五九、七八四	四、九七六、九九〇	四、一七〇、七六一
合計	三五、八九一、五九〇	三八、七〇一、二九七	三七、八三八、三四二	七四、五九二、八八七	七六、三八六、七五九

□市街地信用組合事業一覽表（大正十五年二月末日現在）

（其の一）

種別 州廳別	組合數	組合員數	出資口數	未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
臺北	九	五,四四〇	四六,〇四六	九一,〇四五円	四,八七八,九七三円	一三〇,四五四円	六八一,三五六円	一,八八〇,一九一円	四,六八七円	一四二,五三五円	—円	五一,一二九円	七,八六〇,二二九円
新竹	一	六四七	六,八四五	三,〇一三	六〇七,七二三	一三,九六〇	九七七	五五〇,七〇〇	一,〇三五	—	三二,一七五	二二,三二九	一,二二一,八二三
臺中	二	一,一〇四	五,〇〇五	一,四九五	六五一,五四〇	一七,〇三八	一,一六六	四三一,四二五	二,三八五	—	一七,三〇四	二,六二三	一,二二四,九七九
臺南	五	二,四七五	一三,七八二	八七,二六二	一,七三六,九九八	五五,四一四	六五,六六一	七五二,七三六	二,八八九	一五一,三七一	四一,七四八	九,二〇八	二,八九三,二九〇
高雄	一	二六八	一,一七五	六六五	二九一,九一〇	三二,六七八	二二五	四二〇,五六八	—	—	一四,一一〇	三九九	三八二,〇四六
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九七	四,六〇五	—	二九三,四〇三	九九八	—	一九,七一八	一,四四九	三八,九四四	—	八二四	三五五,三四七
合計	一九	一〇,一三一	七七,四五八	一八三,四八〇	八,四五〇,五三三	二五〇,五四四	七四九,六六六	三,六七六,八三〇	一二,四四七	三三二,八五〇	一〇五,三三九	六六,四二三	一三,八六七,六六六
前月末合計	一九	一〇,〇九七	七八,〇六八	一八七,〇〇四	八,四三五,二三六	二五五,六八三	七四二,三三九	三,六一四,四六四	一三,一六一	三五一,八一三	一〇三,〇一六	七七,三〇三	一三,七八〇,〇三四
增△減	—	三四	△六一〇	△三,五二四	一五,二八五	△五,一三八	六,九二七	六二,三六六	△七一三	△一八,九六四	二,三二二	△一〇,八七九	四七,六六二

（其の二）

種別 州廳別	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一,四五七,四六〇円	五,三四〇,四五三円	五四五,五二九円	一九一,八二二円	二二,六九〇円	七二,〇五六円	三,三一〇円	五六,三一四円	二一〇,二九一円	七,八六〇,二二九円
新竹	一七一,二二五	八五五,二一〇	一二一,三一八	六〇,四六八	一,二一〇	—	一,〇一三	三三〇	一三,二三五	一,二二一,八二三

臺中	二四〇,二五〇	六七〇,四五五	一〇八,六九五	六〇,四〇八	五,四二三	—	一五,七六七	—	一四,一七一	一,一三四,九七九
臺南	六八九,一〇〇	一,七七七,三八六	二五四,二六二	四一,九七二	六,六九四	二九,六二六	三〇,〇四六	二二,五一〇	四一,六九二	二,八九三,二九〇
高雄	三八,七五〇	二七三,八三二	四八,二七三	三二	六七六	—	二〇〇	—	—	三八二,〇四六
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九二,一〇〇	一七六,四〇〇	四一,一三〇	一九,五三〇	—	二一,〇〇〇	三,七七八	—	一,一三八	三五五,三四七
合計	二,八〇八,八〇五	九,〇九一,五三九	一,一〇九,二九九	三七三,八六五	三五,六八四	一三二,七〇二	五三,九三五	五一,一五五	一八〇,七一九	一三,八二七,六九六
前月末合計	二,八三五,八一〇	八,九六二,四〇八	一,〇九八,九六二	三七三,四六九	八四,九五七	一二四,五六八	七三,四一八	八六,五五九	一四九,八八二	一三,七八〇,〇三四
△ハ減	△二七,〇〇五	一二九,一三一	一〇,三三七	三九六	△四九,二七三	八,一三四	△一九,四八三	△三五,四〇四	三〇,八三七	四七,六六二

（其の三）

種別＼州廳別	貯金内譯 組合員貯金	貯金内譯 第一條第三項貯金	貯金内譯 第一條第四項貯金	貯金内譯 加入豫約者貯金	貯金内譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 最低	手形割引步合 最高	手形割引步合 最低
臺北	一,七〇七,七六〇円	二,一〇六,八八六円	一,五二五,六九七円	—円	五,三四〇,三四三円	錢厘四五	錢厘二〇	錢厘三〇	錢厘八	錢厘三五	錢厘一八	錢厘四〇	錢厘三五
新竹	三四七,九五三	三六三,八一〇	一四一,三四七	—	八五三,一一〇	三五	三五	二一	一八	—	—	—	—
臺中	一八五,六〇五	四二七,九八一	五六,八六八	—	六七〇,四五五	三七	三〇	二三	一〇	—	—	—	—
臺南	八六五,〇九三	七二四,三六一	一八七,九三二	—	一,七七七,三八六	四八	二八	二五	九	二六	二六	三八	二四
高雄	一四〇,三一一	七二,九三八	六〇,五八三	—	二七三,八三二	四六	二五	二五	二〇	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九一,七七八	三九,三九五	四五,二三九	—	一七六,四〇〇	三七	二五	二三	一八	二六	二四	三七	三七
合計	三,三三八,五〇〇	三,七三五,三七一	二,〇一七,六六七	—	九,〇九一,五三九	四八	二〇	三〇	八	三五	一八	四〇	二四
前月末合計	三,三六二,八四一	三,六一三,四四五	一,九八六,一三三	—	八,九六二,四〇八	四八	二〇	四〇	八	三五	一八	四二	三四
△ハ減	△二四,三四一	一二一,九二六	三一,五三四	—	一二九,一三一	—	—	—	—	—	—	△一	—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□島内各銀行内外爲替取組高表（大正十五年二月中）（單位圓）

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支(△)超過 島内	收支(△)超過 内地	收支(△)超過 外國
送金爲替	三六、六六六	三一、二一〇、五五九	三、三五六	二、六九九、〇五九	三八	一九八、三四六	三五、四一〇	二八、一五五、三四〇	二、四〇一	九、〇二一、一二三	三五	九三六、九一〇	三、〇五五、二一九	一、六八四、三六七 △	五三八、五六四
割引手形	四、一五四	二、五五五、四八二	一、四八一	一、五六〇、六五〇	—	—	三、九二五	二、三三一、六七五	二	二八四、三三六	—	—	二二一、八〇九	△一、二五一、五七六	—
荷付爲替手形	二、一五八	二、六六六、四四四	一、五一五	二、五五八、四四五	五五	五六一、一五五	二、五二五	二、六〇九、〇五六	一、〇五五	二、四四八、五九九	二五	二五九、〇三五	五七、三五八	△九、九〇七、五五四	五六八、一五五
買入外國爲替	—	—	—	—	八	八五五、〇七七	—	—	—	—	三五	三五九、〇二五	—	—	四九八、〇五四
利付爲替手形	—	—	—	—	二	二、八二五	—	—	—	—	三	二六九、五五六	—	— △	二六六、五五五
代金取立	一〇、一五五	三五、六七五、九九九	八、一五〇	二、九九九、〇三八	五三	三五六、八八九	一〇、一二四	三三、五五八、〇九九	五〇二	五五五、四五九	四	三五、八五五	五一五、八五〇	二、四四五、五八九	四二一、〇二四
計	四五、〇三二	五九、八二四、五五九	一五、〇二〇	一八、六六八、九三三	五六八	一、五五八、二三〇	四一、七五二	五八、四四四、三六八	五、七七七	五五、七七七、六六八	六五	一、五二二、一五四	五、〇三〇、一八六	△七、〇二八、七五四	三八、一五六
前月	四五、三五〇	五八、九九四、七五五	一五、五五〇	五五、八八三、九二五	三三二	二、五五三、五五一	四六、六八四	五七、五五八、九六五	五、四四四	五五、一六八、六八二	六八	一、五五六、六五八	一、七五五、六八三	五四四、一二一	一、二五五、六八五
前年同月	三七、四八〇	三九、五五四、三五五	三、六八九	一九、四四〇、六八八	五五八	一、三三八、三五一	五七、五五一	二九、一〇七、〇二九	五七〇	二〇、三六〇、五五四	五七一	一、五五五、〇六四	四四七、二二四	△一、五五八、七七〇 △	七一、六五五
本年本月迄累計	八六、五五三	七八、七九九、一八九	三六、七七五	四四、一八二、八五五	一、三九九	四、三五一、五〇一	八八、五五六	五五、六八八、一七七	七、三二一	四八、八八八、五五八	一、三七一	二、八三七、五八三	五、二二六、〇一八	△六、七五四、五五五	一、四四四、一一九
前年同月迄累計	七七、一〇八	六五、五八八、四四七	二四、一一七	五九、四五五、五五三	一、五六九	四、〇〇〇、五四〇	七七、一六三	六四、一四〇、五六七	七、六六二	四五、四五八、六六六	一、三二六	二、九五五、六五五	一、八二八、八八〇	△四、一〇四、五七四	一、〇五五、七五五

□手形交換高表（大正十五年二月分）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	四、七三八枚	一、八二〇、二四一円	四二三、六七三円	三八三円
臺北	二、九四〇	一三、三三九、三五一	四、八七九、〇四〇	六〇七
臺中	一、九八九	一、八七八、八五八	八五七、九四三	九九〇
臺南	三、六七八	三、六〇八、八〇五	一、四一四、四六八	二〇五
高雄	三、七二〇枚	一、六七五、六三一円	五九八、八八三円	四五〇円
計	四五、〇六五	二二、三二二、七八六	八、一六三、〇一七	四九五
前月	四三、五六四	三三、〇二四、四四三	八、一六四、八七六	五一〇
前年同月	四一、三四四	一六、九九〇、二七三	五、二三六、一〇八	四一〇

通貨在高 (單位圓)(大正十五年二月末)

區分	正貨 金貨	補助貨 銀貨	補助貨 白銅貨	補助貨 青銅貨	補助貨 計	銀行券 臺灣銀行券	銀行券 日本銀行券	銀行券 計	合計
本月末	七七、六三〇	三、〇〇三、〇二二	五錢 一、〇七八、〇二五 十錢 二、七三〇、〇〇〇	七二五、四六一	七、五三六、五〇七	四六、四六五、一二二	四四二、七四三	四六、九〇七、八六四	五四、五二二、〇〇一
前月末	七七、六三〇	三、〇〇三、〇二二	五錢 一、〇七八、〇二五 十錢 二、七三〇、〇〇〇	七二五、四六一	七、五三六、五〇七	五〇、五三八、一五一	四六七、一九〇	五一、〇〇五、三四一	五八、六一九、四七八
前年同月末	七七、六三〇	二、五三四、〇二二	五錢 一、〇四五、五二五 十錢 二、一三〇、〇〇〇	七三四、三二一	六、四四三、八六七	四五、四三九、八五七	四二六、九六四	四五、八六六、八二一	五二、三八八、三一八

備考
一、通貨在高ニハ臺灣銀行券ノ兌換準備ニ充テタル分ヲ除ク
一、通貨在高ニハ各銀行所有ノ分ト銀行外各人所有ノ分トヲ合算ス但銀行外各人所有ノ分ハ大正三年五月末ノ推定高ニ依ル

臺灣銀行券發行高及準備高 (單位圓)(大正十五年二月末)

區分	發行高	正貨準備 金貨及金地金	正貨準備 銀地金	保證準備 諸公債	保證準備 商業手形
本月末	四六、四六五、一二二	一四、九二六、六四六	五、八〇三、二六七	—	二五、七三五、二〇八
前月末	五〇、五三八、一五一	一四、九二六、六四六	六、六三五、八九四	—	二八、九七五、六一一
前年同月末	四五、四三九、八五七	一二、九二六、五三四	六、二三二、三五三	—	二六、二八〇、九七〇

臺北物價指數表(甲) (大正十五年二月末)

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
白米	二五八、七二	二五八、七二	二六七、四四	麥酒	一六四、〇〇	一六四、〇〇	一六四、〇〇
玄米	二三三、五九	二一七、五四	二一〇、五二	紅酒	三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三
老酒	三一一、四二	三一一、四二	三四二、八六	澤庵漬	一七〇、九四	一五六、六九	一二三、六七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小麥粉	(一)	一七五.八四	一七九.一四	二〇一.八八
砂糖	(一)	一三二.八九	一三九.三七	一四三.八一
鰹節	(十)	二三五.六一	二三八.九八	三〇九.〇九
味噌		一五八.四六	一五八.四六	一六一.五四
醬油		一七〇.四五	一七〇.四五	二〇〇.〇〇
鷄卵		二五四.一八	二五四.一八	二三七.一四
火油	(一)	一六九.二三	一七六.九二	一六一.五三
鹽		一四〇.九一	一四〇.九一	一四〇.九一
煙草		一八〇.〇〇	一八〇.〇〇	一五〇.〇〇
烏龍茶		七七.七九	七七.七九	七四.〇〇
包種茶		一三七.九三	一三七.九三	一三七.九二
白木綿	(十)	一九五.二三	一九四.四四	二三四.一二
綿布	(一)	一六六.一六	一七一.〇八	二〇二.四〇
洋紙		二〇八.六九	二〇八.六九	二七三.九九
日本紙		二三三.三三	二三三.三三	二三三.三三
杉板		三四四.四四	三四四.四四	三一三.五三
杉材		一六三.八七	一六三.八七	一五八.〇六
洋鐵		一八四.二二	一八四.二二	一八四.二二
鉛		二〇〇.〇〇	二〇〇.〇〇	二二二.五〇
銅		一三八.七七	一三八.七七	一五八.七七
煉瓦		二〇八.七〇	二〇八.七〇	二〇八.七〇
日本瓦		一一〇.〇〇	一一〇.〇〇	一〇四.〇〇
板硝子		一五六.二五	一五六.二五	一六八.七五
セメント		一七六.四七	一七六.四七	一七六.四七
燐寸		二三七.一六	二三七.一六	二三七.一六
石油		一六八.一八	一六八.一八	一八一.八二
石炭		一三七.五〇	一三七.五〇	一三七.五〇
木炭		二四六.六六	二四六.六六	二五三.三三
薪		二三八.五七	二三八.五七	二四四.一九
平均	(十)	一九七.九九	一九七.八三	二〇三.三〇

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算シタルモノナリ　(十)印ハ騰貴　(一)印ハ低落

△平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九七.八三	二〇三.三三	一九一.八一	一九一.六四	二〇二.六一
二月	一九七.九九	二〇三.三〇	一九一.六四	一九五.三三	二〇〇.一五
三月	—	二〇〇.六〇	一九一.三三	一九六.〇六	一九九.四一
四月	—	二〇〇.三三	一九一.五九	一九六.〇一	一九九.二五
五月	—	一九九.〇一	一九四.一六	一九五.二七	二〇〇.〇三
六月	—	一九九.三八	一九二.七五	一九五.〇七	二〇一.九三
七月	—	一九九.八四	一九一.九一	一九〇.六六	二〇二.八八
八月	—	二一一.七八	一九三.九二	一九〇.五六	二〇二.五四
九月	—	二〇三.四〇	一九八.三〇	一九二.〇四	二〇一.三三
十月	—	二〇〇.一五	二〇二.四一	一九〇.三三	一九六.六一
十一月	—	二〇〇.九三	二〇五.〇三	一九二.三八	一九七.三九
十二月	—	一九七.五一	二〇三.三三	一九二.六六	一九六.四〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

△各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十五年一月	十四年二月	十三年二月	十二年二月	十一年二月
本月平均	一〇〇、〇八	九七、三八	一〇三、一五	一〇一、三六	九八、九三

臺灣貿易統計（大正十五年三月）

臺灣總督府稅關

□貿易額

外國貿易	十五年三月	十四年三月	十五年累計	十四年累計	增減（●）
輸出	三、四五二、四〇五円	二、九四八、六八四円	一〇、七六六、四二二円	八、七五六、五六〇円	二、〇〇九、八六二円
輸入	六、四三八、四一五	五、二〇八、七六七	一六、九二一、七三〇	一五、七六〇、七五七	一、一五〇、九七三
計	九、八九〇、八二〇	八、一五七、四五一	二七、六八八、一五二	二四、五一七、三一七	三、一六〇、八三五
輸出（入）超過	（入）二、九八六、〇一〇	（入）二、二六〇、〇八三	（入）六、一五五、三〇八	（入）七、〇〇四、一九七	—

內地貿易	十五年三月	十四年三月	十五年累計	十四年累計	增減（●）
移出	二九、〇〇七、七二五円	二九、〇七五、五三一円	八三、六八四、三四七円	八八、四一二、八一三円	●四、七二八、四六六円
移入	一〇、三一二、三三〇	九、九二三、八五九	二九、二四四、八三二	二三、九六一、五四一	五、二八三、二九一
計	三九、三二〇、〇五五	三八、九九九、三九〇	一一二、九二九、一七九	一一二、三七四、三五四	五五四、八二五
移出（入）超過	一八、六九五、三九五	一九、一五一、六七二	五四、四三九、五一五	六四、四五一、二七二	—

□輸出品

種		三月 數量	三月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減（●） 數量	增減（●） 價額
石炭	噸	六六、〇六一	七六八、九二一円	一七六、九三四	二、〇二三、六三〇円	一六九、一一三	一、七五五、八七八円	七、八二一	二六七、七五二円
包種茶	斤	三一〇、六二八	二五六、三七七	一、〇八四、二一四	八九二、〇二三	七七四、五〇五	六一三、五三七	三〇九、七〇九	二七八、四八六
砂糖	同	三、〇一〇、七九九	四四〇、一一一	七、七〇九、八一六	一、〇九九、五五三	一四、八四一、三〇三	二、〇四五、七〇四	●七、一三一、四八七	●九四六、一五一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

烏龍茶	同	—	—	三三〇	二二七	九九六	八二一	•六六六	•五九四
絹織物	碼	一,五五五,三六八	四二五,五四七	五,四五〇,三八一	一,五七六,七五六	一,三〇〇,五六四	三九一,九七二	四,一四九,八一七	一,一八四,七八四
樟脳	斤	一八二,〇〇〇	三一九,三三一	五〇六,五〇一	八八八,五三三	四六一,〇一九	八〇九,二五四	四五,四八二	七九,二七九
鷄	同	五一六,九五五	一五三,〇四四	三,一五三,九九四	九八〇,一〇一	五一三,八五四	二二三,八九六	二,六四〇,一四〇	七五六,二〇五
酒精	升	二四七,五二〇	八五,七三九	一,〇五八,五六〇	三四八,六四九	一,七五三,〇六〇	五一三,三四九	•六九四,五〇〇	•一六四,七〇〇
鹹魚及乾魚	斤	三三四,二一七	六〇,五六〇	一,三八一,七三八	二七一,八〇〇	三,〇六二,四五九	四〇二,二二一	•一,六八〇,七二一	•一三〇,四二一
セメント	同	八,四五八,〇五三	一八〇,七〇三	一三,八〇四,〇一八	五〇九,三八一	七,五九四,三九四	三六一,八七七	六,二〇九,六二四	一四七,五〇四
紙	同	五六八,五六八	四七,八四三	一,八六〇,一六九	一五〇,一一五	一,三七一,五七〇	一〇五,一三〇	四八八,五九九	四四,九八五
燐寸	哥	三,九五八	二,四八九	一一二,五七一	八四,五二二	五九,八四八	四六,六九九	五二,七二三	三七,八二三
苧麻	斤	三九,九四九	一五,八二七	八六,〇八三	三二,八五三	二〇六,三八一	八六,〇八六	•一二〇,二九八	•五三,二三三
貝柱	同	二一,九四〇	二九,九二九	七七,六三八	一〇一,八九六	五三,〇一四	六九,〇三三	二四,六二四	三二,八六三
硝子器	箇	八五七,一二四	二一,八〇九	一,七四五,八九四	四二,四一六	二,五四五,四〇九	六七,三八四	•七九九,五一五	•二四,九六八
其他諸品		—	六四四,一六五	—	一,七六四,九六七	—	一,二六三,七〇九	—	五〇一,二五八
計		—	三,四五二,四〇五	—	一〇,七六六,四三二	—	八,七五六,五六〇	—	二,〇〇九,八七二

□輸入品

		三月		十五年累計		十四年累計		増減(•)	
		數量	價額(円)	數量	價額(円)	數量	價額(円)	數量	價額(円)
大豆油粕	斤	二,五一八,八〇〇	一,一二八,一三五	八五,〇五七,四二〇	四,五六六,五〇四	八一,一二四,三〇六	四,四〇〇,四〇六	三,九三三,一一四	一六六,〇九八
硫酸アンモニウム	同	八,六六三,二一六	八四六,九〇五	二一,二九一,五七一	二,一七一,三八七	一六,五一八,九七一	一,七八一,〇八六	四,七七二,六〇〇	三九〇,三〇一
砂糖	同	一,八四一,七〇〇	三三六,二二〇	一〇,三四八,九四一	一,二八三,六二〇	一〇,三五〇,六八一	一,三五〇,八七一	•一,七四〇	•六七,二五一
大豆	同	四,六四一,四四五	三一七,三三六	一一,〇八七,九八五	七七六,三三二	七,七三〇,一七六	五九四,九八三	三,三五七,八〇九	一八一,三四九
阿片	同	二四,〇〇〇	五七六,〇〇〇	二四,〇〇〇	五七六,〇〇〇	二八,九三四	七一三,三三五	•四,九三四	•一三七,三三五
ガンニー嚢	箇	四二四,八〇〇	三〇六,三三六	一,六二七,二〇〇	一,二四三,八四八	一,五二六,四〇〇	一,二四〇,八七二	一〇〇,八〇〇	一,九七六
木材		—	三〇一,八五一	—	五〇二,八三八	—	四四三,九四一	—	五八,八九七

米（籾共）	斤	一〇,八八二,五一六	一,〇六四,三一四	一五,〇四五,六一六	一,四〇三,五六三	六七五,七七七	六〇三,七八〇	八,三一九,八五九	七九九,六一五
石油	ガロン	一七八,九九〇	一〇八,三〇六	六二二,七四六	三六一,六六二	五八五,四三二	五八五,六九八	二七,三二四	•二四,〇七七
包席	枚	七四五,二〇〇	一五四,一六〇	一,四九七,八八〇	三〇〇,〇九一	一,一三五,六七二	二九〇,三三〇	二六二,二〇八	九,七七一
小麦	斤	—	—	八,七八〇	四九八	五,〇〇〇,七一三	四七六,五六六	•四,九九一,九四二	•四七六,〇六八
葉煙草	同	三二,四四六	六六,九五六	四二四,四四九	二五二,四八二	五三三,〇一五	三一七,六六九	•一〇七,五五六	•六五,一八七
毛織物	方碼	一八,六三〇	三三,九七二	四二,六六二	七一,〇五四	八五,二三九	一四〇,七〇〇	•四二,五七七	•六九,六四六
鹹魚	斤	三,一三三,六六五	一九九,二二九	七,九四五,四六一	五八八,五一八	四,五一三,八七五	三九六,二七五	三,四三九,五八六	一九二,二四五
黄麻	同	一,〇〇一,一二五	三三二,九〇五	一,三九一,二七三	二八五,一三〇	七七六,五七〇	一三五,八七六	六一四,七〇二	一五九,一五四
苧麻布	方碼	五五,二四四	一八,六八二	一〇七,五五四	三〇,四二五	二五七,六一二	六八,七三五	•一五〇,〇五八	•三八,三二〇
禮拜紙	斤	六八,六八三	一八,九二〇	三八九,一七五	一一七,〇三三	四四六,三八〇	一四六,九七一	•五七,二〇五	•二九,九四八
繰綿	同	三八,二五五	三一,四九九	一五六,五四七	八八,一二七	五八,四一九	二五,四七一	九八,一三八	五三,六六六
鐵	同	七八三,七五六	六九,九一七	一,三〇九,三三八	一一三,〇三九	二,二六三,四五三	一六〇,四八五	•九五四,三二五	•四八,四四四
コンデンスドミルク	打	四〇	二三一	九,八八〇	四三,一一九	九六〇	三,四九〇	八,九二〇	四九,六二九
陶磁器		—	一五,一一一	—	六九,〇四四	—	五三,七七五	—	一五,二六九
唐紙	斤	三二〇,二四二	二八,〇〇九	七三〇,六九四	七〇,五六〇	四四八,四九三	六二,九五三	二八二,三〇一	七,六〇七
綿織物	方碼	三八,三四七	二七,二九三	四三,七六二	二九,六二四	八〇,一二二	六六,八〇八	•三六,五五九	•二七,一九四
パラフインワックス	斤	七,三一四	一,七一七	一二五,八八四	三四,七七五	二四〇,〇二四	六七,九八五	•一二四,一六〇	•五三,二一〇
錫	同	二五,三五九	四五,九五三	三〇,五九〇	五五,七九七	五五,二七四	七一,一八二	•四〇,六八四	•一五,三八五
豆素麺	同	四二,一八八	一三,二〇二	一三一,八四五	四四,六六二	九七,三七五	四〇,五八六	三四,四七〇	四〇,七六六
石炭	噸	二,〇〇〇	二一,八〇〇	三,五〇〇	四二,〇五〇	六,六〇六	九五三,一九五	•三,四〇六	•五二,一四五
苧麻綿布	方碼	—	—	—	—	七〇,八四五	三八,〇四七	•七〇,八四五	•三八,〇四七
機械用油	斤	四六,八九六	六,八二七	一六〇,〇九二	二四,三〇五	一五八,二四六	三〇,〇三三	•一,八四六	•五,七一七
輕油	ガロン	二,九七〇	三〇,〇九〇	四六,四一二	五〇,二九七	二三,七五五	三一,五九八	三二,六七七	一八,六九九
其他諸品		—	七〇五,七八九	—	一,七四七,五六七	•—	一,二五七,〇八八	—	三三〇,四七九
計		—	六,四三八,四二五	—	一六,九二一,七三〇	—	一五,七六〇,七五七	—	一,一五〇,九七三

□移出品

品名	單位	三月		十五年累計		十四年累計		增減(●)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
砂糖	斤	一七二,〇四五,〇五〇	円 三二,〇九八,一七〇	四七六,九四九,九三〇	円 六二,三九二,一七〇	四四七,二九〇,二二七	円 六七,五八四,五三五	二九,六五九,七〇三	円 ● 五,一九二,三六五
米	同	三二,六〇〇,九五〇	三,六五九,〇四四	一二二,一一四,九五〇	一三,四三六,八九五	一〇三,九七七,〇五〇	一二,三四一,七四一	一八,一三七,九〇〇	一,〇九五,一五四
芭蕉實	同	八,五六二,八九〇	五〇八,二四六	一七,三五八,八一〇	八九八,七八〇	二一,五七一,九一〇	一,二七四,四二三	● 四,二一三,一〇〇	● 三七五,六四三
酒精	升	一,一二六,一〇〇	五八七,一三九	二,六九七,三三〇	一,四〇四,九三五	二,〇一六,九六〇	一,〇四二,七〇三	六八〇,三七〇	三六二,二三二
木材		—	四一〇,三〇〇	—	八四一,七八五	—	九三六,三六〇	—	● 九四,五七五
樟腦油	斤	七〇七,〇四二	三九一,〇三五	一,六〇七,八一九	七九五,三九八	一,二六五,一六一	六二〇,〇四八	三四二,六五八	● 一七五,三五〇
切乾蕃薯	同	—	—	一五,八〇〇	・七九〇	五,五一六,三六〇	一九八,八五〇	● 五,五〇〇,五六〇	● 一九八,〇六〇
鳳梨罐詰	打	三九,五五二	一四八,六一三	八五,九六五	三一一,七一九	一二五,九六九	四二四,九一七	● 四〇,〇〇四	● 一一三,一九八
石炭	噸	八,七〇〇	八二,〇五〇	三九,五五二	三七一,〇九七	五八,〇二七	五九五,〇七七	● 一八,四七五	● 二二三,九八〇
模造パナマ帽子	箇	四七二,二〇〇	一五七,四〇〇	一,五二〇,四〇〇	五〇六,九〇〇	八一〇,六〇〇	二七〇,三八四	七〇九,八〇〇	二三六,五一六
鰹節	斤	二七,〇三二	三七,一三八	八一,一七九	一二四,〇四八	二四,七二三	三一,九〇七	五六,四五六	九二,一四一
食鹽	同	三二,七六五,七〇〇	二一〇,三三七	四三,三〇七,九〇〇	三五八,八二八	四〇,五七三,〇二〇	三一一,〇三〇	二,七三四,八八〇	四七,七九八
樟腦	同	二二,六八〇	四二,九〇〇	四四,三〇二	八三,七九八	四二二,一五七	七五五,二五四	● 三七七,八五五	● 六七一,四五六
鑛	同	二,〇六八,一一三	五三,六七〇	九,三一〇,六八三	二二〇,八八三	六,六九三,五三三	一六七,五四二	二,六一七,一五〇	五三,三四一
麻織物	碼	二〇四,五六〇	四九,六六〇	四四六,一〇〇	一〇七,三一五	七五四,八〇二	一八二,四二八	● 三〇八,七〇二	● 七五,一一三
其他諸品		—	五七四,〇〇三	—	一,八二九,〇五六	—	一,六七四,六一四	—	一五四,四四二
計		—	三九,〇〇七,七二五	—	八三,六八四,三四七	—	八八,四一二,八一三	—	四,七二八,四六六

□移入品

品名	單位	三月		十五年累計		十四年累計		增減(●)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
米	石	一,四六八	円 六四,四七五	一〇,七八一	円 三五三,六九五	一三,一六五	円 六七四,七三四	● 二,三八四	円 ● 三二一,〇三九

絹及綿織物		—	一,三三〇,七二五	—	四,四八八,三九八	—	二,五三九,四六六	—	一,九四八,九三二
肥料	斤	七,〇八三,四六三	三九六,六三〇	二九七〇,九六八	一,五四〇,八〇〇	三六,一七,一九四	二,三四三,三一〇	●八,四六六,二三六	●八〇三,四一〇
鐵	同	四,六六二,三八二	五一六,四〇〇	一四,九三六,五六五	一,七六六,八一五	二,二四五,九三二	一,六二八,二七六	三,四九〇,六三三	一三八,五三九
鹹乾魚	同	一,五三七,三五七	二六九,五三一	三,九四〇,一〇三	七〇五,九〇〇	九,八三六,四五八	一,三〇五,八二四	●五,八九六,三五五	●五九九,九二四
小麥粉	同	三,五〇四,四一一	四四〇,八六四	七,四九四,七五三	九五八,〇九五	四,一九九,九八九	五九四,四五一	三,二九四,七六四	三六三,六四四
錫	同	一,二二七,七〇〇	三四二,六一一	三,六五九,六三〇	一,〇八三,一四二	九〇一,〇七五	四五三,〇五七	二,七五八,五五五	六三〇,〇八五
紙		—	二七七,七五三	—	八〇七,二二九	—	八〇四,二二〇	—	三,〇〇九
カンニー嚢	箇	二四九,四〇〇	一四九,七二三	三九四,一〇〇	三三四,五五二	八八九,七四〇	五八七,八五八	●四九五,六四〇	●三六三,三〇六
鐵製品		—	一九四,三五六	—	六二九,一二六	—	四五七,九一〇	—	一七一,二二六
木材		—	三〇二,六一七	—	八六五,四一四	—	二六八,九一七	—	五九六,四九七
絲類		—	一五七,三一七	—	五五一,一四二	—	四〇四,三五〇	—	一四六,七九二
清酒	打	—	—	一八,〇〇六	一六二,八八一	六七,四五一	六五四,七一六	●四九,四四五	●四九一,八三五
麥酒	同	六〇,五七八	二七二,七三三	一〇一,一三〇	四六七,六〇九	六四,五五二	三二二,七六二	三六六,六七八	一五四,八四七
紙巻煙草	千箇	一三六,七六〇	三二七,九七六	三一三,八六〇	七五一,一六〇	一九五,二八〇	四〇四,四三六	二一八,五八〇	三四六,八二四
メリヤス肌衣		—	一一三,三五六	—	二〇三,〇九二	—	一四八,〇六一	—	五五,〇三一
燐寸	哥	九九,二五九	七八,五四七	三六二,二九二	二九五,六六一	三六三,〇二二	二九五,五七六	一九,二七一	八五
罐詰食物		—	二〇一,一〇五	—	四二六,六八八	—	二六八,一六〇	—	一三八,五三八
自轉車同部分品及附屬品		—	一四五,五七二	—	四〇四,七四七	—	二三八,三三九	—	一六六,五一八
石油	ガロン	一四二,八〇五	七九,六七七	四三二,〇九〇	二三四,三七五	四二九,九七七	三六三,五四五	●二,一一三	●二三九,一七〇
毛織物		—	五七,七六二	—	二〇八,五一五	—	一六四,二六六	—	四四,二四九
鐵道建設用材料	斤	一,〇三六,三六八	八四,一四〇	一,七七九,六六四	一三九,一六八	一,五二六,一六四	一三四,六二五	二五三,五〇〇	四,五四三
菓子類		—	七三,六三三	—	二〇二,九〇八	—	一五八,三三三	—	四四,五七五
切組板		—	五八,八六一	—	一七〇,八三九	—	一二五,〇六六	—	五五,七三三
醤酒	石	一,〇一〇	六四,二八五	二,三三六	一四六,七三〇	二,六四四	一八八,一八四	●三〇八	●四二,四四四
石鹸		—	六五,〇五六	—	一六四,五四四	—	一五六,三三四	—	八,三三〇

機械用油	—	五二、九六八	—	一二八、〇五七	—	一六〇、〇九〇	—	●四二、〇三三
陶磁器	—	七八、二六八	—	一七八、八五九	—	一二〇、九四七	—	三七、九一二
砂糖　斤	二八、三六六	二八、五四五	七五七、八四九	一七七、〇七七	三四八、五六八	九五、三一九	四〇九、二九一	八一七、五六八
セメント　同	一、八七九、三九七	三八、九七四	二、二九六、九九七	二四三、五八〇	八、七九二、〇二七	一八五、〇〇〇	二、五〇四、九七〇	五八、五八〇
其他諸品	—	四、〇三八、八九一	—	一〇、七五三、九四四	—	七、七一五、六三九	—	二、八五八、三〇五
計	—	一〇、三三二、三三〇	—	二九、二四四、八三三	—	一三、九六一、五四一	—	五、一六三、二九一

□港別貿易額

港名	輸出	輸入	計	十五年累計	十四年累計	増減(●)	移出	移入	計	十五年累計	十四年累計	増減(●)
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
基隆	二、五五六、七一〇	五、一八〇、八九〇	七、七三七、六〇〇	一四、九〇九、四四〇	一〇、六八九、五三二	四、二一九、九〇八	七、五九六、二五五	六、九九三、一七五	一四、五八九、四三〇	五四、二五五、八六四	四〇、八四五、八一六	一三、四一〇、〇四八
臺北	二五九、四九〇	二六六、七六六	五二六、二五六	一、四一四、〇六九	一、四九四、八一四	●八〇、七四五	—	—	—	—	—	—
淡水	五〇、七三二	一七九、八一六	二三〇、五四八	八四〇、五四一	七九一、七八二	四八、七五九	—	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	九、六〇〇	●三、六〇〇
安平	一四、四八七	一五六、五四八	一七一、〇三五	四九七、二六八	五五九、八四三	●六二、五七五	一八〇、〇七七	一、二七八、一〇四	一、四五八、一八一	三、五九四、〇四四	二、四八八、〇二二	一、一〇六、〇二二
高雄	七五七、二〇二	二、九二九、五五八	三、六八六、七六〇	九、八四六、六四一	一〇、七二一、三五五	●八七四、七一四	二〇、六一五、〇六五	二、〇九六、〇八四	二二、七一一、一四九	六四、五八六、四二〇	六八、三三三、〇四九	●三、七四六、六二九
其他諸港	四四、七九五	一四、〇二七	五八、八二二	二〇九、四四四	二六四、〇五一	●五四、六〇七	二六二、四五〇	二九、四五四	二九一、九〇四	五五七、四五七	七二〇、八五八	●一六三、四〇一
計	三、四三二、四〇五	六、四五八、四一五	九、八九〇、八二〇	二七、六九六、一四二	二五、三一七、三一六	二、三七八、八二六	二九、〇〇七、七五三	一〇、三三二、三三〇	三九、三四〇、〇八三	[illegible]	[illegible]	[illegible]

臺灣時報文苑を設けることになつた。短歌、俳句、漢詩を廣く讀者に寄せていただき度い。流派を問はず、最も自由な氣持で、此の島の自然と生活との親しみをうたうものとして行き度い。
短歌及漢詩は臺灣時報發行所宛、投稿締切毎月二十五日。

歌壇

眼を病みて

相思樹

藥さして心おちつゝつぶりゐる瞼にしるく血のかよふらし

やめる眼に濕布ほどこしこもらへばひねもす風あり葉摺れのやまず

濕布とりてしばしは見えのさだかならず眼こらせば涙のあふるゝ

見にたえずやむ眼つぶり居友まれに話しかくればややに淋しき

やめる眼にみなみの部屋のあかるければかつ讀みかつは眼を休めをり

ひぐらしのしげき山家のひとり居にあけくれ母はあこおもはさん

いまはうごく汽車をおもはず追ひませし母にこゝろのいまものこれり

島夫

夕立の雨きほひ來ぬ見るがうち榕樹のしげみつゝみてけぶる

つゆ晴れのみどりの空をわた雲の群れつゝ飛びて夏となりにけり

素之介

朝な朝な水牛かひつ子等のゆく田の面をこめて雨降りつゞく

夕づきて雨晴れにけり笹の葉のつゆをふるひて風立つらしも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳壇

山本孕江選

はろ〳〵と虹の下行く青田人　在吾
スカートに海風强き日傘かな　同
とかくして母も出で來し門凉み　同
一脈の夜露上れる青田かな　素山
反り屋根のところ壞へして竹の秋　同
面はゆく日傘の人の會釋かな　同
行春や垣穗も一度刈らずんば　みさく
佇めばせゝらぎ遠き躑躅かな　同
行春の言傳もちて旅にあり　同
しばらくは夕燒あかき日覆かな　靜雪
ゆくりなくくづるゝ薔薇を見てありぬ　同
パンヤ咲く天氣續きの賴もしく　同
崖原や電線張りし棉の花　紫川
大いなる植田の中の校舍かな　同
江の島へ橋渡り行く日傘かな　玄外
鬪鷄やマドロスパイプ握りしめ　同
むく〳〵と温泉煙あがる谷若葉　兀全城
水口の苗洗はれて植田かな　同
パラソルに日燒いやしき婢かな　青原
いづこより橘の香や鳥交かる　同
山裾に小家重なり竹の秋　南山
ぽつちりと植田の中の小村かな　同
野看板植田にゆがみ寫りけり　井蛙
消え薄る一朶の雲や植田空　同
あか〳〵とカボックの咲く日和かな　菰江
春日傘うつれる顏の化粧かな　同
行春や椰子の古皮剝がれ落つ　鍵峰
行春やこぼれ菜種の遲れ咲き　同
シネラリヤかたまり咲いて色濃さよ　洋々
負け鷄をいたはり抱き戻りけり　同
獨木舟や日月潭の木の芽風　兆田
築山の山椒匂ふ木の芽風　同
椰子の葉に風ある園や日傘人　孕江
宿の名の春雨傘やそこらまで　同
カボックやする〳〵のぼる繫ぎ猿　同

◎募集　四季雜詠（十句）締切毎月二十五日、句稿に時報俳壇と明記の事、投句先臺北市東門町九七ゆうかり社

詩壇

商船扶桑發神港　藤波千谿

東君知我海南遊。故使一帆春雨收。到日城中花恐盡。鶯啼榕葉滿高丘。

將赴臺灣二首

此去南將弔鄭公。老來意氣尚豪雄。長戈隻手魯陽日。萬里一帆宗愨風。惟見驚鯨跋層浪。不容毒蝮出深叢。既知王化全州普。目斷山河蒼莽中。

性癖耽詩死不休。南荒奇絕賦茲遊。豫章白日參天動。瘴癘炎荒拂地收。視察秦胡相異俗。追隨李郭共同舟。男兒弧矢平生志。白髮祇今始得酬。

到臺灣舟中作十絕句　田邊碧堂

琉球琊玖薩摩東。數點青螺亦帝封。今日光風吹滿海。要看春浪變魚龍。

海門山屹勢崔嵬。吟倚檣樓晚霽開。丈半神魚跳振鬣。紫溟南去黑潮來。

南天全霽絕烟霏。貝闕光騰海客衣。一舸如行銀漢上。夜潮打舳萬星飛。

風拂帆檣上下搖。濤聲挾雨氣凄寥。一時欲見蛟龍府。電燭煌煌閃夜潮。

秦人採藥入東海。我亦懸帆與不孤。天上月明天下水。蒼茫何處是方壺。

遠尋南島駕樓船。淼淼洪濤白若煙。滄海無人拾明月。欲呼天下李青蓮。

老縱吟哦亦快哉。長風巡背一帆開。飽看紅日浴滄海。無限波濤長我才。

樓船四月截重洋。高輿飛濤相頡頏。海上天風吹浩浩。衣裳時挾九秋涼。

滄溟灌筆水成紋。墨迸波間鯨亂群。擧首老人星座近。一襟豪氣入南雲。

今臺灣是古南荒。四月山山樹鬱蒼。憶出都時萬櫻白。春帆挂自大扶桑。

臺灣日誌

自三月二十五日
至四月二十日

三月

▼二十五日
・花蓮港農物產展覽會開會

▼二十七日
・臺南安平運河の工事竣成す
・東部鐵道全通式舉行さる
・高雄漁業組合總會開催

▼二十八日
・臺中市中部臺灣共進會開會式舉行
・臺東に於て鐵道全通記念展覽會開催

▼三十日
・臺南市臨時協議會開催
・高雄青果組合總會開かる

四月

▼一日
・臺北州殉難警察官招魂祭舉行
・議會出席の爲上京中なりし總督、長官、歸府す
・船舶運送營業取締規則制定發布さる

▼二日
・全島警察刑務所武道大會開始

▼三日
・阪本警務局長、高松宮奉迎の爲め馬公へ
・澎湖要塞司令官安井少將着任

▼五日
・高松宮馬公へ御着
・第一艦隊馬公へ入港
・後藤總務長官南部へ出發

▼六日
・伊澤總督中部共進會視察、褒賞授與式に臨場す

▼七日
・澎湖島官民艦隊歡迎會を開く
・後藤長官南部より歸府

▼八日
・伊澤總督虎尾製糖場視察
・後藤長官　高松宮奉迎の爲め南下

▼九日
・高松宮高雄御着
・第一艦隊二十七隻高雄へ入港
・總督、長官、高松宮の御機嫌を奉伺す

▼四月十日
・高松宮臺南市へ御成り
・高雄市第一艦隊歡迎會開催

▼十一日
・高松宮臺中市へ御成り

▼十二日
・臺南市艦隊歡迎會

▼十四日
・第一艦隊高雄出港基隆に向ふ

▼十五日
・第一艦隊基隆入港
・伊澤總督艦隊に高松宮伺候

▼十六日
・高松宮臺北御成り
・臺灣濟美會社會事業助成金傳達さる

▼十七日
・高松宮基隆へ御歸艦
・米穀大會出席者百餘名來臺

▼十八日
・臺北市第一艦隊歡迎會を開催
・米穀大會員南部視察に出發

▼十九日
・第一艦隊アット・ホームを開く
・臺灣鳳梨鑵詰同業組合總會を催す

▼二十日
・第一艦隊基隆拔錨
・愛知縣產業視察團來臺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人事消息

自三月二十五日
至四月二十二日

▼田中警視廳技師　三月二十五日來臺
▼岡田警視廳技師　同來臺
▼森脇府技師　三月二十六日上京
▼室木商工省技師　同日歸還上京
▼辰巳少將　三月二十八日着任
▼萬喜憲兵隊長　三月三十日歸臺
▼鼓事務官　四月六日上京
▼沼知千葉高等園藝學校教授及同校學生同日內地へ歸還
▼小泉中央研究所技師　同日上京
▼田中大作氏　同上
▼岡田覺太郎氏　同上
▼富田財務局主計課長　四月七日歸臺
▼山本亮博士　同上來臺
▼宮尾舜治氏　同上來臺
▼吉村善臣氏（府技師）　四月十二日着任
▼中瀨殖產局特產課長　四月十五日歸臺
▼喜多臺南州知事　四月十六日上京
▼本山臺中州知事　同上
▼坂本素魯哉氏（本誌評議員）　同上
▼木下農林省技師　四月十七日來臺
▼川村鐵太郎伯（貴族院議員）　四月二十日來臺
▼赤石定藏氏（本誌評議員）　同上歸臺
▼柏原高等法院長　四月二十一日上京
▼宇野臺北地方法院長　同上
▼松本法務官　同上
▼石黑農林省農務局長　四月二十二日來臺
▼宇賀專賣局長　同上歸臺
▼井野農林省米穀課長　同上來臺
▼大塚商工省取引課長　同上
▼志村源太郎氏　同上

任命

大正十五年（自三月二十四日至四月十七日）

▼三月二十四日

臺灣總督府師範學校教諭　南　能　衞
依願免本官

▼三月二十五日

高雄州郡屬　楠　瀨　登
任臺灣總督府地方理事官
高雄州勤務ヲ命ス

任臺灣總督府師範學校教諭　角　田　音　吉
補臺南師範學校教諭

（各通）

臺灣總督府師範學校教諭　牧　茂　市　郎
臺灣總督府專賣局技師　岡　田　鑑
依願免本官

▼三月二十六日

臺灣總督府編修官　古　山　榮　三　郎
臺灣總督府事務官　佐　藤　續
臺灣總督府州事務官　大　竹　勇
臺灣總督府事務官　生　駒　高　常
臺灣總督府視學官　若　槻　道　隆
臺灣總督府州事務官　猪　股　松　之　助
臺灣總督府中央研究所事務官　中　屋　重　治
臺灣公立中學校教諭　蔦　宗　直　太　郎
臺灣總督府事務官　能　澤　外　茂　吉
臺灣總督府視學官　山　口　重　知
臺灣總督府事務官　中　田　榮　次　郎
臺灣總督府高等學校教授　甲　斐　三　郎
臺灣總督府師範學校教諭　本　田　乙　之　進
臺灣總督府編修官　土　性　善　九　郎
臺灣總督府法院通譯　中　間　力　二　郎
臺灣總督府師範學校教諭　段　證　外　吉

（各通）

普通試驗臨時委員ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府中央研究所技師　羽　鳥　重　郎
依願免兼官

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府醫院醫長　羽鳥重郎
臺灣總督府地方理事官　橋瀨登
臺灣總督府師範學校教諭　角田音吉

依願免本官

第二高等學校教授　矢野禾積

任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府高等學校教授　矢野禾積

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
二箇年間英、米ノ兩國ニ在留スヘシ

▼三月二十七日

臺灣總督府中央研究所技師　福本林作

林業部長心得ヲ命ス

臺灣總督府高等學校教授　吉川貞次郎
（各通）臺灣總督府師範學校教諭　芝原仙雄

普通試驗臨時委員ヲ命ス

（各通）臺灣總督府事務官　鼓包美
臺灣總督府典監　志豆機源太郎

上京ヲ命ス

臺灣總督府高等商業學校教授　室田有

東京、神奈川、滋賀、香川、山口ノ一府四縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　藤原謙造

依願免本官並兼官

臺灣總督府地方技師　長谷部浩

依願免本官

臺灣產業技師　長谷部浩

願ニ依リ本職ヲ免ス

▼三月二十九日

臺灣總督府地方技師　田上耕之助

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

臺灣土木技師　田上耕之助

地方待遇職員令第十一條ニ依リ休職ヲ命ス

▼三月三十一日

臺灣總督府高等學校教諭　中野賢作

兼任臺灣總督府高等學校教授

臺灣總督府師範學校教諭　並川清水

任臺灣總督府師範學校教諭敍高等官七等

臺灣總督府技師　原季五郎
（各通）臺灣公立實業學校長　平野象一
臺灣總督府醫院醫長　宮原武熊

依願免本官

臺灣總督府師範學校教諭　並川清水

補臺南師範學校教諭

▼三月三十一日

臺灣總督府法院通譯　仁禮龍吉

任臺灣總督府法院通譯敍高等官七等

臺灣公立中學校教諭　杉山常次郎

任臺灣公立中學校教諭敍高等官七等

（各通）臺灣總督府技師　原季五郎
臺灣總督府師範學校教諭　並河清水

依願免本官

臺灣總督府法院通譯　仁禮龍吉

補高等法院通譯

臺灣公立中學校教諭　杉山常次郎

補高雄中學校教諭

臺灣公立實業學校教諭　小出梅吉

臺北商業學校長事務取扱ヲ命ス

臺灣總督府師範學校教諭　石井權三

補臺北師範學校舍監

▼四月一日

臺灣公立中學校教諭
兼臺灣公立中學校長　三屋靜

任臺灣公立中學校長兼臺灣公立中學校教諭

▼四月五日

（各通）臺灣總督府法院通譯　仁禮龍吉
臺灣公立中學校教諭　杉山常次郎

依願免本官

▼四月六日

總領事　森田寬藏

兼任臺灣總督府事務官

新竹州屬　廣澤進

任臺灣總督府地方理事官

臺灣總督府事務官　森田寬藏

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督官房文書課勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　廣澤　進
新竹州勤務ヲ命ス

▼四月七日

任臺灣總督府地方理事官
新竹州屬　手島綾治
小池金之助

臺灣產業主事ニ任ス
臺灣總督府地方理事官　廣澤　進
依願免本官
臺灣產業主事　酒井隆次
願ニ依リ本職ヲ免ス
臺灣總督府地方理事官　手島綾治
新竹州勤務ヲ命ス
臺灣產業主事　小池金之助
新竹州產業主事ニ補ス
臺灣總督府地方理事官　大津山周造
東京、札幌及熊本ノ各稅務監督局管內ヘ出張ヲ命ス

▼四月八日

臺灣總督府地方理事官　手島綾治
依願免本官
臺灣總督府理事官　富田松彥
財務局長阿部滂不在中事務取扱ヲ命ス
臺灣總督府理事官　辰野龜男
財務局長代理ヲ免ス

▼四月九日

臺灣總督府交通局技師　池田季苗
臺灣電力株式會社監理官田賀奈良吉不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　津久井牛二郎
東京及仙臺ノ各稅務監督局管內ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　森脇虎壽
東京府外三縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ高知縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立中學校教諭　坂垣四十六郎
廣島及愛媛ノ兩縣下ヘ出張ヲ命ス

▼四月十日

第六高等學校教授　飯沼龍遠
任臺灣總督府高等學校教授

▼四月十二日

臺灣總督府專賣局參事　川村直岡
東京、京都、大阪、神奈川、愛知及鹿兒島ノ三府三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺中州屬　日吉安政
任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府地方理事官　日吉安政
臺中州勤務ヲ命ス

▼三月二十六日

(各通)臺灣總督府總務長官　後藤文夫
臺灣總督府財務局長　阿部　滂
政府委員被免

▼四月十三日

任臺灣總督府地方理事官
臺中州屬　兼田廷介
臺灣總督府地方理事官　日吉安政
依願免本官
臺灣總督府地方理事官　兼田廷介
臺中州勤務ヲ命ス

▼四月十四日

任臺灣總督府地方理事官
臺中州郡屬　園部照吉
土屋貞一
臺灣產業技師ニ任ス
臺灣總督府地方理事官　兼田廷介
依願免本官
臺灣總督府地方理事官　園部照吉
臺中州勤務ヲ命ス
臺灣產業技師　土屋貞一
臺中州產業技師ニ補ス

▼四月十五日

公立高等女學校教諭　吉島虎一
任臺灣總督府高等女學校教諭
臺中州郡屬　小園力造

任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府地方理事官　圖部照吉
依願免本官
臺灣產業技師　土屋貞一
願ニ依リ本職ヲ免ス
臺灣公立高等女學校敎諭　吉島虎一
補高雄高等女學校敎諭
臺灣總督府地方理事官　小關力造
臺中州勤務ヲ命ス

四月十六日

臺中州郡屬　加治木藤之助
任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府地方理事官　小關力造
依願免本官
臺灣總督府地方理事官　加治木藤之助
臺中州勤務ヲ命ス
臺中州知事　本山文平
臺南州知事　喜多孝治
（各通）
上京ヲ命ス

▼四月十七日

臺灣總督府地方理事官　加治木藤之助
依願免本官
臺灣總督府地方技師
兼臺灣總督府技師　大橋準一郎
免兼官
臺灣總督府技師　大石浩
內務局兼務ヲ免ス

寄贈書目

書名		發行所
臺灣日々新報	每號	其社
臺灣新聞	同	其社
臺南新報	同	其社
臺灣經世新報	同	其社
萬朝報	同	其社
九州日々新聞	同	其社
國報	同	其社
東亞經濟研究	同	其社
實業之臺灣	同	其社
工業評論	同	其社
臺法月報	同	同發行所
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其會
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅關
朝鮮	同	朝鮮總督府
臺灣民報	同	其社
臺灣鐵道	同	其會
臺灣農事報	同	臺灣農友會
向陽會報	同	向陽會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其會
臺灣醫療協會雜誌	同	其會
南洋協會雜誌	同	其會
海事新報	同	帝國海事協會
週報（上海貿易）	同	上海日本商業會議所
東洋	同	東洋協會
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協社
地方	同	帝國地方行政學會
臺灣メ[illegible]	同	臺灣メ[illegible]社
遞信協會雜誌	同	遞信協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
臺灣貿易月表	同	總督府稅關
茶業界	同	靜岡縣茶業組合聯合會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
專賣通信	同	專賣局
臺灣之茶業	同	臺灣茶商公會
讀書會雜誌	同	滿鐵讀書會
醫療彙報	同	朝鮮療醫協會
社會研究	同	滿洲社會事業研究會
臺灣山林會報	同	臺灣山林會
稅	同	國民租稅協會
臺灣之產業組合	同	臺灣產業組合協會
臺灣遞信協會雜誌	同	臺灣遞信協會
社會政策時報		財團法人協調會
臺灣詩薈		同發行所
朝鮮地方行政	同	帝國地方行政學會朝鮮本部
月報	同	大阪商業會議所
海外重要記事	同	總督府調查課
化學工藝	同	化學工藝社
闌領印度時報	同	南洋協會爪哇支部
新高新報	同	其社
朝鮮及滿洲	同	其社
中央佛教	同	其社
語苑		臺灣語通信研究會
人さ人	同	協調會
海運月報	同	其社
海外時報	同	外務省情報部
發明	同	帝國發明協會

臺灣總督府編纂

臺灣現勢要覽　十四年版

定價金五十錢
（送料共）

本書は曩に　東宮殿下行啓に際し献上の爲め臺灣總督府に於て編輯し當時御嘉納の光榮を得たるもの、ポケツト型百七十頁の小册子にして內容は左記の如く一讀本島の事情と其地位とを瞭然たらしむ

位置、面積、山嶽、河川、土地の利用、氣温、雨量、人口、本籍別內地人、在外臺灣人、在留外國人、臺灣語を話す內地人、國語を解する本島人、婚姻、離婚、出生、死亡、出生率、死亡率、人口の增加、蕃人、行政區劃州及廳の面積、州廳の人口、主要都市、農業戶數、耕地面積、水利、農產、畜產、林產、鑛產、水產、工產、糖業、貿易、對手國別外國貿易、支那香港及南洋貿易、重要品別外國貿易、重要品內地貿易、港別貿易、財政、專賣、銀行、物價、教育、衞生機關、水道、**ペスト**と**マラリア**、阿片吸食特許者、鐵道、郵便、電信、電話、警察官署及職員、最近十一年間の進步等諸項目に亘り外に臺灣及內地府縣並各植民地に於ける出生率及死亡率累年比較描畫圖等

右當所に於て翻刻發賣の認可を得今回印刷製本出來せり、御希望の向は至急前金御申込ありたし

臺灣總督府內
臺灣時報發行所
振替口座臺灣二〇七〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

楊杏佛胡適之と英賠款を論ずる書……一
孫傳芳對時局三種の態度……二
國民軍の和議を主とする眞因……三
國民軍の形勢に對する外國軍事家の評言……四
北京政局急變の眞相……六
時局急轉中の吳佩孚……八
閩粤間の危機と閩省軍議……九
南國近信……一一
香港航業經濟の新調査……一三
支那の漁業法草案の諮詢案……一三
滿洲の經濟資源(下)……二〇

佛領印度支那

印度支那月報(一九二六年四月中)……二六
佛領印度支那の鑛業(下)……二九

馬來半島

本年三月英領馬來護謨輸出高……四六

蘭領東印度

蘭領東印度に於ける鹽專賣……四七

其他

世界護謨は一九二八年に不足すべし……五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□楊杏佛胡適之と英賠款を論ずるの書

英國庚子賠款委員會の事に關し、前に蔡子民先生を歡迎する席上にて略ぼ偉論を聞けり。曰く英國は已に此の賠款を中國に返還して專ら中英互利の事業を辦ぜんと決定せるに似たるも、兄等は此の款を以て大規模なる科學研究機關を舉辦するの主張あるは甚だ以て慰むるに堪たり。然るに後各方面の文字より觀察するに、英國政府の議決する所は、決して庚子賠款を返還するに非ず、只此の賠款を指定して中英互利の事業用と爲せるのみにて、返還の實はなきに親善の名を得んと欲するものなり。某君は英人の手段は拙劣にして、米人の返還を名としながら、仍ほ協商を要するの巧妙に及ばずと謂へり。然るに僕は竊かに謂ふ、此れ正に英人の巧を以て人に勝るの處なりと。米國が庚子賠款を返還するの時、もとより一切の用途須く協商を經べしとの明文なかりき。然るに中國の學閥は袁氏が客卿を利用せる故智を師とし、孟祿教授始めて中國文化事業のグードノー及アグレンとなれり。今英國の庚子賠款は既に中國に返還するの明文なく、中國委員の人數は僅に三人にして、復た英政府の委任に係る。是れ中國委員なるも直に是れ英國庚子賠款委員會の客卿なるのみ。中國學閥は米國籍客卿を假りて政府を要挾し社會を恐嚇し、英國政府は華籍客卿を假りて華人を愚弄し親善を粉飾せり。此の二は異曲同工なれば孰か中英人の智力相若かずと謂はんや。英國庚子賠款委員ウエリントン爵士等中國に來りし後、華人の返還要求に對しては故意に痴聾を粧ひ、用途の性質に對しては復た其の辭を曖昧にしたり。中國の委員は中國の智識界を代表するを以て自ら命ずる者なるに亦皆默して言はず、只爵士等に隨ひて附和するを知るのみ。此の如き痛癢相關せざる委員會が北胡に行き南粵に赴き奔走盡力せるも何の爲す所かあらん。若し華人が用途に對する意見を調査すと云はゞ、該款既に返還せざれば討論に由なし。鐵路を敷設せば外資によりて之を爲し學校を興せば教會の學校と爲る。華人はよし反對せざるも亦絕えて參預し歡迎するの必要なし。若し排英の空氣を緩和せんとするなりと云はゞ、一方には强硬の侵略行爲を以て中國を欺侮せり。去年五月三十日事件の如き、又最近廣東海關及大沽口等の事

の如き是なり。一方復た空言を以て惠を賣り、必ずしも得べからず且つ未だ必ずしも中國に利あらざるの數百萬の賠款を以て、四億の華人が民族の獨立と國際平等とを要求するの心理を轉移せんと欲するは、其の不可能事たる説くを要せず。英國の委員は人地ともに疎にして別に用心ありて此の如きの擧に出づること猶ほ恕すべきも、中國委員が亦何の表示する所なく人に隨ひて俯仰するは何の意たるを知らず。兄士林に在りて常に時望を負ひ、英國に對しても亦好感を得ること多し。竊に思ふ宜しく中國委員を聯合して英政府に要求するに、賠款の無條件返還を以てすべし。然らざれば全體相率ゐて英國の庚子賠款委員會を退出し、以て國人に兄が此事に對する決心を示すべきなり。云々。（二月二十日―新聞報）

□孫傳芳對時局三種の態度

反赤聯合　近來上海に在る民黨要人章炳麟・徐紹楨・馮自由・鄧家彥・馬素・高振霄・黃大偉・龔振鵬等は反赤救國大聯合の組織を企畫し全國各社會を聯合して赤化に反對し國權を保障し民治を實行するを以て宗旨と爲し、曾て辛亥同志俱樂部に於て開會すること五六囘に及び、進行頗る順調なれば不日に其の宣言を發表し成立の通知を爲さんと欲したるに、早くも此の事已に五省聯軍總司令孫傳芳の聞く所と爲り、特に副官長張世銘・清鄕總辦沈同午を派遣し、上海に赴き章・徐・馮等諸氏を邀へて南京に到らしめ、時局に應付するの方法を協商せんとす。章氏等乃ち其の請に應じ遂に二月二十二日特別車にて南京に赴けり。當日鐵路沿線各驛には皆軍警隊伍を列れて歡迎し居り禮遇極めて優厚なりしといふ。該夕沈清鄕督辦は宴を設けて章氏等の慰勞を爲し、章氏等は亦沈督辦に導かれて孫軍政長陳民政長を訪問し夜半に至り始めて交通旅館に返れり。二十三日正午、孫・陳軍民兩長官（陳は陳陶遺）は大に章氏等を總司令部に宴し、同時に省務各廳長及高級武官を陪席せしめたり。宴散じて後孫・陳二氏は交通旅館に赴きて答禮を爲し、席上時局に對する各種の問題につき互に商榷する所あり。二十四日前江南第九鎭將領四百餘人は戸部街第六號にて歡迎會を開けるが、章・徐・馮・鄧等諸氏各々演説あり。二十五日、章氏等は各廳長の設けたる金陵春の宴に赴き、畢りて後專車にて上海に歸れり。然れども其の未了の問題は徐紹楨氏一人を留めて之に當らしむ。聞く章氏等の此の行は孫傳芳氏と各種の問題を協商するに在りて、相談極めて圓滿に進行したるが、孫氏は赤化に反對することに對して極めて贊成を表し、必ず章氏等と始終聯合動作を行ひ、以て國運を挽囘せんことを聲言せり。

吳佩孚との諒解　孫氏は前に江蘇・浙江・安徽三省の各軍民長官を召集して軍事會議を開き時局に應付する各問題を相談して宣布せる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

趣意は、モンロー主義を抱き中立を守ることを決定せるも、事實上軍事の變化と局勢の轉移とに因り、奉直新結合に對して已に諒解せるものゝ如し。靳雲鶚氏が旣に徐州を通過し河南攻擊軍を指揮するを得たれば、中立の局面は已に打破せられ、而して張宗昌・李景林は已に戰勝を孫氏に報じ、又靳雲鵬氏は最近に奉天よりして濟南に赴き、更に轉じて南京に至り漢口に赴き、各方面の意見を疏通しつゝあり。されば從前各軍間の疑慮は變じて聯合動作を爲すに至り、孫氏は近來頗る時局に對し一種の標識を立てんと欲するの狀あり。

絕對中立觀　章太炎氏が徐固卿・馮自由の二氏と相携へて南京に來りし後靳雲鵬氏(翼青)亦二月二十六日に蒞南せるが、當局亦歡迎至らざるなく、盛儀を以て之を待つ。蓋し東南の地位が時局に關係するの重要なる、各方面の要人陸續として往來し止まざるは、尤も一般人士の注目を引起すに足ればなり。而して實は東南五省の平定せしより未だ久しからざれば、當局と五省人民とが同一の主張を抱き、目前五省以外の事を問はず、鋭意五省の治理を求むるのみに汲々たるなり。東南首領孫傳芳氏は此の主張を持ちて應付周旋しつゝあるを以て、近時各方面の要人が如何なる目的を持ちて來れるに拘はらず、其の結果は時局進展上に如何の重大關係をも生ずる能はざるなり。孫氏並に人民の時局に對する近況は、凡そ好意を以て來るものは、何れの方面にても一律に之を友人と視做すも、東南が何れの方面に參加するを要求し、如何なる動作を爲すべきかを希望することあるも、事實上皆不可能に屬し、其の東南との利害を考ふれば、固より是の如くならざる能はざるなり。(三月九日―順天時報)

□國民軍の和議を主とする眞因

目下の戰爭には國民軍側頻りに捷信を傳ふるも、其第一軍の將領の屢々會議せるは和戰問題にして、內實國民軍に和議を謀るの決心あるを知るに足れり。卽ち該會議の最近席上、第一軍要人は皆以爲へらく、今回の應戰に若し時日を持久せしめば、困難尤も甚しからん。張作霖は東三省の地盤を擁し吳佩孚亦湖北の地盤あり、且別に人の暗中に吳を援助するあり。然るに西北方面は不毛の地にして霄壤の差あり。北京は收入尤も少く、其の地の軍警餉の維持すら易からざれば、其の他を顧みるに遑なし。而して直隸方面も亦已に搾り盡せり。故に戰局にして延長し行かば、西北は決して張作霖・吳佩孚の敵に非ず。此れ其の和議を謀るを主とする一因なり。又外交方面より見るに、近來國民軍の要人は東交民巷の國民軍に對する雲行甚だあやしきを感じ、意思の疏通を謀りつゝあり。東交民巷の國民軍に對し甚だ不滿なるは、實に第一軍が露西亞に接近せるが爲にして、張之江等は之が爲め露國に對し不卽不離の態度を抱くことに定め、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

曾て某々兩公使と打合せ、第一軍は決して露國と意ありて接近するに非ることを發言し、且云く前回露國より接濟せし軍器は露國の望む所にして決して國民軍の要求に出づるに非ず。其の數たる亦甚だ少かりき。國民軍が外交團に對するには同一に友誼的に相交通し、彼此の間に差別を視ることなし。現に露國よりの軍火の接濟は已に計を決して拒絕したり。望むらくは各國の諒解あらんことをと。其の用意を見るに反國氣分を轉移せしめんとするに在り。故に賈德耀內閣の成立するや外交總長の職は某々等强國に接近せる顏惠慶を以て之に充てたり。又鹿鍾麟が京師に在るや、其跡亦蘇に近きを以て人言嘖々たれば、之を出して戰はしめ、かゆるに李鳴鐘を以てし、又一方張之江より賈德耀に打電して其學風を整頓せんことを請へり。かくて若し戰局をして一時解決の希望なからしめば外交上の應付は更に困難とならん。故に從前の態度を改め力を極めて和議の進行を謀りつゝあり。擁段を以て名と爲し、外交を利用するを以て實と爲るの方法を取り、現に張之江より已に人を派して奉天側及直隷側の要人と和議を運動せしむる外、同時に段執政より侍從武官多數を派して長江及奉天等の處へ分ち赴かしめ、共に和議を進行せしめつゝあり。隨ひて國民と奉大との妥協は已に大に希望の光を見出したるが、現在戰局の重心は吳佩孚一人に懸れるを以て、吳が若し能く長驅して西北に入らば問題はなきも、若し然らざるときは國民軍には時日を延長せしむるほどの戰鬪力なければ、和議の外に自存の路はなからん。聞く第一軍中の要人は已に左の條件を提出したりといふ。即ち三特別區及直隷の地盤問題と、第一軍保留及駐地給養問題と、西北の不毛を救ふ爲め每年軍餉を供給することゝの三事なりき。（三月十八日—同北京特信）

□國民軍の形勢に對する外國軍事家の評言

國民軍が奉・直兩派に對する作戰は、河南の第二軍が敗れてより後、已に全く第一軍の身上に移れり。今調査するに國民第一軍の目前津南馬廠青縣より保定涿州・熱河一帶に轉戰せるもの總數已に十五萬人に達す。加ふるに第三・四・五軍及熱河土著の軍隊を以てせば、實に二十二・三萬の衆あり。相手方たる奉軍及直・晉聯軍の戰に參加せるもの亦二十萬人に達す。若し河南・陝西の二軍計二十餘萬及吳佩孚靳雲鶚の軍隊十餘萬を加ふれば、現に戰場に在るもの實に八十萬人あり。乃ち民國以來最大の戰役なり。某外國軍事家の觀察に據るに現在直隷熱河兩地に於ける戰事には熱河國民軍は如何にするも他方面へ出動せしむべからず。直隷境內に在る國民軍の兵力は尙ほ敵に抗するに足ると雖も、殊に自由に調動するの餘裕なし。故に國民軍現在の地位より言へば恰も歐洲大戰の初に於ける獨逸・墺太利兩軍

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の地位の如し。墺太利は今の熱河の如く僅に能く自ら保つのみにて、協約軍に抗するの力は唯獨逸軍のみ。此れ乃ち今の直隷境内の國民軍なり。當時獨逸軍は内線作戰の計畫を採用し、首として兵力最も多く外面最も強き露軍を摧破し窮迫すること四十三日、有史以來追擊戰の新記錄を開き終に露國をして屈服せしめたり。故に獨逸は猶ほ餘力の協約國の聯合軍に敵するの力あり。最後には失敗せるも其の勢固より亦甚だ雄なり。唯協約國の包圍封鎖及持久の戰略に堪へざるのみ。細に今の國民軍を察するに其の採る所の戰略亦内線作戰に係る。數日前一鼓して馬廠を下し連りに直・魯聯軍を追ひて靑縣に克ち興濟を復して其の勢甚だ盛なり。然るに意外にも奉天・山東の艦隊が忽ち北塘を襲ひ、大沽・塘沽一帶は同時に急要を告げたれば、其の兵力一師團以上を分ちて上陸の山東軍を禦がざるを得ず。而して灤河東岸に在るの奉天軍又着々と進迫し、連りに冷口・建昌・遷安・永平各地を陷る。現に海岸の敵は已に擊退けられたるも、直隷・山東聯軍は退いて滄州を守り、敵艦尙時に大沽海上に出沒し、聯軍の援軍亦至り時々反攻の狀あり。國民軍の軍威は壯なりと雖も、終に一鼓を以ては之を殲す能はず。故に北塘の門致中の一個師を調して灤河に赴援するに至る。然れども竟に大軍を增援せしむるの法なきは實に國民軍の最大弱點にして、内線戰の意の如くならざるなり。況や京漢鐵路保定・大名の一帶には山西軍の態度明ならず、新軍復た勢に乘じて河を渡りて彰德を占め保定・大名を進擊し聯軍の作戰を援助するの計畫あるをや。按ずるに國民軍の内線作戰計畫には左の如き種々の缺憾あり。(一)鐵路交通と陸路運輸との不完備。(二)兵力に十分の餘裕なければ調動靈活ならず。(三)國民第三軍は實力なければ進攻不可能なるのみならず、殆ど防守の力もこれなし。(四)第四軍魏益三態度の疑はしきこと、第五軍方振武の實力限りあるとの點。(五)後援豫備隊の應用に遺憾あること。(六)軍用餉糈の不充分なること。以上六項の弱點は實に莫大の掣肘にして、敵方の後援國民軍より多く、又包圍攻擊者の地位に居り、軍餉軍實皆籌措するの辦法あるが如くならざるなり。若し敵軍が一方歐戰の時協約國の封鎖的作戰に倣ひ、一方不時に灤州・津南・京漢路の三方面より同時に猛攻せば、國民軍側は多くとも只能く各方面同時に應戰するのみにて、殆ど一方を擊破して後再び勝を得るの兵を調し得て他方を進擊するの可能性なし。現時の交通狀態及運輸の形勢を以て之を言はゞ亦決して國民軍の自由進展に任す能はず。此れ必ずしも遠く往時の史實に徵するに及ばず、去年十二月二十二日より二十四日に至るまでに、李景林が天津にての作戰に視れば明なり。故に國民軍の爲に計るに目前最妙の方法は能く強力の兵を用ひて一擧に直隷・山東の聯軍を擊破し之を德州以南に潰退せしめば、津浦鐵路の戰事は暫く少數軍隊にて防守せしめ、勝を得る後の大軍を以て最迅速の方法に據り灤州戰線に調集し、再び一鼓して奉天軍を擊退して楡關以外に至らしめ、乃ち精兵を用ひて山海關を防守し、而して勝軍を轉じて津浦線

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に向ひて聯軍を掃蕩すべし。是の如くすればたとひ最終最大の勝利を獲る能はざるも、亦國民奉天の和議を促成するに足らん。然るに今の状態は如何。津浦鐵路線の戰は略ぼ勝ちたるも、李景林の兵力は猶ほ奉擊するに餘あり、且つ不日に大擧進攻せんとするの形勢あり。滄州方面の奉天軍は連日猛攻しつゝあるに、海岸敵艦の來襲を防ぐ爲め一部の兵力を分つの必要あり、京漢線の靳雲鶚軍も一步一步に緊迫し來るの觀を呈せり。某外人の電音によるに李景林・張學良は已に相互呼應同時作戰の計畫を採用し、漢口に在るの呉佩孚は亦已に靳雲鶚部王爲蔚・田維勤等に急電して至急に兵を出して李景林を援けしめ、且側面より保定・大名を進取するの説あり。此の説にして若し確實ならば國民軍が滄州・津南兩戰線に於て同時に危急に迫れるにて、又敵軍をして終に持久併攻の計畫を採らしめば、國民軍は終に必ず敵の乘ずる所となりて支持すべからざるの窘境に陷るは斷言すべきなり。聞く國民軍各將領は亦已に其の地位の危險を感じ、現に積極的に聯軍を攻破することに決定し、一方之によりて頹勢を挽回し一方國・奉議和の擧に出でんとしつゝあり。以て其の一斑を推すに足らん。（三月十二日―同北京特信）

□北京政局急變の眞相

鹿鍾麟政變によりて直系と聯絡し自ら保たんと欲せしに、意外にも呉佩孚之が爲めに動かず、聯軍復た進んで國民軍を逼攻すること甚だ急なり。通州既に失したれば京師遂に守る能はざらん。是に於て北京の政局又變化を生ず。已に逃走せる段執政は更に復職を謀り、甫めて自由を復せる前總統曹錕は又遷りて東交民巷に入る。其の變化の離奇測るべからざること此れより甚しきはなし。今其の眞相を探究するに略ぼ左の如くならん。

急政變の内情　國民軍人の段合肥に對する、去歳十月より今を距る一箇月以前までは、極端に之を擁護するに非るも、之によりて利用を謀りたるは事實なり。然るに今遽に之を仆すに至れるは二因あり。（一）國民軍は北京の北方なる黄村・順義に於ける奉天軍が猛然進擊に出でたるに、唯一の恃とする直・國の和議は尚ほ緒に就き難きに鑒み、若し再び時日を遷延せば、兵力はたとひ猶ほ奉軍に抗敵するに足るも、子彈と軍糧とは支持され難きを覺えぬ。故に段祺瑞を驅り曹錕を釋して直・國和議の障礙を掃除し、呉子玉の諒解と信任とを邀へ、呉軍を一日も早く北京に入れて國民軍の援護たらしめんとしたり。（二）段執政の左右親近と已に辭去せる多數の安福派要人とは、暗に奉天と相通じ、直・國和議を破壞せんと謀れることと已に一日にあらず。今や口舌を改めて武力を用ひんとし、暗に先發制人の策と内外審慮の計を定め、預て數日前に人を天津に派し、曾て府の舊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隊長にして今は已に解職さなれる戴光陞を召同して府の衞隊を統領せしめ、四月九日の夕方北京にて事を起し、先づ鹿鍾麟を捉へ北京內なる國民軍を解散し、一方卽時に通州・順義・黄村等の地にある奉天軍に通報するに內外夾擊の法を以てしたり。當時安福派諸人は以爲へらく、國民軍の全力は前敵に向つて出で居り、北京中に殘存せるものは僅に數千人に過ぎず。然るに衞隊旅も三千餘人の數なれば、暗夜に乘じて其の備へざるに出でなば解決は容易ならんさ。然るに此の密謀は早くも戴光陞の入京さ共に國民軍側に探悉せられ、終に國軍首領鹿鍾麟をして九日夕方斷然たる手段を取らしむるに及べり。而して其の時間も安福派の定めたる擧兵の時間さ僅かの前後ありしのみなりしさいふ。

段執政逃走の眞相　國民軍が曾て曹錕を處置せし方法を段執政に施さんさて、迅雷耳を掩ふに及ばざる手段を取りしに拘はらず、遂に能く其の籠の內を免れ得たるは、誠に安福派諸人が主を愛するの力に因れりさす。卽ち九日夜曾毓雋・姚震等が德華樓上に密議せる時、其の謀の已に國軍の知る所さなれるを知るや、曾毓雋の提議により直ちに列席某君を推して吉兆胡同に返り段氏を邀へて東交民巷に移さしむ。某段氏に見え力めて危險の狀況を說けるも、段毅然さして之を斥けたれば、某之を如何さもする能はずして復命せるに、曾等始めて日本顧問大谷に請ひ親しく往きて段氏の出馳を勸めしむ。大谷乃ち段宅に赴く。時已に子の初刻に在り。段正に經を誦し畢り將に寢れんさする時なりき。大谷一たび段氏に面し二三語をかはすや否や無理に之を挾み去りて交民巷の住所につれ行けりさいふ。

曹氏の自由恢復　平日曹錕氏を監視せる兵衞は亦段氏の衞隊旅の兼務する所なるが、昨夜府衞隊の全體改編せられたるに因り、曹氏の監視衞隊も亦徵集し去られ、鹿鍾麟より別に所部を派し改めて曹氏を保護すさ稱し、今朝又韓復渠をして前國務院秘書長張廷諤さ同道曹氏に謁せしむ。韓・張二人告ぐるに段氏の逃去れるを以てし、且つ種々の情況を話し、曹氏が國民軍の爲め吳子玉に向ひ意思疏通の法を講ぜんことを以てせり。然るに曹氏の之に答ふる所頗る要領を得ず。願ふに幽閉旣に久しく神經頗る遲鈍さなりしに非るか。

政局の混沌　段氏已に倒れ、所謂中央政府なるもの已に中斷し、而して後繼の局面は事前に何の準備もなければ、國民軍人の匆忙さは尤も甚しく、一の段氏を驅り曹氏を釋すの布告及び通電すら三回まで修改を施し、終に不安の儘頒布したる程なり。鹿氏は後繼善後の辦法を一に吳子玉の頭上に推し及ぼし、一方其の北京に來りて主持せんことを請ひ、一方又政府組織の辦法を電詢し、同時に熊斌を保定に派して靳雲鶚さ打合せ、靳氏の手をかりて吳氏を催促せしめたり。

府衞隊の武器押收さ戒嚴　段氏驅逐事件は四月十日の早朝に突然發生したることにて、同朝二時頃、國民軍第十師々長門致中旅は景山より三部に分れて北京ひ向ひ、其の一部は吉兆胡同に、又一部は

鐵獅子胡同に、餘の一部は中南海居仁堂に馳せ向ひ、同時に執政府を包圍し、西は東安門大街・王府井大街より、東は興平倉に至るまで、北は交道口北新橋より、南は東單牌樓までに軍隊を配置し、竝に各胡同の入口に小砲を安置し、吉兆胡同の前後は監視尤も嚴なりき。卽ち外面より執政府・國務院衛隊に打電して其の隊の武器を提出せしめたるに、衛隊旅長宋玉珍は全部の武器を提出し改編を受くることを答へたれば、十日の拂曉に至るや先づ國務院の衛隊を受け入れ、府の衛隊は九日の午後已に收編されたりと聞く。

（以上四月十日夜—同—浩然・悠々等）

□時局急轉中の吳佩孚

國民軍の和を乞ふを堅拒す　吳佩孚氏は國民軍の和を乞ふを拒絶し、鹿鍾麟等の職を離れ竝に軍隊を悉く交付せる後始めて和平解決を許さんことを堅く主張し、已に張之江・王士珍への返電に其の意を詳にせるが、更に其の四月十四日附、北京總商會・華僑聯合會・國民和平促成會・京師保安會・和平統一會等の團體への返電を見るに云く、「首善の區悉く盜窟と成りぬ。老賣國黨國柄を前に借竊し、新賣國賊赤化を後に宣傳し、妖氛未だ靖からずして障碍猶ほ存じ、永久の和平は尙ほ實現し難し。目下段黨逋逃となると雖も馮部尙ほ城社に憑る。必ず京に踞る餘逆を擧げて武器を押收し、始めて赤化を討つの大計を申れ中外の輿情を慰むべし。諸君の國を愛する當に贊同を表せらるべきなり」と。以て吳氏が國民軍に對するの態度を明見すべし。

田維勤の入京は事情あり　吳氏が國民軍に對する態度已に上の如しとすれば、西路の軍事は自ら必ず積極に進行せしめ、以て徹底的に解決するを期するは勿論なれば、田維勤が和平入京の情は否認されあり。然れども田の實際北京に入り同時に曹錕・顏惠慶に謁見したるは本より事實にて、其の意は田氏個人に軍事手腕を運用し平和の間に北京を取らんとするものなれば、吳軍の總司令部方面の意見と衝突し居り、且つ奉天側の誤會を引起すに足るを以て、吳氏側では田維勤の入京擧動ありしを認めざるのみ。

賈閣員等の北上電催に應ぜず　十日の北京政變後、各方面より吳氏の北上を催促する電報は實に雪の降るが如く盛なり。中にも賈內閣々員・胡惟德・賀得霖・盧信等よりの電報には「十日政變以後、主持するに人なし。行政は中斷する能はざれば、暫く現狀を維持しつゝ靜に替るべき人を待つ」とあり。又曹錕氏よりも二回の打電ありしが、吳氏は鹿鍾麟等が未だ職を離れず、且つ未だ武器を提出せざれば、尙ほ遽に北上する必要なしとて、今は北上せざることに決定せり。但し陰曆三月七日は吳氏五十三歲の誕生日なれば之が爲め京漢鐵路局に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

列車の用意を爲さしめたるのみ。（以上四月十九日―同―漢口特信）

吳氏時局に對するの主張　吳氏は王士珍・張之江兩氏宛の電報を以て國・直妥協不可能なる旨を示したるも、是れより先聯軍は既に中州を定め、卽日黃河を渡りて北方に向はんと欲し、靳雲鶚部の田維勤・王維城・王爲蔚の三軍が鄭州に雲集し出發の準備せるに拘はらず、新樂鐵橋の猝に修復し難く、車輛も陝軍に毀壞され、或は鐵路到る處に扣留められたる爲め非常の缺乏を來したれば、靳軍は田維勤の一部のみ步行を以て北上し、直ちに保定附近に至れり。其の時たま〳〵國民軍が京畿を撤退せんとし、和平てふ旗幟を振りかざして戰禍を緩和する計を爲し、靳・田等は後路の大軍を猝かに進め難く、又田部は孤軍深く入りたるを以て應戰し難き事情あり、終に同じく和平の旗幟を假り國民軍と相對し居れるに、魏益三は聯軍の虛實と策略とを知らず。竟に先づ保定を讓り渡せり。其の時鹿鍾麟等は奉軍と直督聯軍とが進んで京の東南を攻むること甚だ急なり。故に亦直隷系軍との妥協を思ひ、一方奉天に抗するの勢を張るべく、又一方西路の兵を緩むべしとし、互に代表を派して妥協を謀りつゝありたるが、四月三日新樂鐵橋の修復成り車輛亦齊全さるゝに及び、靳軍の大隊陸續北上し、靳亦親しく保定に至りて師を督せり。乃ち三路の軍隊に命じて必至々と前進せしめ、直ちに長辛店・蘆溝橋の一帶に趨き、東路なる奉天軍と共に京畿を合攻せんと謀る。鹿等は此に至り始めて靳・田の愚にする所となりたるを知れるも、今や如何ともする能はざるに至り居れば、已むを得ず非常手段に出で段氏を逐ひ吳氏を迎へ信を聯軍に取り最後の妥協を謀るを得んと欲したるに、意外にも吳氏に拒絕せられ、其の巧計の容れられざるを見、已は南口に退くことを決し、聯軍は吳氏の命によりて暫く北京に入らざることゝし、京師の治安は王懷慶より責任を負ひ之を維持せしめ、鹿氏の軍隊が北京を退出するを俟ち、始めて路を分ちて追擊に出で徹底的解決を謀ることゝなれり。此れを國・直議和の經過とし、聯軍北進に至るの眞相とす。是に於て吳氏が時局に對する主張を見るに、其の通電の内容に據りて明なるが如く、曹錕の辭職・顏惠慶の內閣組織を主とするものにて、鹿氏等の和を乞ふに對しては斷然拒絕し、鹿氏等の誠意投降・全體國民軍解散を以て妥協の條件とす。過激赤黨に對しては吳・張聯合以て之を滅絕するを期し、政治問題に對しては首として國會を恢復し、次に憲法を修改し、又次に顏惠慶を以て內閣を組織せしめて中央政局を恢復し、曹總統問題若し憲法に依り復職せば、復曹氏より自ら國會に向ひて辭職すべしといふにあり。（以上四月十七日―同―漢口特信）

□閩粤間の危機と閩省軍議

閩粤平和破裂說の不可　閩粤間の平和は近頃に至り破裂の象あり―との說あるも然らず。周督署參謀長奮原璧の言に據るに云く、「周督

辦は從來保境安民の宗旨を抱き、更に鄰省を侵略すの心なし。卽ち閩省の情形を以て言ふに、亦外に向ひて發展するに足らす。されば閩省の粵に向ひ釁を挑むまでには至らじ。詔安を收回するに至りては自ら閩省の取扱ふべき所にして、周督辦も平和辦法を主とし武力を用ふるの意なし。されど粵省側にて兵を閩に加へんとするときは、閩省は保境安民の意見を貫徹せん爲め、相當の應付を取るべし」と。

右說の來る小因　粵省が閩省を圖るの說は亦絕對に因なきに非す。前の閩省第二師々長高義が敗戰の餘鼓浪嶼に逃れ去り、又當局より鼓浪嶼工部局に向ひ引渡しの交涉をするに及び、高等又上海及奉天に逃れ最近に至り高及其の前參謀長陳昌侯が更に潛に鼓浪嶼に到り、仍ほ閩省下游各部民軍と相結び、又陳昌侯をして上海に赴き許崇智と聯合し、在閩粵軍の殘部を收集して事を擧げんと謀りつゝあれば、閩省當局者は常に之に注意を怠らすと聞く。されば此れを其の小因とも謂はんか。

軍事會議の開會　四月十四日午後一時より開會されたる閩省軍事會議に參列せるものは興泉永鎭守使孔昭同・省防司令李生春・第十二師第二十四旅々長劉俊・第一補充旅々長蔣啓鳳・第二混成旅々長蔣勝標・第三混成旅々長張慶昶の代表魏浩第三十混成旅々長蘇埏・第十二師第二十三旅第一團々長兼尤溪口司令李天雲・第十二師騎兵團々長兼莆仙防務司令馬克常・第一師々長張毅の駐省辦事處々長冷世廉・第三師々長李鳳翔の駐省辦事處々長高貴臣・督署參謀長富原璧・副官長王雲岳及下游軍需局長閻珩・督署參議葛光庭・米材棟等なり。會長は周督辦にして、先づ開會の報告をなし議事日程に入り次の二項を開議したり。(一)防地と軍隊との支配　此項は督辦の提案に係り、大意は閩省の新募兵を各旅團へ分派して隊伍を補充せるが、該新兵は尙ほ訓練に待つ所ありて防務を擔任する能はず。現在各縣地方未だ靖からざれば、何地か防備すべき、何處か新兵を訓練すべしといふ適宜の分配あるべし。請ふ公共の決議あらんことをと。本案討論の後列席各高級軍官より議決し、各人の所部に防務に任すべき軍隊若干あり、訓練すべきの新兵若干あるか、又所轄の防地某處には防軍を駐むべく、某處には新兵を駐むべきかは、各軍官が防地へ歸りし後一週間内に表を作りて督署に呈送して辦理せしめ、若し防軍不足ならば督署に願出で省中より已に練り了りたる兵を召集して各地に赴かしめ、若し各地皆防軍の必要ありて、不練な新兵を雜えて匪徒の玩視するを啓くが如きときは、則ち新兵を省に呼寄せ訓練を施すこととす。(二)軍紀整頓案　此れ亦督辦の提出に係る。蓋し各縣知事及人民は軍隊の民政に干涉するを控告し地方を騷擾するを訴へ來れる事とて、**之を如何なる方法にて防止するかを議せしむるものなり。**是れ亦各軍隊長官より部隊に通飭し、一致して命令に服從せしむることに議決さる、時已に午後五時頃に達したれば、其儘散會となれり。尋で十五・十六日は停會、十七日更に開議する筈なり。

(四月十六日—同—福州通信)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□南閩近信

漳州管轄下に於ける鹽　數箇月前までは、產地よりの運搬は帆船により、石碼經由各地に擔き居たる所、數箇月前數艘の鹽船厦門守備の監守船に發見せられ、船、鹽は沒收せられ、船主は處罰を受けたるにより、船の廻報に應ずる張軍も亦沒收を恐れ、陸路運搬の止むなきに至れり。

產地は漳浦縣下霞美附近十淸里の一帶にして、舊鎭より東に當り金塘圩より西南七八里の處に產するなり。其產額は事實上現在の生產額以上に上るべき鹽田を有すれども、專賣下なるを以て、自由製產及相當の利潤を與へざるにより、目下の生產額は每月六七千擔に止まる。右の鹽を以て張軍は漳下の需要に充て利を獲收せるなり。

運搬法は產地霞美より浮南橋に至る四十淸里を第一區となし、更に浮南橋にて苦力を改め、白水營に至る三十五淸里を第二區とし、其苦力賃は一擔につき第一區に六角、第二區に五角を給す。

產地よりの鹽は、每日二百擔の運搬を要するが故に、之に使用する苦力は每日最少四百名にして、力量少なきものは一擔を二人又は三人にて擔ぐ。一擔の重量は鹽務官は七十五斤と稱すれども、實斤は百斤以上なり。これ七十五斤は司令部の定むる所にして、百斤以上を擔はしむるは執務官吏の役徳する所なり。

苦力徵發方法　此の附近の者のみを以て、每日二百擔の運搬に當つることは不可能なるが故に、四十淸里の遠隔地よりも之を徵發し、日を定め何村より何擔運搬すべきやを强制し、十擔を一組として送附狀一枚を與へ、定められたる斤數より不足せる場合は、苦力賃を與へられざるは勿論、其上に處罰せらるゝ掟なり。

故に沿路より遠き者の徵發に遇ひたる時は、其煩を避けんが爲め近き者をして之に代らしめ、所定の賃金に四角或は六角を加へ、之に從事せしむる者多し。

近き者と雖も、徵發に遇ふを厭ふこと甚だしく、遂に農繁期に至りては、尙一層住民の困難を來すものと觀測せらる。

以上の方法により霞美附近に製產せられたる鹽は、陸路白水營に運ばれ、之より水運により石碼に至るものとす。

（以上三月二十五日—漳州情報）

漳浦・海澄兩縣下に於ける阿片狀況　昨秋以來旱魃の爲め、各社共播種後水なきを恐れて之が播種を手控え、其の量約一昨年の半分程に止めたると、旱災引續き灌漑の宜しきを得ざるより充分の發育を遂げざりしとに依り、本年の阿片相場は昨年に比し約五割高の狀態を示し居れり。卽ち昨年四五月頃には一兩（十匁）が九角或は一元なりしところ、本年は一兩に付一元五六角なり。

漳浦縣阿片納稅等級　本年度漳浦縣下に於ける阿片の納稅は地質

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と富の程度とに依り等級を分つこと略ぼ左の如し。

一等地　毎一人　大銀五十八元　二等地　毎一人　大銀四十六元

三等地　毎一人　大銀三十四元　等外地　毎一人　保官任意に之を定む

納税すべき一人とは、男子十六歳以上五十歳までのものにして、不具者及妻子なく勞働に堪へざるものは免税にして、農耕するとせざると、又吸食するとせざるとを問はず、すべて之が義務を負ふべきものと定めらる。

海澄縣下阿片納税等級は略ぼ左の如し。

一等地　毎一人　大銀十八元　二等地　毎一人　大銀十二元

三等地　毎一人　大銀五元　等外地(浯嶼)　毎一人　大銀二元半

納税すべき一人とは漳浦縣下と同様にして、十六歳未滿十歳までの男子には富の程度を配し、半人分又は三分の一人分を課し納入せしめつゝあるを以て、農民は阿片の不作なると、徴税の苛酷なるとに苦められ、極めて悲慘の狀態に在りといふ。

漳浦縣重税の理由　漳浦縣下は他縣に比し特に重税を課し、農民をして殆んど糊口の途なきに至らしめたる理由は、昨年一月縣下に一揆を起しゝに起因するものにして、張毅管轄下に於ける統治上の手段なるやに窺はる。(以上四月二十五日—同上)

□香港航業經濟の新調査

(一)香港一日間出入の人數　廣東・香港間交通停頓の後、香港の商業中最も大影響を被りしものは旅店と客棧は皆人の知る所なるが、今廣東・香港・澳門間の船業經濟の調査をなすに、其の損失左の如し。

從前廣東・香港間の汽船の晝夜航行に用ひられしものは、河南・龍山・佛山・香山・東西安・播寶・哈德安及廣西・廣英・高州等の類の如き、大小汽船合計十餘艘ありき。然るに近來罷工勃發せしより後、廣東・香港間を往復するものは只外人の乘客たる龍山・佛山の二船あるのみにて、東西安及其他の汽船は多く改めて香港・澳門間を航行するに至れり。茲に三月三十一日の一日につき香港に往復せしもの〻調査をなしたる結果は左の如し。

南方より香港に來れるものは一日八十三人、香港より南行せしものは三十六人あり。(南方とは外洋或は瓊州海南厦門の人を包括せり)又澳門より香港に來れるものは泉州號一四〇人・瑞安號二七〇人・東安號二二一人・西安號一七六人にして、廣州より香港に來れるものは龍山號一三四人なれば、合計香港を離れしものは八六一人にして香港に來れるもの一、〇四三人あり。今往來の人數を比較するに、一日中に香港に留るものは一八二人となる。之を從前の毎月一日間の往來人數が一八、〇〇〇人より四〇、〇〇〇人又は五〇、〇〇〇人に至り、しかも其の大部分は遊客或は香港にて生計を營むものなりしに比すれば如何ん。現在此の百數十人の往來にては香港商

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業の振はざるは言はずして明かなりとす。

（二）罷工期内航業の損失　香港總商會が航業に關する布告に據るに云く、今回罷工の爲め航業の害を受けたる多寡は各汽船の載貨に就きて見るべしとす。今汽船の廣州に來るもの、載貨は百分の五十、汕頭に來るものは百分の三十、香港に來るものは百分の二十なるのみ。此の百分の二十なる貨物は卽ち此の八箇月内來る所の貨物なり。一九二四年八月より十二月までの間に英國汽船の廣州に入るものを統計するに多きは每月二百四十艘より少きは每月百六十艘なりしが、一九二五年八月より十二月までは減じて最多二十七艘より少きは二艘ありしのみ。而して此等の汽船は皆同一汽船公司の物業にして原狀を維持せんとするに在りて、其の損害は勘定中に入れざるなり。且つ罷工以前に在りては所有中國海岸の商埠及廣州・汕頭各處の運輸業は皆英人の掌中に操られありき。卽ち該布告によるに一九二四年七月より十二月までに英汽船の汕頭に入れるもの共計六百八十一艘なりしが、一九二五年の同期間には只七十八艘あるのみとあり。而して此の七十八艘が貨物の揚下をなす能はざる爲め皆空船なるに於ては大に考へざるを得ざるなり。（四月七日—國華報）

□支那の漁業法草案の諮詢案

吾が國（支那）の漁業行政は前淸光緖三十年より肇められしが、途中斷絕し宣統に至れり。當時は僅かに江浙漁業公司の設立を奏上せるのみにして、其奏案・法令・法典等も皆不完全なるものなりき。然るに三年四月二十八日に至り、本部（農商部）は始めて漁輪護洋緝盜獎勵條例十二條・公海漁業獎勵條例十一條を公布せり。四年四月二十四日公布せる各該條例施行細則は、前者は十六條にして、後者は二十二條なりしが、同日又公海漁船檢査規則十四條を公布せり。十一年九月十六日には漁會暫行章程四十七條を公布し、十二年十月三十日には該施行細則十四條を公布せしが、要するに皆漁業上の根本的大法にはあらざるなり。前後二十年間に於ける漁業行政の經過を通觀し、始めて大法を設くるにあらざれば漁業興らず、大法の成文は又決して草々の間に擬訂し得るものにあらず、確實なる調査を行ふにあらざれば、筆の持ち難き事を知り得たり。査するに日本は明治二十六年（前淸光緖十九年）より漁業法制定の調査に着手し、三十一年に至り初稿始めて定り、貴族院の可決する事二回、衆議院の否決する事二回を經、更らに三十四年四月十三日（前淸光緖二十七年）に至り始めて成立し、次年七月一日之れを施行せり。又十年を越へ、四十三年四月二十日（前淸宣統二年）に至り、改正漁業法を公布せしが、之れ卽ち該國の現行法なり。然り卽ち日本は初次立法の時九箇年を費し、其調査比較は卽ち其精神なり。吾が國（支那）今日の調

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

查程度は未だ十分ならず、諸法の比較も亦概略なれども、幸なるは東鄰(日本)の事情我(支那)に類するもの多く、世界の通則は亦彼(日本)の盡く參酌せる所にして、吾が國の此法を取り、又本國の法制及び事實を參考として草案を酌立し、憲政實施の一端と爲さん。民國紀元の初に當り、南京實業部は亦本法の草案を提出せし事ありしが、該案は純然たる日本法の飜譯にして、我(支那)國情に適せざるものあり。適々福建人林元良なる者も亦嘗て一草案を擬訂し、農商部に提出し、調査に資せしが、該案は純然たる飜譯ものにあらざりしと雖、簡略に失せる嫌ありて、漁業の實況を總括するに足らざるなり。故に此兩案は僅かに參考に供すべし。而して已に本年一月二十日本部(農商部)は北京以外の各關係役所に對し、漁業の古き事を集め司る人を搜索し集むべく命じ、竝に昨年十二月駐外各公使に咨文を發送し、各該國の漁業法典を徵集し、以て參酌に備ふべく訓命せり。佛・獨・瑞典・土耳其等の國より陸續として同答部(農商部)に到著せしと雖、唯北京以外の各役所よりは尙返事無し。本部は此頃の法典は關係重要なるを以て、久しく延引する能はず、茲に特に先づ日本現行法の要義を取り、竝に憲法第二十四條第一項及び第二項第二款の規定に依り、漁業法の草案を擬訂せしが、其內容に至りては漁業組合と水產組合の如き、皆日本現行法中に包含せり。吾が國(支那)は卽ち漁會暫行章程を既に公布し、章程の規定は已に水產組合に近きによりて、本部(農商部)は特に該章程に對し、日本水產組合を參照し、適當なる修正を加へて漁會法となし、以て該項組合の趣旨に合せしめたり。思ふに此頃の組合は水產物の漁撈・製造及び貿易の數端にして、漁業組合の如き專ら人民漁業の權利に關するものにあらざれば、別に一法を制定すと雖、亦不可無し。此れ卽ち本草案の水產組合を除きたる理由なり。今や草案既に成りたれども、尙國務院に提出するに至らざりし處、適々本會の開會に會ひしを以て、之を提出し、貴代表の品評を請ひ、竝に詳細なる指示を加へ、法典に益あらしめん事を希望する所にして、之れ本部(農商部)の甚だ望む所のものなり。此に實業代表に謀る次第なり。

漁業法草案

第一章　總則

第一條　本法に稱する漁業は卽ち營利の目的を以て水產動植物の採捕業或は養殖業を經營する事を指す。

第二條　本法に稱する漁業人は卽ち漁業を經營する人及び漁業權或は入漁權を有する人を指す。

第二章　範圍

第三條　本法は祇公有の水面に適用するものにして私有の水面に至りては特別の規定あるにあらざればこれを適用せず。

第四條　私有水面と公有水面と連り一體となれるものも亦本法を適用す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前項水面の占有人或は其地基の所有人は農商總長或は地方最高行政長官の該水面及び地基に對する認可を經るにあらざれば漁業上の制限をなし或は共利用を停止するを得ず。

第五條　本法は中華民國領海内に在る人民に對し均しく之れを適用し、公海内に在る本國人民も亦其拘束を受く。

第三章　漁業權

第六條　本法に稱する漁業權は卽ち一定の水面と一定の期限内に在りて一定の漁業を經營する權利を享有する事を指す。

第七條　漁業權は物權と看做し土地に關する規定を準用す、但し漁業の登錄を經たる後にあらざれば第三者に對抗するを得ず。

第八條　漁業權の分割變更は應に主管官廳に申請して認可を受くべし、但し專用の漁業權は農商總長或は地方最高行政長官の認可を得るにあらざれば處分するを得ず。

第九條　漁業權の共有人は其他各共有人の同意を得るにあらざれば其所有分を處分するを得ず。

第十條　漁業權の分割變更と放棄は已に登錄せる權利人の同意を得べし。

第十一條　漁業權人の所有水面を使用する權利義務は該漁業權の處分に從ひ之れを定む。

第十二條　漁業權を抵當となす時は凡そ定着せる該漁場の工作物は均しく一體と看做す。

第十三條　漁業權の效力は取消放棄或は法定期限の滿了により消滅す。

第十四條　漁業權の法定期限は二十年以內にして主管官廳より之れを酌定し、第二十七條第一項の規定に依り或は第四十五條規定の命令に依り停止する漁業期限は算入するを得ず、前項法定の期限は漁業權人の申請によりて之れを更新する事を得。

第四章　入漁權

第十五條　本法に稱する入漁權は卽ち契約或は習慣に依りて漁業權人の漁場內に加入し其漁業全部或は一部を經營する權利を得る事を指す。

第十六條　入漁權は物權と看做す。

入漁權は繼承及び轉讓以外其他權利の目的たるを得ず。

第十七條　入漁權は漁業權人の許可あるにあらざれば轉讓するを得ず、但し特別の習慣ある時は此限にあらず。

第十八條　入漁權の共有人は其他の各共有人の同意を得るにあらざれば其所有分を處分するを得ず。

第十九條　入漁權の期限は契約上に於いて特別に規定されたる時は卽ち該漁業權の期限に從ふ、但し該期限中に在りて入漁權人は其權利を放棄する事を得。

第二十條　入漁人にして入漁費を納めざる時は漁業權人は其入漁を拒絕する事を得。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

入漁權人にして二年以上繼續して入漁費を納めず或は破產宣告を受けたる時は漁業權人は入漁權の取消を請求する事を得。

第二十一條　入漁權人にして入漁をなさゞる時は入漁費を納むる必要無し。

第二十二條　入漁權に關し前三條の規定以外各地方に特別の習慣ある時は其習慣に從ふ。

第五章　漁業認可

第二十三條　凡そ請願せる各種漁業にして其沿海省の部分に屬するものは農商總長より之れを認可し、沿海省の部分に屬せざるものは地方最高行政長官より認可す。

地方最高行政長官にして各該地方の各種漁業を認可せる時は應に農商總長に轉送して案に備ふべし。

發動汽船漁業の制限と禁止とは農商部令を以て之れを定む。

第二十四條　主管官廳は漁業權を認可する時酌加制限或は條件を附する事を得べし。

第二十五條　漁業權の認可されたる日より一年內に漁業を經營せず或は二年間繼續漁業を停止せる時は主管官廳は其認可を取消す事を得。

第二十六條　漁業を經營せざる事由を主管官廳より認可されたるものと第二十七條第一項規定に依るもの又或は第四十五條規定を根據として發せる命令によるものとは各該期限は前條の期限に之れを算入せず。

第二十七條　水產動植物の蕃殖保護船舶の航行碇泊繫留海底電線の安設或は國防及び其他軍事上の必要及び公益上障碍あるにより主管官廳は已に認可せる漁業に對し制限停止或は之れを取消す事を得。

漁業權人にして本法と本法に據り發する命令とに違背する時は其漁業に對し制限し或は之れを停止する事を得。

第二十八條　主管官廳は認可せる漁業權に錯誤ある時は之れを取消す事を得。

第二十九條　漁業權認可後主管官廳は卽ち登錄し登記と其效力を同じくす。

漁業權登錄章程は命令を以て之れを定む。

第三十條　漁業登錄取消後主管官廳は卽ち登錄濟みの抵當人及び特權先取人に通告すべし。

前項の權利人は通知を受けたる日より三十日內に漁業權の競賣を請求する事を得、但し第二十七條第一項及び第二十八條の規定に依り取消す時は此限にあらず。

漁業權は前項の期限內に在りても競賣の手續完了せる日に至りて終り、競賣の目的範圍內に於ては該漁業權は卽ち存在すと認む。

競賣に依りて得たる金額は競賣費並に淸算に充當し本條第一項の負ふ所の債務に對しては若し餘額ある時卽ち國庫に交附す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

競賣の決定已に認可せられたる時は漁業登錄の取消處分は無效と認む。

第六章　漁業人の權利義務

第三十一條　漁業人は漁業の經營上必要ある時は主管官廳の許可を經て他人の特別に用途無き土地に越入し以て其業を營む事を得。

第三十二條　漁業人は左に列記せる目的により主管官廳の許可を經て他人の土地を使用し或は該土地上に竹木を建立し或は其土石を保留する事を得。

一、漁場標識の建設。

二、漁業目標の建設或は保存。

三、望魚臺を建設し或は漁業信號及び其他必要なる設備をなす事。

第三十三條　前二條規定の事項發生或は漁業測量と實地調査等により主管官廳の許可を經て他人の土地に越入し其竹木を採伐し或は其障碍物を除去する事を得。

第三十四條　漁業人にして前三條規定の事項を行ふには先づ土地所有人或は占有人に通知し生ずる損害は之れを賠償すべし。

第七章　漁村公會

第三十五條　一定の區域內に在りて居處を有する漁業人は漁村公會の設立を請願する事を得、唯該區域にして沿海省の部分に屬するものは農商總長より認可し沿海省の部分に屬せざるものは地方最高行政長官より認可す。

地方最高行政長官にして漁村公會を認可せる時は農商總長に轉送して案に備ふべし。

漁村公會の區域は該漁村原有の土地たるを規定となし若し該地にして漁村無きものは其區域は主管官廳より之れを決定す。

第三十六條　漁村公會は法人なり。

第三十七條　漁村公會の目的は漁業權入漁權と漁業權の借入れとを取得し該公會々員の漁業に對し共同の設備をなすにあり。

漁村公會は自ら漁業を管理する事を得ず。

該公會々員は漁村公會の取得し或は借入れたる專用漁業權或は入漁權の範圍內に在りて自ら漁業を營む權利を有す、但し該公會は自ら章程を定む。

第三十八條　漁村公會は共同の目的を達する爲め第三十五條の規定に依り主管官廳に請願して漁村公會聯合會を設立する事を得。

第三十九條　漁村公會聯合會は法人なり。

第四十條　漁村公會漁村公會聯合會の設立は登錄後にあらざれば第三者に對抗するを得ず、登錄事項の變更は應に登錄の順序を經べし。

第四十一條　主管官廳は隨時漁村公會漁村公會聯合會の事務報告を詳細に調査し並に各該事務及び財產狀況を檢査し又監督上必要なる命令を發し或は其處分を爲す事を得。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四十二條　漁村公會漁村公會聯合會の決議或は職員の行爲にして法令章程に違反し及び公益に妨害ありと認めたる時は主管官廳は左記の處分を爲す事を得。

一、決議の取消。

二、職員の解除。

三、該公會或は聯合會の解散。

第四十三條　本法規定以外漁村公會漁村公會聯合會の設立登錄管理分合解散淸算及び其他必要事項に關しては農商部令或は省令を以て之れを定む。

第四十四條　漁村公會漁村公會聯合會にして若し本法中の該公會に關する規定に違反し或は本法を根據として發せる該公會に關する命令に違反せる時は各該員に對し三百圓以下の罰金に處する事を得。

第八章　保護及び監督

第四十五條　實業廳々長、水上警察廳々長、縣知事は水產動植物の蕃殖保護或は漁業の監督を爲す、若し沿海省の部分に屬するものは農商總長の許可を經て左記の命令を發布する事を得、其沿海省の部分に屬せざるものは地方最高行政長官の許可を經て之れを發布す。

一、爆發物及び有毒物の使用を禁止す。

二、禁漁區域の期限及び保護區域を規定す。

三、魚類溯河の魚道を開通す。

四、魚介類の體長を制限す。

五、水產動植物の採捕を制限し或は之れを禁止す。

六、水產動植物及び其製品を制限し或は之れを禁止す。

七、漁具漁船を制限し或は禁止す。

八、漁業人の數及び其資格を制限す。

九、水產動植物の蕃殖保護上其必要物の採捕と除去を制限し或は之れを禁止す。

農商總長・地方最高行政長官は前項の制限と禁止に對し必要と認めたる時は命令を以て之れを定むる事を得。

第四十六條　漁業人は海獸を捕取するにより爆發物を使用する事を得、但し主管官廳の許可を得べし。

第四十七條　農商總長・地方最高行政長官は一定の區域內に設置されたる工作物にして魚類溯河の通路に障碍ありと認めたるものに對して制限と禁止の命令を發布する事を得、人民の已に設立せる工作物にして魚類溯河の道路に障碍ありと認めたるものは農商總長・地方最高行政長官は該所有人或は占有人に命じて勞働者を雇ひ破毀せしむる事を得、但し賠償金を酌給すべし。

該項破毀の處分にして漁民より請願せるものなれば卽ち原請願人に於いて賠償の責を負ふべし。

前項の賠償金額に對し不服ある時は審判廳に訴訟する事を得。

第四十八條　主管官廳は漁業人に漁場の標識建設を命ずる事を得。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四十九條　私有水面と公有水面或は第四條の水面と相連るものは應に第四十五條第四十六條第四十七條第五十八條の規定を適用すべし。

第五十條　漁業人の雇人及び該遺族に關する補助は命令を以て之れを定む。

第五十一條　漁業上の檢査搜索事項に關しては農商總長或は地方最高行政長官より各該主管官廳に命じて之れを執行せしむ。

第九章　訴訟及び罰則

第五十二條　工作物の所有人或は占有人にして第四十七條第二項の賠償金に對し不服ある時は確定賠償金額の通知を受取りし日より九十日以內に於いて審判廳に起訴する事を得。

第五十三條　凡そ漁業上の訴訟事件は前條の規定以外は均しく先づ主管官廳に申請して其處分を俟つべし。

前項の處分に對し不服ある時は審判廳に起訴する事を得。

第五十四條　凡そ漁業權の權利を侵害する者は五百元以下の罰金に處す。

前項の罪は起訴を待ちて之れを論ず。

第五十五條　漁場の標識を移轉或は污損破壞する者は五十元以下の罰金に處す。

第五十六條　各該管官吏の第五十一條の職務執行を拒絕し或は阻碍するものと檢査搜索の際該官吏の訊問に對し答辯せず或は虛僞の陳述をなせるものは三百元以下の罰金に處す。

第五十七條　左記各條項の一を犯せる者は千元の罰金に處す。

一、未だ認可を得ず或は漁業停止中にありて各種の漁業を經營せる者。

二、漁業認可の制限と條件とに違犯して漁業を爲せる者。

三、專用漁業の停止中該漁場內に於いて已に停止されたる漁業を經營せる者。

前項犯人の有する漁獲物及び漁具は均しく之れを沒收し其全部或は一部にして沒收を圖る事能はざる時は應に相當の代價を酌給して之れを收むべし。

第五十八條　發動機船漁業にして第二十三條第三項の規定に違反せるものは三千元以下の罰金に處し犯人の有する漁獲物及び漁具は均しく之れを沒收し其全部或は一部沒收不能の時は應に代價を酌給して之れを收むべし。

第五十九條　營業人にして未成年人或は禁治產人なる時は本法或は本法を根據として發せる命令に依り其應に受くべき罰は法定代理人に之れを適用すべし、但し未成年人にして營業上成年人と同一の能力ある時は此限にあらず。

第六十條　營業人の代理人戶主家族雇人及び其他使用人にして業務上本法及び本法を根據として發せる命令に違反せる時は該營業人に於いて應其責任を負ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第十章　附　則

第六十一條　本法に稱する主管官廳は農商部及び地方最高行政公署實業廳縣公署にして地方の情態に依り應に水上警察廳に及ぶべし。

第六十二條　凡そ請願の順序は應に縣知事或は水上警察廳より實業廳長に轉申し更らに農商總長或は地方最高行政長官に轉申す。

第六十三條　本法施行以前に已に取得せる漁業權或は入漁權は卽ち有效と認む、但し本法施行の日より一年以内に應に法に依り登錄を申請すべし、其法定期限は卽ち第十四條の規定に從ふ。

第六十四條　本法の施行期日は命令を以て之れを定む。

議決　本案は既に意見を徵して成れるものなれば、今討論の必要無し、以後意見あれば農商部に送りて可なり。

（農商公報第百三十三期）

□滿洲の經濟資源（下）

三、鑛　業

滿洲は豐富に鑛物を埋藏し、就中金・銀・石炭は最も豐量で、此他鐵・硫黃・石膏・石綿及び鹽化ナトリウム等も悉く巨額に上つてゐる。金の產額は支那全省中第一位にあり、石炭の產出も直隸、山西に亞ぐものである。幾多の有名なる鑛脈は地理不便の爲に今尙手も附けられてゐない、其他は舊式の方法にて採掘され頗る成績不良である。次の表は政府の記錄より蒐集し、私人の報告を參照したもので之等鑛脈の廣大さを示して居る。

奉天省

一、撫順炭鑛は奉天省撫順市より六〇支里に位し、世界に於ける炭層中最も豐量なるものゝ一つである。此炭鑛は現今日本人によつて經營され、且つ南滿鐵道と直結し、尠からず運輸の便を享けてゐる。清朝の初期、此地方は或朝廟に近接してゐた爲め禁制地の中に入つてゐた。滿洲朝統治の末期或露支人團に依り開鑛されたが、日露戰爭の結果全然日本の手中に落ちた。主なる炭層は一三〇呎以上の層厚を有し六三一、五四〇、〇〇〇平方呎に亙り、全埋藏量は九〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸と見積られてゐる。現今二〇、〇〇〇人の山東苦力を使用し、日々九、〇〇〇噸を竪坑より掘出してゐる。石炭は太古代のもので、艶々した黑色を呈し、極少量の灰分を有するが、揮發物に富み、蒸汽機關用には理想的な品質を有してゐる。

二、本溪湖炭礦は安奉鐵道沿線に在りて、礦區は四〇一、一三二、〇〇〇平方呎を占め、八層を有し其層厚總計四〇呎に達してゐる。現今日支合辦の下に經營せられ、年產額五〇〇、〇〇〇噸を超過してゐる。石炭は撫順炭より固定炭素の含有步合は多いが、揮發物は遙

かに少量である。

三、鞍山鐵鑛は南滿鐵道鞍山停車場近くに位置してゐる。其鑛脈は三〇〇—五〇〇呎の厚さを有し硅質岩及び雲母片岩の間に介在してゐる。此山は相異なる八鑛區より成り全面積二六平方支里以上に跨つてゐる。經營は目下中日合辦振興鐵鑛限無公司の手に係り、鑛種は褐鐵鑛及び赤鐵鑛よりなり原鑛は全然南滿鐵道に賣込む契約になつてゐる。

四、牛心臺炭礦は太子河の左岸に在りて周圍は山を繞らし鉢形の盆地を形成してゐる。支那人礦業者が地方採掘方法にて採掘に從事し、硫黄及び灰分の含有多き無煙炭を産出する。炭層は地表面近くに存在し、極めて脆弱である爲め多くは塵埃又は小片を混じ燃燒性を著しく損傷してゐる。

五、田什付溝炭礦は本溪湖の東方約一六五支里の位置に在り、太堡子は其中心地である。支那人礦業者に依つて採掘せられ主なる坑道一〇箇を有してゐる。炭層は二—四呎の層厚を有し、砂岩と片岩との間に挾まれ傾斜せる地層をなしてゐる。石炭は牛心臺産の如く無煙炭で極めて脆弱である。

六、杉松崗炭礦は通化縣の境界にある海龍の東南方一〇〇支里に位してゐる。介在する山脊により炭礦を再分して東・西・北の三鑛區としてゐるが、何れも同一層（層厚は六呎を最厚とし種々變化してゐる）の走れるものである。支那人の管理に屬し金屬光澤を呈する無煙炭を産出する。煤炭用としては誠に好適であるが土法を採用してゐるので出炭量は甚だ少量である。

七、鐵廠炭礦は渾江沿岸の通化縣の東北に在る。實際に礦業經營を開始したのは一九〇二年で、爾來放漫な採掘法を繼續してゐる。位置は通化市に接近してゐるが、車輛運搬を可能にするにも道路の開發を要する狀態である。砂岩・片岩及び石灰岩と互層する六—七枚の炭層を有し、各層の層厚は二呎半より四呎半の相異がある。然し此中採掘價値ある層は僅か二、三に過ぎない。全礦區は更に二つの一般礦區に分割され通常北票・南票と呼ばれてゐる。北票にて最多量に産出されるのは Ngan-Ti-Tong であるが南表礦區の産出中心地は Wei-Tse-Kou である。産出炭は半無煙炭乃至金屬光澤を有する純黑無煙炭である。

吉林省

一、省城吉林市の北方約七〇支里の地點より楡樹縣に至る省道に沿ひ一〇〇支里以上に跨り頗る廣大なる炭層がある。此石炭は所々方々で土法に依り採出され、出炭は口前煤・老君炭煤・東荒煤等の名の下に數種の階級に分れてゐる。省城に近接してゐるので運輸販賣には寔に便利であるが、品質劣惡である爲め實際の出炭額及び取引額は寧ろ制限せられてゐる。

二、杉松崗炭礦は和龍縣峡河の南方二〇支里にある。土法に依り經營せられ、一日四〇、〇〇〇—五〇、〇〇〇斤の無煙炭を産し主と

して吉林市場に積出される。燃焼力に富む爲め省城附近の產出炭よりは六倍の高値を呼んでゐる。

三、夾皮溝金鑛は松花江に沿ひ吉林縣の河上五〇〇支里に在つて、松花江の一支流たる葦沙河より約一〇〇支里の地點が中心地となつてゐる。岩床は綠色雲母片麻岩及び黑雲母綠泥石の結合に依りて形成された結晶片麻岩の一種である。鑛脈は殆んど一直線に走れる裂罅中に一五〇支里に亘りて存在し、頭道溝區・二道溝區・王八脖子區・老金廠區及び夾皮溝區の五區に分割され、就中夾皮溝區が最も主要なるものである。嘗ては豐富なる金產地であつたが、近年は產出力が大いに減退して來た。

四、三姓金鑛は依蘭縣下にて同市より約二八〇支里の位置にあり、沖積鑛床の金鑛で、約三〇年前宗と稱する一私人の採取に端を發したが、後省廳の手に還り三姓採金局の管理下に置かれた。採金箇所は三〇以上に及び、就中樺安溝・石門廠・太平廠・小北溝及び黑背溝が最も有名である。同局は實際に採取に當らないが、免許ある採鑛者より採取金を集め、六〇—四〇パーセントの割合で其賣上高を分配し、其六〇パーセントを局の收入としてゐる。近年の年產額は純金平均二〇〇〇〇兩となつてゐる。

五、興隆溝金鑛は密山の境界に位置し、一九一三年にTou Tsai-Liが開鑛した頃は竇泥河子と呼ばれてゐた。後吉林政廳に引取られたが失敗に歸し再び或民間鑛業者團の手に移つた。現今採取作業は極小規模に行はれてゐる。

六、東寧の萬鹿溝、穆稜の五虎領、寧安の凉水泉は、凡て產金鑛で一九〇八年頃は政廳の經營に係つてゐたが後に民間鑛業團に移され、現今は休業してゐる。

七、天寶山銀鑛は省城より七五〇支里又延吉より一〇〇支里の點に在る。一九〇八年米支合辨にて開鑛せられたが、米人側がこの企業より充分なる利益をあげやうとして失敗した爲め、日本が代つて資本を注入し大興公司の名の下に新に合辨を組織して其管理を引受けたのは約十年以前の事である。爾後多數の日本人が流れ込み繁榮せる鑛山町が出來たが、該公司の現狀に付ては殆んど知られてゐない。

八、青石咀銅鑛は盤石縣より約三〇支里の位置にある。一九〇七年同省政廳に依り開鑛せられたが、成績思はしからぬ爲め二年後上海商人唐健章の手に移つた。然し當時已に表層の原鑛は採盡され、同氏の經營に係る盤石銅鑛公司は深層採掘の新資本を得る途なく、間もなく經營を停止するに至つた。

九、皮州銅鑛は樺甸縣より一三〇支里にある。之が試掘及び採掘の爲め一九一三年蘇耀庭に依りて寶藏興銅鑛公司が組織されたが、最初の資本二〇、〇〇〇元を消費してより、相當の產出を見るに至らずして事業は休止せられた。

一〇、鑛洞子鐵鑛は盤石縣の北方四〇支里の位置にあり、一八九三年に朝鮮冶金專門家の援助を得て地方の資本家二人が初めて採掘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なしたが失敗に歸し、一九一四年許九靈なる者が盤山鐵鑛及冶金公司を一〇〇、〇〇〇元の資本にて設立し之を再興した。然し之も莫大なる損失を得て間もなく經營を停止するに至つた。其鑛脈は高級なる原鑛が採出せられるが、莫大なる經費を償ふに足る丈の大鑛量を有してゐない。

一一、大猪圏鐵鑛は鑛洞子に隣接し其西北約一〇支里の地點にある。一九一四年上記盤山公司が採掘を試みたが最初の資金二〇、〇〇〇元を消盡し次いで放棄せられ、爾來朝鮮人鑛業者に依りて採掘せられてゐる。此鑛も亦良質の原鑛が採掘されるが鑛量が十分でないので發展の見込みが立たない。

一二、玻璃河套鐵鑛は盤石より六〇支里の位置にある。原鑛が良質である爲め一九一四年許鵬翔なる者が免許を出願するに至つたが、盤山公司の失敗に鑑み事業は少しも行はれなかつた。

一三、官馬嶺鉛鑛は盤石より一〇〇支里の點にあり、一九一四年何廷燮が經營に着手したが、莫大な損失を招いて休止せられた。

一四、寛城子炭鑛は滿鐵の經營に係り、Wang-Pao-Shan炭鑛は英支合辦である。吉林縣火石嶺炭鑛は露支合辦保吉公司の手にて經營せられてゐる。

黑龍江省

漠河金鑛場は同省鑛業中最も有名にして重要である。石炭地も露國の國境近く數百支里に亙つてゐる。當初李鴻章氏が中央政府の資金を以て開鑛したが、管理宜しきを得ずして二〇〇、〇〇〇兩の損失を惹起し、一九一〇年其管理は遂に黑龍江省の官營に歸した。政府金鑛局は其總局を黑龍江河畔の漠河に設け、奇乾河・觀音山・庫馬爾河・梧桐河・興華溝等主要なる鑛業中心地に其支局を設置してゐる。

許可證を有する採金夫は廣信公司より食料其他の備品を供給せられ、採取したる砂金は同公司が一定の價格にて買收し其二割は官片に徵收せられる。民間公司中最も成功してゐるのは達源金鑛公司及び黑河市民金鑛公司であつて、前者は五道溝、瑷琿附近のChutuhoに於て一九二三年には三、〇〇〇、〇〇〇元餘に相當する金を採取し、後者は黑河に沿ひ砂金を採取してゐる。其他の鑛山は頗る小規模で殆んど發達せず此處に揭ぐる程のものではない。

四、鹽及び漁業

滿洲は黃海直隷及び遼東灣に沿ふ者大なる海岸線を有し且つ幾多の有魚河川を包有してゐるに拘はらず、滿洲人が一般に海物の食料を嫌忌する爲め、漁業は日本人が之に着手する迄は滿洲人側では餘り注目されてゐなかつた。現今漁業は殆ど日本人の力に依りて開發せられたものであつて、漁場は(一)安東・大孤山・鳳凰城・岫巖・寛甸近邊の鴨緑江、(二)錦州・復州・大連・旅順の近海岸、(三)蓋平・海城・營口・新民・鐵嶺・奉天近邊の遼河の三漁區に大別せられる。漁魚は大部分日本及居留民に依り消費されてゐるが、近年支那人も此種の食料を著しく嗜好するやうになつて來た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鹽は陽乾法に依り海岸一帶に製造され、其最も主要なる生產中心地は營口・盤山・廣寧・錦縣・安凰・復州・莊河である。年產額は支那全額の約七分の一に當り、六,〇〇〇,〇〇〇—九,〇〇〇,〇〇〇擔を出してゐる。

五、製造業及び商業

滿洲製品は以前は大部分家内工業に係る手製品であつた。機械及び蒸汽力を利用せる工場は一九〇二年哈爾賓に三製粉工場を組織した露人を嚆矢としてゐる。所謂東三省は豐富なる小麥生產地であるから(日本の見積に依れば八五,〇〇〇,〇〇〇畝で年額 一五,〇〇〇,〇〇〇擔を超えてゐる)、其後工業は自然急速に發達し、現今南滿には十四の大工場が存在し各二〇〇,〇〇〇元より 五,〇〇〇,〇〇〇元の資本を有してゐる。其中支那人及び日本人經營各五、日支合辨によるもの四で、之等は奉天・鐵嶺・遼陽・開原・旅順・長春等主要商業中心地に在り、特に長春は五工場といふ最大多數を占めてゐる。北部滿洲にては三六工場あり、殆ど哈爾賓に位置し、其中支那人經營は二四、露人經營は八、日本人經營は二、露支合辨は二である。之等は其資本南滿工場に及ばず、大多數は政治上又は金融上の危機に遭遇する每に經營者が變遷してゐる。

搾油業も滿洲工場企業の重要なるもので豆油・豆粕を製造輸出してゐる。大連は此種工業の最も主要なる中心地で五九の油房を有してゐる。全滿洲に於ける此種の工場の總數は一三八で、動物及び人力を利用する舊式油房は三七四を算して豆油及び豆粕の產出は遙かに他者を凌駕してゐる。其他紡績工場・製革工場・絹糸工場・石鹼及び蠟燭工場・燐寸工場等の新式工場は極最近發達したものであるが、將來何時かは重大視されるに至るべく期待されてゐる。此所數年間に新式砂糖精製工場も二、三設立されたが、原料(甜菜)の不足及び激烈なる外國の競走の爲め生產は大いに妨害されてゐる。其他陶磁器の安物・白蠟製品・煙草・菓子類・フェルト類・敷物類・鐵及び錫製品等を製造する小工業があるが共に特筆するに足らない。日用品は幼稚なる工具と田舍に生產される原料とを以て行はれる無數の田舍事業に依つて供給される。

工業の發展及び交通機關の進步に伴ひ、外國及び他省との貿易は漸次に發達し、一八五八年以後半世期の間に開港されたる商港は二七港に上つてゐる。滿洲は斯の如く豐富なる資源を有する爲め、全支中年々輸出超過を示せる數地方の一に加へられ、其輸出入總額は全支那外國貿易額の二割即ち五分の一を占めてゐる。目下敷設中の鐵道及び自動車道の哩程の延長、並に他省(特に直隸・上海)よりの移民が不斷に流入するのを觀れば、定期的に政治上の擾亂は行はれるが將來益々發展するものと確信せられる。次表は稅關統計表より抜萃した數字で滿洲に於ける主要なる貿易及び主要貿易市場の比較を示すものである。

大連——一八九六年露西亞に租借されたが一九〇五年日本の支配

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に歸した。同港は南滿鐵道經營の下に著しき運輸の利便を有する不凍港である。主要輸出品は芝罘・上海及び日本仕向の野蠶絲及び繭・歐米に仕向られる大豆油・日本仕向の大豆及び大豆粕・支那沿海市場に仕向けられる小麥・石炭及び黍で、輸入は綿織物・ガンニイ袋・紙・藥品・砂糖・米及び機械が其大部分である。滿洲外國貿易の三分の二は此港を通過し、現今支那最大港中第二位に位してゐる。最近三年間に於ける貿易總額(海關兩)を示せば次の如くである。

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
輸入	六五、六六七、三九五	六八、四一六、三四八	七七、一六〇、四三一
輸出	九一、一九一、一三二	一二一、四五一、一三三	一三一、九三四、六八九

營口——天津條約の結果開港された。最初は牛莊と呼ばれ現今の營口の位置に正確に符合はしないが、今も尙兩種の名前を混用してゐる。遼河が主要なる運輸機關となつてゐるが、冬期は凍結する爲め大連との競走は全然不可能である。主要輸出品は沿海省及び日本に仕向られる農産品であり、綿織物は輸入の大部分を占めてゐる。往時は滿洲の市場中首位にあつたが大連が開港されてより大いに衰退し、現今此港を通過する商品の總價格は、次に示すが如く、大連の數字の小端數に過ぎない。

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
輸入	九、八四九、三七六	一一、九三〇、〇五九	一一、九一〇、五三三
輸出	三、九九六、五七六	三、九二六、三六六	二、九四七、一七九

安東——一九〇三年の米支條約の結果開港されたが、實際に貿易を開始したのは一九〇七年である。朝鮮國境に位置し軍略上より見れば安奉線沿線に在るが故に、朝鮮經由全交通路の主要なる門戶をなしてゐる。主要なる輸出品は鴨綠江上流地域に生産される柞蠶絲・繭・木材で、日本製織物・綿織物の大量を輸入してゐる。近年滿洲市場の開發さるゝに伴ひ此港の貿易は着々活況を示しつゝある。最近三年間の全額を揭ぐれば次の如くである。(海關兩)

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
輸出	二四、一三五、六〇五	四一、八六六、九九八	三三、三一一、七七八
輸入	三〇、一〇八、二三〇	二六、八一八、三〇〇	二三、八二六、六三四

前揭數字は鴨綠江河口の海岸に位し安東の補助港たる大東溝の數字をも含んでゐる。大東溝は安東と同時に開港され、以前は通過材木額に於て安東と匹敵してゐたが、鐵道の敷設を見てより取引は大いに衰退し、港も多少廢弛して來た。

瑷琿——一九〇五年の日支條約に從つて開港された。松花江及び黑龍江は哈爾賓との優秀なる運輸の便を與へてゐる。貿易は大部分露西亞と行はれ、小麥粉其他の食料が主要なる輸出品で魚類は其主要なる輸入品である。滿洲最北の門戶で貿易上同河に直接跨れる海蘭泡と貿易上對抗してゐるが、近年地方の狀態及び此地域に行はれる特種の露支關係に依り惱まされる所多く、曾て殷盛であつた貿易も殆ど消滅せんとする悲運にある。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三姓——牡丹及び松花江の分岐點に位し一九〇五年に開港された。露西亞との主要なる貿易は輸出としては小麥・大豆で、輸入としては鐵及び機械類がある。松花江より黒龍江に通過する各船舶は此地に駐在する支那稅關當局に申告することになつてゐる。

滿洲里——東支鐵道の西端にあり三姓と同年に開港された。露西亞及び蒙古貿易の重要なる門戶をなし、主要輸出品たる皮革・家畜類の集散地である。東支鐵道の東部終點たる綏芬河は一九〇八年支那自身に商業市場として開港したるもので、吉林省に於ける最も重要なる港を成し、小麥粉・大豆を西伯利亞に輸出し、材木及び金物を露國より輸入してゐる。

哈爾賓——一九〇五年日支條約の規定に從つて開港され、北滿最著の貿易市場である。陸路輸送は東支南滿兩鐵道により著しき利便を享け、水路は松花江によりて容易に海に通じられる。戰前は鐵道沿線又は內陸に生產される穀類・粉類・大豆の集散中心地として重要なる商港であつたが、其發達は露國の分裂の結果幾分阻害された感がある。次掲の數字は上記四港（哈爾賓・滿洲里・三姓・綏芬河）最近三年間の貿易總額を示すものである。

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
輸出	三八、三二八、五五七	三三、八四八、三二三	四五、三〇一、七八九
輸入	二〇、〇九七、四八三	九、二三六、四九七	九、四三九、二七六

琿春及び屬港龍井村——一九〇九年日本との間島條約の結果開港された。吉林省の南方境界に位置し良港の便宜を有するが故に天圖鐵道の龍井村を終點とする部分完成の曉は重要なる貿易地となるものと囑目されてゐる。輸出は殆ど朝鮮市場向の諸種の農產品にて、日本の木綿反物及び雜品を主として輸入してゐる。最近三年間の貿易全額を兩で示せば次の如くである。

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
輸出	一、六六二、八二二	二、三三四、二〇四	二、一〇五、一八二
輸入	三、一五三、〇〇八	四、二四三、五六六	四、一一八、四五四

上記諸港の他に奉天は一九〇三年米支條約の下に、鳳凰城・遼陽・新民・鐵嶺・通江子・法庫門・吉林・長春・寧古塔・齊々哈爾・海拉爾は悉く一九〇五年日支條約の下に開港されたが、葫蘆島・鄭家屯及び洮南は一九一四年支那自ら開港を宣言した。概括して言へば滿洲の外界との貿易は、他省よりも確實且迅速に發展し來り、而も其固有の資源が全然開發される迄は尚長日月を要するが故に、將來も同樣なる發展を持續するものと期待される。

（The Far Eastern Review. No. 2, 1926.）

佛領印度支那

□印度支那月報（一九二六年四月中）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那放棄說に絡むて總督の演說祟る

印度支那放棄問題や賣却問題が寄り〳〵佛國朝野の間に論議せられ、噂は噂を生むで海外諸國にまで宣傳せられつゝある實狀に鑑み、政府當局に於ても流石に安閑たることを得ず、不取敢殖民大臣をして議會の壇上に事實無根を聲明せしめたほどである。當時殖民大臣の演說中に「印度支那は母國佛蘭西の腹を痛めて產れ出た可愛い娘である。その可愛い娘を身賣りする慈母が何處にあらう」云々の一節があつたことは、今なほ記憶に新たなる所である。

然るに最近(四月中旬の印度支那新聞記事參照)本國議會の上院に於て、本問題に觸れて物議を生じ聯合共和黨は一部の新聞紙と相應呼して躍起となつて騷ぎ出し、殖民大臣の辯明を求むるに至つた。事の起りは稍々舊聞に屬するが、昨年十二月印度支那高等會議の開會劈頭に於けるヴアレーンヌ總督の演說に端を發するもので、物議の焦點は左記の一節である。

佛國は對印度支那政策の傳統的精神である同化政策に基く委任を飽くまで徹底的に達成するであらう。印度支那に於て佛國の遂行した既往の任務は單に事業の記念としてのみ其處に殘存するであらう。而して將來に於ける半島の存立上、佛國は何等の使命をも期待せられざるべく、指導者として然り忠言者として亦然りである。而已ならず從來後見者として佛國を利用し來つた一般土人は、向後感謝と愛着以外前餘の關係を佛國と斷つに至るであらう。

然しながら又一方に於て、人情風俗を異にする多種多樣な民族の去來する我が印度支那に於て世界に類例なき新生國家の出現が想像し得らるゝのである。そうしてその新生國家に於ては印度支那出生の佛人子孫は、佛蘭西文化に培はれた土人種族と提携して、彼等間の共同生活を强ふるに十分力ある知的聯繫と經濟的結合を爲すに至るであらう。云々

因に前揭總督の演說中にある最後の句の共同生活を强ふるに足るべき聯結を佛國と安南との間に成立せしむることは、疑もなく殖民地の放棄を聲明するものであるとの解釋が糾彈の主旨で、上院聯合共和黨では目下調查委員會を設けて、總督の演說草稿につき審議中である。

印度支那總督の辭職說

前項記載の如く印度支那總督對上院の空氣險惡なるの時、議院內及巴里新聞社內に總督辭任說流布し、後任としては殖民地豫算上院報告委員長アルベール・ルブラン氏の呼聲高し。

西貢商業會議所の新築

西貢商業會議所では建築費三八五、〇〇〇ピアストルの豫算で新館を建造することに決し四月十六日起工式を擧げた。竣工の上は西貢港務會議と同居し、商品及株式取引所を併置する計畫である。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那本年度の米產額は昨年度に比し增收

印度支那全國に於ける本年度の米產額(籾)は、合計五、六一二、〇〇〇噸で、之れを前年度に比較すると一〇六、〇〇〇噸の增收である。各州產額の內譯は、交趾支那一、九九〇、〇〇〇噸、東京一、八一七、〇〇〇噸、安南九五四、〇〇〇噸、柬埔寨六五一、〇〇〇噸、老撾二〇〇、〇〇〇噸の成績である。

西貢港の增修築工事

西貢港施設の鍵鑰を握つてゐる西貢港務會議は、同港累年の發展に鑑み大々的增修築計畫を樹て極東屈指の一大商港たらしめんとの意氣込みを以て着々豫定の工事を進めてゐる。昨年中に於ける同港の出入貨物は約四百萬噸で、五年以前即ち一九二〇年の二百八十萬噸に比べると四割强の增加である。

昨年度に於ける重なる施設はカンホイ埠頭の修築工事で、疏水運河々下の土地及現在港境界後部の土地買收を決定した。この外十萬立方を超ゆる埋立工事、分解式貨物納屋二棟の造築等である。今回の大增修計畫に對する豫算は四百六十萬「ピアストル」で公債及剩餘金を以て支辨することになつてゐる。現在西貢港の剩餘金は年額約九十萬「ピアストル」で年々五萬「ピアストル」の增額を示してゐる。

總督の賜暇歸國豫定

總督は四月末西貢に向け河內發、九月まで滯在し同地より乘船賜暇歸國の途に上る由である。歸任は多分明年一月であらうと新聞は報じてゐる。總督代理は現交趾支那副總督代理(交趾支那副總督は目下賜暇歸國中)ルホル氏兼任すべしといふ。

頻々たる土人學生の示威運動

近來印度支那各方面に亘つて土人學生等の佛人敎師に對する反感に基く同盟休校又は示威運動頻々として勃發し然かもその範圍が女學校及小學校にまで及むでゐることは注目に値する、殊に交趾支那リヽイエー安南人高等女學校に於ける同盟休校の如きは頗る組織だつたもので約五十名の女生徒は隊伍を練つて西貢政廳に押しかけ副總督に面會を强要し、警官隊のために阻まれて退却、市中に示威運動を試みた。又同地プラム小學校男子生徒は今回物故した愛國志士土人潘周貞(Phan-Chau-Trinh)の墓前に花輪を供ふるため秘密裡に據金中なりし事實發覺し、佛人敎師に沒收せられたるを憤り同盟休校を企てたもので、隣接する女子生徒をも呼合して大いに氣勢を揚ぐるに至つた。これは騷動の動機が動機だけに當局者は特に重要視してゐる。

以上述ぶるが如き憂慮すべき傾向に鑑み總督は四月十一日附を以て公立學校敎育局長に宛て之れが嚴重取締方を訓令した。歐洲戰前にあつて佛人の威令徹底的に行はれ羊の如く柔順であつた安南土人の過去に想倒すれば眞に隔世の感がある。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那の鑛業（下）

四、金屬鑛物其他

A、亞　鉛　鑛

イ、東京各亞鉛鑛山の產額及輸出高

次表は最近十一箇年の東京亞鉛鑛產額及その輸出高を明示したものである。東京產亞鉛鑛は從來總て輸出されてゐた。然して一九一〇年から一九一三年に於ては直接獨逸向輸出はなかつたのであるが事實に於て東京產亞鉛鑛は此の時代大部分獨逸に吸收されてゐたのであつた。尙其後の十箇年間に於ても產出高の重要なる一部は獨逸の常に之を購ふ所であつた。

東京產亞鉛鑛逐年輸出高及生產高表（單位噸）

輸出先	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
佛蘭西	六、二五九·四	一六、九二〇·六	—	—	—	一、〇〇〇·〇	二六、五〇三·〇	一〇、〇五〇·四	一、二〇〇·〇	五、一八八·〇	七、〇九二·〇
香港	—	五一七·八	三、三三四·三	五·〇	—	—	—	—	—	一七六·〇	三七九·〇
日本	—	六、八六八·六	二七、七八〇·四	三二、五九五·二	一三、五三二·二	七、六九九·二	—	三、三〇〇·〇	一〇·〇	—	四、二〇〇·〇
英國	—	一、〇〇〇·〇	四、〇三〇·〇	二、〇二七·二	—	—	—	—	—	—	—
獨逸	（1.）	—	—	—	—	—	—	—	六、四七〇·〇	二、五〇〇〇	—
白耳義	三、三〇四·〇	—	—	—	—	—	一四、四三五·〇	三、六七三·一	二〇、〇〇三·三	二四、八六八·〇	一七、六七二·〇
亞米利加	—	七、八二五·〇	三、三〇〇·〇	—	—	—	—	—	—	—	—
右以外の歐洲諸國	—	—	—	—	—	—	—	二、九六一·六	—	—	七、一五〇·〇

一方本表に據れば一九一四年ー一九一八年にかけてかの世界大戰によつて起つた本冶金工業恐慌の結果、一九一四年から一九一六年に亘る日本の異常なる需要の激增は引いて本國產額に著しき增加を示すに至つた。が一九一七年から一九一八年にかけて日本への輸出は漸次減少を示したがこれ全く露西亞よりの注文全然杜絕したるが故にである。次で一九一八年より一九二一年にかけて益々產額は減少し、一九二〇年に於て恐慌其の極に達したるも爾後漸く產額輸出高何れも舊に復すると共に漸次增產を續け今日に至つたのである。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合計	東京亞鉛總産出高
一八,四六三·四	三一,五〇〇·〇
三三,一〇三·〇	三四,三〇〇·〇
三八,三四四·七	四八,三三五·〇
二四,六二七·四	四二,二五二·〇
一三,五三二·二	二八,〇五二·〇
八,六九九·二	一五,九三四·〇
四〇,八二六·〇	七,一九八·〇
二八,九八四·一	一一,〇九一·〇
二七,六九〇·三	二〇,九三六·〇
三二,七〇三·〇	三〇,五二八·〇
三六,四九三·〇	四三,四三一·〇

右表十一箇年輸出高合計	三〇六,六〇九
同 産出高合計	三〇九,四四七

(註)本表は税關統計を引用した。
(1.)自一九一〇年至一九一三年の獨逸向輸出は絶無である。

ロ、一九二三年及一九二四年に於ける亞鉛及其他金屬鑛物市場の改革

一九二二年以來發表されてゐた世界金屬市場の改革により、一九二三年に於ける世界の主要金屬産額は著しく強調を示し、戰前に比し、それと同等若しくはより以上の産額を見るに至つた。

次表は英國金屬同業組合に據り作成されたる自一九一一年至一九一三年の世界産額及消費高を各一〇〇として最近三箇年間の主要金屬の世界産額及消費高を表したものである。

金屬別	生産高 一九二一年	生産高 一九二二年	生産高 一九二三年	消費高 一九二一年	消費高 一九二二年	消費高 一九二三年
銅	七三	九一	一一三	五九	九六	一二五
鉛	四七	九三	一〇一	七〇	九〇	一〇二
錫	八五	一〇三	一〇〇	六六	一〇四	一〇九
亞鉛	四六	七三	一〇〇	四七	七九	九五

亞鉛に就て之を見るに一九二一年及一九二二年の消費高は生産高を超過してゐるが一九二三年に至りその反對現象を示してゐる。この事は歐洲に於ける種々面倒なる政策に基因するものと見ることが出來る。又ルールの占領により歐洲消費者の北米合衆國への注文が著しき減少を示すに至つた事も茲に注意する必要があらう。

尙又合衆國市場と歐洲市場とは各之れを分別して考へる方が便利である。何故なれば戰前に於ける亞鉛の消費量を基礎とする時前者は三五%の增加、後者は二一%の減少を示してゐるからである。

ハ、世界に於ける亞鉛の産額

次表は亞米利加にて作成されたる統計に據り、世界の主要産地に於ける金屬亞鉛の産額を表示したものである。(單位千噸)

	一九一三年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年
アメリカ合衆國	三三〇	四二七	四三五	一九五	三五九	四八一
白耳義	二〇四	一九	八四	六六	一二二	一四八
上シレシア	一六九	七四	八二	六二	七五	八四

獨逸（上シレジアを含まず）	一〇九	一〇	一六	二七	四三	四八
佛蘭西	六七	一〇	一九	三〇	三八	四三
濠洲	四	八	九	一	一三	四〇
英國	六六	三八	二五	五	一八	三一
加奈陀	一	二	一六	二四	二五	二七
世界の總產額	一、〇二四	八五二	八五二	四五五	七三一	九七四

〇一九二四年の合衆國產額は五三五、〇〇〇噸である。

亞米利加合衆國に於ける亞鉛鑛業は益々繁盛を極むるに至り、主としてミズウリ州のジョプリン(Joplin)地方の豐饒なる層脈より採掘されたるものを利用してゐる。又ウイスコンシン地方產のものも僅かではあるが之を利用す。總じて亞米利加に於て輸出さるゝ亞鉛の量は一九二三年に至り重大なる進步を見た。即ち戰前の一九一四年—一九一八年の間に於ては輸出殆んどなく單に自國に於て消費する程度の產額なりしものが一九二三年に至り俄然金屬亞鉛の輸出高は前年の二九、〇〇〇噸に比し四九、〇〇〇噸といふ數字を示し、中英國に輸出せる高は一九二二年 九、〇〇〇噸なりしものが一九二三年には實に三七、〇〇〇噸といふ異常なる進步を見せたのである。

戰前に於て亞鉛生產高の六〇%を吸收してゐた電氣鍍金工業は、一九二三年に入るに至り漸次衰微の徵を示した、これは他工業の亞鉛需要量激增に基因するのである。報告に據れば一九一〇年に亞鉛の電氣鍍金工業が一三〇%を增加したるに反し、一九二三年には僅かに二〇%を增加したに過ぎなかつた。尙茲に注意すべき事は一九二四年十月以降の情況改變の事である、本工業が亞鉛を消費せる高は前月に於て九、〇〇〇噸なりしものがこの月は一四、五〇〇噸に到達してゐる。

亞米利加合衆國に於ける一九二四年の亞鉛鑛の產額は可成りの增加を示してゐる。例之前記ジョプリン地方の產額の如きも、六七二、〇〇〇噸から七〇六、〇〇〇噸を超過するに至り各鑛山に於ける在庫高もこの同年期に於ては二七、〇〇〇噸を減じた。

次に注意すべき事は一九二四年に於て本鑛物に對する需要が激增を示せる事である。下表は同地の歐洲市場に對する在庫高の減少を示したのである。

一、採掘者の亞鉛鑛物在庫高。

一九二四年一月一日在庫高	五三、四〇〇噸
一九二五年一月一日同	二六、六〇〇噸

二、生產業者の金屬亞鉛在庫高。

一九二四年一月一日在庫高	三七、二二〇噸
一九二五年一月一日同	二一、二〇八噸

一九二四年に於ける歐洲採掘業者の產額は著しき不動を示したるが一方消費量殊に同年下半に於ける消費量は著しく增加し、英國・獨逸の合衆國よりの購求高は非常な進步を見せたのである。

かくて一九二五年當初に於ける亞鉛市場の氣配は需要の激增さ世

界市場の品薄により著しき好況を呈するに至つたのである。

白耳義の亞鉛工業は戰前と同程度に復活せるが彼等は主として濠洲產の鑛物を使用してゐる。然して同國は自一九二二年より至一九二五年の契約に於て四五〇、〇〇〇噸の亞鉛鑛を買收したるが、若し現時英國の新工業が急速なる進步を爲し、原料鑛物の需要力も著しく增加したるものと考ふるとき、白耳義は再び濠洲との契約を新にすることの出來ない事は確かに之を豫見し得ることが出來る、前揭の表は一つは英國の生產額が急速に增加せることを示してゐるものである。斯の如き狀態なれば今後英國の新工業者が彼の領土內の原料鑛物を獨占的に使用するに至るべきは明かであるからである。

下表は一九二三年に於て白耳義の輸入せる亞鉛鑛の主たる輸入先及その輸入額を表示したものである。(白耳義財務省統計に據る)

輸入國	輸入額
濠洲	二七五、七六八
伊太利	六七、五一五
支那	三八、七七九
瑞典	二八、五五六
佛蘭西	二四、五九四
アルジェリー	二〇、八三六
和蘭	一三、七八七
西班牙	一二、八八〇
其他	二九、〇二〇
合計	五一一、七三五

獨逸　金屬亞鉛生產國として世界第二位を占めてゐたが上シレジアの分離により以後第四位となつた。

佛蘭西　佛蘭西の亞鉛工業は戰後に於ける多量の在庫高と一般經濟界の危機に際し退嬰的であつたが一九二二年一と二三年に於て著しく覺醒して來た樣である。一九二三年の金屬亞鉛消費量は一九一四年の六一、五〇〇噸に對し、八二、〇〇〇噸に達し、又佛蘭西各工場に於ける生產額は一九一四年の四二、四〇〇噸に對し、一九二三年は四三、八〇〇噸を示した。一方輸入額は一九二一年以來絕えず增加を示し、一九二三年には四三、七〇〇噸を數えた。一九二四年には尙この五〇%を超過したであらうと思はれる。

二、亞細亞及南洋に於ける亞鉛

タスマニアの(濠洲) l'Electrolytic Zinc Cy à Risdon により設立されたる工場は一九二二年の初めよりその作業は全能力を發揮するに至つた。本工場は一日當り一二〇噸の亞鉛と一週間當り三噸のカドミウムとを生產する。殘滓は鉛鑛及銀を回收する爲めにブロークンヒル(Brokenhill)の工場へ送られる、一九二三年の濠洲の輸出高は金屬亞鉛三二、八〇〇噸、亞鉛鑛三三四、八七八噸に上り、前記の如くその大部分は白耳義へ送られてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濠洲に於ける亞鉛鑛年産出能力は一九一三年に於て五〇〇、〇〇〇噸なりしものが現在は約三〇〇、〇〇〇噸である、この減産理由は豐富なる資源の累進的に汲み盡されたのに因るものである。

●●支那の亞鉛鑛輸出高は一九二二年に入るに及び急速に而も著しき發達を見た、下表は支那税關統計より摘出したものなるがこの數字によりその發達程度の如何を窺知することが出來る。尚一九二三年に於ても輸出高は殆んど前年と大差がない。

仕向地別	一九二一年	一九二二年	一九二三年
獨逸	二、五〇〇噸	一〇、〇〇〇噸	一三、〇〇〇噸
白耳義	八、三五〇	四五、〇〇〇	三四、〇〇〇
佛蘭西	―	六、〇〇〇	八、四〇〇
英國	―	―	一、四〇〇
蘭領印度	―	―	二〇〇
日本	―	―	三、六〇〇
合計	二、八五〇	六一、〇〇〇	五九、六〇〇

●●緬甸の北部シャン州（Etats Shans du Nord）下に在るボウドゥイン（Bawdwin）鑛山の豐富なる含銀亞鉛々鑛脈はその包藏量實に四、五〇〇、〇〇〇噸と評價されてゐるが、その成分は次の如き割合である。

二五・二％　鉛
一六・六同　亞鉛
一・三％　銅
噸當りの含銀量六〇〇瓦。

この層脈に就ては今後規則的に含亞鉛々鑛の採掘を續けられる樣である。某英紙は一九二三年の終り試驗的に一工場設置され、既に五、〇〇〇噸の採掘を爲した旨を報じてゐる。

一九二四年六月三十日迄の事業成績を見るに鑛物採掘量は二七七、〇〇〇噸に達し、內二七一、〇〇〇噸は、鉛二五％、亞鉛一五・九％、銅〇・五％、及噸當り含銀量六八〇瓦なることを示してゐる。各工場の生産高は

一、鉛を主として含有する鑛一三五、〇〇〇噸、鉛四四・七％、亞鉛一九・一％、噸當り含鉛量一、二〇〇瓦

二、亞鉛を主として含有する鑛一二、〇〇〇噸、亞鉛四六・五％、鉛七〇・九％、噸當り含鉛量三〇〇瓦

而して一方精煉所に於ては精煉鉛四七、一〇九噸、含アンチモニー鉛一、〇〇〇噸、尙銀一五〇噸を生産してゐる。

●●日本の亞鉛産額は比較的微弱である。日本は一九二二年一九二三年に於ては彼の需要する亞鉛の約四分の三を外國から輸入してゐるのであるが、然し大戰直後に於ける日本の需要したる亞鉛鑛は素晴らしく多量なるものがあつた、即ち次表に示す通りである。

（單位噸）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	一九一四年	一九一七年	一九一九年	一九二一年	一九二二年	一九二三年
金屬亞鉛產額	五,〇〇〇	五四,〇〇〇	一九,〇〇〇	一〇,〇〇〇	三三,〇〇〇	一四,〇〇〇（註）
亞鉛鑛輸入高	不明	九三,〇〇〇	六六,〇〇〇	三,〇〇〇	—	一〇〇（註）
金屬亞鉛同	二,七〇〇	四,五〇〇	二二,〇〇〇	一九,〇〇〇	三六,〇〇〇	一四,〇〇〇

（註）本數字は一九二三年の上半期に於ける數字である。同年の輸入高總計は三五、〇〇〇噸と評價されてゐる。

震災に罹された都市の復興に對する亞鉛需要に依り、一九二四年の日本輸入高は恐らく增加せしものと見て差支えないであらう。

ホ、相場の變遷

一九二三年及一九二四年に於ける亞鉛の平均相場は（倫敦相場を印度支那のピアストルに換算し）各目二九〇ピアストル、二八一ピアストルにして、一九一三年の相場は二一四ピアストル、一九二三年は二四三ピアストルであつた。

一九二三年及一九二四年に於て倫敦市場に登錄されたる相場の變遷は次の如きものである。（磅）

	一九二三年	一九二四年
平均相場	三三	三三 3/4
最高同	三六 3/4	三六 9/10
最低同	二九 1/2	三〇 1/2

地中海沿岸の各港に於ける甲板渡し亞鉛鑛の價格（法）、及海防港甲板渡し値段（ピアストル）の一九二四年の價格は次表の通りである。法の價格はl'Echo des Mines et de le Metallurgieに依つて與へられたる含有金屬量を單位としたものである。ピアストルに於ても前者と同樣單位により計算した。（運賃を含む）

	二月 法	二月 ピアストル	三月 法	三月 ピアストル	四月 法	四月 ピアストル	六月 法	六月 ピアストル	九月 法	九月 ピアストル	十二月 法	十二月 ピアストル
酸化鉛鑛（カラミン）亞鉛四〇%ヲ含ム	一〇	〇・七三	一七	一・三三	一三	一・二四	一二	〇・八九	一四	一・一七	一六	一・三五
亞鉛鑛 亞鉛四五%ヲ含ム	七	〇・四七	一一	〇・八一	八	〇・七五	八	〇・六一	一一	〇・八七	一五	一・二八

一九一三年に於ける海防港甲板渡し亞鉛のピアストル價格は、酸化鉛鑛（亞鉛の含有量四〇%―四五%）にて〇・七二―〇・八五ピアストル

ヘ、東京各亞鉛鑛山の發達

印度支那鑛業及冶金業會社（La Compagnie Minière et Métallurgique de l'Indochine）は本植民地に亞鉛の冶金工業を設置せんとして大いなる努力を拂つた會社である。

タワンエン(Quang-yen)の鎔鑛場は一九二二年に設立され、一九二四年その第一爐(一日生產能力三•六噸)の十月迄に於ける金屬亞鉛の產額は七二噸であつた。生產狀態は確實なるを以てやがて本社は同樣式の爐尙五基を設置する筈である。かくて他の五基の設置は目下規則的に進行中であるが、都合六基の爐による年產能力は六、〇〇〇噸と言はれてゐる。

一方ショデイエン(Cho-Dien)鑛山の採掘諸機具の改良も愈々その實行の緒に就いた。一時間に二五噸を運ぶ大架空聚電子(Un Grand Cable Collecteur)及小中央水力發電所(二五〇馬力)も亦近く出來上る筈である。この發電所はバンテイ(Banthi)に在る一時間當り一〇噸の粗鑛を處理する篩分け場及洗鑛場へ動力を送るのである。

未採掘地のペンシエイ(Pen-Chai)層脈の採掘準備は急速に進步してゐる郎種々の困難を冒して鐵道及架空線により採掘物を運ばんとするのであるが一九二六年中には採掘し得るに至るであらう。

次にショデイエン鑛山の一九二三年の產額は亞鉛鑛一八、〇〇〇噸にして一九二四年は實に二四、八〇〇噸に達したことを附加する必要があらう。

バンブウ運河の航行困難は本社をして一九二二年以來ヴイエトリ(Viétri)の一部より鐵路海防へ輸送する永續的の設備を造らしめた。

一九二四年に於て水路送られたる鑛物量は一五、〇〇〇噸なりしも、本路により海防へ送られたのは八、六〇〇噸であつた。又双方の運賃は御互ひに相匹敵してゐるのである。

トランダ鑛業會社(La Société des Mines de Traul-Da)の一九二三年の產額は一〇、〇〇〇噸、一九二四年には一四、〇〇〇噸と報ぜられてゐる、然も深度に所在する鑛脈採掘の準備をなしつゝ一四、〇〇〇噸を採掘したのである、又本社は一方に於てバックヌン(Bac-Nhung)(酸化鉛鑛)の鑛脈に對する研究とデイ(Day)谿谷に在るクワントン(Quang-Tong)の亞鉛鑛脈に就ての研究をも續けてゐる。

エンリン鑛山會社(La Société Minière de Yen-Linh)本社の採掘高は一九二三年一、〇〇〇噸、一九二四年一、二二〇噸であるが尙深度に所在する鑛脈に就ては有望なる發見を齎らしてゐる。

東京鑛山會社(La Société Minière du Tonkin)本社は一九一八年以前より既にランヒット(Langhit)地方の豐富なる亞鉛鑛脈を採掘してゐるが、此等地方の採掘は一時大戰による經濟的危機に際し中止したことがある。けれどもメテイ(Métis)鑛山の採掘は再び之を開始し一九二三年には一、五〇〇噸、一九二四年の上半期には一、三八四噸(亞鉛鑛四五%)を採掘した。而してこの亞鉛鑛脈は最近ファンメ地方の炭區と同樣に、一九二四年に設立されたる印度支那炭礦業及鑛業會社へ貸與した。

亞鉛白工場は地方的需要に應じて間歇的に作業を爲してゐるが一九二三年及一九二四年の產額は各自一五噸、四一噸であつた。

最後に注意すべき事は、バッカン(Ba-kan)州下のショウドン

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

(Chodon) 鑛脈は近き將來に於て、印度支那拓殖會社 (la Société d'Exploitation en Indochine) (Tourakom) の本鑛脈に對して設立したるショウドン鑛山會社 (la Société des Mines de Chodon) によつて採掘を着目されてゐることである。

尙本地方の鑛脈は一九〇八年から一九一二年にかけて種々問題として研究された。而して頗る重要なる探索作業を行ひたる處酸化亞鉛鑛の頗る豐富なる鑛脈の所在することが分明したのである。

一九二四年に於て再び探鑛作業が行はれたがそれと同時に採掘鑛物の排泄路問題に就ても種々研究された。この排泄路問題は至極簡單に解決される筈である。即シ▭ディエン鑛山の既設鐵道に之を結びつけ運送の道を講ずればよいのである。

B 鉛

イ、市況

採鑛者及鑛主は近來鉛鑛調査に就て非常な注意を喚起してゐる。即ちこれ一九二二年以來の鉛相場の昂騰に基因する。下表によりてこれを窺ふことが出來るであらう。

金屬鉛相場表

年次	紐育 一リーブル(四五三グレン) セント	倫敦 一噸(一、〇一六基瓦) パウンド	シルリング	ペンス
一九一三年(平均相場)	四・四〇	一八	六	二
一九一六—一七(最高相場)	八・九一	三〇	一九	六
一九一七—二一(最低相場)	四・五五	二二	一四	六
一九二二年(平均相場)	六・六二	二六	七	八
一九二三年(平均相場)	七・二五	二九	三	四
一九二四年ノ上半期(平均相場)	八・〇一	三四	三	二
一九二四年ノ後半期(平均相場)	八・一八	三五	一八	—

方鉛鑛(含鉛有五〇%)の一九二二年以降の相場は次の如し。(l'Echo des et de la Métallurgie に據る地中海沿岸各港甲板渡し値段)

一九二二年	上半期	四法八三
	下半期	五法八八
一九二三年	上半期	一二法 —
	下半期	一五法五五
一九二四年	上半期	二〇法 —
	下半期	二四法〇八

此等相場の昂騰は世界市場の需要が急速に發達したが爲めにある。尙又次表に示すが如く世界金屬鉛の産額は著しき增加を示してゐる。(Metall-Gesellschaft 統計による)

	一九一三年	一九二二年	一九二三年
世界の産額	一、一八五、〇〇〇	一、〇五三、〇〇〇	一、一八四、〇〇〇
世界の消費額	一、二〇二、〇〇〇	一、〇六一、〇〇〇	一、二四七、〇〇〇

更に統計を見るに一九一三年より一九二三年迄の間に歐州に於け

る消費額は二四〇、〇〇〇噸を減じ、反之亞米利加合衆國の消費額は一五〇、〇〇〇噸を増加してゐる。然れども一方一九二三年の歐洲及亞米利加合衆國に於ける金屬鉛の輸入額は各目 二〇〇、〇〇〇噸及四〇九、〇〇〇噸に上つてゐる。

ロ、印度支那の方鉛鑛產額

	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
產額	五六噸	一五五噸	三七噸	三九噸
輸出高	—	一三五	—	二

自一九二一年至一九二三年はトランダ鑛山會社の單獨採掘にして又單獨輸出であつたが一九二四年に至り、印度支那鑛業及冶金業會社方鉛鑛一一噸を產出し、トランダ鑛業會社の產額と共にその輸出中に加へられたのである。

印度支那鑛業及冶金業會社は一九二三年より一九二四年に引續き、永年知られてゐた、ニヤンソン(Nganson)地方の含銀方鉛鑛脈の組織的研究を爲しつゝありたるが近くこれが利益ある採掘を見るであらう。採鑛物はショモイ(Chomoi)迄一〇〇基米突は道路により之を運送し、それより先は水路に據ることが出來る。

ランナイ(Lang-Nai)附近のランソン(Lang-Son)地方に於ては、第四紀層の含銀鉛脈の採鑛作業が行はれてゐる。本附脈は一九二五年當初競賣によつてプラティイーヌ事業會社 (la Compagnie Industrielle du Platine)に賣渡された。本社は、無名資本額二〇、〇〇〇、〇〇〇法の會社にして本附脈の組織的研究を企てゝゐる。

其他地方の附脈としては一九二四年より研究されてゐるトユウレ(Tu-Lé)……エンベイ(Yen Bay)州下……の含銀方鉛鑛脈がある。

最後に注目すべきはタンホアよりヴイン(Vinh)に至る間のホアンメイ(Hoang-Mai)驛より程遠からぬ所に位置する露出鉛鑛脈である、これは一九二三年の終りから一九二四年を通じて旺んに研究されてゐるが其地に於て一九二四年迄に採掘されたものは五五噸を算してゐる。(方鉛鑛及白鉛鑛……五五%—四七%の鉛を含む)

C　錫鑛及ウオルフラム

イ、產額及輸出額

一九二二年の總產額は七〇八噸にして爾後、一九二三年六七七噸、一九二四年八五二噸を數ふ。

大戰によるタングステン工業の停止は相場の低落を招致し、從つて一九一九年以來ウオルフラムは錫鑛採掘の副產物として產出されるに過ぎない。蓋し如斯相場の著しき暴落は從つて亦附脈特にウオルフラムの含有量大なる附脈に對する採掘を再び開始することが出來ないのである。自一九二二年至一九二四年のウオルフラム輸出高はその生產高を著しく超過してゐるがこれは、東京錫ウオルフラム採鑛會社 (la Sociétés des Etains et Wolfram du Tonkin) がその財庫品を投賣したるに因る、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

倫敦のウォルフラム平均相場を見るに一九二二年に於ける酸化タングステン平均相場は漸く一〇・二〇志に登りたるが以後一九二三年一三・四二志、一九二四年一一・四四志を示してゐる。これ等の數字を佛領印度支那ピアストルに換算せば各自、五・五三—六・〇七及四・八五となる。戰前の倫敦市場の二五志から三〇志の相場と比ぶればこれは明かに重大なる下落なりと言はなければならない。

錫及ウォルフラム採鑛會社の一九二二年の金屬錫產額は二五〇噸にして以後の各年は夫々三〇〇噸、三一七噸を示してゐる。每年產額の全部は佛蘭西へ向け輸送されるが常である。

次表は最近數年來の錫鑛、ウォルフラム鑛の產出額及輸出高である。

錫鑛物連年產出高及輸出高表 （單位噸）

	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
產出高 錫鑛石	一一九	一三八	二二〇	三七九	五二五	四五一	六二〇
ウォルフラム	二一八	一三三	七三	三七	三〇	二八	三四
混合鑛	二六七	一六八	一五五	一五五	一五三	一七五	一九八
產出高合計	六〇四	四三九	四三八	四三八	七〇八	六五四	八五二
輸出高 錫鑛石	—	—	—	—	—	三	一四〇
ウォルフラム	一四一	四〇	五〇	—	—	一四九	六〇
混合鑛	一四三	一四六	一七六	一七五	—	一七六	一九三
金屬錫	六〇	八一	七八	一七四	—	三〇一	三一七
金屬錫の輸出高合計	(1) 九七	一一九	一四三	二三五	—	三七三	四六三

(1) 本數字は實際に產出される金屬錫と輸出される錫鑛物中に含有する金屬錫の量を合したものである。

ロ、錫市場の發達

三〇頁の表に示すが如く、錫の世界產額は一九二二年以來戰前に復歸した又世界の錫消費高も同年以來著しく增加を來し、產額を常に超過するの有樣である。又食料罐詰製造業の發達はこの錫市場に非常なる好況を齎してゐる樣である。

特に亞米利加合衆國の錫消費高は素晴らしく增加し、一九二三年の如きは戰前の約四六%を增加してゐるが歐洲に於ては未だすつかり回復してゐない。卽同期に於ける歐洲の全需要高は一九一三年のそれに比し尙一四%の減少を示してゐるのである。從つて市場は錫鑛物を產出しない亞米利加の需要如何に左右されてゐる。因に一九二三年の亞米利加の金屬錫消費高は七〇、〇〇〇噸にて全世界の半分を占めてゐる。（一九二二年亞米利加の消費高は五七、〇〇〇噸）

次に一九二三年には馬來聯邦州政廳・蘭領印度政廳及海峽植民地貿易會社及ビリトン會社等が一九二一年の政策の結果その多くのストックの一部を整理した。此等の政廳及各會社は一九二三年當初に

契約したるバンドン協約に基き同年の四月一日以降より前記四契約者の各自の持つ錫總量の$\frac{5}{100}$は之れが貯藏、賣渡は自由であること。次で各月の初めに同量のものが市場に出されることが認められた。かくて財庫品の整理は毎月八八〇噸の割を以て二十箇月の間に處理されることゝなつたのである。

次表は亞米利加の某專門誌より摘出したるものであるがバンドン協約後一九二二年及一九二三年に於て世界のストックが如何に變化したかを知ることが出來る。

最近連年世界ストック高表（單位噸）

ストック所有者	一九二一年末	一九二二年末	一九二三年末
英馬來聯邦政廳	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五、五〇〇
蘭領印度政廳	四、〇〇〇	四、〇〇〇	二、二〇〇
海峽植民地貿易會社	二、六〇〇	二、六〇〇	一、四三〇
ビリトン會社	二、八〇〇	一、〇〇〇	五五〇
ボリビア	三、〇〇〇	—	—
支那	五、〇〇〇	—	—
船積中のもの	二、六〇〇	二、一〇〇	八六五
各生産者側ストック合計	三〇、〇〇〇	一九、七〇〇	一〇、五四五
市場搬入後のストック合計	二四、〇八〇	二二、二八一	一八、六三一
合計	五四、〇八〇	四一、九八一	二九、一七六

同じ資料により之を見るに一九二四年十二月三十一日のストック合計は二三、一六〇噸である、從つて前年の年末よりも六、〇〇二噸の減少を示してゐる譯である。

世界に於ける在庫高の減少及需要の産額を超過せること等は依然として一九二三年に於ても金屬錫相場の高値を呼び、一九二四年に於ても尚強調を唱へてゐる。即下表に示す通りである。

（單位英ポンド）

倫敦相場	一九二三年	一九二四年
最高相場	二九七	三〇〇
最低相場	一八二	二一八
平均相場	二〇二	二四八
一九二二年の平均相場に比較しての昂騰率	二七%	五六%

巴里市場に於ては爲替相場の不安定なるが爲めに相場は依然として大變遷を續けてゐる。

金屬錫一噸當りの價格は終に一九二三年初に於て一二、三五〇法、同年末二一、二〇〇法、一九二四年には三六、一四〇法に達してゐる。（一パウンド一二〇法換として）

次表は亞米利加の統計に據るものにして最近三箇年間の主要生産國に於ける生産錫礦の金礦含有量が如何に變化したるかを表してゐる

る。(單位英噸)

最近連年金屬錫產額表 (單價英噸)

主要生產國別	一九一四年	一九二一年	一九二二年	一九二三年
英領馬來	五〇、六四〇	三六、一〇〇	三七、二八〇	三九、六四〇
ボリヴィア	二三、〇〇〇	一八、八〇〇	三一、九四〇	二八、六八〇
蘭領印度	一九、六一〇	二六、一八〇	三三、五〇〇	三一、〇二〇
支那	七、二七〇	一一、二〇〇	一二、四四〇	八、七三〇
暹羅	六、五九〇	六、九一〇	五、九五〇	六、三三〇
ニジエリア	四、三〇〇	五、〇六〇	五、六一〇	五、九三〇
濠洲	五、四〇〇	二、六五〇	二、六六〇	二、五〇〇
英領印度	二九〇	一、三六〇	一、〇〇〇	一、三一〇
南部亞弗利加	二、〇二〇	七二〇	三三〇	八八〇
英國	五、〇六〇	六八〇	三七〇	七八〇
印度支那	五〇	二四〇	二九〇	三七〇
其他	七三〇	九〇〇	八一〇	六三〇
	一三三、九六〇	一一〇、八〇〇	一三一、一八〇	一三六、八〇〇

一九二三年の世界消費高は從つて上記の一二六、〇〇〇噸とストックに受けた一二、〇〇〇噸を合して一三八、〇〇〇噸となる譯である。

下表は主要錫生產國に於て生產される粗鑛中に含まれる純金屬の一九二三年から一九二四年迄に於て如何にその輸送量が變化したるかを表したもの (Engineering and Mining Journal Press du 17 Janvier 1925 に據る) である。(單位英噸)

	一九二三年	一九二四年
英領馬來	六六、三〇〇	七四、五一〇
濠洲	一、六一〇	一、五三〇
バンカ	一五、三九〇	一五、九六〇
ニジエリア(十一月迄)	五、二七〇	五、五三〇
支那	九、二六〇	七、五三〇
ボリビア(十一月迄)	二七、三三〇	二九、六九〇
コルヌーアイ	一、〇二〇	一、二〇〇

かくてストックに組入れられる金額を考慮に入れ、一九二四年に於ける產額の合增加額は約七、〇〇〇噸となる。

如斯ストックは絶えず減少し、產額は遲々たる增加を示す一方これが需要は益々強調を稱ふるに於ては生產者に採りて斯業の將來は益々多望なりと言ふことが出來る。

ハ、印度支那に於ける各錫鑛山の發達狀況

東京

東京錫及ウオルフラム採鑛會社 本社の錫產額は金屬錫の高相場に連れて年一年と漸次增加を見、又漸次採掘其他に改良を加えつゝあるを以て著しく費用の節減を示してゐる。其他前年の成績を徵しつゝ年々進步改良が施されてゐる。即、溶解作業に依る還元法の如き

も、粉錫石の還元には反射爐を利用し、その燃料は本社に屬するヘンリ(Henri)礦山……カオバン(Caobang)地方に所在す……産の褐炭を利用してゐる。其他本社は一九二三年から一九二四年にかけてその構外施設を完備なるものとなした。

上東京錫鑛山會社(La Société des Mines d' Etain du Haut-Tonkin)本社の主要なる採掘地はピアクワク(Pia-Quac)群山の南斜面に位置する許可地にして年産額も逐次増加し、一九二三年及一九二四年の産額は一九二二年の産額を超過すること各自一八%、二四%である。

本社は印度支那に有利なる粗鑛分解工場其他の諸設備を有せず只その採掘物は佛蘭西に向け輸送され、そこで處理されてゐるのである。

老　撾

茲に注目すべきはメッケ州下ナムパテーヌ(Nam-patène)の含錫褐鐵鑛脈である。本脈は**印度支那鑛業調査・採鑛會社**(一九二〇年八月三日創立)(La Société d' Etudes et d' Exploitations Minières en Indochine)に所屬し、一九二三年以來實際に採鑛に從事してゐる。

洗鑛場は採掘地より約九時間を要する處に在り一九二四年の當初には二四噸の粗鑛を處理した。一九二三年の本社開業當時の處理能力は粗鑛二、五五〇噸を處理し、錫の含有率六〇—六五%の錫鑛二三噸を得た。

且一九二四年の産額は錫の含有率六〇—六五%の錫鑛一四〇噸に達したが、これは全部メーコン河運により西貢に送り更に新嘉坡へ向け輸送された。本錫鑛の一九二四年に於ける噸當りの平均價格は新嘉坡に於て印度支那弗に換算し、一、〇〇〇ピアストルに達した。

本社は産額を増加せしめんがために目下鑛脈の整理中である。構外施設も一九二五年に至り倍加されるのであるが。斯くなるときは二採掘地より來る粗鑛を處理し、毎月の錫鑛生産能率は三二噸となる譯である。

産物を捌く運送方法に就ては目下尚研究中であるが事實メーコン河による運送平均能率は少いので本社はその一部をタッケからヴィン迄貨物自動車による運送法を試験してゐる。本鑛山に於ける粗鑛物の溶融場は近き將來に實現されるであらう、こうなれば亦産物の運送方法が益々容易になる譯である。

D　其他の鑛物

イ、金

パックラン(Pac-Lang)地方　本地方の含金石炭層の組織的試掘作業は一九二三年の初めに終つた。然れ共この作業は鑛山技師の監督の下に行はれてる有望なる結論に達したるにも拘はらず、如何なる譯か本層脈に對してはどの採鑛會社も未だ設立されるに至らない。從つて本層は未だに未採掘の儘に放置されてゐるの狀態である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上ソンナン(Haut Song-Nang)地方　上ソンナンの谿谷に在る含金沖積層は東京錫及ウォルフラム採鑛會社によりて研究されたる結果、一九二三年十二月十二日を以てバンマン鑛山會社(la Société des Mines de Ban-Man)の設立を見るに至つた。

本社の資本金は一、一〇〇、〇〇〇法にして一株額面五〇〇法のもの二、二〇〇株より成るが中二、〇〇〇株は東京錫及ウォルフラム採鑛會社の所屬に歸した。採掘の方法に就て目下研究されてゐる。

ロ、アンチモニー

トランダ鑛業會社は一九二三年シエムホア(Chiem-Hoa)……トエンクワン州……の西方十二基米突の處に位置するホアルン(Hoa-Lung)鑛山の調査を爲した。本鑛山は輝安鑛化したる石炭質層にして同社の起業を注目する所である。

又一方この數年來探査者の注意はアンチモニー層脈に治がれてゐたが一九二四年に於ては特に安南に所在する……ダンホア州下……輝安鑛化せる層脈がその對象となつてゐた。

一九二一年以來のアンチモニー相場の昂騰に次ぐ昂騰は如何にも前述のアンチモニー探査作業を裏書するものと見る事が出來る。下表はアンチモニー相場の變遷を表示したものであるが、戰時中需要の增大と共に狂騰を示したる相場は、戰後漸次低落し、紐育市場に於ては一九一三年の相場をすら飛び越し低下するに至つた。然れども一九二二——一九二三年に再び高騰したることは玆に注意する必要がある。少くともその原因の一は一九二二年九月設定されたるアンチモニー一リーブル當り二セントといふ輸入税賦課に基くものなることを知る必要がある。從來この日迄は、一リーブに當り〇・三五セントといふ從價税のみが賦課されてゐなかつたのである。

年次	紐育相場(四五三瓦一リーブル當り金貨弗のセントを單位として)	同一米突噸當り紙幣法に換算しての單位
一九一三年	七・五三	八六〇
一九一四年	八・七六	一,〇八三
一九一五年	三〇・二八	四,二五三
一九一六年	二五・三七	三,二二六
一九一七年	二〇・六九	二,五七六
一九一八年	一二・五八	一,五五八
一九一九年	八・一九	一,三三〇
一九二〇年	八・四八	二,六七三
一九二一年	四・九五	一,四六二
一九二二年	五・四七	一,四八四
一九二三年	七・八九	二,八八四
一九二四年上半	九・九六	四,三三二
一九二四年下半	一一・七二	四,八四八

本紐育市場は主として最近十箇年間に於ては支那産のものを取扱つてゐる。支那は世界アンチモニー産額の九〇%を占めてゐる、一九二四年に於ける支那は種々の政治的動亂勃發の爲め、紐育のアンチモニー市場も爲めに著しく相場の變動を來し、同年當初に於ては

九志、三月一一志、五月八志、十二月一七志といふ數字を示してゐる。

一方倫敦市場に於ては、一噸當り二月相場は五十磅なりしが十二月には七〇磅に上つてゐる。

若し、市場が前述の如き一九二四年末に於ける相場により落付しときは東京に於ける新層脈に對する作業及舊鑛脈の再採掘もすべく可能である。舊鑛脈といふは一九一五年より一九一七年にかけて採掘してゐたものである。又同じく今期に海防に設立されてゐたもので一九一七年に於ける相場の低落により作業を閉止したる小規模の處理工場の改革も可能である。事實本工場は一九二五年に於て印度支那內地產アンチモニー鑛及支那より輸入される鑛物處理を目的として再びその作業を開始せんと計畫されてゐる。

八、黑鉛

マダカスカル產黑鉛(八五%)一噸當りの佛蘭西各港渡平均價格は一九二三年六八〇法、一九二四年には七七七法、尙同年の十二月には八五〇法といふ高値を呼んでゐる。(Echo des Mines et de la Métallurgie)この高値は一九二三年當初以來ずつと繼續されてゐる。

印度支那黑鉛會社(Le Société des Graphites de l'Indochine)に於ては一九二三年ナムシ(Nam-Si)鑛山區の採掘物處理工場の機械的設備を完成した。この採掘される鑛脈は La Baunière と呼ばれてゐるのでこれが採掘は既に一九二四年の當初以來行はれてゐる。この最初の工業的施設によつて一九二四年の上半期に於ける每日の生產能力は二噸の商品黑鉛を造つてゐる。

一九二四年の上半期を通じて含黑鉛炭素八二—八六%の黑鉛三十噸は佛蘭西へ向け輸出された。

本植民地にこの新事業を起すことは頗る有利である、何故なれば老會(ラオカイ)の含黑鉛片麻岩はフウト(Phut-Tho)迄續き黑鉛層脈を形成す。即長さ一七五基米突に亘り彼我相接續し兩地間の各所に黑鉛の露出點々と所在す。エンバイ(Yen-Bay)地方に於て特に然しこゝは少くとも內地黑鉛工業の發達を企圖し得るに足る層脈の所在することが確實である。

九、燐酸鑛

一九一一年五月二十六日設立されたる東京燐酸鑛會社(Société des Phosphates du Tonkin)はその所有鑛脈及海防の工場を一九二四年七月二十三日設立されたる東京新燐酸鑛會社(Société Nouvelle des Phosphates du Tokin)に讓渡した。この新會社は佛植民地金融會社と提携ある一團によつて設立されたものである。

下表は自一九二二年至一九二四年間の燐酸鑛產額及賣上高の增加程度を表示したものである。

	一九二二年	一九二三年	一九二四年
粗燐酸鑛の採掘高	七、六〇〇	二、〇八五	三、四六一

粉末燐酸鑛賣上高			
東京及北部安南	六、二五九	八、〇七九	七、七一六
交趾支那	九四五	二、二三八	二、〇六八
輸出高	九三	三五	―
合計	七、二九七	一〇、三五二	九、七八四

一九二三年度に於ける海防工場の產額は燐酸鑛(商品としての)九、三一七噸にしてその內譯は次の如し。

無水燐酸一九―二一%含有の燐酸鑛　七、八二三噸
同　二四―二五%同　一、一六五同
特株S印燐酸鑛(Special Marque "S")　二八一同

この特株S印燐酸鑛は極く細い粉末物にして特に酸の含有微弱なる土壤肥料として必須のものである。

賣價は一噸當り二〇弗乃至二三弗といふ安定を保つてゐる即燐酸三石灰一袋〇•四三弗から〇•五〇弗位である。

輸出高の中には本會社がその產物を廣めんと試みて、支那及日本へ向け輸出された見本を含むでゐる。

ホ、寶石(Pierres Precieuses)

パイラン(Pailin)の寶石山の最近の產額は一九二二年、四、七一九カラット、一九二三年四、八八八カラット、一九二四年には四、一六八カラットを示す。尙一九二四年に於ける生產高を細別すれば青玉(サファイア)四一〇個(四、一四四カラット)價格四四〇、一〇二ピアストル、紅玉(ルビー)二個(二四カラット)價格一七〇ピアストルである。

次に一九二三年及一九二四年に於ける採掘許可數は一九二二年の四六七件に對し各自五三三件及四九九件にして一方政府の收稅金は一九二三年一、三〇五ピアストル、一九二四年は一、一七五ピアストルであつた。(一九二二年九〇〇ピアストル)

土人採掘勞働者の人員は殆んど變化がない。卽八五〇乃至九〇〇人である。

パイラン鑛區地方への入路は古來幾多の人々の往來によりその足跡は自然長さ八〇基米突許りの通路を形造れるを以て鑛區への接近は頗る容易である。乾燥期に於ては自動車すら通行し得。

目下この通路に砂利を敷き結め眞實の道路になさんとする計畫が進められてゐる。既に一九二五年の一月一日にはバッタンバン Battambang の一部迄約五六基米突の處迄砂利を敷いてゐる。

第三章　勞働

次表は印度支那各鑛山に於ける勞働者概數及平均勞賃を指示したものである。

年次	使用勞働者數	平均賃金 ピアストル	平均賃金 金貨法	平均賃金 紙幣法
一九一二年	三、〇〇〇	―	―	―
一九一三年	三、〇〇〇	―	―	―

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一四年	一五、〇〇〇	〇、三〇〇	〇、六六〇	〇、七七〇
一九一五年	一三、六〇〇	〇、三一〇	〇、六二〇	〇、七六三
一九一六年	一七、一〇〇	〇、三一〇	〇、八二三	〇、九一四
一九一七年	一六、八〇〇	〇、三一五	一、〇三七	一、一三一
一九一八年	一六、一〇〇	〇、三二〇	一、二五〇	一、三六三
一九一九年	二一、二〇〇	〇、三二五	一、三二四	二、一三五
一九二〇年	二一、二五〇	〇、三三五	一、四〇四	三、八七六
一九二一年	一五、六二七	〇、三六〇	一、九五八	二、四七三
一九二二年	二〇、五七四	〇、三七〇	〇、九六三	二、二六三
一九二三年	二三、四八七	〇、三八〇	一、〇〇九	三、三三〇

平均一日當り作業に從事する勞働者數は左の如し。

年次	炭礦山 坑外勞働者數（露出坑採掘者ヲ含む）	炭礦山 坑內勞働者數	金屬鑛山 坑外勞働者數	金屬鑛山 坑內勞働者數
一九二二年	一〇、五四六	五、二九八	二、七九〇	一、五一二
一九二三年	九、六三六	六、二七二	三、二二四	一、八九一
一九二四年	一五、五八四	五、八九四	五、三三三	一、八二七

次に勞働者一人當りの採掘高及一噸當りの勞賃を表示する。

一人一日當り産額（基瓦）（坑外坑內共）

	一九一三年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年
印度支那	二三九	二四〇	二三三	二三〇	一九二
佛蘭西	六九五	四七〇	—	—	—

採掘高一噸當りの勞賃

	一九一三年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九四二年
印度支那	ピアストル 一・〇四六	一・六六	一・七三	一・八二	二・〇九
佛蘭西	法 七・七七	四一・六六	—	—	—

第五章　事故

次に掲げる表は一九二三年に於ける各鑛山に於ける事故發生數を示したるものであるが本表は政府の鑛山課及通信者の報導に基いて作成したるものである。

鑛山別	勞働者數	事故發生數 坑內	事故發生數 坑外	犧牲者數 坑內 死者	犧牲者數 坑內 傷者	犧牲者數 坑外 死者	犧牲者數 坑外 傷者	合計 死者	合計 傷者
炭礦山	一六、〇三三	六	一六	五	一	一八	九	二三	一〇
亞鉛鑛山	三、四一四	一	四	一	—	二	—	三	—
錫及ウォルフラム鑛山	一、六七九	—	六	—	—	五	三	五	三
燐酸鑛山	四五七	—	—	—	—	—	—	—	—
寶石山	九〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—
其他	一五	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	二三、四八七	七	二六	六	一	二五	一二	三一	一三

尚次表は勞働者一萬人に對する事故發生率及犧牲者率を表したものである。

事故種別	炭礦 事故發生數	炭礦 死者	炭礦 傷者	其他の鑛山 事故發生數	其他の鑛山 死者	其他の鑛山 傷者
土砂崩壊	四·三	四·三	〇·六	六·一	六·一	三·〇
構外鐵路敷設に際し	三·七	三·七	一·二	一·五	一·五	—
爆發物の爆裂	二·五	三·一	三·一	三·〇	三·〇	—
岩石の落下	〇·六	〇·六	—	—	—	—
瓦斯の爆發	〇·六	—	〇·六	—	—	—
壁落	〇·六	〇·六	—	—	—	—
其他の原因	一·二	一·九	〇·六	三·〇	一·五	一·五
合計	一三·五	一四·二	六·二	一三·六	三·一	四·五

—印度支那鑛山課長・鑛山技師ラピイ氏稿—

(Bulletin Economique de L' Indochine. No. 171)

馬來半島

□本年三月英領馬來護謨輸出高

本年三月中英領馬來より輸出された護謨の數量價格を示せば次の樣である。

仕向國	一九二六年三月	一九二五年三月	一九二六年累計	一九二五年累計
英合衆王國	七、八四八·四六	二、六一六·二四	二〇、四八二·〇九	七、〇三三·三二
北米合衆國	三、八〇九·二一	二〇、七二五·五八	六五、一七一·〇三	五〇、七六二·〇八
歐大陸	一、八九〇·三〇	二、二三六·三一	五、三九五·二一	六、三四五·〇二
英屬領地	六二三·二六	四四二·九〇	一、七六二·一九	一、四七三·四三
日本	一、八三七·一五	八一三·八三	三、〇八二·二九	一、九八七·九九
其他	四·八四	三·一〇	一一七三	五〇·八六
合計	三五、一〇三·一三	二六、八三五·九六	九五、九〇四·五四	六七、六四一·六八

前表數字は同月末迄に英領馬來各港より輸出計上されたる數字なれども、必ずしも同月中に積出又は陸揚せるものではない。

又同年同月中英領馬來以外各港より輸入されたパラ護謨の數量は一四、八〇〇・六六噸(前年同月一三、三九八・九三噸)に達した。又同月迄の累計は三三、三四三・九八噸(前年同月迄累計三三、六〇一・二三噸)に達する。

本年一—三月に至る輸出護謨の價額は通算二五〇、二八九、〇〇〇弗となり、數量の增加は二八、二六二・八六噸となる。

因に前記輸入パラ護謨を品質別にすれば次の樣である。

スモークド・シート(乾) 一、七二八・八九噸

クレープ(乾) 五四七・二三噸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アンスモークド・シート（ウェット） 一〇、八五二・八八噸
スクラップ（ウェット） 八一二・三五噸
ラムプ（ウェット） 八五九・三一噸

合計 一四・八〇〇・六六噸
（新嘉坡フリー・プレス四月七日）

蘭領東印度

□蘭領東印度に於ける鹽專賣

蘭領東印度に於ける鹽專賣法

鹽の製造竝に販賣の利益は東印度會社既に着目し、其の直接統治區域に於ては自由製鹽を禁じ請負制度を採りたり。

一八一三年ラフルズ統治時代、スマラン請負人間に於ける利益配當に關する爭議に際し政府は製鹽の利益莫大なるを知り、請負人の專橫甚しく消費者の犧牲大なりとの理由にて、爪哇マヅラ其他の勢力圏内に政府專賣制度を採用し和蘭の統治復活せらるゝに至りても其儘繼續されたり。

尋で一八二九年より一八四七年迄歳入增加の目的を以て主なる地方に再び請負制度を布き、一八五九年より一八七九年に亘りては政府の管理宜しきを得ず、度々鹽の不足を生ずる事等あり攻擊の聲高く、專賣制度の存續疑しかりし爲改良等も行はれざりしが、一八八二年二月二十五日付發布されたる「鹽專賣保全規定」は良く從來の各種條令を統一し、今日に至る迄鹽專賣法規の基礎を爲せり。一九二一年七月二十六日付改正鹽專賣法左の如し。

第一條 第二條記載例外を除き、政府の許可を得政府の爲に行ふ以外左記の地に於ける製鹽を禁す。

A 爪哇及マヅラ
B スマトラ東海岸州
C ベンクーレン・スマトラ西海岸・タパヌリ・ランポン・パレンバン・バンカ竝に附屬地・ボルネオ西部・東南部・各州
D ビリトン

第二條 第一條禁止規定は左記各地には適用せず。

A スマラン州グロボガン竝にスラカルタ州ボジョラリ所在鹽水井
B スマトラ西海岸州所屬諸島
C スマトラ東海岸州中ベンカリス島・シアック所屬諸島・バンカ乃至ブラワンに亘るシアック海岸・ブラワン所屬諸島・ブラ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ラワン海岸

第三條　製鹽の許可を受けたる者は、規定の又は規定さるゝべき相場にて規定の倉庫に鹽を納入するを要す。

マヅラの製鹽業者に對しては、毎年州知事の定むる量の鹽を自家用として供給す。

第四條　第五、六條記載例外を除き、官立倉庫より供給したる鹽竝に政府の爲にする場合を除き第一條記載の地に鹽の輸入を禁す。

官立倉庫の相場安き州より高き州に鹽を移出するを得す。

第五條　左記の地には前條第一項禁止規定を摘用せす。

A　スマトラ西海岸州所屬諸島の海岸竝に港、バンカ竝にクープー(兩地海岸竝に所屬諸島に於ける支那人居留地をも含む)以外スマトラ東海岸州に於て政府が輸入税を課する諸港、バネイ(Order afdeeling Raboean Batoe) ビラクアルー竝に所屬地レイドン・クアルー境界乃至タンジョン・アピアピに亘りローカン流域外に在るアッサハンの一部、ビリトン島タンジョン・パンダン、但一八八二年十月一日付府令(官報第二四〇號)中鹽積卸許可港に關する規定に從ふを要す。

前記各地に於ては官立倉庫供給以外の鹽輸入は規定の輸入税を徴して許可す。

B　スマトラ東海岸州中ベンカリス島・シアック所屬諸島・ベンカ乃至ブララワンに亘るシアック海岸・ブラワン所屬諸島・ブララワン海岸。

C　總督の指定により、輸入税を徴し官立倉庫供給以外の鹽輸入を許可する港。

但鹽は工業用とし税關吏の充分と認むる迄輸入者の費用にて食用に不適當なる標異物を混合するを要す。

第六條　壜詰又は包裝せられたる精製食卓用鹽は、輸入税を支拂ひて輸入するを得。

岩鹽と稱せらるゝもの竝に醫學用に供せらるゝものに關しても同じ。但後者に關しては一八七九年一月十二日付府令（官報第十四號）を適用す。

腐敗し易き物品の腐敗防止の爲使用せる粗製鹽は、該物品と共に包裝して輸入するを得。但當該目的の爲に必要なる量を超ゆるを得す。

前項の規定により輸入を禁せられたる鹽は、利害關係人、税關區域外に搬出するか官營倉庫に庫入す。

庫入後八日以内に利害關係人再輸出せざる時は同人の費用にて棄却す。

第七條　第一條、第三條第一項及第四條記載禁止規定違犯竝に正當なる出所を證明し得ざる鹽の所持運送は之を罰す。

A　鹽の量一擔以下なる時は禁錮一箇月又は罰金百盾以下。

B　鹽の量一擔或は以上なる時は禁錮三箇月又は罰金五百盾以下。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

違犯に係る鹽は(違犯者の所有なる時)沒收するを得。第三條違犯の事實決定したる時は、違犯者の有する製鹽許可は之を與へたる當局者より取消すを得。

本條により罰せらるゝ犯罪は之を Overtreding (違反)とす。

第八條　沒收せる鹽或は押收後其の所有主不明又は其他の事由により違反事實を摘發する事能はざる鹽として地方長官適當と認めたる時は、近くにある官立倉庫に庫入す。

庫入せざる場合、鹽が消費し得可きものにして政府にとりて利益ある時は競賣に附し然らざる時は棄却す。

鹽を押收し或は押收に助力したる者に對しては地方長官の認定により押收決定後一擔に付二盾の賞與を給す。但一般規定により罰金押收品等の享受を禁ぜられざるものに限る。

賞與を受く可きもの數人ある時は地方長官各人に配分す。

押收せる鹽の所有主不明又は其他の理由により犯罪事實を摘發し能はざる場合は前二項の賞與は鹽を倉庫に搬入、競賣又は棄却後之を給す。

參考事項

製鹽事業の管理はラフルズの考案を其儘採用したりしが、後度々其の所屬を更へ州知事・財務部・文部宗教工務部等の管轄に屬し、一九〇八年官業部の新設と共に其の所管となれり。度々鹽の不足を生じ爲に異動の危險さへ憂へられたるは主たる原因管理の統一を缺きたる爲なりと云ふ。

前記專賣法の規定により民間に於て製したる鹽は、一コーヤン(容量約一六八〇瓩)一五盾(一九二〇年一〇盾より引上げ)の割合にて官立倉庫に納入せしむ。此の民間製鹽は全部マヅラ島にて行はる。

製鹽許可は、製鹽者と土地所有者の關係其他事情の適否調査の上、每年割當を行ひ一期間のみ有效なるものとす。

鹽の消費は年々增加する狀態なるに、一九一〇年に至り又も不足を來したるを以て、政府は之に應ずる爲と且製鹽法の改良を計る爲直接製鹽を初めたり。現在マヅラ島スーメネツプ及スラバヤ附近グリセニ鹽田を有す。

鹽は製產地より實際の消費者に達する迄多數の手を經る爲村落の土人は不當なる仲繼人手數料を支拂ひ、著しく高價の鹽を購ふ事となるを以て政府は早くより之が防止策を考慮せり。

一八八九年政府は一萬盾の賞金を附して包裝法の世界的募集を行ひ、墺國人フォン・バルツベルグの案を基礎として一八九八年より漸次鹽を立方形に固形せしめて販賣する事を開始せり。現今市場に見らるゝは總へて此種固形體にして、甚だ固き故商人が量目の不正を働くを得ず、且濕氣に會ひても粉末の如く早く溶解せず。此の加工包裝の工場はマヅラ島カリアンゲツト及クラムホンの二箇所にあり。

鹽の公定相場一カツテイ(〇・六一七六瓩)八仙、半カッテイ四仙、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四分の一カッテイ二仙、但スマトラ西海岸・タパヌリ・スマトラ東海岸の各州に於ては各一〇仙、五仙、二・五仙。

現在の鹽專賣局は、一九二四年七月八日付府令により官業局に屬し本部をバンドンに置き一、製鹽、二、粗製鹽の加工竝に包裝、三、鹽の運搬竝に販賣、四、水上運送の分課より成る。

製鹽實況

左記は一八九四年發行P. H. Van der Kemp, Hand boek tot de Kennis van's Lands Zoutmiddel in Ned. Indië によりたるも、同著者が一九一九年に發行したる書に當時迄製鹽法は何等變化無きことを記したり。

政府の許可を與へたる鹽田は、古くは輸送費節約の爲數箇所に在りたれども、此は無許可製鹽の機會を與へ其の取締に多額の費用を要し、又製產量調節困難なるを以て、交通機關の發達に伴れ、遠距離運搬容易になると共に製鹽地數を減じ、一八六八年以來マヅラ島南岸三地方サムパン・パムカサン・スーメネップに制限せり。以下同地製鹽情況とす。

鹽田として使用さるゝは主に養魚池にして、海岸は農耕に適せざること竝に養魚池附近には鹽田に必要なる海水を引く溝の設備あること等其の理由とす。

鹽田地帶は土人の個人所有地にして每年製鹽期の初めに志願者を募り、製鹽許可と同時に使用す可き鹽田竝實際製鹽に從事するものをも指定す。一家族が雇人を使はずして利用し得る鹽田は約一バウ（七〇九六平方米）なれば小作制度に於けるが如く、他人に鹽田を貸與して製品を二分する等の場合以外、同一人に對し餘り廣大の鹽田に於ける製鹽權を與ふる時は雇人其他の支拂の爲に月五乃至六%と云ふ高利貸の犧牲となり、鹽田を擔保流れとし、或は高利を支拂ふ結果利益少き爲製鹽に當り細心の努力を盡さゞる等の危險あり。

鹽田一組は三乃至四の區切より成り、廣き階段狀を爲し最下の區切を結晶池とす。結晶池は全體に亘りて幾分の傾斜を設け、濃き鹽水流入に際し風の影響により全面積に等量に行亘るを妨げらるゝを防ぐ。鹽田地帶には運河を設け海水を滿潮時に流入せしめ、退潮の際は水門により流出を防ぐ、其の兩岸には堤を設け、溝により鹽田に通ず。第一區切内には人力により汲込む。

水門と稱するも極めて原始的のものにして土の堰を竹木等により崩潰を防ぎたるに過ぎず。海水を入るゝ時は之に穴を穿ち、退潮時には土を以て其の穴を埋む。但、パムカサンに於ては、大量の海水貯藏の必要ある爲鎖竝齒車により開閉する新式の水門を有す。水門には一定の開閉係を置き、給料は製鹽者に於て分擔す。新式の水門無き地に於ては製鹽者順番に堰の開閉に當れども、時に退潮時に閉塞を忘れ當事者間に問題を起すことあり。製鹽監督官當番の怠惰を發見したる時は一人一盾の報酬にて代人を指定し鹽納入時に清算す。

前記パムカサンに於ては、鹽田の位置高き爲川と連絡せる給水溝

河に海水の流入するは月二回の大潮時に限るを以て、運河の諸所に貯水池を設け大潮時に貯水池並に給水運河に出來る丈海水を貯藏し、次の大潮時迄の使用に資す。

結晶池周圍の堤(幅約一米突)は鹽の一時乾燥場に利用す。乾燥中の鹽よりは水が結晶池に流込み之を汚し又鹽に堤の土が混入する缺點あり。一八五二年堤並に結晶池を石灰を以て固めんとする意見出て專門家の調査ありたれども佛國等に於ても單に粘土のみなること並に費用の嵩むこと等の爲、色の淡き粘土を用ふることゝし其の儘となれり。

鹽田の數區切中、第一段は海水中の汚物を沈澱せしむるを目的とし他段に比し大形とす。第二段第三段の蒸發作用により、海水は漸次濃度を増し最下段に於て結晶す。

鹽田の區切(段)數は地方によりて異りスーメネップに於ては五、パムカサンに於ては四、サムパン二於ては三なるもの多し。差異は所有地の廣狹に原因す。區切數の多少は鹽の品質に影響す。

結晶池以外に區切二段のみを有するものは海水より鹽に至る迄十日に過ぎざるも四段を有するものは其の二倍に達す。日數を經たるもの程結晶良好にして不良なる混合鹽類を分離し、從て濕氣に感ずる度少し。

鹽田の廣さは一定せざれども、比較的小さきものにして、之に附帶する溝の面積約三、〇〇〇平方米を除き左の如し。

第一段	45m	×	17m	=	680㎡
第二段	43〃	×	14〃	=	602〃
第三段	45〃	×	12〃	=	540〃
第四段	45〃	×	11〃	=	495〃

一般農具も餘り發達せざる地方のことなれば、養魚製鹽を業とする土人の器具は一層原始的のものにして、鹽の不足を生じたる際等に於て、政府は能率增進の目的にて結晶池の地慣しに用ふる鐵製ローラー、運搬用小車其他を貸與したることあれども、殆んど利用せらるゝことなく紛失し、鹽水の濃度を計るに缺ぐ可からざる液量比重計さへも活用せられず。土人は日數によりて之を定め水の年齢と稱す。口に入れ或は風により水面に起る波の模樣により定む。スーメネップに於てはクミリの實面に浮くに及びて鹽水を結晶池に送る。

製鹽の開始は乾期の入により幾分か異なれども、八、九月が最も乾燥する月にして、製鹽期間は約二箇月半とす。然るに養魚池にありては魚が未だ充分成長せざる時は製鹽準備を延ばし、土人のことゝて鹽の收穫期を失せば多大の努力も全然無報酬となるべき事等は一切考慮せざる爲、製鹽開始期を示す爲と、政府の買入價格安きに過ぎ(一八六一年迄一コーヤン五盾)製鹽志望者兎角少き爲、之を鼓舞する目的を以て政府の費用にて祭典を催したることあり。

養魚期にありては運河・堤等は全く手入せざるを以て、準備を完全する爲には四月中旬乃至五月より之に着手するを要す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

結晶池は殊に注意を要し、底を滑にする爲一尺位掘返したる後ローラーを使用して平にし尙鹽水を通じて固くす。

準備整ひて第一段に滿したる海水は土砂を混じ濁れるを以て約一週間異物を沈澱せしむ。此の最初の海水濃度六度。第二段は約十糎の深さとし十四度位迄蒸發せしむ。區切數により異れども結晶池の前に於ては十六度乃至二十三度迄蒸發せしめ、天候良好なる時は新たなる水を加へ結晶池に一時に送り得る水を多量ならしむ、鹽田の區切は階段狀を爲すを以て堤に穿ちたる穴を開けば上段の水は自然に下段に流入す。結晶池に通ずる穴には、竹筒竝に網を使用し異物の混入するを防ぐ。結晶池の水深は五乃至八糎とす。

右の如く階段狀を爲せる區切の最下段を結晶池とするを最便利とすれども、位置地質等の關係にて全く正反對の狀態にある所少なからず。爲に海水を次の區切に送る爲には常に汲上ぐるを要し、鹽に異物を混じ易し。當局は常に此の不合理なる狀態を改めんと努めたれども、古來の習慣にて其儘となれるもの多し。

結晶池に水を通じてより鹽收穫迄の日數は地方により著しく異り、パムカサンに於ては最初送りたる鹽水が結晶を生じ初むるや次々に水を加へ五、六糎の鹽層を得。之に反しスーメネップに於ては一回の通水結晶毎に收穫を爲す。

第一法の理由としては結晶池の地床軟き爲、薄き鹽層を採集むる時は土砂を混ずと云ふにあり。されど永く支拂を受得す。收穫は一時に多量の爲家族のみにては勞力不足にて雇人を要する等により借金の已む無きに至るの外、政府倉庫へ納入に際しても一時に多人數輻輳する不便あり。且、製鹽日數長き爲雨に襲はれて九分通り成りたるものを失ふ危險あり。

鹽の不足に少なからず苦しめられたる政府は、此の兩法に關し調査の結果第一法の不可なるを知り、度々收穫を爲す式を奬勵、遂には之を強制する迄に至りたるもスーメネップに於ては其の舊習を改めず。多量の鹽を取扱ふ時は、其の一部分を政府に納めず直接消費者に賣却する機會あること、土人が地質の不同を理由として此の習慣を改めざる原因なりと云ふ。

註　近年の專賣局報告によれば、海水を通じてより、結晶せしむる迄の日數を政府に於て定むる樣子に付右の如き狀態は一掃されたるなる可し。

食鹽充分結晶せる時は水の全部乾かざる內に收穫す、全然乾燥せしむる時は食鹽以外の鹽類を混じ食鹽の味を害す。且つ、水は食鹽收穫に際し之を洗ふ作用を爲す。

[illegible]に必要なる量の製產ありたる時は、鹽田を浸水せしめ其後の製鹽を防止す。

收穫せる鹽は可成當日中に乾燥場に送り四日乃至十日間乾燥す。乾燥場は單に雜草を除き平滑にしたる地面に過ぎず。夜間は鹽を盛上げ簡單なる覆被を爲して露を防ぐ。所々不完全にして且つ諸所に

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

散在せる乾燥場は盜賣の危險大なるに付、度々小屋建築の議起りたるも費用の負擔者に關し議論生じ實現せざるが如し。

完全に乾燥したる時は當該官吏の檢査を受け納入許可ありて初めて官立倉庫に運搬するものとす。不許可になりたる鹽は洗直すか或は結晶池に投じて溶解す。

製鹽法は右の如く極めて原始的のものなれば、近年工業的に行はんとの案起り、殊に一八五九年より一八六五年の鹽不足に脅かされたる東印度政府は、本國政府に之が改良法調查方依賴、專門家の意見を得て實地試驗を行ひたるも好結果を得ざりき。

一八五〇年爪哇南岸に於て製鹽事業を起さんとの計畫あり、同地方に日光鹽田式の不可なること判明するや、スコッチ式と稱する海水煮沸の方法を採らんとせるも燃料の關係上中止となり、當時調查を命ぜられたる技師は、風車により海水を高所に吸上げ、積上げたる柴の間隙を傳ふて流し日光殊に風によりて蒸發を爲さしめ濃度を增したる水を更に高所に送り、網を傳ふて徐々に流し結晶を網に附直せしむる方法の採用を建議したれども二十二萬五千盾と云ふ多額の資金を要する爲中止となれり。

右の外製鹽のみの請負に關しては民間より度々出願ありたれども契約履行の保證なき爲、或は其他の事情にて全部却下されたり。

一九二四年鹽專賣局年報摘譯

製鹽課

スーメネツプに於ては四、五月に於て天候思しからざりしが、六、七月に至り前年に比し著しく良好となり、六月初めより鹽田整理に着手、七月七日には第一回の海水を通じたり。十月初め收穫の最盛時に突然驟雨あり、製鹽を全然中止せり。製鹽日數は最初の豫定、第一回十八日第二回二十四日、第三回以下二十日、九月末當時以後に對しては十八日に變更、十月初め天候急變の結果十六日に變更、第一回收穫七月二十六日、以後十月五日の大雨迄順調に進行。パムカサンに於ては、五月初め準備作業に著手したれども度々の降雨並に水量の爲に妨げられ、第一回通水七月十九日、第一回收穫八月七日。八月二十一日、十月九、十、十二、十三日等に激しき降雨あり被害少なからず。

サムパンに於ては、五月初め準備に着手せるも進行思はしからず、六月中住民に對し度々督促の必要ありたり。七月初めの大雨により鹽田破潰せるが、其後天候良好第一回收穫八月十五日、十月九日降雨あり、十月二十一日の降雨により製鹽中止。

政府直營地ネムバコルウエストに於ては四月準備に著手、天候良好第一回通水六月二十三日、第一回收穫七月二十日、七月二日降雨被害あり、製鹽日數十八日、十月より十六日に變更、十月十日大雨製鹽中止。

一九二四年末製鹽課職員、製鹽課長一、次長一、管理官五、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

簿記係一、管理官補二、監督官一五、土人監督九三、書記八、巡査一九、
尙收穫期にありては土人監督一〇二、鹽受納係は臨時增加。

事業收支

	(容量コーヤン)	(金額)
一九二三年末鹽殘高	一七一、八七五・一八	三、二九五、一三〇・五四
民間製鹽	七二、〇八三・二九	一、〇六六、一六一・三〇
直接製鹽	七、五〇三・四二	八七、七四五・〇一
現品過剩殘	五、六三五・八六	—
事業費	—	二七八、九一一・二三
利息	—	二四一、〇六九・四八
滑却	—	一一〇、三四六・六〇
引渡費	—	七、八四一・五〇
計	二五六、〇九七・七五	五、〇八七、二〇五・八六

	(容量コーヤン)	(金額)
販賣部へ引渡	三、七二三・二五	二五二、一四〇・六五
同　引渡費用	—	二五七・四八
加工工場へ引渡	九七、五三九・三二	一、七五六、二七六・〇三
同　引渡費用	—	七、五八四・〇二
一九二四年末殘高	一五四、八三五・一八	三、〇七〇、九四七・六八
計	二五六、〇九七・七五	五、〇八七、二〇五・八六

加工課

職員　總務部　歐人九名　土人八名
カリアンゲット工場　歐人一七、土人三、職工平均八一七
クラムポン工場　歐人一一、土人三、職工平均四九八

一九二四年加工固形鹽	一四四、一一一、四六七瓩
	(六九、〇六二、四六重量コーヤン)
此の原價(製鹽課より引受けたる)	一、九九六、九五四・二四盾
加工包裝費	一、四一〇、一八八・四二
總務部費用	四〇六、〇六一・五〇
鹽加工外業務に對する賠償差引き	三二、八七四・二九
加工鹽工場原價總計	三、七八〇、三二九・八七
卽　一コーヤンに付	五四・七三

但前年度末殘六、一八八・三九コーヤン三五三、五七一・一九盾

此の原價一コーヤン	五七・一三
よつて販賣課へ引渡原價	五七・九五

販賣課

前年より繰越並領內製鹽受入	六、九六七、七八六・九九盾
新嘉坡より輸入	一七七、二五七・九九
販賣費	四、四五八、三一六・四五
ジョクジャ自治領製鹽權買收年金	二五六、六三九・〇七
新嘉坡ヨリ輸入鹽稅金	四七五、九六九・四〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支出合計　一二、三三五、九六九・九〇
右に對する收入　二一、四五六、三九七・五七
差引利益　九、一二〇、四二七・六七

一九二四年賣上總高八五、四三四コーヤン（一コーヤンは三十擔）
內　粉末狀　一三、三二八コーヤン
　　固形體　七二、一〇六

此ノ原價一コーヤンに付
粉末狀　製鹽課原價　二二・七八　地方倉庫に至る運賃　三九・
五一　販賣課販賣直接費　一〇・三二　販賣課管理費　三・三〇
販賣課資本利息竝に消却　二・二八　故に販賣課原價　七八・一
九　本部費用　一・五〇　故に專賣局原價　七九・六九
固形體　加工場原價　五四・九五　運賃　三九・五一
販賣費　一一・六七　管理費　三・三〇　利息竝に消却　二・二八
販賣課原價　一一一・七一　本部費用　一・五〇　專賣局原價
一一三・二一

鹽專賣局總收支
支出の部　本部　一二八、三九四・四三
　製鹽課　五、〇八七、二〇五・八六
　加工課　二、五一九、八七二・二二
　販賣課　七、八二六、七八七・四三
　グロボガン製鹽稅徵收費　四、二七九・〇〇
　新嘉坡鹽輸入稅　四七五、九六九・四〇
　支出計　一六、〇四二、五〇八・三四
收入の部　粉末鹽賣却　一、二七四、六八五・〇〇
　固形鹽賣却　一七、五六九、〇二四・七二
　在庫品不足賠償金　八、〇三七・五三
　雜收入　一七三、六〇四・三九
　グロボガン製鹽稅　一九、九九九・九八
　一九二四年末在庫鹽　六、〇〇四、九一〇・九四
　收入計　二五、〇五〇、二六二・五六
差引純益　九、〇〇七、七五四・二二

一九一六年鹽專賣局會計整理以來の各年純益（資本金の利息差引
但專賣局輸入鹽の稅金は差引かす）左の如し。

一九一六年　九、二二〇千盾　一七年　九、九五九千盾
一八年　一〇、二六四同　一九年　一〇、〇八三同
二〇年　九、三〇四同　二一年　八、四七八同
二二年　八、六〇二同（內鹽輸入稅さして計算すべき金額 一、二九一千盾）
二三年　八、八〇七同（輸入稅五四七千盾）
二四年　九、四八三同（輸入稅四七五同　）

（臺灣銀行調查）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他

□世界護謨は一九二八年に不足すべし

本稿は本年三月十二日「アナリスト」誌上に表れた在倫敦・シミングトン及シンクレーヤ社の護謨市況に關する一考察である。

一九二五年世界護謨消費總額は昨年度の豫想に比して四萬二千噸の増加(卽ち五十五萬二千噸)で、一九二四年に比ぶれば實に七萬七千噸(丁度十六パセント餘に當る)の純増加を示して居る。又下記一九二五年末に於ける世界全ストックの消費豫想が生産額に超過すること五萬二千噸である事は殆んど確實に一致して居る。下記に計上せるストック總額十五萬一千噸は世界に供給する護謨量の僅かに三箇月分にも足らないが、併し吾社は一九二六年に於て護謨栽培園が世界に要する護謨量を供給し得る事を期待し得る。けれども、萬一生産若しくは護謨運送に關して不慮の事故により延滞を來すべき時にはストックは甚だ少量とならざるを得ないのである。

一九二五年十二月末に於ける世界ストック

消費地若しくは其附近に於ける年末護謨ストックが一九二五年末日程甚少であつた年は未だ曾て無い。今北米合衆國のストックを各年別に比較すれば次の樣である。

年別	製造者所有ストック 噸	商人所有ストック 噸	合計 噸
一九二一年	七二、二六三	二七、四九四	九九、七五七
一九二二年	七五、六七八	一八、八〇五	九四、四八三
一九二三年	五六、五二三	二〇、二三四	七六、七五七
一九二四年	四七、〇一〇	一〇、七〇七	五七、七一七
一九二五年	四一、三六六	九、六一九	五〇、九八五

次に昨年(一九二五年)末世界各地に於ける護謨ストックの全豫想額を一昨年度(一九二四年)に對比すれば次の如くになる。(單位噸)

地方別	一九二四年	一九二五年
新嘉坡	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇
彼南	三、〇〇〇	二、〇〇〇
英領馬來	一二、〇〇〇	八、〇〇〇
錫蘭	二、五〇〇	三、〇〇〇
蘭領東印度	一二、〇〇〇	六、〇〇〇
英合衆王國		
官營倉庫	三二、四〇〇	六、二五〇
私營倉庫	二、六〇〇	一、二五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北米合衆國		
製造業者所有	四七、〇〇〇	四一、四〇〇
商人所有	一〇、七〇〇	九、六〇〇
パラ及マナオ	二、〇〇〇	一、〇〇〇
大陸諸港	八〇〇	五〇〇
陸揚未濟のもの	五八、〇〇〇	五六、〇〇〇
合計	一九九、〇〇〇	一五一、〇〇〇

一九二六年ストック增加

一九二六年我社の世界護謨生產豫想額は六二六、〇〇〇噸にして、消費豫想額は六〇三、〇〇〇噸に達する、若し此豫想が正確であるならば今年度は世界護謨の供給量は更に二三、〇〇〇噸を增加する事となるであらう。併し此數量は大量とは云へない、而も現在ストックの減少せる狀態に鑑みて、ストックが一九二二年迄の數量に復舊することは容易に考へられない。

一九二五年竝に一九二三―二四年度に於て護謨價（後者は一九二五年に比すれば低價であるが、一九二一―二二年度價格に比しては高値である。從て護謨買入業者は七片から一志の間に於て買入れる事に慣らされた。）は比較的高騰した爲に各製造會社は其工場で最少限度のストックを以て運轉する習慣となつた。然し乍ら此政策は運送の際に起る重大なる障碍に伴ふて屢々危險を生じた。事實一九二五年一、二汽船が延著せる爲め殆んど紐育市場に恐慌を來し、一封度當り數仙を奔騰した事がある。此現象は依然世界各地に於て行はれて居る、少しでも供給量が增加すれば倫敦に集中する事となるのであるが、之等は常態では無い。

一九二六年世界護謨生產量

一九二六年護謨生產量を豫見するに、農園護謨に關しては從來通り否寧ろ堅實なる步調を辿るであらうと思はれる。栽培面積は一層正確となり又一英反當り產出量もよく知られて居て、再び生產制限を必要とする程に價格は低落して居ないので農園に於ては合理的な採液制度の下に最大生產量を擧げる事と豫測される。

然れども從來の經驗に徵し良き管理の下にある農園が消極的の採液を固持する事は頗る明瞭である。過去三年間此方法に基いて農園は充分好成績を擧げた。

一九二六年採集し得る護謨總面積の豫想は大概次の樣である。

（單位英反）

	歐人所有農園	土人所有農園
英領馬來	一、二五〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇
錫蘭	四二五、〇〇〇	―
蘭領東印度	※七五〇、〇〇〇（土人農園を含む）	―
其他の東洋諸國	二四〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇

備考　※蘭領東印度土人農園面積は英反では測定し得られないが、相當信憑するに足る產額豫想を入手する事が出來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度土産護謨を支配するものは護謨樹の發育狀態竝に勞働者を得ることにある。後者は特に價格によつて左右される。其他例へば、絕えず勞働者を得ること、食用作物を栽植し得る餘地あること及栽培地の健康地である事等が總て影響を及ぼして居る。最近蘭領西印度農工商務局長ルツトヘルス博士(Dr. A. A. L. Rutgers)は和蘭國際護謨協會々議席上當該問題に關する論文を發表した。

同博士は蘭印土産護謨の栽培全問題に對し詳悉に論及して居る。氏は土人等が恰も米作を植付けると同じ時期に護謨の苗木を栽植し又其後苗木の成長に關しては少しも顧みない、又價格が高値で勞力が潤澤である場合には無暗矢鱈に採液するに任せ居るが故に土産護謨の發展可能性に付ては公平なる人の意見によるの外はないと云ふ事を摘述して居る。

尙ほ博士の計算を根據とし彙報第二十一號に表れたる記事を参照して吾社は蘭領東印度一九二六年度土産護謨(乾)の產額を八萬七千噸と推定した。

パラ及野生護謨の產額は計上し難い。我社は大體之れを三萬二千五百噸竝に一萬噸と推定して居る。

從て一九二六年度世界護謨產額豫想は次の如くとなる。

	(面積)		(數量)
英領馬來			
農園	一,三五0,000英反	一英反當り三五〇封度	一五三,000噸
土人所有	七00,000英反	一英反當り二八〇封度	八八,000噸
英領馬來小計			二八三,000噸
錫蘭			
農園及土人所有農園	四二五,000英反	一英反當り三三六封度	六四,000噸
蘭領東印度			
農園	七五0,000英反	一英反當り三三六封度	一二三,五00噸
土產(乾製)	—不詳—		八七,000噸
其他栽植面積			
農園	二四0,000英反	一英反當り二五二封度	二七,000噸
土人所有	100,000英反	一英反當り二二四封度	一0,000噸
東洋諸地方合計			五八三,五00噸
パラ產			三二,五00噸
野生護謨			一0,000噸
一九二六年總計			六二六,000噸

一九二六年消費

米國 一九二六年北米合衆國のタイヤー取引に消費された總護謨量を三十七萬噸と計上しておいたが、事實昨年タイヤー取引は米國の消費總護謨量の八三3/8パセントを占めた。一九二四年は八〇%である。而して他の代用品がタイヤー以外の護謨製品の製造に表れ來る事を充分考慮するも尙ほ本年米國護謨タイヤー消費率は約八九%、從て同年米國に於ける總消費量は四十一萬五千噸に達するであらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英本國　ダンロップタイヤーが引續き良好なる品質を維持せるが爲め國内に於て益々好評を博し英國對外貿易に其輸入割合を增加して居る狀態に鑑みて、英國本年の消費額は前年に比し一〇%の增加は確實である。

過去三年間商務省の發表せる統計表によりタイヤー及チューブ類の輸出入價額を示せば次の樣である。

	一九二三年	一九二四年	一九二五年
輸入	四、七四〇、五三三磅	四、四三二、五〇八磅	五、四八九、二三六磅
輸出	四、九一七、四五五磅	五、六六五、五三二磅	七、一六二、六五四磅

佛國　昨年佛國は吾人が豫期したる如く消費量は增加しなかつた。僅に先年に比し一千噸を增加したるに過ぎない。其影響は佛國財政に負ふ所が多い、併し乍ら今年度は一千五百噸を增加するだらうと豫測して居る。

獨逸　前年度の豫想は低量に過ぎて居たが、先年に比して六四%を增加し、總額三萬七千噸に達して居る。將來は同國の財政と輸出市場の恢復に俟たなければならない。獨逸には完備せる護謨製品工場、優良なる化學者と豐富なる熟練勞働者があつて將來頗る有望である。聞く所によれば現今獨逸自動車製造業者は輕便自動車を多量に製出して居ると云ふ事である。從て本年自動車及タイヤー兩取引は何れも大に增加するであらう。我社は本年獨逸二〇%、依て消費總量四萬五千噸に及ぶと推定して居る。

其他の國々では別に特記する程のものはない。日本の消費豫想額も寧ろ少量ではあるが、今年は恐らく回復するであらう。又露西亞は之を豫測すること特に困難である。前述したる如く我社は一九二六年世界護謨全消費量を六十萬三千噸と推定した。

一九二五年末農園護謨植付總面積は凡そ三百十二萬英反で、其内譯は次の如くである。

英領馬來	一、四〇〇、〇〇〇英反
蘭領東印度	一、〇〇〇、〇〇〇英反
錫蘭	四二〇、〇〇〇英反
其他	三〇〇、〇〇〇英反
計	三、一二〇、〇〇〇英反

右數字は蘭領東印度土人所有のものを含んで居ない、之れを加ふれば更に一百萬英反を增す事になる。

而して此面積を大體一九三一年に於ける栽培面積と假定し、農園に對しては一英反當り三三六封度、土人所有園には二八〇封度を以て計算すれば同面積より總產額約五十九萬噸を得る事となる。

既に述べたるルットヘルス博士の論文によれば、蘭領東印度は一九三〇年迄に乾製護謨十五萬噸に達するであらうと云ふ事である。又同氏は一九二六—二七年護謨價は餘り騰貴せず、一九二八—三〇年間に於て高騰すると云ふ。されど此所論は依然護謨價が高ければ採液過多によつて一九二六—二七年產額は急速に增加し、其結果一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九二八—三〇年には其増加率減退するのは勿論である。我社は前記ルットヘルス氏一九三〇年の豫想を大體一九三一年にも適用し得ると思ふ。最も其間に栽植されるならば其れ丈け一九三一年に於て産額増加することは明である。

依て今此處に一九三一年度可能供給量を表記すれば次の樣になる。

東洋に於ける農園より	四六五、〇〇〇噸
同　土人所有園より	一二五、〇〇〇噸
蘭領東印度土人園より	一五〇、〇〇〇噸
ブラヂル及野生護謨より（大約）	六〇、〇〇〇噸
一九三一年世界供給可能總額	八〇〇、〇〇〇噸

先に計上せる一九二六年豫想生産量六十二萬六千噸を基として年々五パセントづゝ增進して行くものとすれば一九二七年から一九三一年に至る各年度に於ける世界總産額は次の樣になる。

一九二七年	六五七、〇〇〇噸
一九二八年	六九〇、〇〇〇噸
一九二九年	七二五、〇〇〇噸
一九三〇年	七六二、〇〇〇噸
一九三一年	八〇〇、〇〇〇噸

ミラー氏（Mr. Eric Miller）の計算に係る各年平均護謨消費量一三パセント當り增加すると云ふ記事は一昨年十月二十三日特別なる報告中に指摘しておいた。又今年劈頭に於て說明したる如く一九二四年に對する一九二五年の事實上の增量は一六パセント餘に當る。併し乍ら向後六箇年間年々一三パセントすらも增加し行くことは不可能である。而して此割合を以て增進して行くならば護謨は確に不足するであらう。

我社の生産豫想額は頗る多額に見積つて居る。又ブラヂル若しくは野生護謨からは大に增加するとは思はれない。其れ故一九二八—三一年に於て消費量を平均する事に注意しなければならない。我社の豫想數量にして誤なからんか、米國のリベリヤ、比島其他の地方に於て護謨計劃も此中に包含して居るものと云へる。何となれば之等の諸地方から護謨を産出し得る迄には少くとも一九三一年に至らざるを得ないが故である。前述せる所を綜合するに世界護謨は今後消費率が年々十パセント以上增加して行くものと見て一九二八年（或は一九二七年）に於て不足を來すのではないかと思考される。

(The Annalist. Mar. 12, '26.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大不烈顚さ北部愛蘭—I. II. 英國々籍者諸外國移住者職業調査
Great Britain and Northern Ireland. Occupations of Emigrants and Immigrants of British Nationality. (B. T. J. Mar. 25, Apr. 1, '26.)

英國貿易の進步
The Progress of British Trade. (N. C. D. N. Apr. 24, '26. P. 2.)

和　蘭

ロッテルダムの海運
Rotterdams Scheepvaart. (S. Hb. Mar. 25,'26.)

一九二五年に於ける和蘭の對蘭印貿易
De Handel van Nederland met Ned-Indië in 1925. (L. N. e. H. No. 14, Apr. 3, '26.)

佛　蘭　西

一九二八年巴里開催の植民地博覽會
l' Exposition Coloniale de 1928. (le C. S. Mar. 30, '26. P. 1.)

佛新內閣
Le Nouveau Ministère. (le C. H. Mar. 13, '26. P. 1.)

近東に於ける佛の勢力
France in the Middle East. (E. No. 4306 Mar. 6, '26. P. 448.)

一九二五年の佛國外國貿易
French Foreign Trade Position in 1925. (Com. R. No. 11, Mar. 15, P. 677.)

■兩　米　大　陸■

北　米　合　衆　國

合衆國に於ける投資トラスト
Investment Trust in the United States. (E. No. 4305, Feb. 27, '26. P. 394.)

北米關稅委員會
The U. S. Tariff Commission. (E. No. 4306, Mar. 6, '26. P. 452.)

一九二五年の極東さの米國貿易
Trade with the Far East for 1925. (Com. R. No. 10, Mar. 8, '26. P. 578.)

米國及比律賓
Amerika en Philippijnen. (H. N. v. d. D. Mart 25, '26.)

米國遠東貿易は依然進展す
U. S. Far East Trade Still Grows. (Wall Street Journal) (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 4, Mar. 27, '26. P. 95.)

紐育市に於ける支那人教育の一中心
A Center of Chinese Culture in New York City. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, Apr. 10, '26. P. 135.)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Beetwortelsuiker en Suiker uit Riet. Rapport Uitgebracht op het Internationale Landbouw Congres te Warschau, Gehouden in Juni 1925. (S. i. N. I. No. 12, Mar. '26.)

日本の人口問題
Het Japansche Bevolkings Vraagstuk. (H. N. v. d. D. Mar. 26, '26.)

新總督の任命
De Nieuwe Goev. Generaal. (H. N. v. d. D. Mar. 27, '26.)

外領の道路計畫
Wegen in de Buitenbezitting. (H. N. v. d. D. Mar. 29, '26.)

西部ボルネオの移民計畫
Kolonisatie-Plannen Voor West-Borneo. (H. N. v. d. D. Mar. 30, '26.)

日本及び英印間に於ける綿絲工業に關する紛爭
De Strijd Tusschen de Japansche en Britsch-Indische Katoen-Industrie. (S. Hb. Apr. 1, '26.)

蘭印に於ける政治の發達
De Staatkundige Ontwikkeling van Ned-Indië. (H. N. v. d. D. Apr. 7, '26.)

土人の護謨栽培狀況(一)
De Inlandsche Rubbercultuur. (1) (S. Hb. Apr. 7, '26.)

土人の護謨栽培狀況(二)
De Inlandsche Rubbercultuur. (2) (S. Hb. Apr. 8, '26.)

ニューギニア探險隊の出發
Het Vertrek der Nieuw Guinea-Expeditie. (S. Hb. Apr. 9, '26.)

護謨販賣組合の設立問題
Rubber-Verkoopcentrale of Niet? (S. Hb. Apr. 10, '26.)

新栽培區域に於ける放資
Kapitaalsbelegging in Nieuw Cultuurgebieden. (S. Hb. Apr. 10, '26.)

セレベス及我當局
Celebes en ons Bestuur. (H. N. v. d. D. Apr. 13, '26.)

土人生產護謨の精製計畫
Verwerking van Bevolkingsrubber. (H. N. v. d. D. Apr. 13, '26.)

■ 歐　羅　巴 ■

一　　般

來るべき歐羅巴の危機
A Danger to Europe. (E. No. 4305, Feb. 27, '26. P. 392.)

ゼネバの暗礁
Deadlock at Geneva. (E. No. 4307, Mar. 13, '26. P. 500.)

ゼネバ會議の失敗
The Geneva Failure. (E. No. 4308, Mar. 20, '26. P. 551.)

墺・匈國間の協商條約
Austro-Hangarian Commercial Treaty. (E. No. 4308, Mar. 20, '26. P. 555.)

英　　國

試練時代の英國
A Crucibl Period. (E. No. 4305, Feb. 27, '26. P. 391.)

議會對チェムバーレイン
Parliament and Sir Austen Chamberlain. (E. No. 4306, Mar. 6, '26. P. 447.)

英國豫算
Budget Prospect. (E. No. 4307, Mar. 13, '26. P. 499.)

本年二月英國對外貿易表
Overseas Trade in February. (B. T. J. Mar. 18, '26. P. 340.)

一九二五年に於ける英國の對外貿易
De Buitenlandsche Handel van England Gedurende 1925. (L. N. e. H. No. 12, Mar. 19, '26.)

印度の渣打銀行
Chartered Bank of India. (C. E. T. No. 3269, Apr. 1, '26. P. 248.)

印度政府の阿片政策
Indian Government's Opium Policy. (S. F. P. Apr. 5, '26.)

緬甸の米作
Les Recoltes du Riz en Birmanie. (le C. S. Apr. 13, '26. P. 1.)

■南　洋　諸　島■

比　律　賓

比島に於ける石油及原生瀝青
Petroleum and Residual Bitumen in the Philippines. By Leopolds A. Faustino. (F. E. R. Mar. '26. P. 133.)

比律賓
De Philippijnen. (S. Hb. Mar. 25, '26.)

マニラに於けるフイヤーストン氏
Firestone in Manila. (H. N. v. d. D. Mar. 25, '26.)

比島の護謨栽培に就て
Rubber op de Philippijnen. (H. N. v. d. D. Apr. 1, '26.)

比島の獨立及護謨
Onafhankelijkheid en Rubber. (H. N. v. d. D. Apr. 9, '26.)

蘭　領　東　印　度

農業統計
Landbouw-Statistiek. (S. Hb. Mar. 13, '26.)

ニユーギニア探險の後報
De Nieuw-Guinea-Expeditie. (S. Hb. Mar. 16, '26.)

土民に對する苛税
De Belastingdruk op de Inlandsche-Bevolking. (S. Hb. Mar. 17, '26.)

東印度一般に關する政府の報告(一)
Regeeringsmededeelingen van Algemeene Aard. (1) (S. Hb. Mar. 17, '26.)

フアイヤーストン氏の計畫
De Firestone-Plannen. (S. Hb. Mar. 17, '27.)

東印度一般に關する政府の報告(二)
Regeeringsmededeelingen van Algemeenen Aard. (3) (S. Hb. Mar. 17, '26.)

蘭印に對する日本の興味喚起
Japansche Belangstelling voor Indië. (H. N. v. d. D. Mar. 18, '26.)

東印度一般に關する政府の報告(三)
Regeeringsmededeelingen van Algemeenen Aard. (2) (S. Hb. Mar. 18, '26.)

日本の漁業
De Japansche Visscherij. (H. N. v. d. D. Mar. 18, '26.)

護謨生產制限
De Rubber Restrictie. (L. N. e. H. No. 12, Mar. 19, '26.)

日本の漁業
De Japansche Visscherij. (H. N. v. d. D. Mar. 22, '26.)

蘭領印度の豫算回答覺書
De Indische Begrooting. De Mem van Antw. (H. N. v. d. D. Mar. 23, '26.)

スマトラ西海岸の農•鑛•工業組合
Vereeniging Voor Land-Mynbouw en Industrie Sumatra's Westkust. (H. N. v. d. D. Mar 23, '26.)

國際利益の中心點たる蘭領東印度
Ned-Indië als Internationale Belangencentrum. (S. Hb. Mar. 23, 24, '26.)

護謨シンヂケート
Het Rubbersijndicaat. (H. N. v. d. D. Mar. 24, '26.)

バタビヤ近海に於ける日本漁業
Japansche Visscherij bij Batavia. (H. N. v. d. D. Mar. 24, '26.)

甜菜糖及甘蔗糖・一九二五年六月ワルソーに於ける國際農業會議に於て爲されたる報告書

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農業資金貸付共同組合
La Coopération de Crédit Agricole. (E. E. I. No. 461, Apr. 11, '26. P. 1.)

東京に於ける麥酒製造企業
L' Industrie de la Bière au Tonkin. (E. E. I. No. 461, Apr. 11, '26. P. 10.)

又復學校騷動
Encore un incident dans une école. (le C. S. Apr. 13, '26. P. 1.)

フーラム小學校騷動
Les élèves de l'école de Phulam se mettent en grève. (le C. S. Apr. 13, '26. P. 1.)

交趾支那に於ける甘蔗栽培
La culture de la canne à sucre en Cochinchine. (le C. S. Apr. 14, '26. P. 1.)

關稅の障碍物
La Barrière Douanière. (E. E. I. No. 262, Apr. 18, '26. P. 4.)

鑛業彙報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 262, Apr. 18, '26. P. 15.)

印度支那の財政狀況
La Situation Financière de l' Indochine. (le C. H. Apr. 20, '26. P. 1.)

印度支那暹羅條約
La Convention entre Indochine et Siam. (le C. H. Apr. 22, '26. P. 1.)

土地制度の改制
La Réforme du Régime Foncier. (le C. H. Apr. 23, '26. P. 7.)

馬　來　半　島

英領馬來の貿易順調
British Malaya Gains Record Prosperity. (Com. R. No. 10, Mar. 8, '26. P. 617.)

英領馬來貿易著增
British Malaya Great Expansion of Trade. (S. F. P. Mar. 23, '26.)

馬來輸出貿易激增
Prosperous British Malaya. Striking Increase in Export Values. (S. F. P. Mar. 27, '26.)

新嘉坡商業會議所の見たる將來
Chamber of Commerce Optimism for the Future Justified. (S. F. P. Mar. 31, '26.)

新嘉坡の海軍根據地
Singapore Naval Base. (C. E. T. No. 3269, Apr. 1, '26. P. 244.)

本年三月度英領馬來護謨輸出高
Trade and Commerce March Rubber. (S. F. P. Apr. 7, '26.)

英　領　印　度

印度の商業
Le Commerce des Indes. (le C. S. Feb. 20, '26. P. 1.)

緬甸の籾
Les Paddys en Birmanie. (le C. S. Feb. 24, '26. P. 1.)

印度課稅問題—諮問委員會の報告
Indian Taxation—Report of the Enquiry Committee. (T. O. I. No. 10, Mar. 6, '26. P. 2.)

蘭貢港の發達
Le Developpement du Port de Rangoon. (le C. S. Mar. 12, '26. P. 1.)

棉花戰——日本の位置
Cotton Trade War. (T. O. I. No. 11, Mar. 13, '26. P. 4.)

印度の改造——立法會議の討議
Reform in India—Debate in Legislative Assembly. (T. O. I. No. 12, Mar. 20, '26. P. 5.)

苦力募集規則改正
Coolie Recruiting Instructions to Recruiters. (S. F. P. Mar. 26, '26.)

緬甸に於ける護謨
Le Caoutchouc en Birmanie. (le C. S. Mar. 31, '26. P. 1.)

英領印度本年一月對外貿易
Britishe India. Overseas Trade in January. (B. T. J. Apr. 1, '26. P. 384.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二六年三月(四期の終)までの對米上海輸出
Shanghai Exports to U. S. for Quarter ending War. 1926. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 8, Apr. 24, '26. P. 198.)

支那新聞廣告は發達を示す
Survey Shows Growth of Chinese Newspaper Advertising. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 8, Apr. 24, '26. P. 200.)

中外銀行協同運動
The Move Toward Sino-foreign Banking Co-operation. By Tom Doyle. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 8, Apr. 24, '26. P. 192.)

香港商業會議所に於ける總督の演說要旨
Hongkong Prospects. (S. F. P. Apr. 8, '26.)

一九二五年支那に於ける勞働問題
Labour Problems in China, 1925. (S. F. P. Apr. 3, '26.)

佛領印度支那

母國側より見たる印度支那の經濟的將來
La Prospérité économique de l' Indochine. Le Point de vue de la Métropole. (le C. S. Feb. 24, '26. P. 3.)

母國側より見たる印度支那の經濟的將來
La Prospérité économique de l' Indochine. Le Point de vue de la Métropole. (le C. S. Feb. 25, '26. P. 3.)

西貢港二月中の海運界
Le Mouvement du Port de Saigon. (le C. S. Mar. 3, '26. P. 1.)

西貢港二月中の輸出
Les Exportations de Saigon pendant le mois de Fevrier. (le C. S. Mar. 4, '26. P. 1.)

印度支那銀行紙幣の流通
Le Circulation des billets de la Banque de l' Indochine. (le C. S. Mar. 20, '26. P. 1.)

海防に於ける總督の聲明
Les Impostants Déclarations du Gouverneur Général à Haiphong. (le C. S. Mar. 23, '26. P. 1.)

河內商業會議所議事錄摘要(一九二六年三月二十二日の會議)
Chambre de Commerce de Hanoi. Compte-ren-du Sommarire de la Seance du 22 Mars 1926. (le C. H. Mar. 26, '26. P. 1.)

日佛通商協約行詰りか
Le Traite Franco-Japonais Va-til se faire en vase clos ? (le C. H. Mar. 27, '26. P. 1.)

交趾支那副總督の通牒(護謨叢報)
Une Importante Circulture du Gouverneur de la Cochinchine. (le C. S. Mar. 29, '26. P. 1.)

安南人の熱望
Aspiration Annamités. (le C. H. Mar. 30, '26. (P. 1.)

柬埔寨及交趾支那の虎疫
Le Choléra au Cambodge et en Cochinchine. (le C. S. Mar. 30, '26. P. 1.)

鑛業叢報
Chronique des Mines. (E. E. I. No. 460, Apr. 4, '26. P. 16.)

一九二五年の產業共進會
La Foire de 1925. (E. E. I. No. 460, Apr. 4, '26. P. 6.)

北部安南の豐饒土
Le Terres Riches du Nord-Annam. (E. E. I. No. 460, Apr. 4, '26. P. 4.)

農業資金貸付銀行の計畫
Le Projet de Banque de Crédit Agricole. (E. E. I. No. 460, Apr. 4, '26. P. 1.)

總督府評議員會に於ける護謨課稅に關する論爭
La Discussion sur la Texation des Caoutchoucs au Conseil de Gouvernement. (le C. S. Apr. 6, '26. P. 1.)

安南人官立女學生示威運動
Les Lycéennes annamites. (le C. S. Apr. 9. '26. P. 1.)

西貢港三月中の動靜
L' Activité du port de Saigon pendent le mois de Mars de 1926. (le C. S. Apr. 10, '26. P. 1.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(C. W. R. Vol. XXXVI. No. 5, Apr. 3, '26. P. 107.)

他種上海問題の二三
Some of the Other Shanghai Questions ! (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 5, Apr. 3, '26. P. 108.)

支那に於ける不秩序
The Disorders in China. By J. O. P. Bland. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 5, Apr. 3, '26. P. 111.)

支那通商に於ける群集心理
Mass Psychology in the China Trade. By Tom Doyle. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 5, Apr. 3, '26. P. 112.)

廣東ボルシエヴイズムの分析
An Analysis of Canton Bolshevism. By S. H. Chang. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 5, Apr. 3, '26. P. 116.)

一九二五年中支那の内國公債市場の回顧
Review of Chinese Domestic Bond Market in 1925. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 5, Apr. 3, '26. P. 124.)

會審衙門に上れる政治的事件
Political Cases in the Mixed Conrt. (N. C. D. N. Apr. 6, 7, 8, 9, 10, '26.)

極東に於ける勞農露國の政策
Soviet Policy in Far East. (N. C. D. N. Apr. 8, '26. P. 7.)

滿洲に於ける鐵道建設
Railway Making in Manchuria. (N. C. D. N. Apr. 9, '26. P. 7.)

ボルシエヴイク派に對する廣東の突撃
The Canton Coup Against the Bolsheviks. By Him Wong. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, Apr. 10, '26. P. 136.)

支那に於ける日本の政策
Japan's Policy in China. By P. H. Lee. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, Apr. 10, '26. P. 138.)

支那に於けるボルシエヴイズムと其の影響
Bolshevism and its Influence in China. By Henry K. Kuo. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, '26. P. 139.)

支那の四大圖書館の話
The Story of China's "Four Libraries". By John C. B. Kivei. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, Apr. 10, '26. P. 142.)

廣東罷業者は一般排外に傾きつゝあり
The Canton Strikers Generally Anti-Foreign. (N. C. D. N. Apr. 12, '26.)

支那農業の發達
Development of Chinese Agriculture. (N. C. D. N. Apr. 12, '26.)

反米廣東勞働者團の組織
Organizing Canton Labour Against the Americans. (N. C. D. N. Apr. 13, '26.)

米國より觀たる支那
Viewing China from America. By Julean Arnold. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 7, Apr. 17, '26. P. 163.)

上海に建てらるゝ新合衆國政府
A New U. S. Government Building for Shanghai ! (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 7, Apr. 17, '26. P. 164.)

馮慶桂(字千里)小傳
Dr. H. K. Fung. (C. W. R. Vol XXXVI. No. 7, Apr. 17, '26. P. 172.)

滿洲に於ける過激主義の失策
The Bolshevik Failure in Manchuria. (N. C. D. N. Apr. 17, '26.)

香港及び廣東への旅
A Visit to Hongkong and Canton. By George E. Sokolsky. (N. C. D. N. Apr. 20, 21, 22, 24, '26.)

南支の新光明
New Light on South China. (N. C. D. N. Apr. 20, '26.)

河南省に於ける醫學教育
Medical Education in Hunan Province. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 8, Apr. 24, '26. P. 194.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

關稅及び通商規程
Tariffs and Trade Regulations. (Com. R. No. 11, Mar. 15, '26. P. 673.)

世界亞麻仁一九二五年生產輸出狀況
The World's Linseed Production and Exports in 1925. (B. T. J. Mar. 18, '26. P. 329.)

一九二五年に於ける規那の市況
De Kinasituatie in 1925. (L. N. e. H. No. 12, Mar. 19, '26.)

パインアップルの罐詰製造
De Bereiding van Ananas in Blik. (L. N. e. H. No. 12, Mar. 19, '26.)

世界の糖蜜生產及貿易
De Wereld Productie en de Wereldhandel in Melasse. (L. N. e. H. No. 12, Mar. 19, '26.)

十年後には百萬噸の護謨を必要とせん
En Millioen ton Rubberbehoefte na tien Jaar. (S. Hb. Apr. 8, '26.)

國際通商の競爭
International Trade Rivalries. By Dr. Julius Klein. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, Apr. 10, '26. P. 144.)

日　　本

日本の人口問題
Japansche Bevolkingsvraagstuk. (S. Hb. Mar. 26, '26.)

日本の海外移民
L' émigration Japonaise. (le C. S. Mar. 3, '26. P. 3.)

日本人口の增加
L' accroissement de la Population du Japon. (le C. H. Apr. 7, '26. P. 1.)

日本と治外法權問題
Japan and the Extraterritorial Question. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 6, Apr. 10, '26. P. 134.)

日本の外交政策
La Politique Extérieure du Japon. (le C. H. Apr. 11, '26. P. 1.)

亞　細　亞

一　　般

極東に於ける護謨貿易
De Rubberhandel in het Verre Oosten. (L. N. e. H. No. 13, Mar. 26, '26.)

遠東に於けるボルシェヴィズムの形狀
Some Aspects of Bolshevism in the Far East. By Lawrence Impey. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 7, Apr. 17, '26. P. 162.)

支　那　及　香　港

支那に於ける外國人
Foreigners in China. (C. E. T. No. 3267, Mar. 18, '26. P. 204.)

支那に於ける工業機械
Industrial Machinery in China. (E. E. No. 3266, Mar. 18, '26. P. 85.)

支那に於ける工業の發達
De Industrieele Ontwikkeling van China. (L. N. e. H. No. 13, Mar. 26, '26.)

鐵・鋼取引市場としての支那
China A Growing Market for Iron and Steel. (F. E. R. Mar. '26. P. 107.)

支那への新鮮なる食糧
Fresh Food for China. By Tom Doyle. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 4, Mar. 27, '26. P. 90.)

一九二六年二月支那の對米輸出
China Exports to U. S. A. for Feb., 1926. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 4, Mar. 27, '26. P. 92.)

英國の聰明と支那狀況の變化
British Sagacity and Changing China Conditions. By Peter S. Jowe. (C. W. R. Vol. XXXVI. No. 4, Mar. 27, '26. P. 86.)

支那に於ける會社(組合)法
Partnership Law in China. (N. C. D. N. Apr. 1, 8, '26. P. 16.)

上海問題と其の解決
The Shanghai Questions and Their Solution.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋記事
海外重要記事索引

臺灣總督官房調査課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

B. T. J. Board of Trade Journal. (Mar. 18—Apr. 1, '26.)

Com. R. Commerce Reports. (Mar. 8—Mar. 15, '26.)

C. W. R. China Weekly Review. (Mar. 27—Apr. 24, '26.)

E. Economist. (Feb. 27—Apr. 3, '26.)

E. E. Eastern Engineering. (Mar. 4—Apr. 1, '26.)

E. E. I. L' éveil économique de L' Indochine. (Apr. 4—Apr. 18, '26.)

F. E. R. Far Eastern Review. (No. 3, Mar. '26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag. (Mar. 18—Apr. 13, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel. (Mar. 19—Apr. 3, '26.)

le C. H. le Courrier d' Haiphong. (Mar. 13—Apr. 23, '26.)

le C. S. le Courrier d' Saigonais. (Feb. 20—Apr. 14, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News. (Apr. 1—24, '26.)

S. Statist. (Mar. 5—27, '26.)

S. F. P. Singapore Free Press. (Mar. 11—Apr. 10, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad. (Mar. 16—Apr. 10, '26.)

S. i. N. I. Suikerindustrie in Ned.-Indië. (No. 11—No. 14, '26.)

T. O. I. Times of India. (Mar. 6—Apr. 3, '26.)

■ 世界 ■

一般

「大太平洋戰」
That "Great Pacific War". By Geo. Bronson Rea. (F. E. R. Mar. '26. P. 97.)

一九二五年度の護謨市場
Rubber Market for 1925. (C. E. T. No. 3265, Mar. 4, '26. P. 165.)

世界商業界一束
World's Commercial News in Brief. (Com. R. No. 10, Mar. 8, '26. P. 564.)

電信月報
Monthly Cable Reviews. (Com. R. No. 10, Mar. 8, '26. P. 567.)

理論及實際より見たる金本位制
Gold Standard in Theory and Practice—X. XI. XII. (S. Mar. 13, 26, 27, '26.)

歐米に於ける經濟・貿易の發達
Europern Economic and Trade Developments. (Com. R. Mar. 15, '26. P. 628.)

極東商報
Far Eastern Trade News. (Com. R. No. 11, Mar. 15, '26. P. 629.)

電信月報
Monthly Cable Reviews. (Com. R. No. 11, Mar. 15, '26. P. 631.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN